

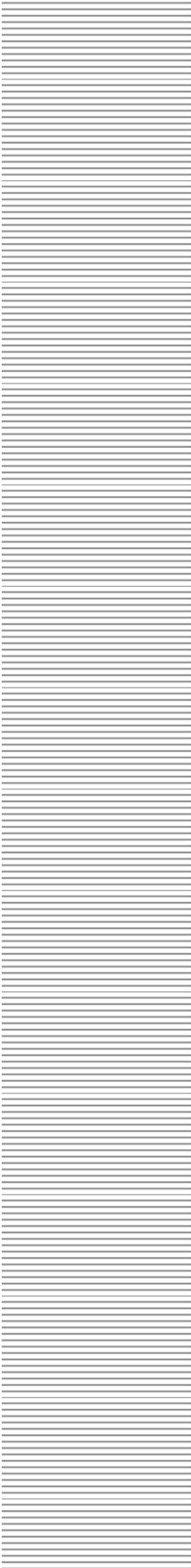
川西市市民意識調査（一般）
調査結果報告書

平成 23 年3月

兵庫県 川西市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査設計	2
3. 回収結果	2
4. 報告書の見方	3
II 調査結果の総括	5
1. 市の住みよさや定住について.....	6
2. 施策の現状評価と今後の重要度について.....	7
3. 高齢者対策・子育て対策について.....	8
4. まちづくりにおける市民と行政の役割分担について.....	9
5. 地域力分析について.....	10
6. 今後の地域づくりについて.....	11
III 調査結果	13
○回答者の属性	14
1. 川西市の住みよさについて.....	20
2. 定住意向について.....	22
3. 施策の現状評価と今後の重要度について.....	30
4. 高齢者が暮らしやすいまちづくりについて.....	107
5. 安心して子育てできるまちづくりについて.....	112
6. まちづくりにおける市民と行政の役割分担について.....	117
7. お住まいの地域について（地域力の分析）	122
8. 今後の地域づくりについて.....	144
9. 川西市のシンボル・キャラクターについて.....	150
IV 調査票	153



I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 25 年度から始まる新たな総合計画の策定にあたり、まちの現状と問題点、まちづくりに対する市民の評価・意向などを把握し、市民と行政が一体となった新しいまちづくりを進めていくための調査です。

2. 調査設計

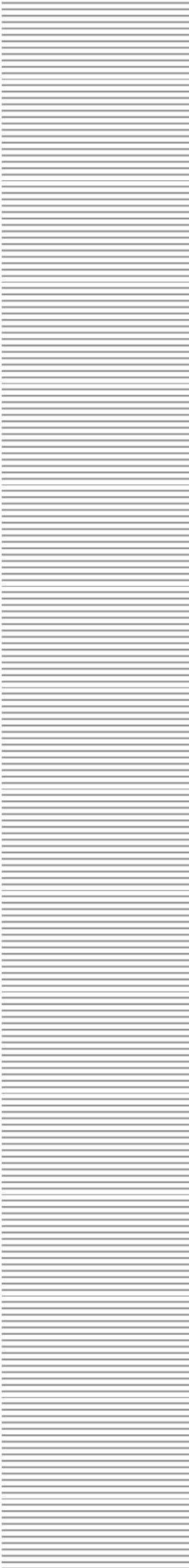
- 調査対象者 : 川西市に住む 16 歳以上の市民
(住民基本台帳から無作為抽出 ※外国人も含む)
- 対象者数 : 3,000 人
- 調査期間 : 平成 23 年 1 月 19 日 (調査票発送日)
~平成 23 年 1 月 31 日 (返送締め切り日)
- 調査方法 : 調査票による本人記入方式
郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

3. 回収結果

調査対象者数(配布数)	到達数	回収数	回収率
3,000	2,993	1,473	49.2%

4. 報告書の見方

- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表のN数（number of case）、「サンプル数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 図表中の「SA（single answer）」は単数回答、「MA（multiple answer）」は複数回答を示しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の数値表示は、グラフが煩雑になる場合には省略しています。
- グラフ中の前回調査とは、平成13年に実施した「川西市市民意識調査」のことを指しています。



Ⅱ 調査結果の総括

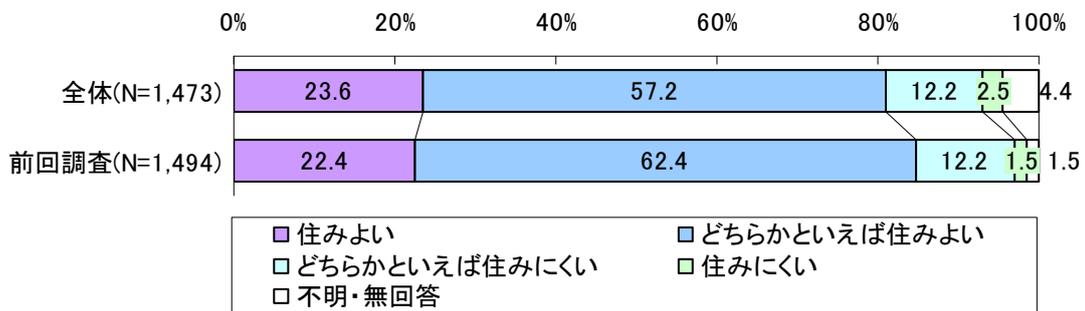
1. 市の住みよさや定住について

【全体傾向】

川西市の住みよさについて肯定的な回答は全体で8割を超えており、前回調査に比べて若干の減少がみられるものの、非常に高い水準となっています。特に『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計）と答えているのは10～20歳代や60歳代で、逆に30～50歳代では『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計）との回答が多くなっています。今後のまちづくりを担う子育て世代を中心に「川西市が住みやすい」と感じてもらうことが、定住促進やまちのにぎわいにつながると考えられます。

定住を希望する回答は7割以上ありますが、こちらも前回調査に比べて若干の減少がみられます。一方、『転出したい』（「どちらかといえば市外へ転出したい」と「市外へ転出したい」の合計）という回答の割合には、それほどの変化はみられません。『住み続けたい』とする理由としては、自然環境のよさや愛着があるということが特に多く挙げられています。『転出したい』とする理由としては、保健・医療体制の整備の悪さや、交通の不便さが挙げられており、こういった課題を解決していくことで、定住し続ける市民を増やしていく必要があります。

□ 現在の川西市の住みよさについて



【小学校区別傾向】

川西市の住みよさについてみると、「けやき坂小学校区」や「東谷小学校区」「牧の台小学校区」「北陵小学校区」など、市の中部・北部に位置する小学校区については、前回調査と比べ住みよさに対する肯定的な回答が減少しています。また、定住意向についても、「牧の台小学校区」「北陵小学校区」など、市の中部・北部に位置する小学校区については、前回調査より定住意向に対する肯定的な回答が減少しており、住みよさとの相関関係がうかがえます。『転出したい』理由をみると、市の中部・北部では交通の不便さが上位に挙げられており、住みよさや定住意向に影響を与えていることがうかがえます。

2. 施策の現状評価と今後の重要度について

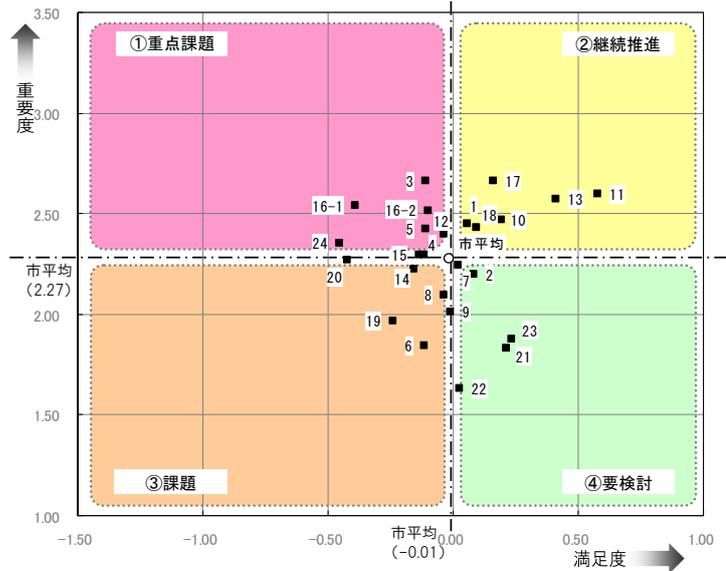
【全体傾向】

施策の現状についての満足度では、省資源・リサイクル、上水道の安定供給などで高くなっていますが、産業や労働、交通施設の整備、効率的な行財政の運営については低くなっています。また、『不満』（満足度指数が低いもの）が多いのは効率的な行財政の運営となっています。

一方、重要度の高さは満足度の高低との関係はあまりみられず、高齢者の支援を筆頭に、防災力の向上、交通施設の整備などで高くなっています。

交通施設の整備など、【1. 市の住みよさや定住について】における『転出したい』とする理由と、『不満』の高い施策や『重要』の高い施策で重複しているものが見受けられます。これらの施策を再検討することで、市民の行政への満足度の向上や定住促進につながれると考えられます。

□ 施策の満足度と重要度の関係



□ 市平均を基準とした施策の分類表

①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援		
	4.障がい者の支援		10.環境の保全		
	5.子育て支援		11.省資源・リサイクル		
	12.公園・みどりの整備		13.上水道の安定供給		
	15.市街地整備		17.防災力の向上		
	16-1.交通施設の整備		18.生活安全の推進		
	16-2.公共交通の利便性向上				
	24.効率的な行財政の運営				
	③課題		6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
			8.青少年の育成		7.学校教育環境の整備
14.都市計画の推進		9.生涯学習・文化の振興			
19.産業の振興		21.観光の振興			
20.労働環境の向上		22.共感・共生のまちづくり			
			23.参画と協働のまちづくりの推進		

※グラフ・表の見方はP.33・34を参照して下さい。

【小学校区別傾向】

満足度と重要度の関係について、『重点課題』（満足度が低く、重要度が高いもの）に分類される施策数に着目すると、市全体では8施策が該当しているのに対し、「多田小学校区」において17施策と非常に多くなっています。次いで「明峰小学校区」「けやき坂小学校区」10施策、「東谷小学校区」「北陵小学校区」9施策と、中部、北部に位置する小学校区で『重点課題』の施策数が多くなる傾向となっています。

一方、『重点課題』として挙げられる施策が少なかったのは、「加茂小学校区」「清和台小学校区」2施策、「久代小学校区」3施策、「川西北小学校区」5施策となっており、市の南部、中部に位置する小学校区となっています。

小学校区によって満足度、重要度の差が出ており、各地域の現状に合わせた施策を展開していく必要があります。

3. 高齢者対策・子育て対策について

高齢者対策として 65 歳以上の高齢者と同居されている方にとって特に必要とされているのは、市内の医療機関の充実で、その他にも高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充、市内の介護施設の充実など、高齢者を取り巻く環境を全体的に支援していく体制が必要とされていることがうかがえます。

子育て対策として就学前児童の子どもを持つ方にとって最も必要とされているのは経済的な援助で、保育サービスの充実、子どもや親子で利用できる公園や施設の整備、市内の医療機関の充実などが続きます。子育て世代を支援していく上で、まずは生活基盤の確保、子どもを預けられる場の確保が求められているといえます。

□ 同居家族別：高齢者対策の上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	市内における医療機関の充実(43.3)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(38.2)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(30.6)	公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進(28.0)	電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(27.4)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	市内における医療機関の充実(43.1)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(32.3)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(31.9)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(25.9)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充(23.7)
65歳以上の高齢者がいる	市内における医療機関の充実(43.5)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充(35.0)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(31.8)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(25.1)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(24.2)

□ 同居家族別：子育て対策の上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(49.0)	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(45.9)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(36.9)	市内における医療機関の充実(33.1)	学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実(29.9)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(32.8)	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(31.5)	市内における医療機関の充実(31.0)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(29.7)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(25.0)
65歳以上の高齢者がいる	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(44.5)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(33.6)	市内における医療機関の充実(25.3)	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(23.0)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(20.8)

4. まちづくりにおける市民と行政の役割分担について

【全体傾向】

『市民が担うべき』（「市民が担う」と「市民が主体的に担い、市が支援を行う」の合計）とする回答が多いまちづくり活動は、青少年の健全育成活動や防犯パトロール、公園やまちかどの清掃・緑化推進など、市民にとって身近なまちづくり活動となっています。一方、『市が担うべき』（「市が担う」と「市が主体的に担い、市民が参画する」の合計）とする回答が多い活動は、資源ごみの回収や防災訓練、不法投棄のパトロールなどとなっています。

すでに市民が取り組んでいる活動に関しては、『市民が担うべき』かどうか判断がしやすい一方、これから新たに取り組んでいく活動については市民にとってまだ判断が難しいと考えられます。当初は行政が主体的に担っていくことによって、地域での理解や活動への意欲を高め、徐々に市民に主導権を移していくことも考えられます。

□『市民が担うべき』とする活動の上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (73.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (58.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (51.2)	学校・幼稚園における教育活動の支援(40.8)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(39.1)

【小学校区別傾向】

『市民が担うべき』活動の上位項目を小学校区別にみると、16小学校区すべてにおいて上位3項目については青少年の健全育成活動や防犯パトロール、公園やまちかどの清掃・緑化推進が占めており、全体傾向と同様、身近なまちづくり活動を市民の役割であると捉えていることがうかがえます。しかし、生涯学習等に関する講座・イベントの開催については、南部・中部の小学校区において上位に、学校等の教育活動への支援については、中部・北部の小学校区において上位に入っており、地域による違いが生じています。

□小学校区別：『市民が担うべき』とする活動の上位5項目(一部抜粋)

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
川西小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (64.4)	夜間や通学路の防犯パトロール (51.5)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (44.5)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(39.6)	地域福祉拠点における地域活動など(37.6)
桜が丘小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (59.7)	夜間や通学路の防犯パトロール (47.6)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催/学校・幼稚園における教育活動の支援/近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(40.2)		
多田小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (81.5)	夜間や通学路の防犯パトロール (65.1)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (57.3)	学校・幼稚園における教育活動の支援(48.6)	乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動(43.7)
清和台小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (74.5)	夜間や通学路の防犯パトロール (52.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (50.9)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(49.1)	学校・幼稚園における教育活動の支援(41.9)
清和台南小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (81.4)	夜間や通学路の防犯パトロール (65.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (56.0)	学校・幼稚園における教育活動の支援(49.4)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(45.3)
牧の台小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (75.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (61.0)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (55.1)	学校・幼稚園における教育活動の支援(47.8)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など(42.7)
北陵小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (75.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (66.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (56.3)	学校・幼稚園における教育活動の支援(50.1)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など(46.3)

5. 地域力分析について

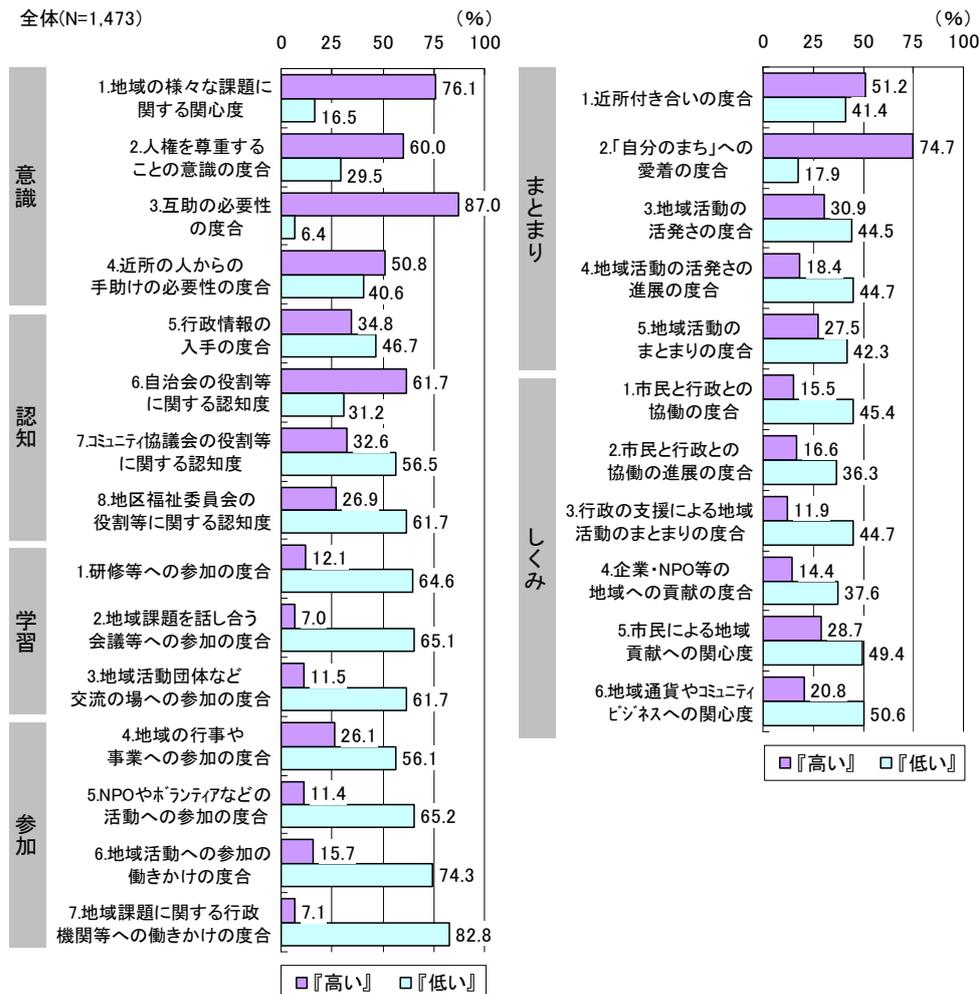
【全体傾向】

市全体の傾向をみると、『意識』に関する項目が6分野のうち最も高く、特に「地域の様々な課題に関する関心度」や市民相互の助け合いについては多くの方が必要性を感じています。一方、『しくみ』の度合を『低い』とする人が多くなっているとともに、「わからない」とする人も多くなっていることから、市民と行政との協働や行政の支援による地域課題の解決などについて、分かりやすく市民に説明していくことが求められています。

小学校区別でみると、「清和台南小学校区」は6分野のうち2分野（『意識』『まとまり』）で最も『高い』との回答が多くなる一方で、「多田東小学校区」では全体的に『低い』との回答が多くなっています。

まず、市民にとって地域活動が身近なものとして受け入れられること、そしてその活動に市民が参加し、活動が広まっていくことで市民と行政の協働関係が強くなっていくと考えられます。川西市では全体的にすでに『意識』は高いといえるので、市民の地域活動への『参加』や地域活動の『しくみ』づくりに向けて、段階的に進めていく必要があります。

□ 地域力分析の全体集計



6. 今後の地域づくりについて

【全体傾向】

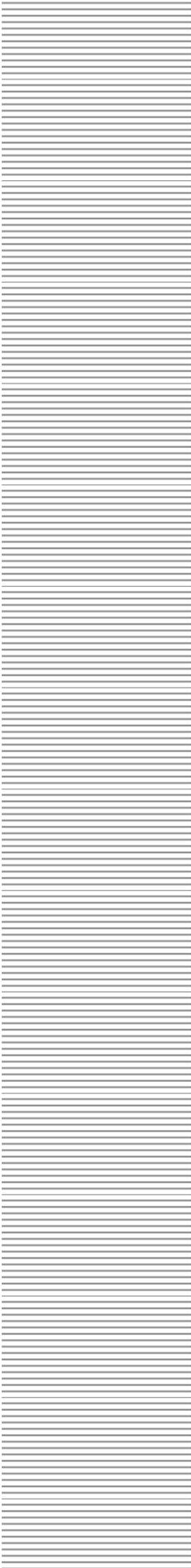
今後の地域づくりの効果について『思う』（「思う」と「やや思う」の合計）とする回答は「地域に関心をもつ市民が増えること」が約5割で最も高く、「税金の有効活用」が3割弱と最も低くなっています。

一方、「市政運営への市民意見の反映」では『思わない』（「思わない」と「あまり思わない」の合計）とする回答が5割を超えており、その他にも『思わない』の割合が『思う』の割合を超えている項目がいくつかあり、市民と行政の協働による地域活動を進めることにあたっては、その効果についても十分市民に説明していくことが必要であるといえます。

【小学校区別傾向】

小学校区別に今後の地域活動に対する市民の期待をみていくと、「清和台小学校区」では8項目中3項目で『思う』とする割合が最も高く、地域づくりに向けて非常に積極的な地域であるといえます。特に、全体的に『思わない』との回答が多かった「市民公益活動に参加する市民が増える」についても、「清和台小学校区」では『思う』割合が『思わない』割合を10.0ポイント以上上回る結果となっています。

小学校区によっては、効果の有無を判断できずに「わからない」とする回答が多い地域もあり、地域づくりに向けて意識の差が出てきていることがうかがえます。

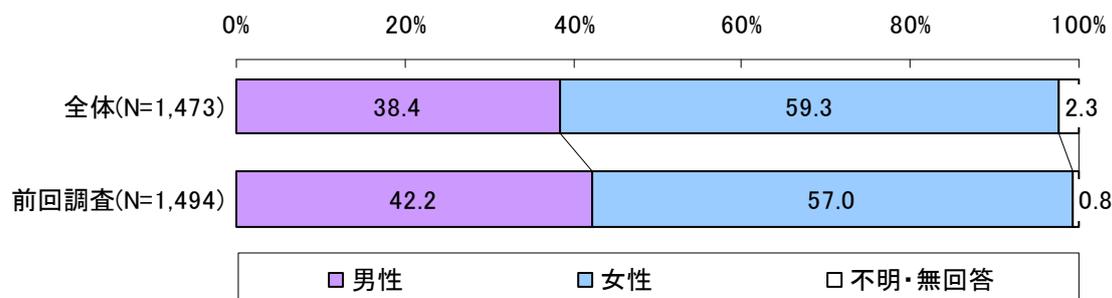


Ⅲ 調査結果

○回答者の属性

(1) 性別 (SA)

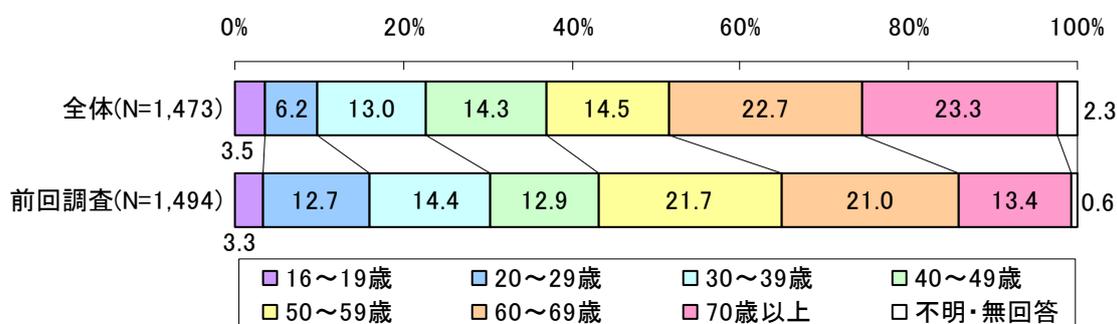
回答いただいた1,473名の性別をみると、男性が38.4%、女性59.3%となっており、男性よりも女性の回答者が20.9ポイント上回る結果となっています。



(2) 年齢 (SA)

回答者の年齢構成は、「70歳以上」の世代が23.3%と最も高く、次いで「60～69歳」が22.7%、「50～59歳」が14.5%と続きます。

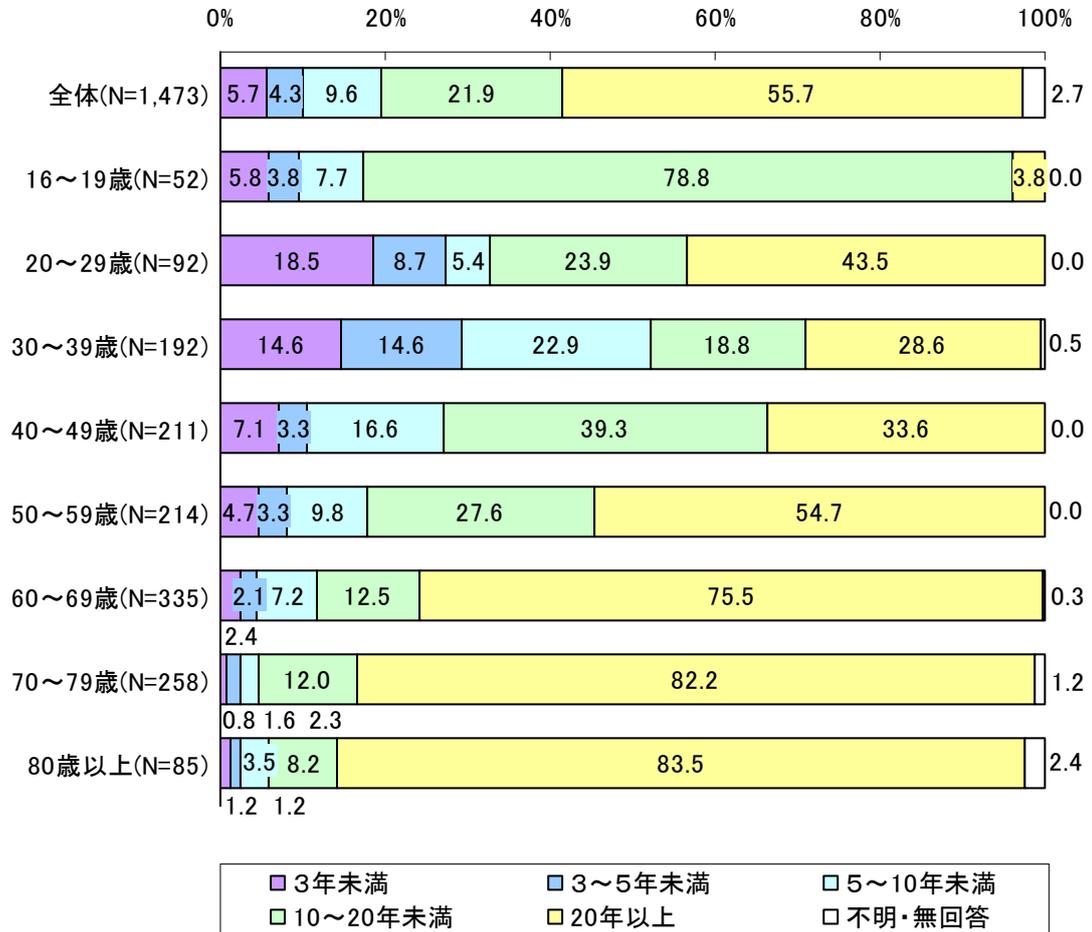
前回調査と比較すると、20歳代、30歳代の割合が低下し、60歳以上の割合が上昇しています。また、本調査における年齢構成と実際の年齢構成を比較すると、調査結果では20歳代、30歳代の割合が低く、60歳以上の割合が高くなっています。



(%)	集計結果	平成22年12月末現在 住民基本台帳人口
16～19歳	3.5	4.0
20～29歳	6.2	11.5
30～39歳	13.0	16.9
40～49歳	14.3	15.6
50～59歳	14.5	13.4
60～69歳	22.7	18.9
70～79歳	17.5	13.3
80歳以上	5.8	6.4
不明・無回答	2.3	-

(3) 居住年数 (SA)

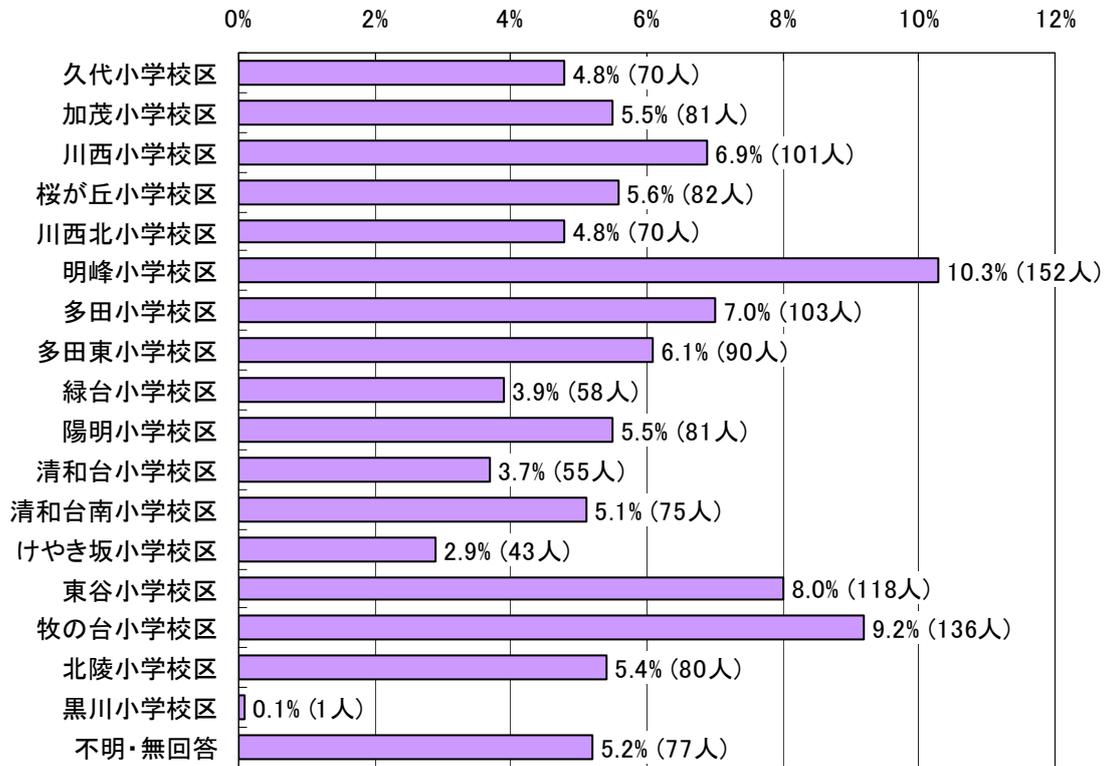
川西市に居住している年数では、「20年以上」が55.7%と半数を超え最も高く、次いで「10～20年未満」が21.9%、「5～10年未満」が9.6%と続き、10年未満の回答は、19.6%と約2割となっています。



(4) 小学校区

①全体集計 (SA)

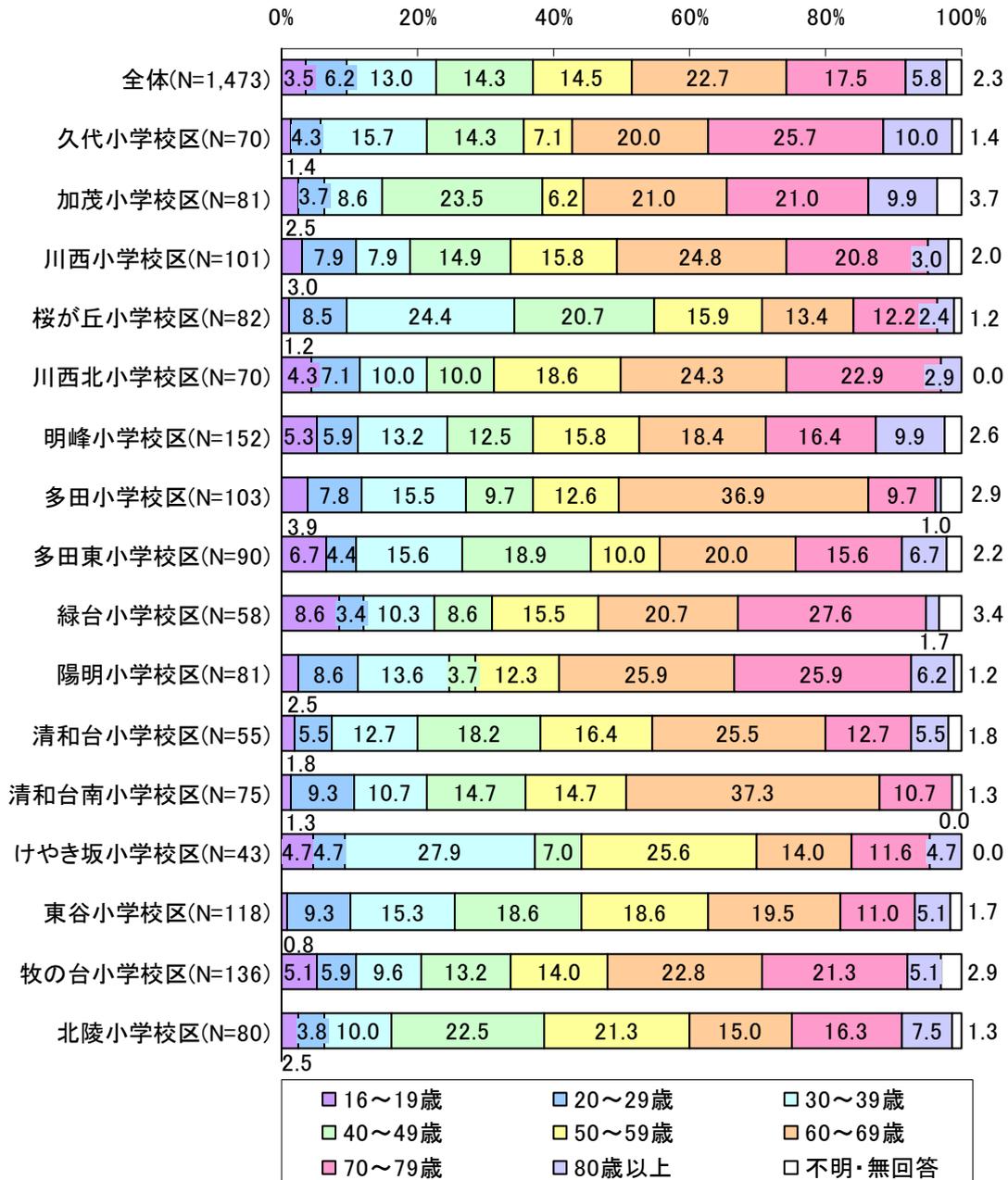
居住する小学校区では、「明峰小学校区」が 10.3%と最も高く、次いで「牧の台小学校区」が 9.2%、「東谷小学校区」が 8.0%と続きます。また、「黒川小学校区」は 0.1%と最も低くなっています。



②小学校区別

小学校区別の年齢構成をみると、回答者全体における49歳以下の割合は37.0%であり、「桜が丘小学校区」が54.8%、「多田東小学校区」が45.6%、「けやき坂小学校区」が44.3%、「東谷小学校区」が44.0%で全体より7.0ポイント以上高く、若い世代の方が多く居住している小学校区となっています。

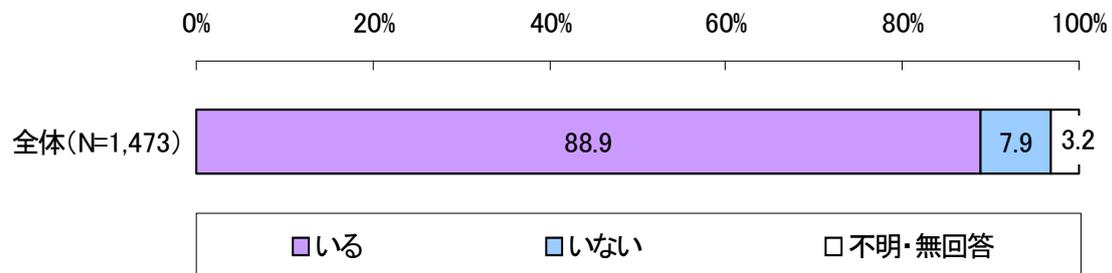
50歳以上では全体の60.5%に対して、「陽明小学校区」「川西北小学校区」は8.0ポイント以上の差がみられ、年齢層の高い方が居住している小学校区となっています。



(5) 同居形態

①同居者の有無 (SA)

同居者の有無については、「いる」が 88.9%を占め、「いない」の 7.9%を 81.0 ポイントと大きく上回る結果となっています。



②同居家族 (MA)

上記の①において、同居者が「いる」と回答された方を対象に、どのような同居家族がいるかお聞きしたところ、「65歳以上の高齢者がいる」が 43.2%と最も高く、「小学生あるいは中学生の子どもがいる」が 17.7%、「小学校入学前の子どもがいる」が 12.0%となっています。

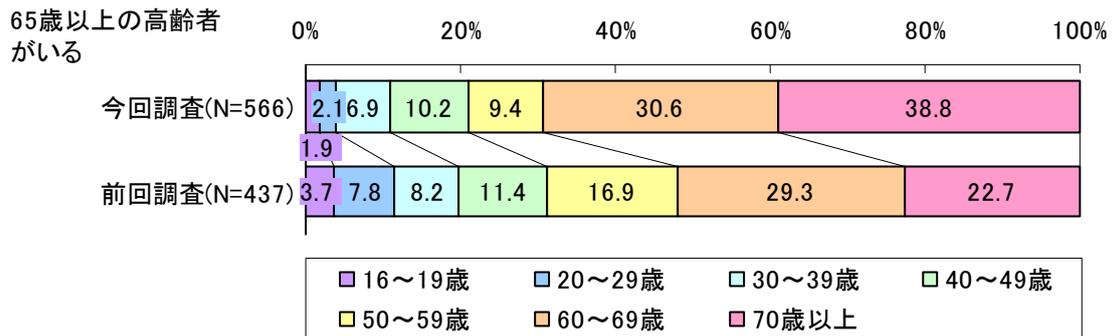
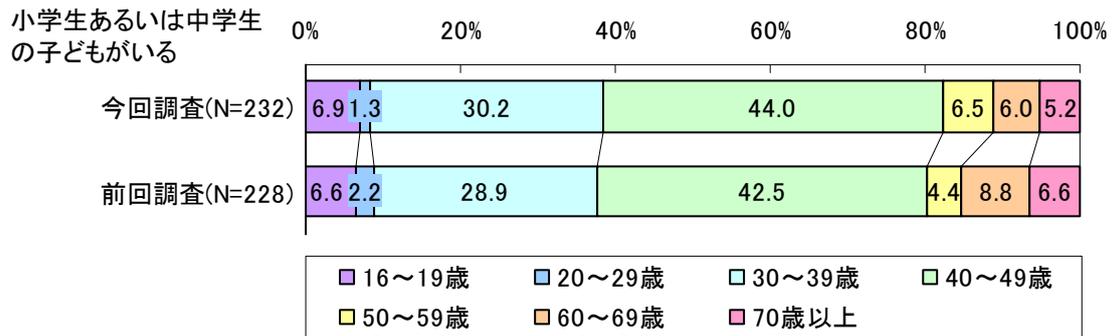
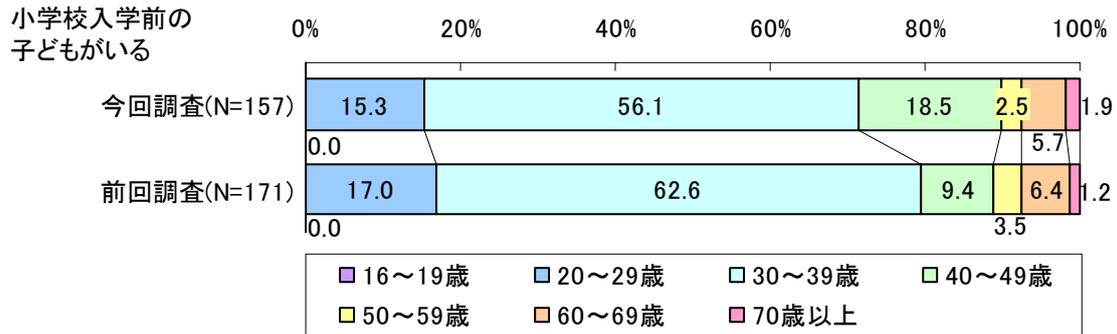


③同居家族の年齢構成

同居家族別に年齢構成をみると、「小学校入学前の子どもがいる」世帯では、30歳代が56.1%と最も高くなっています。前回調査に比べ、40歳代で9.1ポイント増加しています。

「小学生あるいは中学生の子どもがいる」世帯では、30歳代が44.0%と最も高くなっています。前回調査から大きな変化はみられません。

「65歳以上の高齢者がいる」世帯では、70歳以上が38.8%と最も高くなっています。前回調査に比べ、70歳以上の割合が16.1ポイント増加しています。



1. 川西市の住みよさについて

(1) 住みよさについて

問1 あなたは、現在の川西市の住みよさについて、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、○をつけてください。

①全体集計 (SA)、前回比較、性別、年齢別

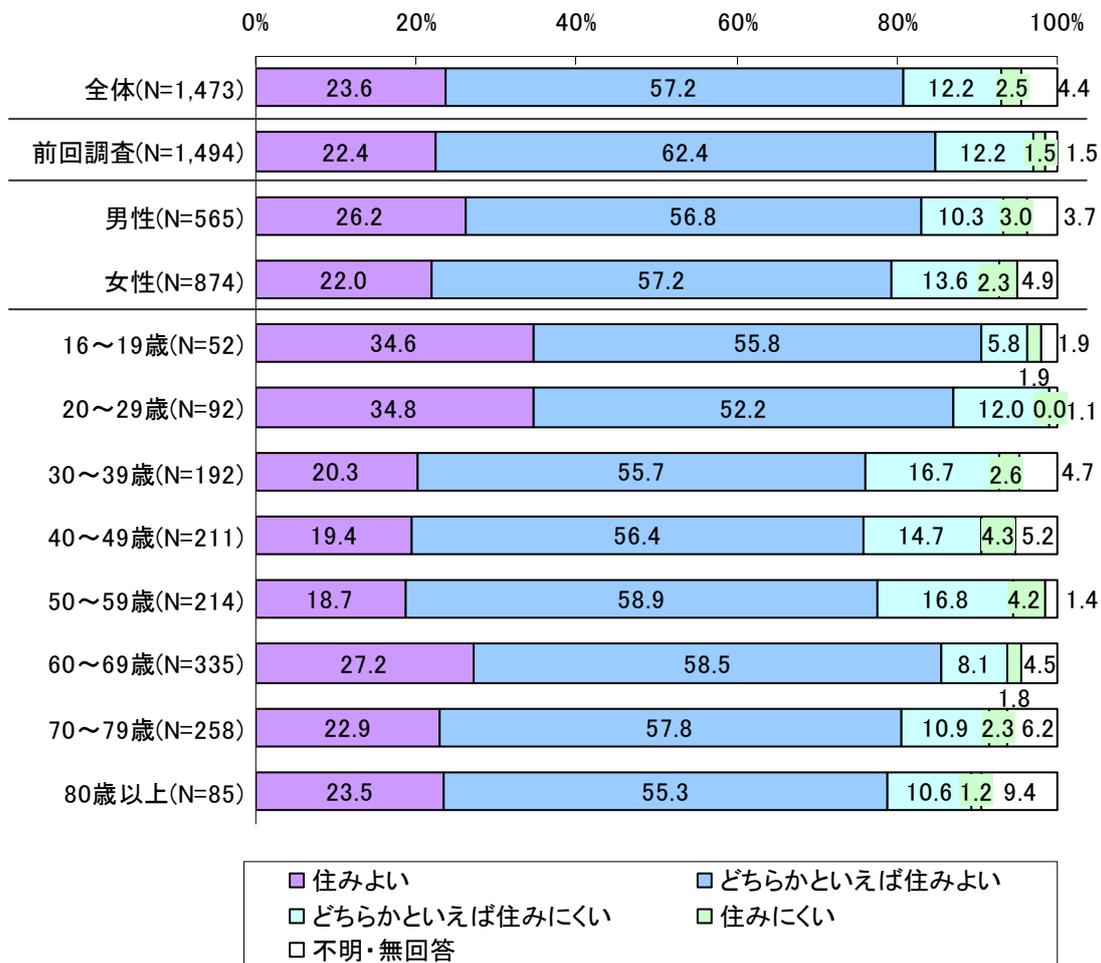
前回調査に比べ、4.0ポイント低下しているが、8割が住みよいと感じている

川西市の住みよさをお聞きしたところ、全体では「どちらかといえば住みよい」が57.2%と最も高く、次いで「住みよい」が23.6%、「どちらかといえば住みにくい」が12.2%と続きます。

その結果、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計）は80.8%を占めています。一方、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計）は14.7%となっており、肯定的な回答が否定的な回答を大きく上回っています。

性別にみると、女性に比べ、男性のほうが『住みよい』の割合が高く、3.8ポイントの差がみられます。

年齢別にみると、各年代ともに7割以上が『住みよい』と回答しており、特に10～20歳代の若年層で、『住みよい』と回答した方が9割前後となっており、いずれも他の年代より高くなっています。
前回調査に比べ、『住みよい』の割合は若干低下しているものの、多くの市民は【住みやすいまち】として認識しています。

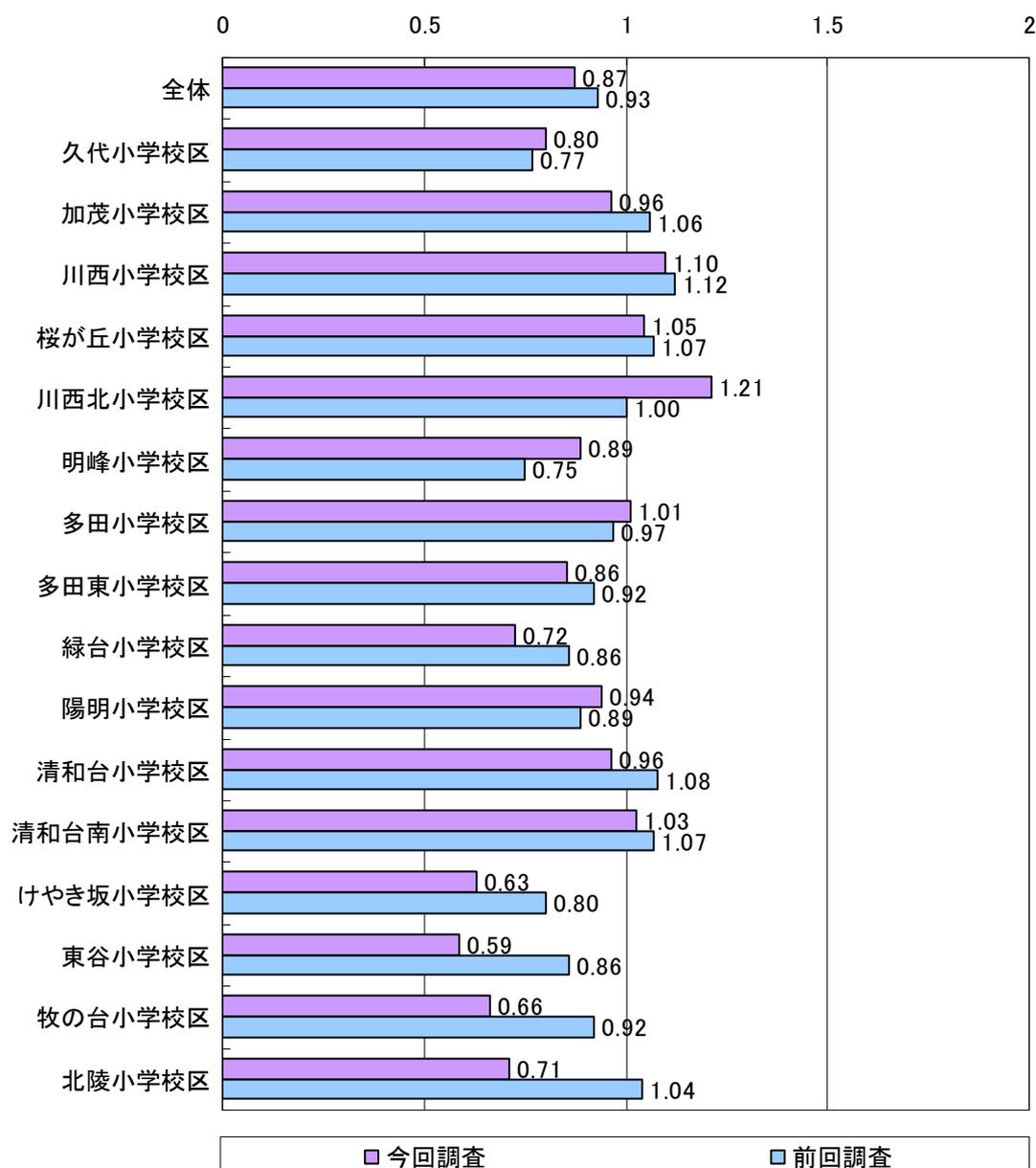


②小学校区別（加重平均）

各小学校区の加重平均をみると、全体的に±0以上となっており、「川西北小学校区」が 1.21、「川西小学校区」が 1.10、「桜が丘小学校区」が 1.05、「清和台南小学校区」が 1.03、「多田小学校区」が 1.01 と1を超えており、住みよさに対して高い評価となっています。

一方、「東谷小学校区」「けやき坂小学校区」「牧の台小学校区」は他の小学校区に比べ、比較的肯定的な回答が少なくなっています。

前回調査と比較すると、「久代小学校区」「川西北小学校区」「明峰小学校区」「多田小学校区」「陽明小学校区」で前回調査を上回り、住みよさに対する肯定的な回答が増えていますが、全体的には前回調査を下回っています。特に、「牧の台小学校区」では 0.26 ポイント、「北陵小学校区」では 0.33 ポイント低下しています。



「住みよい」を「+2」、「どちらかといえば住みよい」を「+1」、「どちらかといえば住みにくい」を「-1」、「住みにくい」を「-2」として加重平均値をとりました。加重平均値は、+2に近づくほど、肯定的な意見が多く、-2に近づくほど否定的な意見が多くなっていると言えます。

2. 定住意向について

(1) 定住意向

問2 あなたは、これからも川西市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

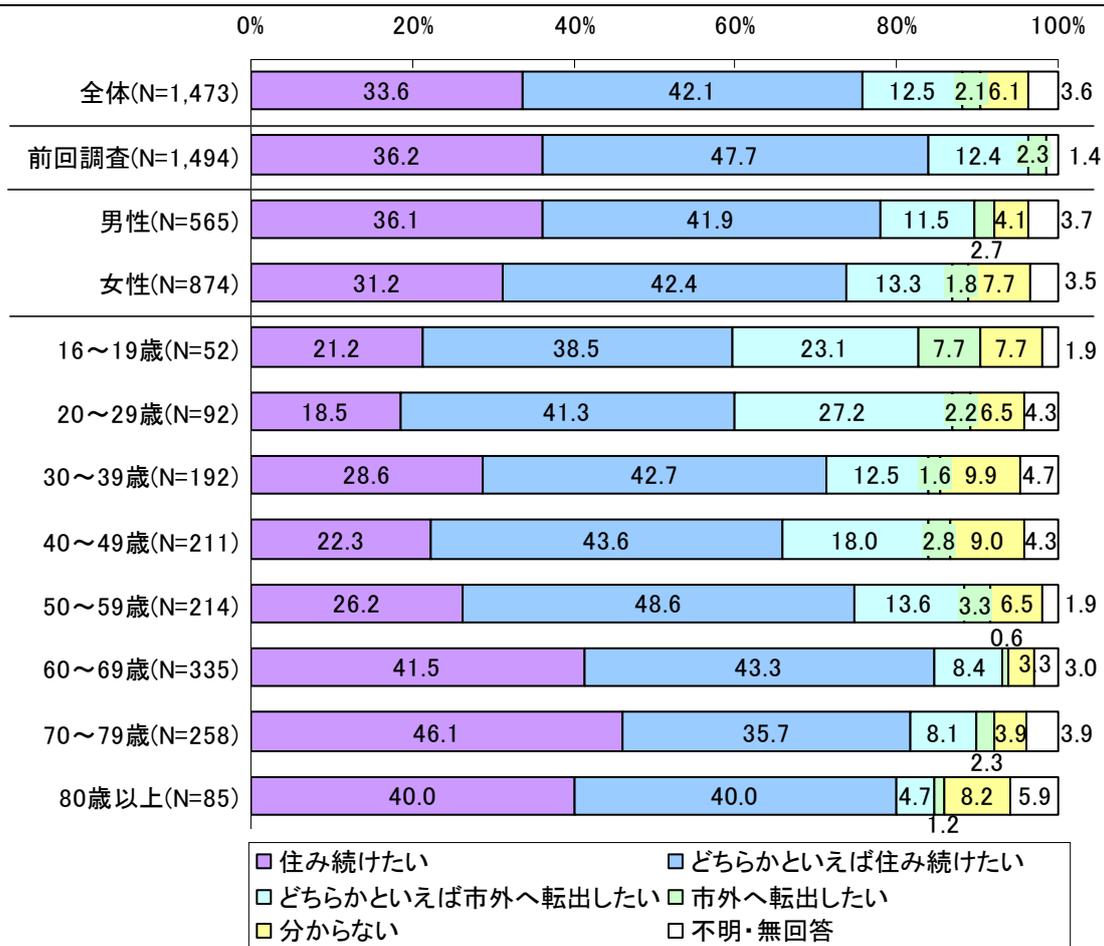
①全体集計 (SA)、前回比較、性別、年齢別

7割以上が住み続けたいと思っているが、前回調査に比べ、8.2ポイント減少

定住意向をお聞きしたところ、全体では「どちらかといえば住み続けたい」が42.1%と最も高く、次いで「住み続けたい」が33.6%、「どちらかといえば市外へ転出したい」が12.5%となっています。その結果、『住み続けたい』（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は75.7%、『転出したい』（「どちらかといえば市外へ転出したい」と「市外へ転出したい」の合計）は14.6%となっており、肯定的な回答が否定的な回答を大きく上回っています。しかし、前回調査に比べ、『住み続けたい』が8.2ポイント減少しています。

年齢別にみると、60歳以上のすべての世代で「住み続けたい」が4割を超え、10～50歳代では2割近くから3割近くとなっています。

前問の『住みよい』（80.8%）と重ね合わせると、**多くの方が【住みやすく、住み続けたいと思っているまち】**となっていますが、若い世代の定住意向は他の年代に比べ、低い傾向にあります。



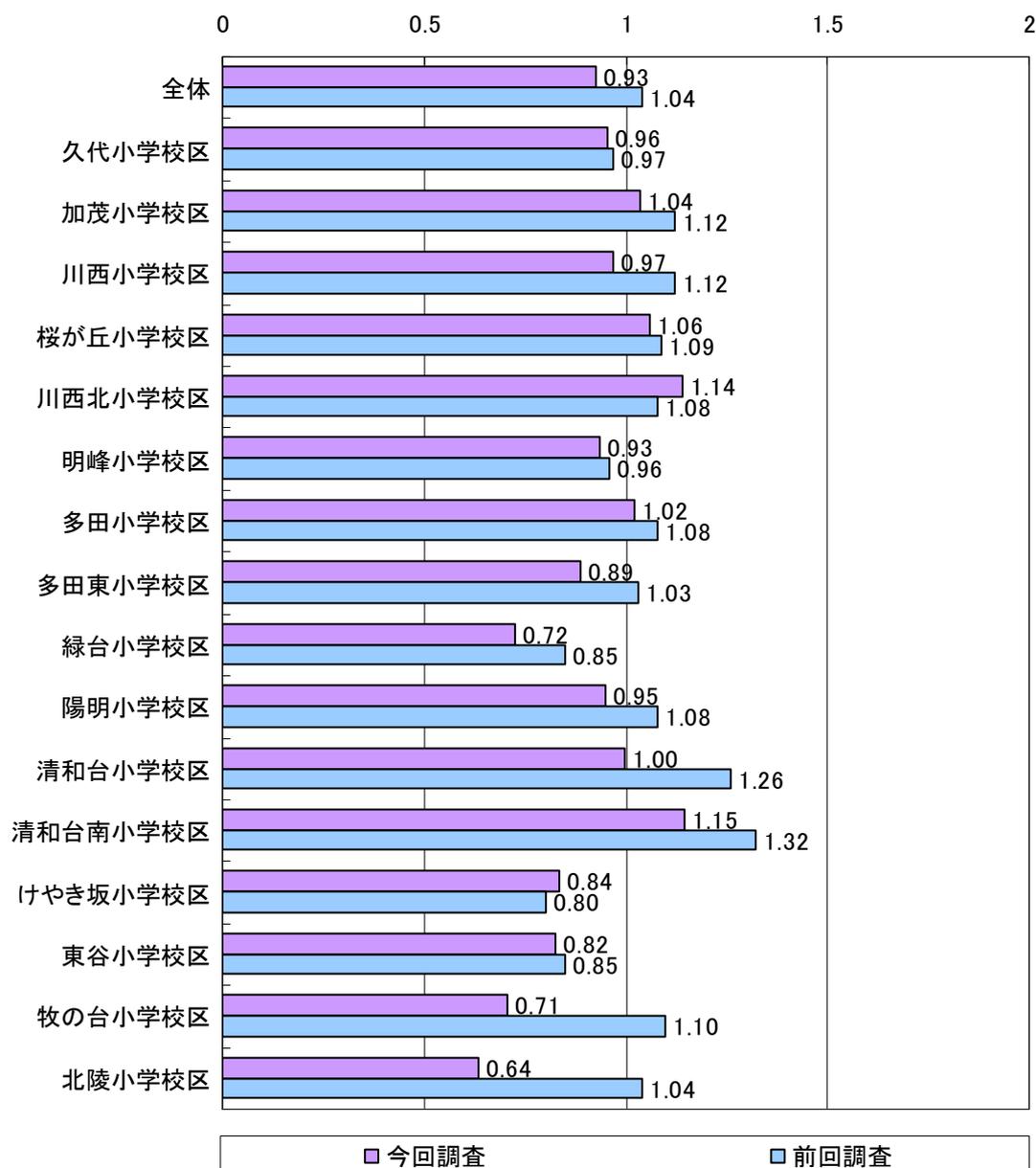
※前回調査では「分からない」の選択肢はなし

②小学校区別（加重平均）

各小学校区の加重平均をみると、全体的に±0以上となっており、「清和台南小学校区」が1.15、「川西北小学校区」が1.14と高く、両小学校区においては「住みよさ」においても上位に位置しています。

一方、「北陵小学校区」「牧の台小学校区」「緑台小学校区」は他の小学校区に比べ、比較的肯定的な回答が少なくなっています。

前回調査と比較すると、「川西北小学校区」「けやき坂小学校区」で前回調査を上回り、定住意向に対する肯定的な回答が増えていますが、全体的には前回調査を下回っています。特に、「牧の台小学校区」では0.39ポイント、「北陵小学校区」では0.40ポイント低下しています。



「住み続けたい」を「+2」、「どちらかといえば住み続けたい」を「+1」、「どちらかといえば市外に転出したい」を「-1」、「市外へ転出したい」を「-2」として加重平均値をとりました。加重平均値は、+2に近づくほど、肯定的な意見が多く、-2に近づくほど否定的な意見が多くなっていると言えます。

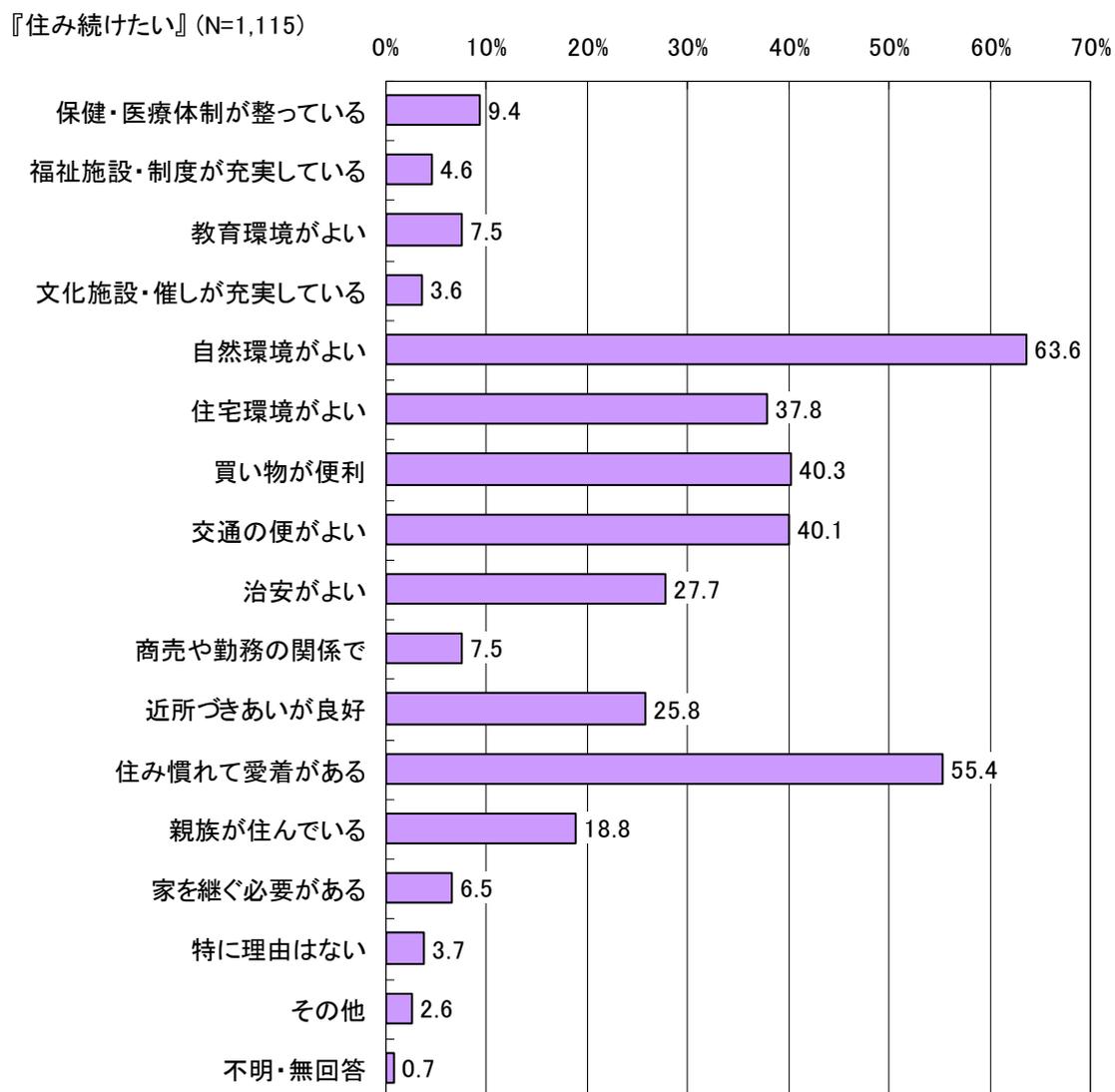
(2) 住み続けたい理由について

問2-1 (問2で1または2と答えた方) それはどんな理由からですか。
次の中からいくつでも、番号に○をつけてください。

①全体集計 (MA)

自然環境がよい、住み慣れて愛着があるが多い

「2. 定住意向」の設問で、『住み続けたい』と回答した方を対象に、住み続けたいと思う理由についてお聞きしたところ、最も多かったのは「自然環境がよい」が 63.6%で、次いで「住み慣れて愛着がある」が 55.4%となっています。



□ 全体集計上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	自然環境がよい (63.6)	住み慣れて愛着 がある (55.4)	買い物が便利 (40.3)	交通の便がよい (40.1)	住宅環境がよい (37.8)

②小学校区別

小学校区別で、回答の多かった上位5項目をみると、「久代小学校区」「加茂小学校区」「川西小学校区」「桜が丘小学校区」「川西北小学校区」など市の南部に位置する小学校区については、「交通の便がよい」「買い物が便利」といった生活面での利便性が上位を占めています。

一方、「明峰小学校区」「多田小学校区」「牧の台小学校区」「北陵小学校区」など、市の中部、北部に位置する小学校区については「自然環境がよい」が上位を占めています。このことから、市の南部、中部、北部と北上するごとに、上位項目が生活面の利便性から環境のよさに変化していく傾向がみられます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
久代小学校区	交通の便がよい (55.8)	住み慣れて愛着がある (55.8)	買い物が便利／治安がよい／近所づきあいが良好 (38.5)		
加茂小学校区	交通の便がよい (60.3)	住み慣れて愛着がある (55.6)	買い物が便利 (54.0)	自然環境がよい (46.0)	近所づきあいが良好 (36.5)
川西小学校区	交通の便がよい (84.2)	買い物が便利 (75.0)	住み慣れて愛着がある (53.9)	自然環境がよい (38.2)	住宅環境がよい (32.9)
桜が丘小学校区	交通の便がよい (80.3)	買い物が便利 (65.2)	住み慣れて愛着がある (50.0)	自然環境がよい (48.5)	住宅環境がよい (27.3)
川西北小学校区	住み慣れて愛着がある (67.9)	交通の便がよい (66.1)	買い物が便利 (64.3)	自然環境がよい (46.4)	親族が住んでいる (19.6)
明峰小学校区	自然環境がよい (65.3)	住宅環境がよい (53.4)	住み慣れて愛着がある (47.5)	交通の便がよい (39.0)	近所づきあいが良好 (31.4)
多田小学校区	自然環境がよい (65.1)	住み慣れて愛着がある (64.0)	買い物が便利 (55.8)	交通の便がよい (37.2)	住宅環境がよい (25.6)
多田東小学校区	自然環境がよい (62.9)	買い物が便利 (61.4)	住み慣れて愛着がある／交通の便がよい (51.4)		住宅環境がよい (25.7)
緑台小学校区	自然環境がよい (71.1)	住み慣れて愛着がある (63.2)	住宅環境がよい (60.5)	治安がよい (26.3)	買い物が便利 (23.7)
陽明小学校区	自然環境がよい (78.1)	住み慣れて愛着がある (65.6)	住宅環境がよい (56.3)	治安がよい (32.8)	買い物が便利 (26.6)
清和台小学校区	自然環境がよい (78.0)	住み慣れて愛着がある (58.5)	住宅環境がよい (41.5)	治安がよい (39.0)	交通の便がよい (36.6)
清和台南小学校区	自然環境がよい (80.6)	住み慣れて愛着がある (61.2)	住宅環境がよい (49.3)	治安がよい (26.9)	近所づきあいが良好 (25.4)
けやき坂小学校区	自然環境がよい (90.3)	住宅環境がよい (51.6)	住み慣れて愛着がある (35.5)	近所づきあいが良好 (32.3)	治安がよい (29.0)
東谷小学校区	自然環境がよい (68.2)	住み慣れて愛着がある (49.4)	買い物が便利 (35.3)	交通の便がよい (28.2)	住宅環境がよい (24.7)
牧の台小学校区	自然環境がよい (77.7)	住み慣れて愛着がある (60.6)	住宅環境がよい (50.0)	治安がよい (38.3)	近所づきあいが良好 (25.5)
北陵小学校区	自然環境がよい (88.5)	住宅環境がよい (65.4)	住み慣れて愛着がある (42.3)	治安がよい (34.6)	親族が住んでいる (21.2)

③年齢別

年齢別で、回答の多かった上位5項目をみると、40～79歳の層で上位5項目がほぼ、「全体」と同様の順位となっています。一方、20～30歳代の層では「治安がよい」が第5位に入っており、**若年層では、治安についても今後の定住意向にかかわることがうかがえます。**

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
16～19歳	住み慣れて愛着がある(64.5)	自然環境がよい(51.6)	交通の便がよい(38.7)	住宅環境がよい／買い物が便利(29.0)	
20～29歳	住み慣れて愛着がある(58.2)	自然環境がよい(54.5)	交通の便がよい(40.0)	住宅環境がよい／治安がよい(38.2)	
30～39歳	自然環境がよい(65.0)	住み慣れて愛着がある(43.1)	住宅環境がよい(42.3)	交通の便がよい(34.3)	治安がよい(33.6)
40～49歳	自然環境がよい(59.7)	住み慣れて愛着がある(44.6)	買い物が便利(41.0)	交通の便がよい(38.8)	住宅環境がよい(32.4)
50～59歳	自然環境がよい(68.1)	住み慣れて愛着がある(41.3)	買い物が便利(40.0)	住宅環境がよい(38.1)	交通の便がよい(36.3)
60～69歳	自然環境がよい(66.5)	住み慣れて愛着がある(58.1)	買い物が便利(48.2)	交通の便がよい(44.0)	住宅環境がよい(38.0)
70～79歳	住み慣れて愛着がある(69.7)	自然環境がよい(64.5)	買い物が便利(44.1)	交通の便がよい(41.7)	住宅環境がよい(39.3)
80歳以上	住み慣れて愛着がある(67.6)	自然環境がよい(60.3)	住宅環境がよい(42.6)	交通の便がよい(41.2)	買い物が便利(36.8)

④同居家族別

同居家族別で、回答の多かった上位5項目をみると、第3位以降について、「小学校入学前の子どもがいる」「小学生あるいは中学生の子どもがいる」では「治安がよい」「親族が住んでいる」が入っているのに対し、「65歳以上の高齢者がいる」では、「買い物が便利」「交通の便がよい」が入っています。このことから、**いわゆる子育て世帯では、子どもの安全や子育てへの援助の有無、また、高齢者のいる世帯では生活面の利便性が、今後の定住意向にかかわることがうかがえます。**

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	自然環境がよい(61.8)	住宅環境がよい(39.1)	住み慣れて愛着がある(34.5)	治安がよい(30.0)	親族が住んでいる(29.1)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	自然環境がよい(70.6)	住宅環境がよい(46.6)	住み慣れて愛着がある(41.7)	治安がよい(41.1)	親族が住んでいる(27.6)
65歳以上の高齢者がいる	住み慣れて愛着がある(65.7)	自然環境がよい(63.9)	買い物が便利(42.8)	交通の便がよい(42.4)	住宅環境がよい(40.1)

(3) 住み続けたくない理由について

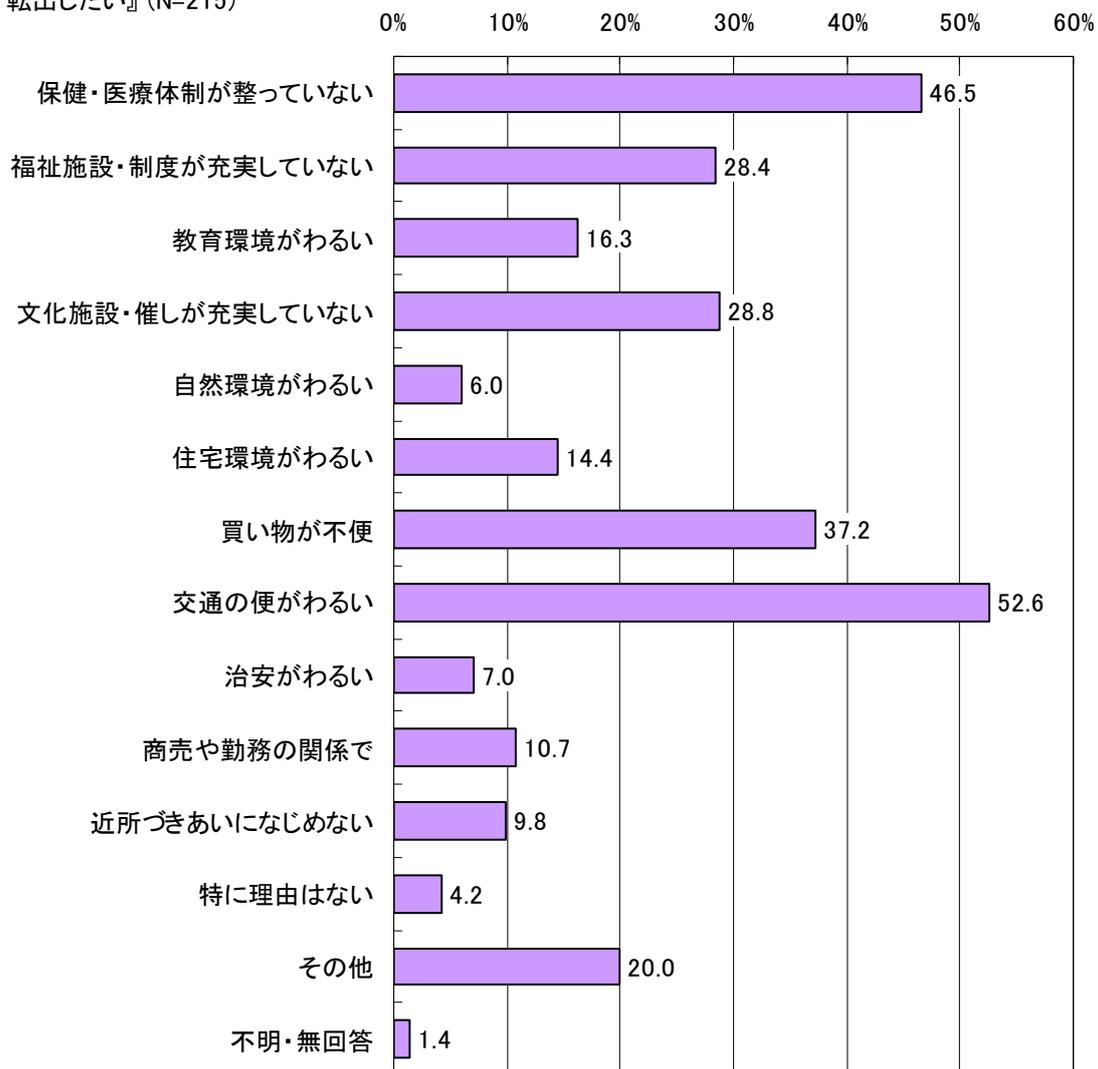
問2-2 (問2で3または4と答えた方) それはどんな理由からですか。
次の中からいくつでも、番号に○をつけてください。

①全体集計 (MA)

交通の便がわるい、保健・医療体制が整っていないが多い

「2. 定住意向」の設問で、『転出したい』と回答した方を対象に、転出したいと思う理由についてお聞きしたところ、最も多かったのは「交通の便がわるい」が 52.6%、次いで「保健・医療体制が整っていない」が 46.5%となっています。

『転出したい』(N=215)



□ 全体集計上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	交通の便がわるい(52.6)	保健・医療体制が整っていない(46.5)	買い物が不便(37.2)	文化施設・催しが充実していない(28.8)	福祉施設・制度が充実していない(28.4)

②小学校区別

小学校区別で、回答の多かった上位5項目をみると、「加茂小学校区」「川西小学校区」「桜が丘小学校区」「川西北小学校区」など市の南部に位置する小学校区については、「保健・医療体制が整っていない」が第1位に入っており、「多田小学校区」「緑台小学校区」「牧の台小学校区」「北陵小学校区」など、市の中部、北部に位置する小学校区については「交通の便がわるい」が第1位に入っています。このことから、市の南部と、中部・北部では上位項目に違いがみられます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
久代小学校区	買い物が不便(50.0)	交通の便がわるい(40.0)	保健・医療体制が整っていない(40.0)	近所づきあいになじめない／文化施設・催しが充実していない／住宅環境がわるい(20.0)	
加茂小学校区	保健・医療体制が整っていない(42.9)	文化施設・催しが充実していない(42.9)	買い物が不便／交通の便がわるい(28.6)		
川西小学校区	保健・医療体制が整っていない(64.7)	教育環境がわるい(41.2)	福祉施設・制度が充実していない(35.3)	文化施設・催しが充実していない(29.4)	住宅環境がわるい(17.6)
桜が丘小学校区	保健・医療体制が整っていない(55.6)	教育環境がわるい／福祉施設・制度が充実していない／文化施設・催しが充実していない／住宅環境がわるい／自然環境がわるい／近所づきあいになじめない／買い物が不便／特に理由はない(22.2)			
川西北小学校区	保健・医療体制が整っていない／近所づきあいになじめない／交通の便がわるい／買い物が不便(28.6)				
明峰小学校区	保健・医療体制が整っていない／交通の便がわるい／買い物が不便(38.1)			福祉施設・制度が充実していない／文化施設・催しが充実していない(33.3)	
多田小学校区	交通の便がわるい(53.8)	保健・医療体制が整っていない(46.2)	教育環境がわるい(38.5)	福祉施設・制度が充実していない(30.8)	
多田東小学校区	住宅環境がわるい(50.0)	交通の便がわるい／近所づきあいになじめない／治安がわるい(30.0)			
緑台小学校区	交通の便がわるい(83.3)	保健・医療体制が整っていない(58.3)	福祉施設・制度が充実していない／買い物が不便(50.0)		文化施設・催しが充実していない(33.3)
陽明小学校区	交通の便がわるい(91.7)	保健・医療体制が整っていない(50.0)	買い物が不便(41.7)	商売や勤務の関係で／福祉施設・制度が充実していない(33.3)	
清和台小学校区	交通の便がわるい／保健・医療体制が整っていない／文化施設・催しが充実していない(50.0)			商売や勤務の関係で／福祉施設・制度が充実していない(37.5)	
清和台南小学校区	交通の便がわるい(100.0)	保健・医療体制が整っていない／買い物が不便(60.0)		商売や勤務の関係で／福祉施設・制度が充実していない(20.0)	
けやき坂小学校区	交通の便がわるい(83.3)	買い物が不便(66.7)	保健・医療体制が整っていない(50.0)	文化施設・催しが充実していない／教育環境がわるい(16.7)	
東谷小学校区	交通の便がわるい(55.6)	文化施設・催しが充実していない(38.9)	保健・医療体制が整っていない(33.3)	福祉施設・制度が充実していない(27.8)	商売や勤務の関係で／買い物が不便(22.2)
牧の台小学校区	交通の便がわるい(76.7)	買い物が不便(60.0)	保健・医療体制が整っていない(40.0)	文化施設・催しが充実していない／福祉施設・制度が充実していない(33.3)	
北陵小学校区	交通の便がわるい(66.7)	買い物が不便／保健・医療体制が整っていない(52.4)		文化施設・催しが充実していない／福祉施設・制度が充実していない(28.6)	

※空欄部分は、多くの項目が同順位となっているため表示していません。

③年齢別

年齢別で、回答の多かった上位5項目をみると、10～30 歳代の層では、「交通の便がわるい」「買い物が不便」が上位に入っており、40～79 歳の層では「保健・医療体制が整っていない」が上位に入っています。このことから、若年層では生活面の利便性が、また、保健・医療へのニーズが高まる 壮年・高齢層では保健・医療が、今後の定住意向にかかわることがうかがえます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
16～19歳	交通の便がわるい(43.8)	買い物が不便(25.0)	福祉施設・制度が充実していない(18.8)	特に理由はない(12.5)	保健・医療体制が整っていない／商売や勤務の関係で(6.3)
20～29歳	交通の便がわるい(44.4)	買い物が不便(40.7)	商売や勤務の関係で(33.3)	保健・医療体制が整っていない(29.6)	文化施設・催しが充実していない(25.9)
30～39歳	交通の便がわるい(51.9)	買い物が不便(40.7)	商売や勤務の関係で(29.6)	保健・医療体制が整っていない(22.2)	福祉施設・制度が充実していない(18.5)
40～49歳	保健・医療体制が整っていない(52.3)	交通の便がわるい(47.7)	教育環境がわるい(34.1)	文化施設・催しが充実していない(29.5)	買い物が不便(27.3)
50～59歳	保健・医療体制が整っていない(63.9)	交通の便がわるい(63.9)	文化施設・催しが充実していない／買い物が不便(44.4)		福祉施設・制度が充実していない(36.1)
60～69歳	交通の便がわるい(70.0)	保健・医療体制が整っていない(60.0)	文化施設・催しが充実していない(43.3)	買い物が不便／福祉施設・制度が充実していない(40.0)	
70～79歳	保健・医療体制が整っていない(59.3)	福祉施設・制度が充実していない(40.7)	交通の便がわるい／住宅環境がわるい(33.3)		文化施設・催しが充実していない(29.6)
80歳以上	買い物が不便(100.0)	交通の便がわるい(80.0)	保健・医療体制が整っていない(60.0)	福祉施設・制度が充実していない／近所づきあいになじめない(20.0)	

④同居家族別

同居家族別で、回答の多かった上位5項目をみると、「65歳以上の高齢者がいる」では、第3位に「福祉施設・制度が充実していない」が入っており、福祉サービスを受ける世帯についてはこの面も、定住意向にかかわることがうかがえます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	保健・医療体制が整っていない(44.4)	買い物が不便(44.4)	交通の便がわるい(37.0)	文化施設・催しが充実していない(33.3)	福祉施設・制度が充実していない(29.6)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	交通の便がわるい(53.7)	保健・医療体制が整っていない(41.5)	買い物が不便(36.6)	教育環境がわるい(36.6)	文化施設・催しが充実していない(31.7)
65歳以上の高齢者がいる	交通の便がわるい(58.7)	保健・医療体制が整っていない(49.3)	福祉施設・制度が充実していない(34.7)	文化施設・催しが充実していない(33.3)	買い物が不便(32.0)

3. 施策の現状評価と今後の重要度について

問3 次の1から24の各項目について、『(1)現在の満足度』と『(2)今後の重要度』をお聞きします。『(1)現在の満足度』については、「満足」から「分からない」までの5つの選択肢から、『(2)今後の重要度』については、「かなり重要」から「分からない」までの5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

(1) 施策の満足度

①全体集計 (SA)

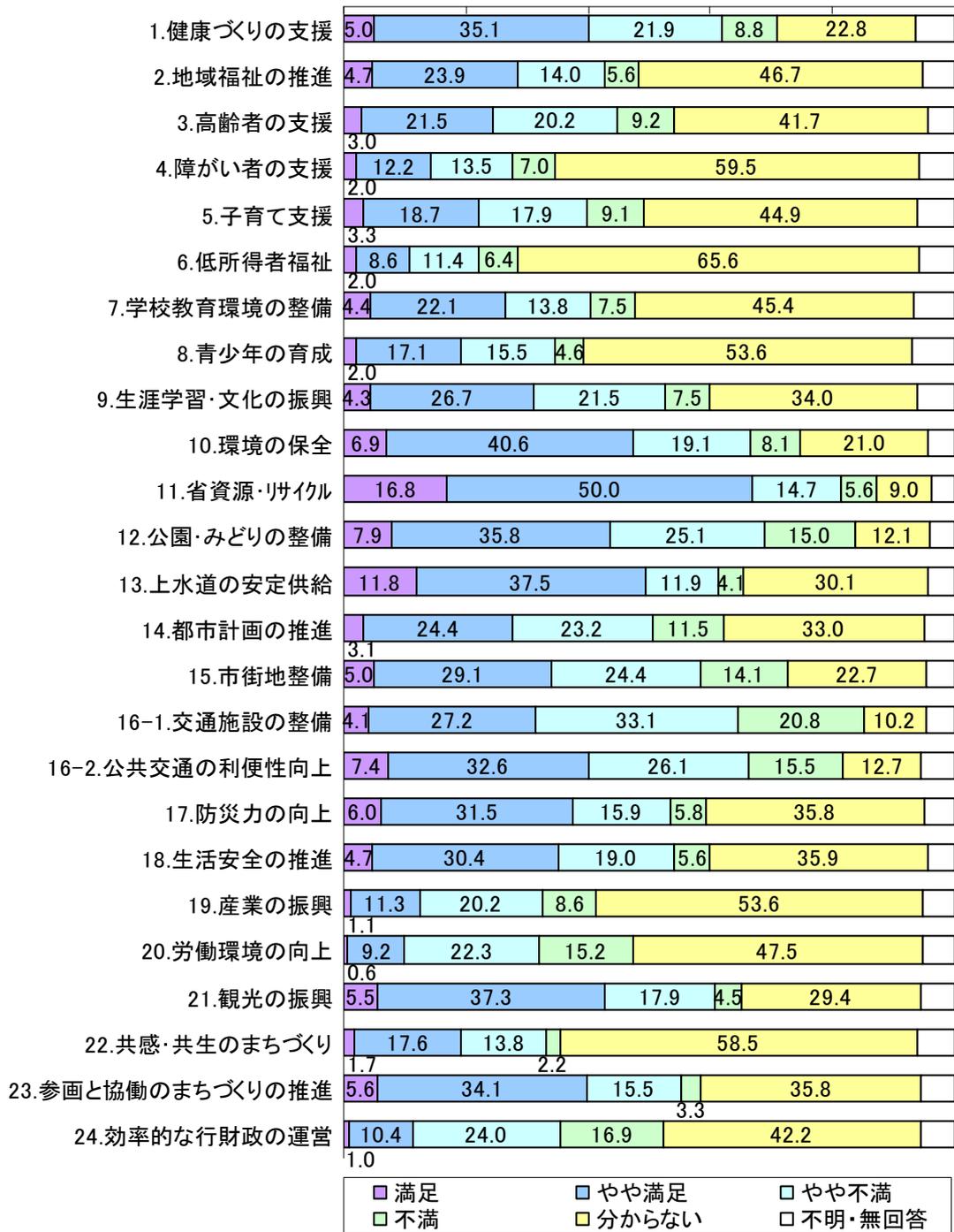
1から24の各項目について、現在の満足度をお聞きしました。

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とすると、最も『満足』が多かったのは、「11.省資源・リサイクル」で66.8%、次いで「13.上水道の安定供給」が49.3%となっています。

一方、「不満」と「やや不満」の合計を『不満』とすると、最も『不満』が多かったのは、「16-1.交通施設の整備」で53.9%、次いで「16-2.公共交通の利便性向上」が41.6%となっています。

全体(N=1,473)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

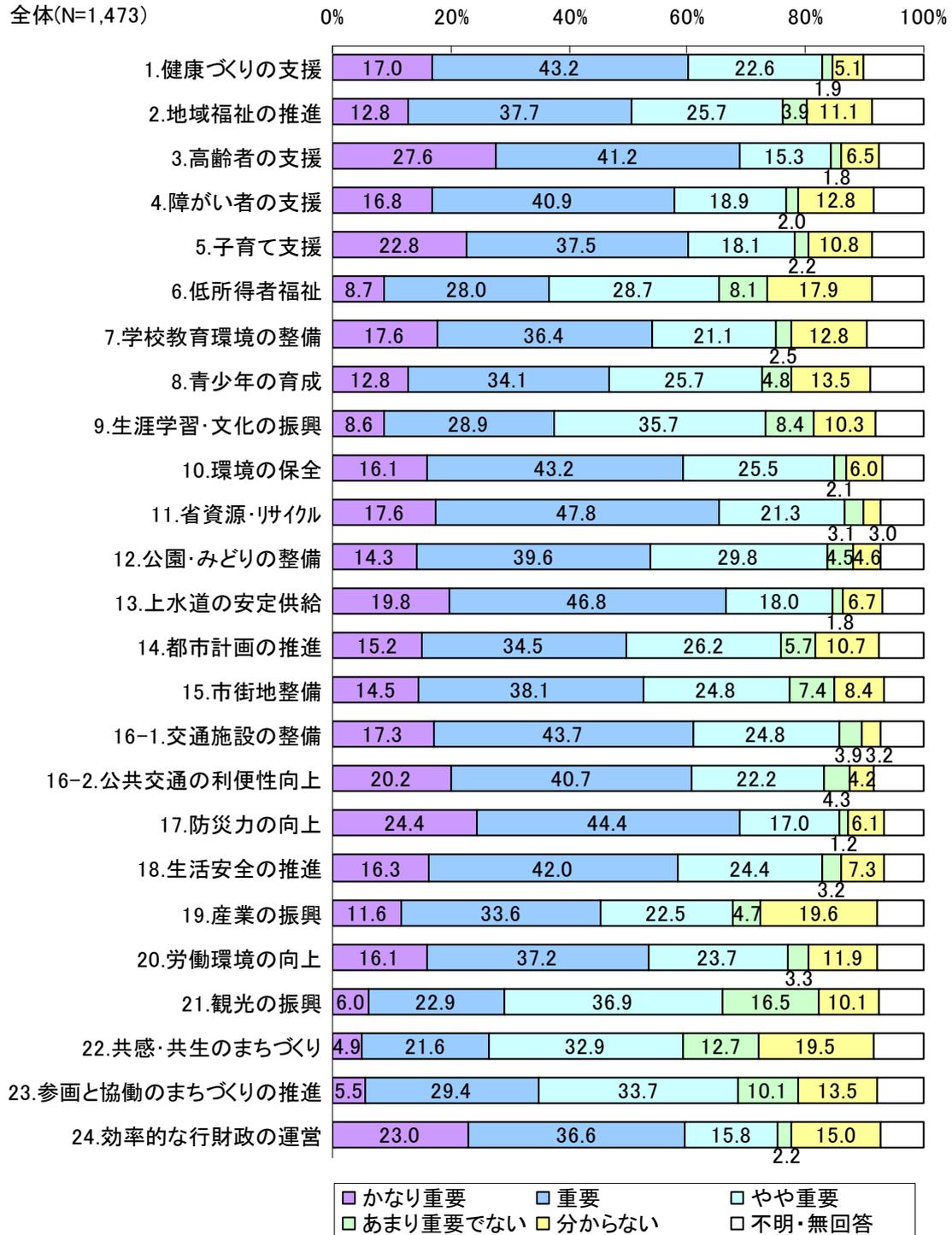


(2) 施策の重要度

①全体集計 (SA)

同じく1から24の各項目について、今後の重要度についてお聞きしました。

「かなり重要」と「重要」の合計を『重要』とすると、最も『重要』が多かったのは、「3.高齢者の支援」と「17.防災力の向上」が68.8%で、次いで「13.上水道の安定供給」が66.6%となっています。



〈分析の視点〉

問3の全25項目*について、それぞれの満足度・重要度を把握するため、現在の施策に対して市民視点の評価を行うとともに、各施策に対する重要度を把握することで、今後、必要となる施策の優先度を明確にします。

※施策番号16が枝番となっているため、通し番号では24となっていますが、施策は全25項目となっています。

■分析の流れ

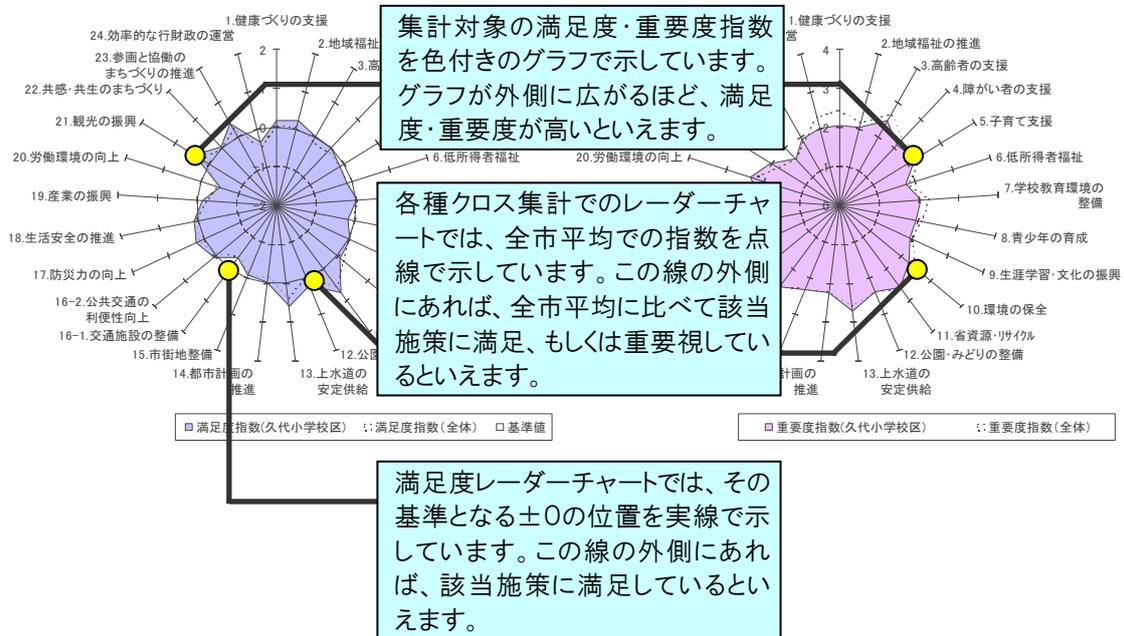
手順	内容
①単純集計	回答者の割合を集計しました。
②指数化	現在の満足度は、「満足」を「+2」、「やや満足」を「+1」、「やや不満」を「-1」、「不満」を「-2」として加重平均値をとりました。 同様に今後の重要度は「かなり重要」を「+4」、「重要」を「+3」、「やや重要」を「+2」、「あまり重要でない」を「+1」として加重平均値*をとりました。
③施策分類	算出した指数を元に、レーダーチャートの作成、散布図、施策の評価分類を行いました。

※加重平均とは、値を単純に平均するのではなく、値の重みを加味して平均することをいいます。例えば、「やや満足」よりも「満足」の方がより満足感を感じていると考えられるため、市民による評価をより実態に近い形で把握することが可能となります。

■重要度と満足度のレーダーチャートの見方

○満足度

○重要度



■満足度と重要度の評価順位表の見方

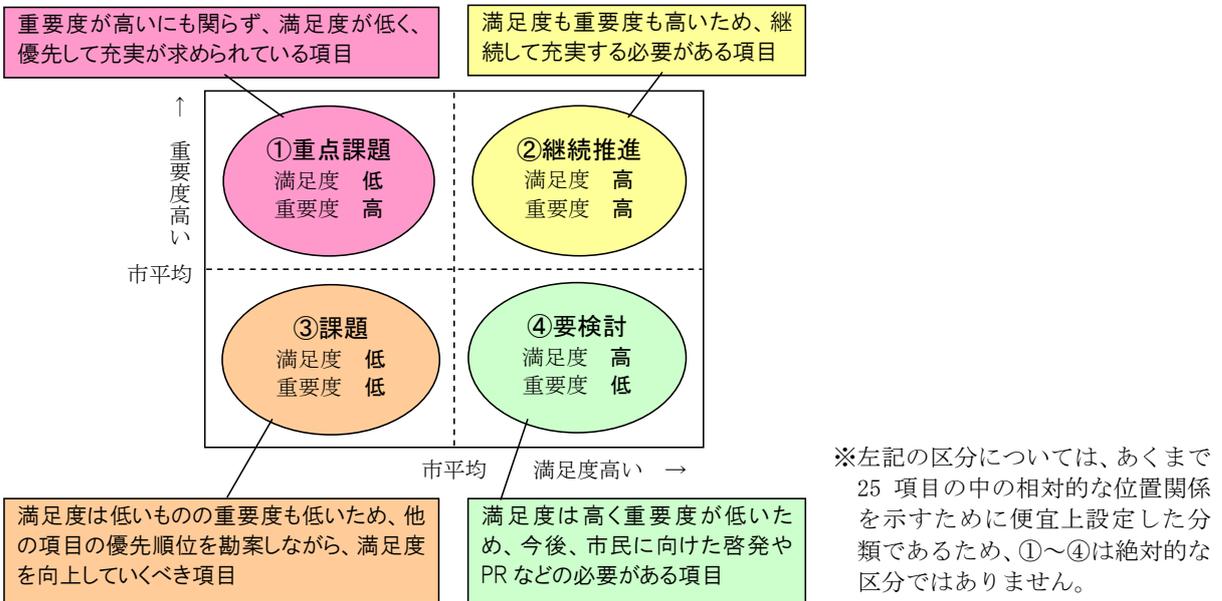
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	1.省資源・リサイクル	0.74	14	14.学校教育環境の整備	
2	3.上水道の安定供給	0.60	15	15.高齢者の支援	
3	1.観光の振興	0.44	16	16.障がい者の支援	0.01
4	3.参画と協働のまちづくりの推進	0.40	17	4.都市計画の推進	-0.03
5	2.地域福祉の推進	0.24	18	5.市街地整備	-0.08
6	7.防災力の向上	0.2	19	6.低所得者福祉	-0.11
7	2.公園・みどりの整備	0.20	20	9.産業の振興	
8	1.健康づくりの支援	0.17	21	5.子育て支援	
9	8.生活安全の推進	0.12	22	8.青少年の育成	
10	0.環境の保全	0.10	23	4.効率的な行財政の運営	
11	6-2.公共交通の利便性向上	0.06	24	6-1.交通施設の整備	
12	2.共感・共生のまちづくり	0.04	25	10.労働環境の向上	-0.50
13	9.生涯学習・文化の振興	0.04			

表中の二重線は、市全体での全 25 項目の平均値(満足度指数:-0.01、重要度指数:+2.27)の位置を示しています。

右側の表で満足度・重要度指数の第 14 位～25 位にあたる項目を示しています。

左側の表で満足度・重要度指数の第 1 位～13 位にあたる項目を示しています。

■満足度と重要度の関係散布図の見方



■施策の評価分類表の見方

①重点課題	15.市街地整備	②継続推進	3.高齢者の支援
	16-1.交通施設の整備		10.環境の保全
	20.労働環境の向上		11.省資源・リサイクル
③課題		④要検討	12.公園・みどりの整備
	5.子育て支援		13.上水道の安定供給
	6.低所得者福祉		16-1.公共交通の利便性向上
	8.青少年の育成		17.防災力の向上
	14.都市計画の推進		18.生活安全の推進
	19.産業の振興		1.健康づくりの支援
24.効率的な行財政の運営	2.地域福祉の推進		
			4.障がい者の支援
			7.学校教育環境の整備
			9.生涯学習・文化の振興
			21.観光の振興
			22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

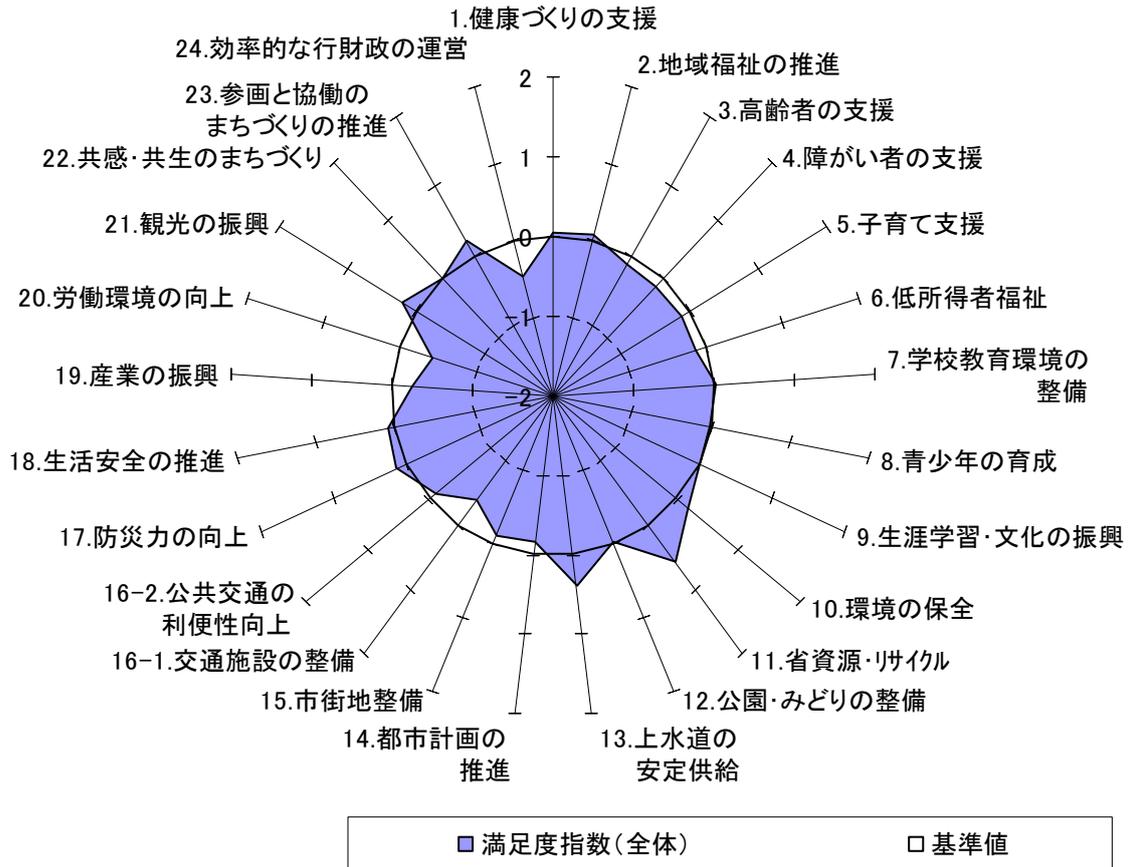
①～④の分類ごとに、項目を番号順に整理しています。

(3) 市全体の満足度・重要度評価

□ 満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「21.観光の振興」と続き、25項目中11項目がプラス評価となっています。

その他、14項目についてはマイナス評価となっており、「24.効率的な行財政の運営」「20.労働環境の向上」「16-1.交通施設の整備」「19.産業の振興」の順に下位を占めています。



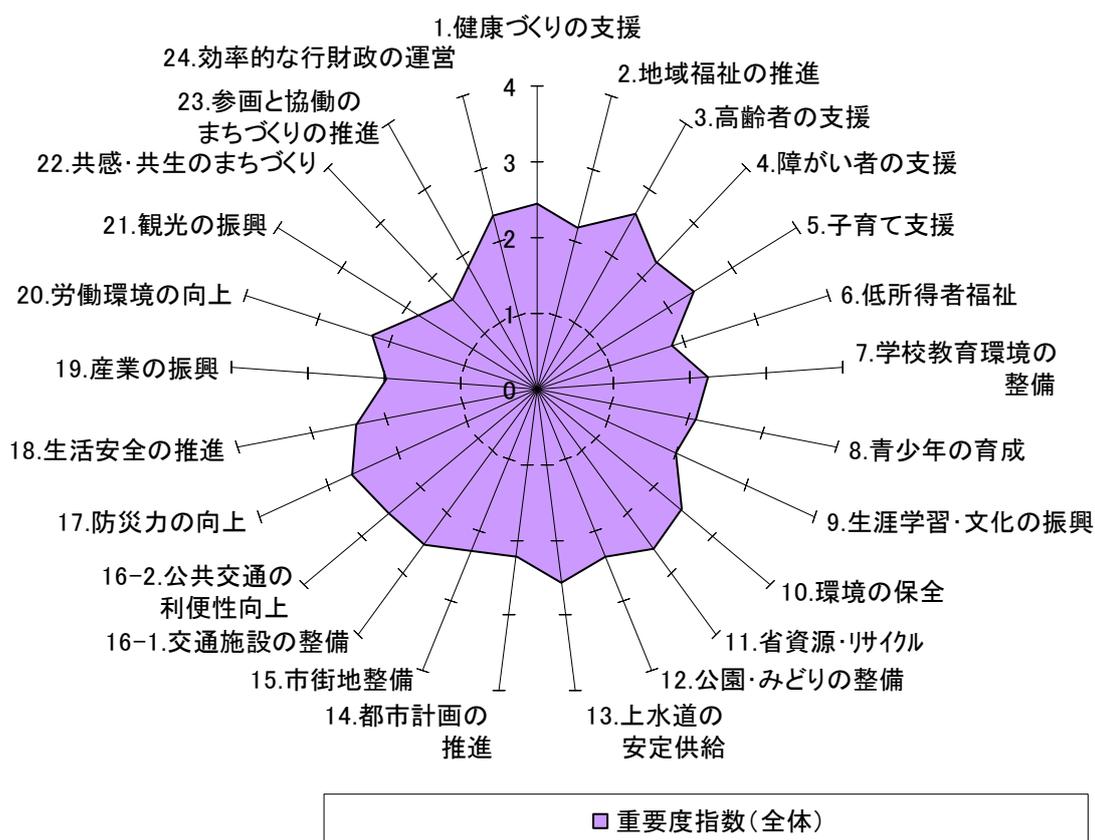
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.58	14	8.青少年の育成	-0.04
2	13.上水道の安定供給	0.41	15	16-2.公共交通の利便性向上	-0.10
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.23	16	5.子育て支援	-0.11
4	21.観光の振興	0.21	17	3.高齢者の支援	-0.11
5	10.環境の保全	0.19	18	4.障がい者の支援	-0.11
6	17.防災力の向上	0.16	19	6.低所得者福祉	-0.12
7	18.生活安全の推進	0.10	20	15.市街地整備	-0.14
8	2.地域福祉の推進	0.08	21	14.都市計画の推進	-0.16
9	1.健康づくりの支援	0.06	22	19.産業の振興	-0.24
10	22.共感・共生のまちづくり	0.03	23	16-1.交通施設の整備	-0.39
11	7.学校教育環境の整備	0.02	24	20.労働環境の向上	-0.42
12	9.生涯学習・文化の振興	-0.01	25	24.効率的な行財政の運営	-0.45
13	12.公園・みどりの整備	-0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、「3.高齢者の支援」「17.防災力の向上」「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「16-1.交通施設の整備」が上位5項目となっており、生活における安全性の確保に関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目には、「22.共感・共生のまちづくり」「21.観光の振興」「6.低所得者福祉」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「19.産業の振興」となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

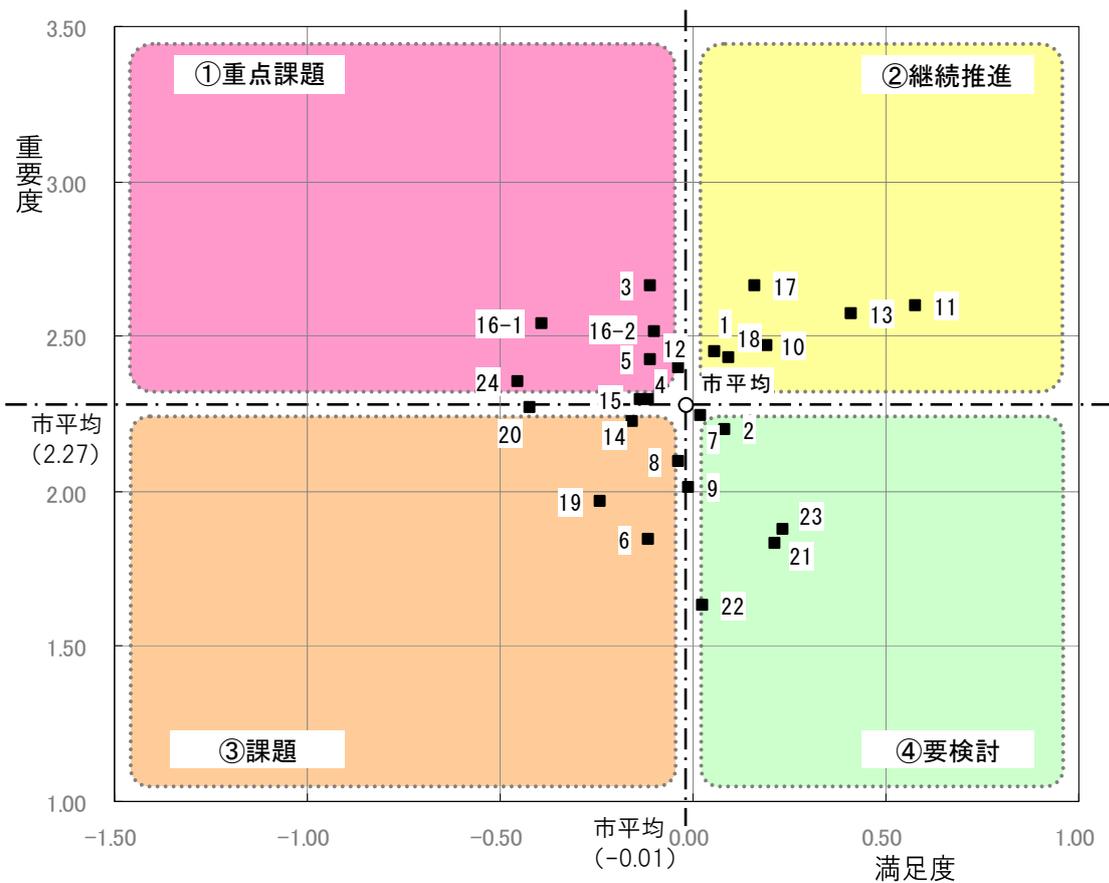
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.66	14	15.市街地整備	2.29
2	17.防災力の向上	2.66	15	20.労働環境の向上	2.27
3	11.省資源・リサイクル	2.60	16	7.学校教育環境の整備	2.24
4	13.上水道の安定供給	2.57	17	14.都市計画の推進	2.22
5	16-1.交通施設の整備	2.54	18	2.地域福祉の推進	2.20
6	16-2.公共交通の利便性向上	2.52	19	8.青少年の育成	2.10
7	10.環境の保全	2.47	20	9.生涯学習・文化の振興	2.01
8	1.健康づくりの支援	2.45	21	19.産業の振興	1.97
9	18.生活安全の推進	2.43	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.88
10	5.子育て支援	2.42	23	6.低所得者福祉	1.84
11	12.公園・みどりの整備	2.40	24	21.観光の振興	1.83
12	24.効率的な行財政の運営	2.36	25	22.共感・共生のまちづくり	1.63
13	4.障がい者の支援	2.30			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



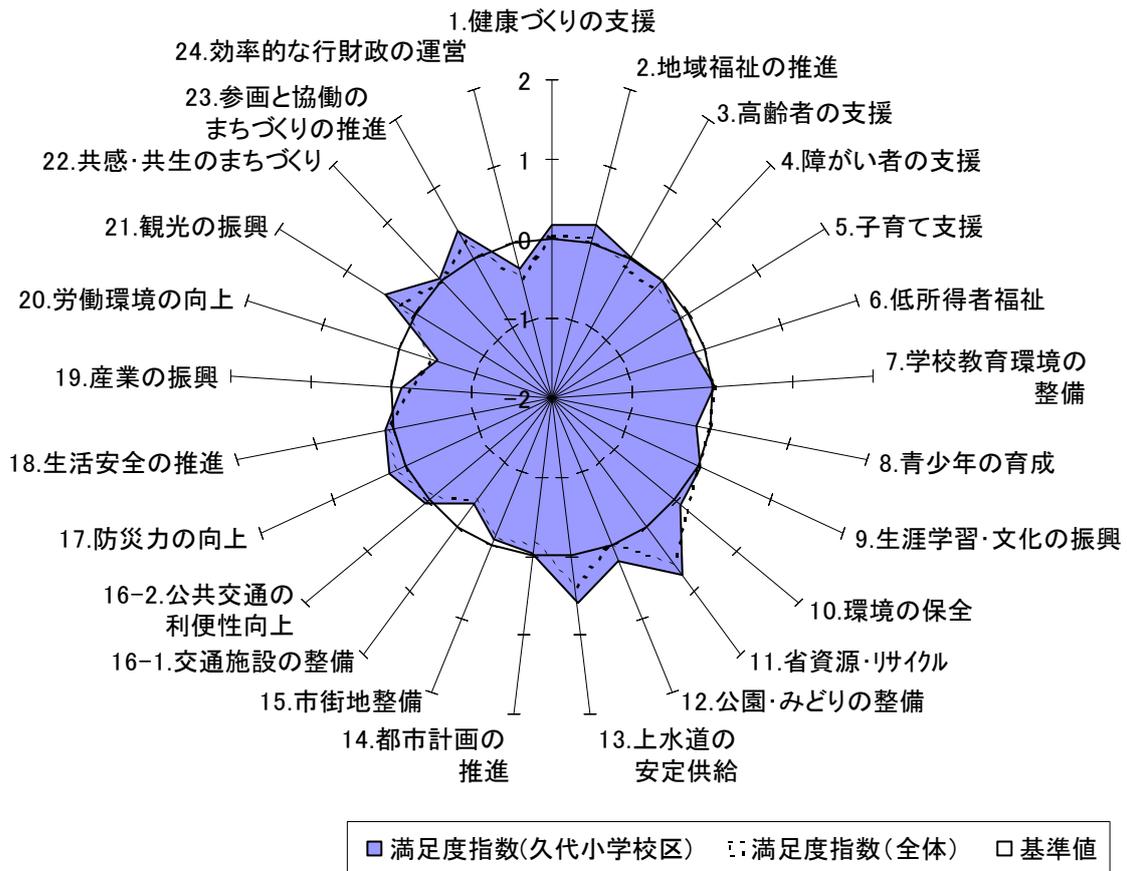
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		10.環境の保全
	5.子育て支援		11.省資源・リサイクル
	12.公園・みどりの整備		13.上水道の安定供給
	15.市街地整備		17.防災力の向上
	16-1.交通施設の整備		18.生活安全の推進
	16-2.公共交通の利便性向上		
	24.効率的な行財政の運営		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
	8.青少年の育成		7.学校教育環境の整備
	14.都市計画の推進		9.生涯学習・文化の振興
	19.産業の振興		21.観光の振興
	20.労働環境の向上		22.共感・共生のまちづくり
		23.参画と協働のまちづくりの推進	

(4) 小学校区別の満足度・重要度評価

①久代小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全般的に全体の満足度指数よりも高く、特に「12.公園・みどりの整備」「21.観光の振興」「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「11.省資源・リサイクル」「2.地域福祉の推進」で高くなっており、25項目中16項目がプラス評価となっています。一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「8.青少年の育成」「10.環境の保全」「20.労働環境の向上」となっています。



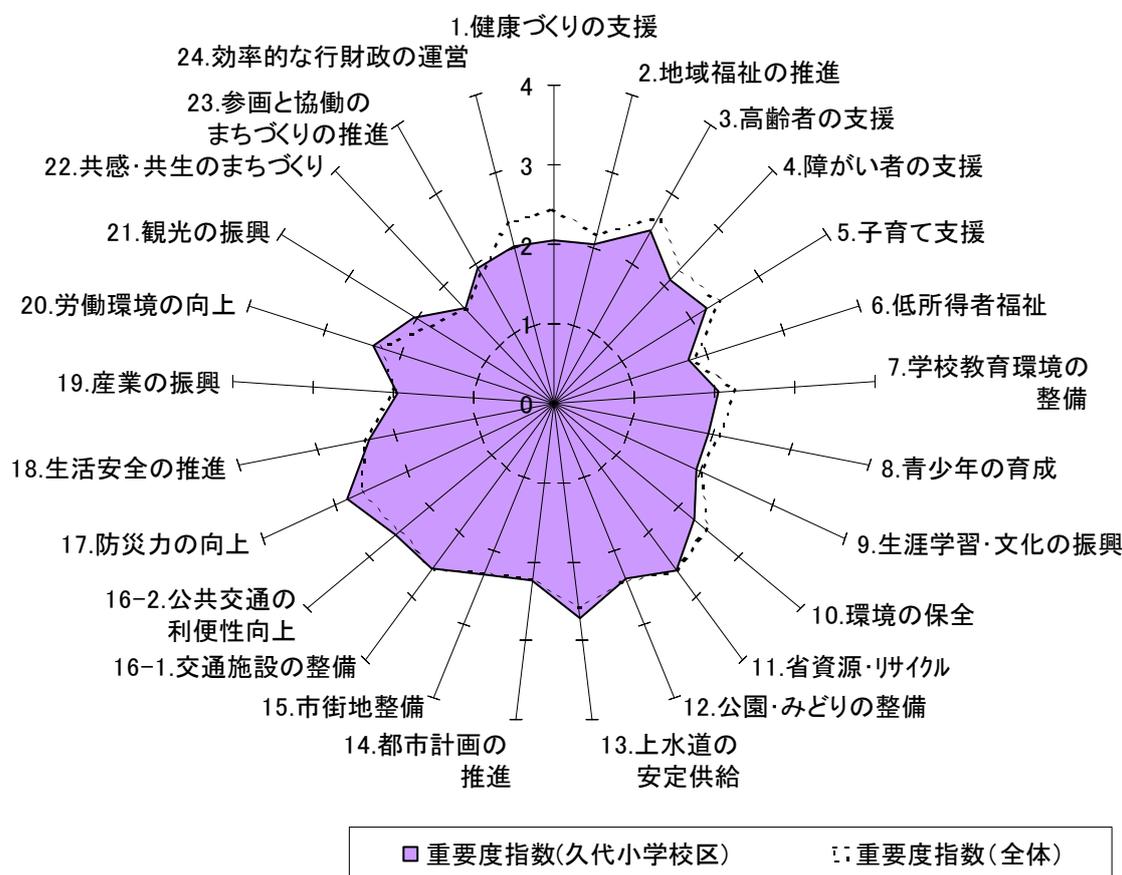
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.74	14	7.学校教育環境の整備	0.03
2	13.上水道の安定供給	0.60	15	3.高齢者の支援	0.02
3	21.観光の振興	0.44	16	4.障がい者の支援	0.01
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.40	17	14.都市計画の推進	-0.03
5	2.地域福祉の推進	0.24	18	15.市街地整備	-0.08
6	17.防災力の向上	0.21	19	6.低所得者福祉	-0.11
7	12.公園・みどりの整備	0.20	20	19.産業の振興	-0.12
8	1.健康づくりの支援	0.17	21	5.子育て支援	-0.13
9	18.生活安全の推進	0.12	22	8.青少年の育成	-0.19
10	10.環境の保全	0.10	23	24.効率的な行財政の運営	-0.31
11	16-2.公共交通の利便性向上	0.06	24	16-1.交通施設の整備	-0.36
12	22.共感・共生のまちづくり	0.04	25	20.労働環境の向上	-0.50
13	9.生涯学習・文化の振興	0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「21.観光の振興」「17.防災の向上」「13.上水道の安定供給」「20.労働環境の向上」など10項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「1.健康づくりの支援」「24.効率的な行財政の運営」など13項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

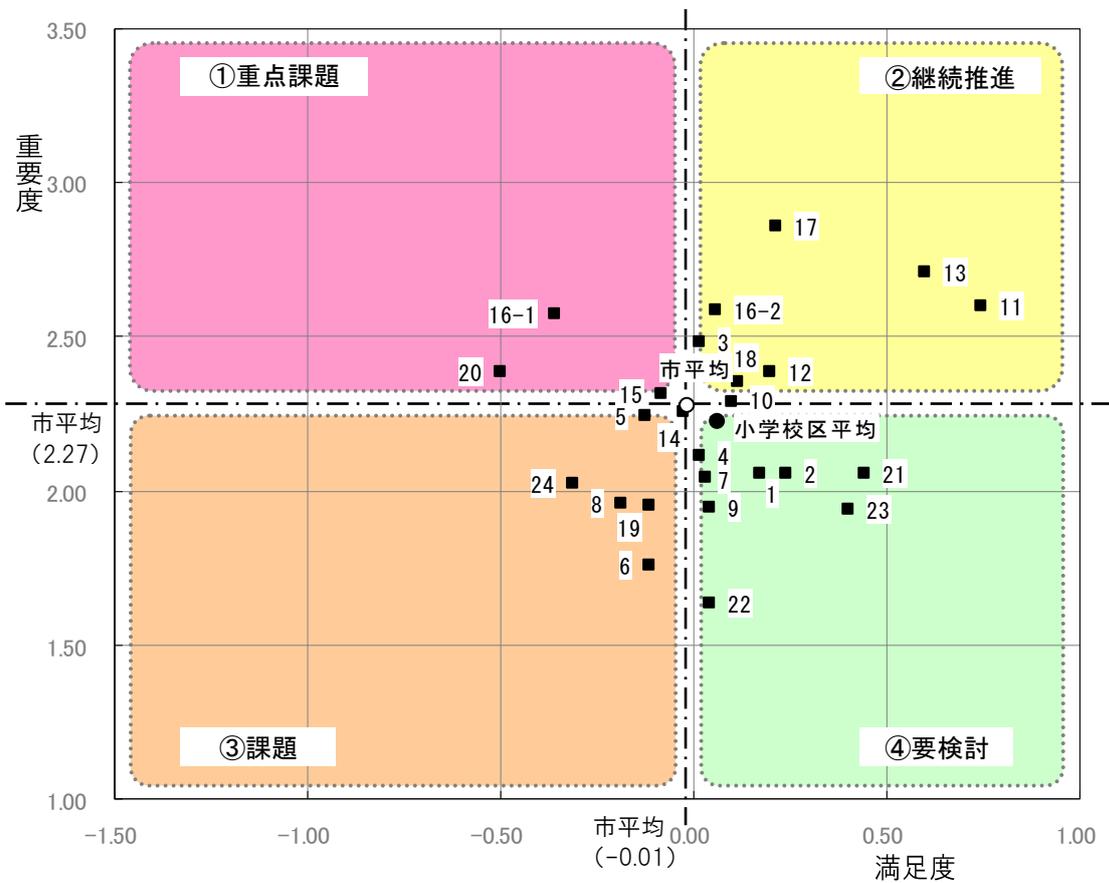
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.86	14	4.障がい者の支援	2.12
2	13.上水道の安定供給	2.71	15	21.観光の振興	2.06
3	11.省資源・リサイクル	2.60	16	2.地域福祉の推進	2.06
4	16-2.公共交通の利便性向上	2.59	17	1.健康づくりの支援	2.06
5	16-1.交通施設の整備	2.57	18	7.学校教育環境の整備	2.04
6	3.高齢者の支援	2.49	19	24.効率的な行財政の運営	2.03
7	12.公園・みどりの整備	2.39	20	8.青少年の育成	1.96
8	20.労働環境の向上	2.39	21	19.産業の振興	1.96
9	18.生活安全の推進	2.36	22	9.生涯学習・文化の振興	1.94
10	15.市街地整備	2.32	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.94
11	10.環境の保全	2.29	24	6.低所得者福祉	1.76
12	14.都市計画の推進	2.26	25	22.共感・共生のまちづくり	1.63
13	5.子育て支援	2.25			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「20.労働環境の向上」が最も低くなっています。

重要度では「17.防災力の向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「17.防災力の向上」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「16-1.交通施設の整備」「20.労働環境の向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、雇用につながる労働環境の向上を図ることが求められています。



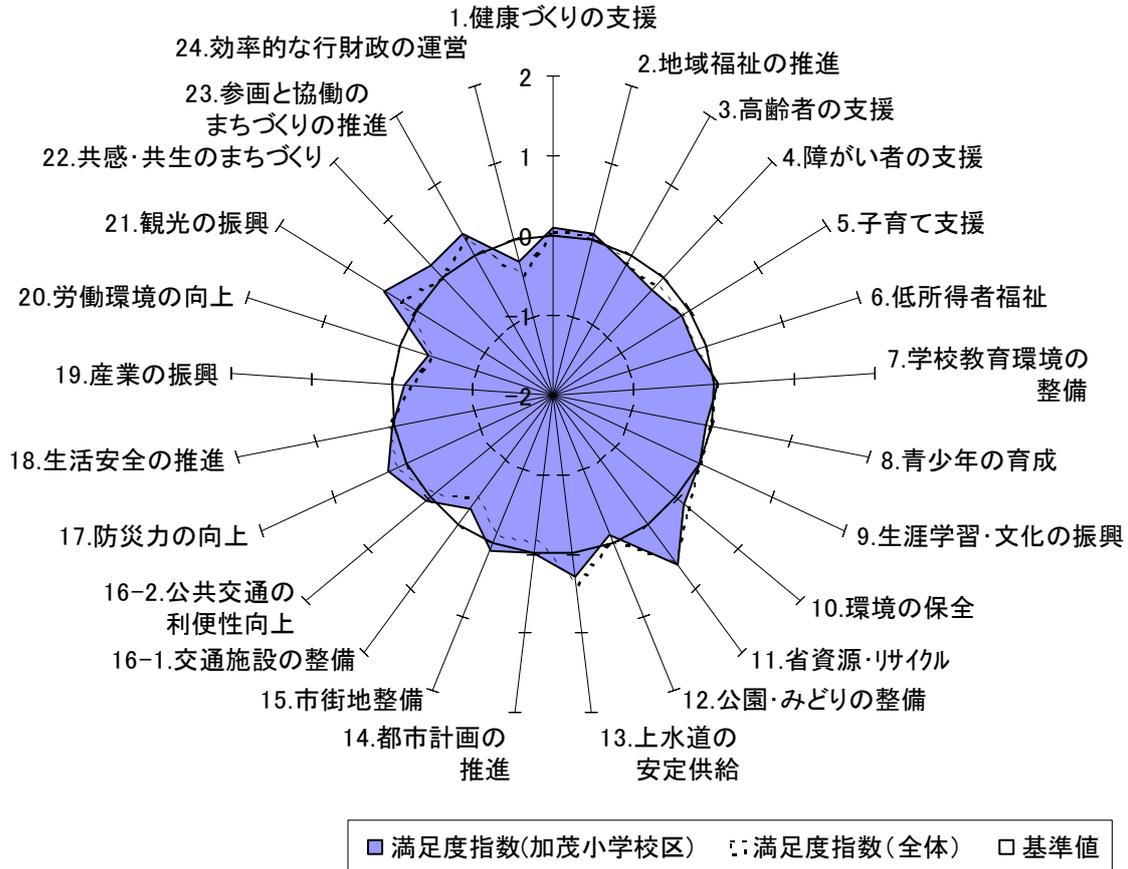
①重点課題	15.市街地整備	②継続推進	3.高齢者の支援
	16-1.交通施設の整備		10.環境の保全
	20.労働環境の向上		11.省資源・リサイクル
			12.公園・みどりの整備
③課題	5.子育て支援	④要検討	13.上水道の安定供給
	6.低所得者福祉		16-2.公共交通の利便性向上
	8.青少年の育成		17.防災力の向上
	14.都市計画の推進		18.生活安全の推進
	19.産業の振興		1.健康づくりの支援
	24.効率的な行財政の運営		2.地域福祉の推進
			4.障がい者の支援
			7.学校教育環境の整備
			9.生涯学習・文化の振興
			21.観光の振興
			22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

②加茂小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「21.観光の振興」「15.市街地整備」「22.共感・共生のまちづくり」「24.効率的な行財政の運営」など 16 項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「13.上水道の安定供給」「4.障がい者の支援」など8項目となっています。

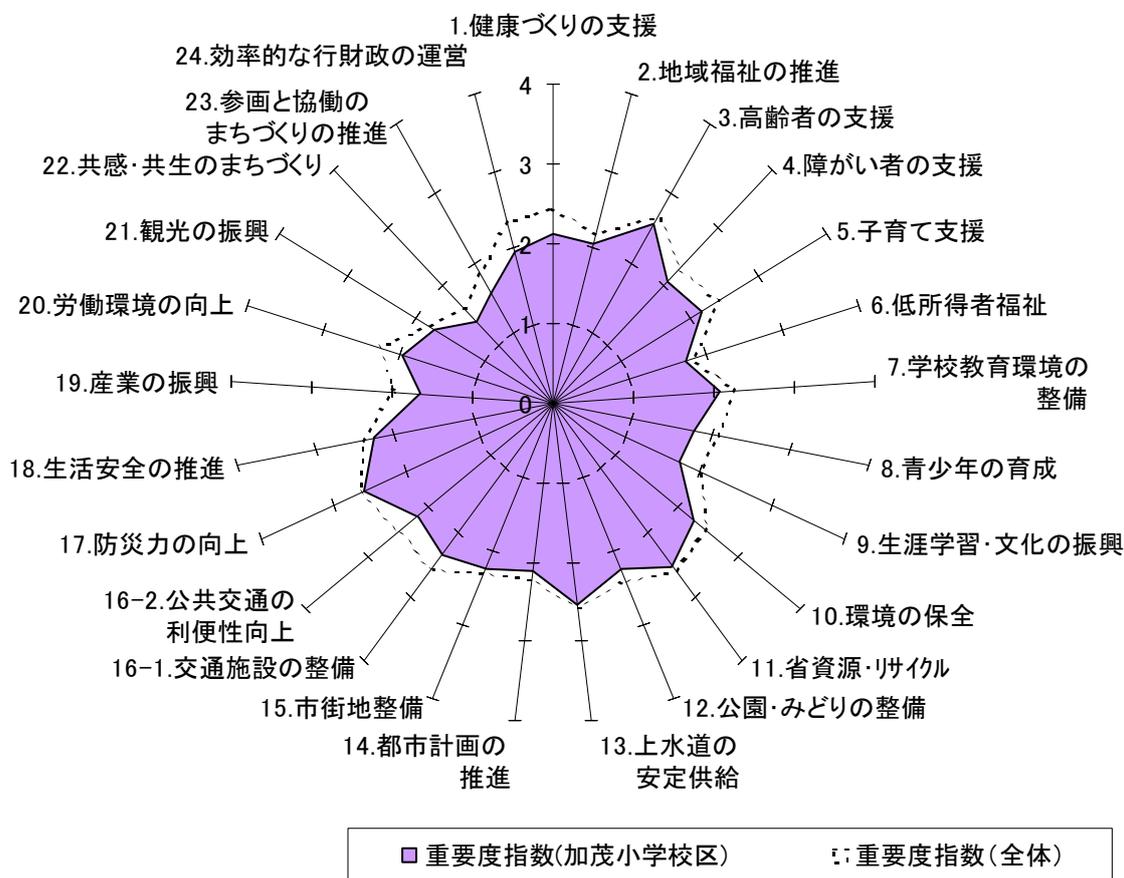


□ 順位(-0.01 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.62	14	9.生涯学習・文化の振興	0.00
2	21.観光の振興	0.47	15	14.都市計画の推進	0.00
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.32	16	8.青少年の育成	-0.09
4	13.上水道の安定供給	0.30	17	6.低所得者福祉	-0.12
5	17.防災力の向上	0.26	18	12.公園・みどりの整備	-0.12
6	22.共感・共生のまちづくり	0.22	19	3.高齢者の支援	-0.13
7	10.環境の保全	0.12	20	5.子育て支援	-0.14
8	1.健康づくりの支援	0.11	21	19.産業の振興	-0.16
9	15.市街地整備	0.10	22	4.障がい者の支援	-0.21
10	2.地域福祉の推進	0.09	23	16-1.交通施設の整備	-0.25
11	18.生活安全の推進	0.05	24	24.効率的な行財政の運営	-0.27
12	16-2.公共交通の利便性向上	0.05	25	20.労働環境の向上	-0.37
13	7.学校教育環境の整備	0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、「17.防災力の向上」「3.高齢者の支援」などが高くなっていますが、全般的に全体の重要度指数よりも低く、特に「24.効率的な行財政の運営」「8.青少年の育成」「16-2.公共交通の利便性向上」「19.産業の振興」「1.健康づくりの支援」などに差がみられます。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

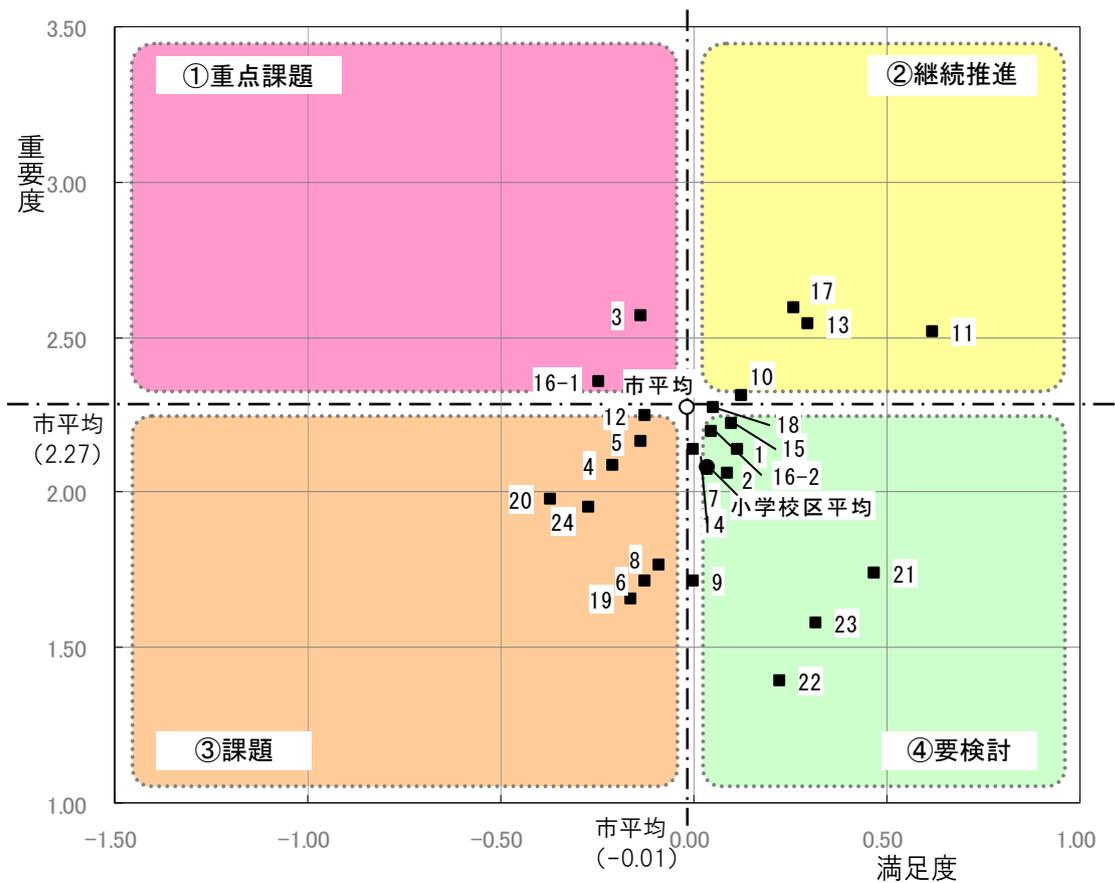
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.59	14	4.障がい者の支援	2.09
2	3.高齢者の支援	2.57	15	7.学校教育環境の整備	2.07
3	13.上水道の安定供給	2.54	16	2.地域福祉の推進	2.06
4	11.省資源・リサイクル	2.52	17	20.労働環境の向上	1.98
5	16-1.交通施設の整備	2.36	18	24.効率的な行財政の運営	1.95
6	10.環境の保全	2.31	19	8.青少年の育成	1.77
7	18.生活安全の推進	2.27	20	21.観光の振興	1.74
8	12.公園・みどりの整備	2.25	21	9.生涯学習・文化の振興	1.72
9	15.市街地整備	2.22	22	6.低所得者福祉	1.72
10	16-2.公共交通の利便性向上	2.20	23	19.産業の振興	1.66
11	5.子育て支援	2.16	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.58
12	1.健康づくりの支援	2.14	25	22.共感・共生のまちづくり	1.40
13	14.都市計画の推進	2.14			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「20.労働環境の向上」が最も低くなっています。

重要度では「17.防災力の向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「17.防災力の向上」などとなっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通施設の整備を図ることが求められています。



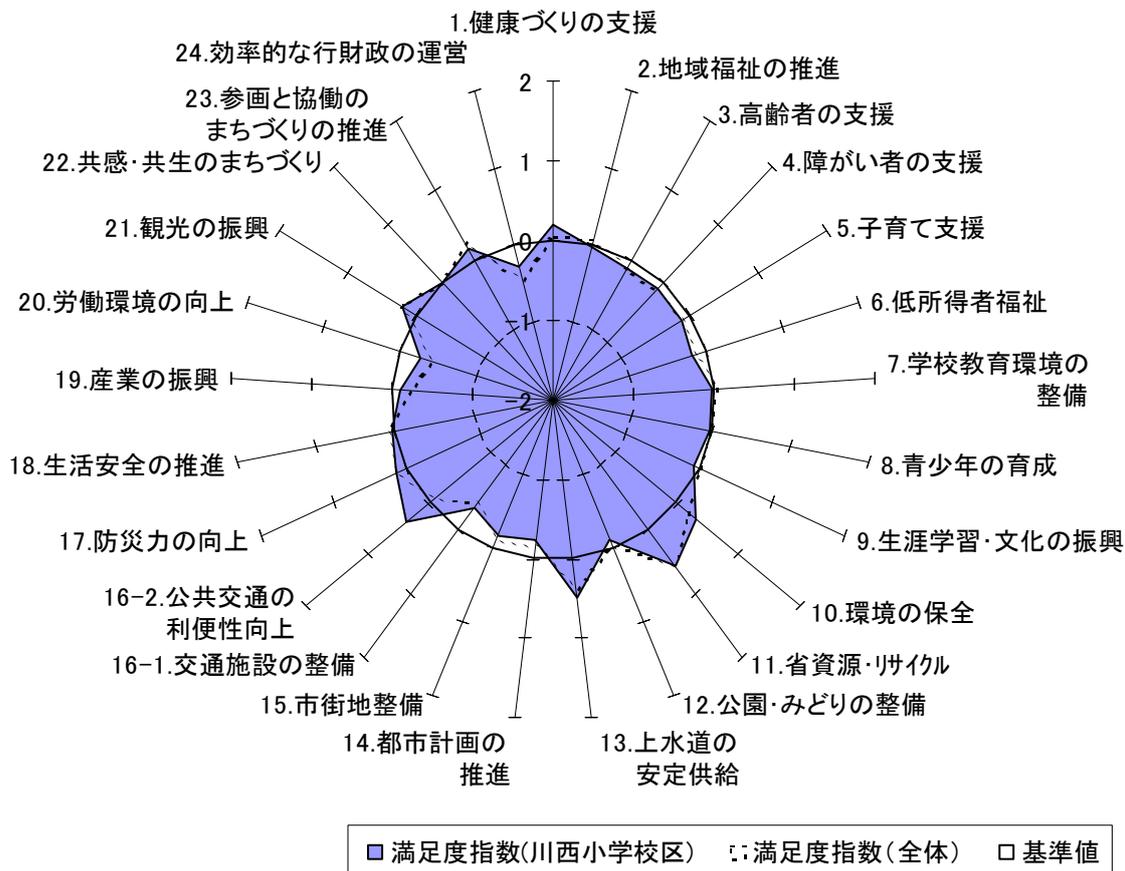
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	10.環境の保全
	16-1.交通施設の整備		11.省資源・リサイクル
③課題	4.障がい者の支援	④要検討	13.上水道の安定供給
	5.子育て支援		17.防災力の向上
	6.低所得者福祉		18.生活安全の推進
	8.青少年の育成		1.健康づくりの支援
	12.公園・みどりの整備		2.地域福祉の推進
	19.産業の振興		7.学校教育環境の整備
	20.労働環境の向上		9.生涯学習・文化の振興
24.効率的な行財政の運営	14.都市計画の推進		
		15.市街地整備	
		16-2.公共交通の利便性向上	
		21.観光の振興	
		22.共感・共生のまちづくり	
		23.参画と協働のまちづくりの推進	

③川西小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「24.効率的な行財政の運営」「20.労働環境の向上」など12項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「2.地域福祉の推進」「18.生活安全の推進」など13項目となっています。



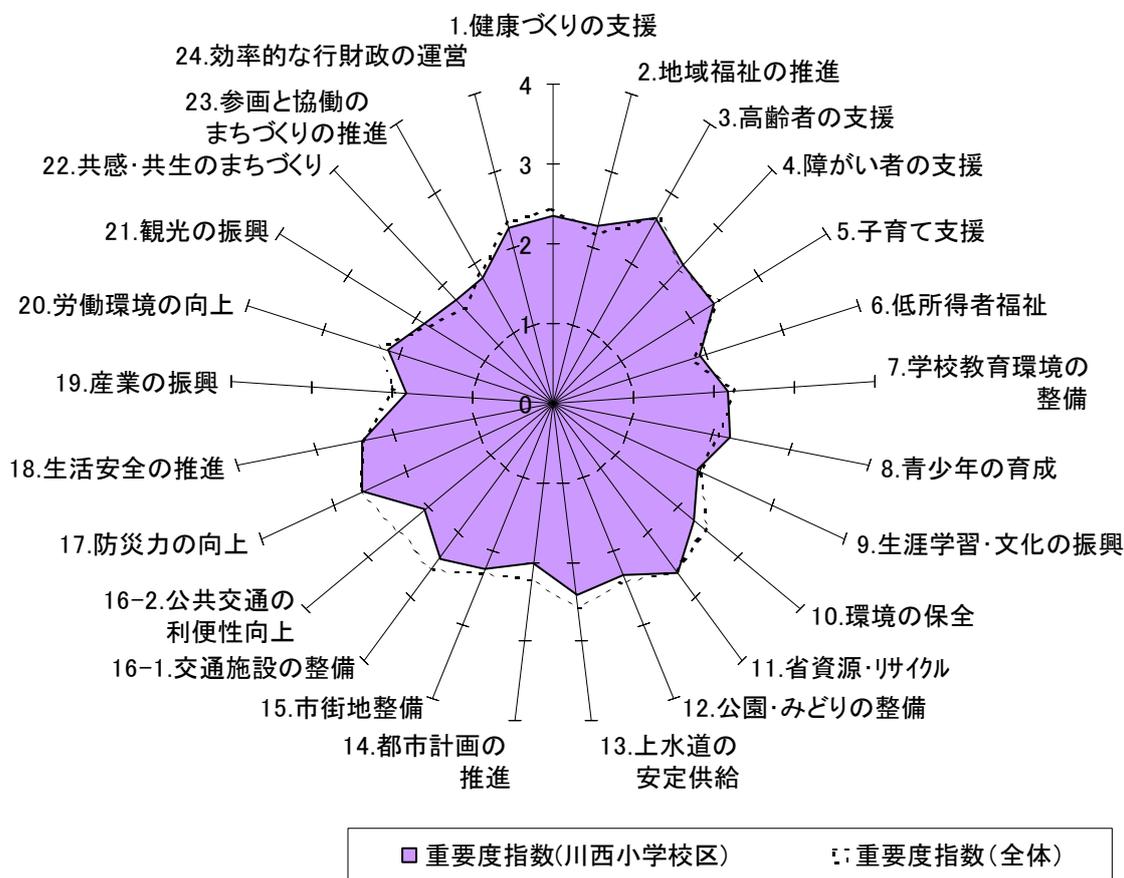
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.57	14	9.生涯学習・文化の振興	-0.08
2	13.上水道の安定供給	0.51	15	5.子育て支援	-0.09
3	16-2.公共交通の利便性向上	0.38	16	4.障がい者の支援	-0.09
4	10.環境の保全	0.32	17	3.高齢者の支援	-0.10
5	21.観光の振興	0.22	18	12.公園・みどりの整備	-0.10
6	1.健康づくりの支援	0.19	19	19.産業の振興	-0.11
7	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.18	20	6.低所得者福祉	-0.19
8	17.防災力の向上	0.15	21	15.市街地整備	-0.19
9	18.生活安全の推進	0.02	22	14.都市計画の推進	-0.23
10	22.共感・共生のまちづくり	-0.01	23	20.労働環境の向上	-0.27
11	7.学校教育環境の整備	-0.02	24	24.効率的な行財政の運営	-0.27
12	2.地域福祉の推進	-0.03	25	16-1.交通施設の整備	-0.32
13	8.青少年の育成	-0.03			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「8.青少年の育成」「22.共感・共生のまちづくり」「2.地域福祉の推進」「6.低所得者福祉」など7項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「16-2.公共交通の利便性向上」「14.都市計画の推進」「10.環境の保全」など18項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

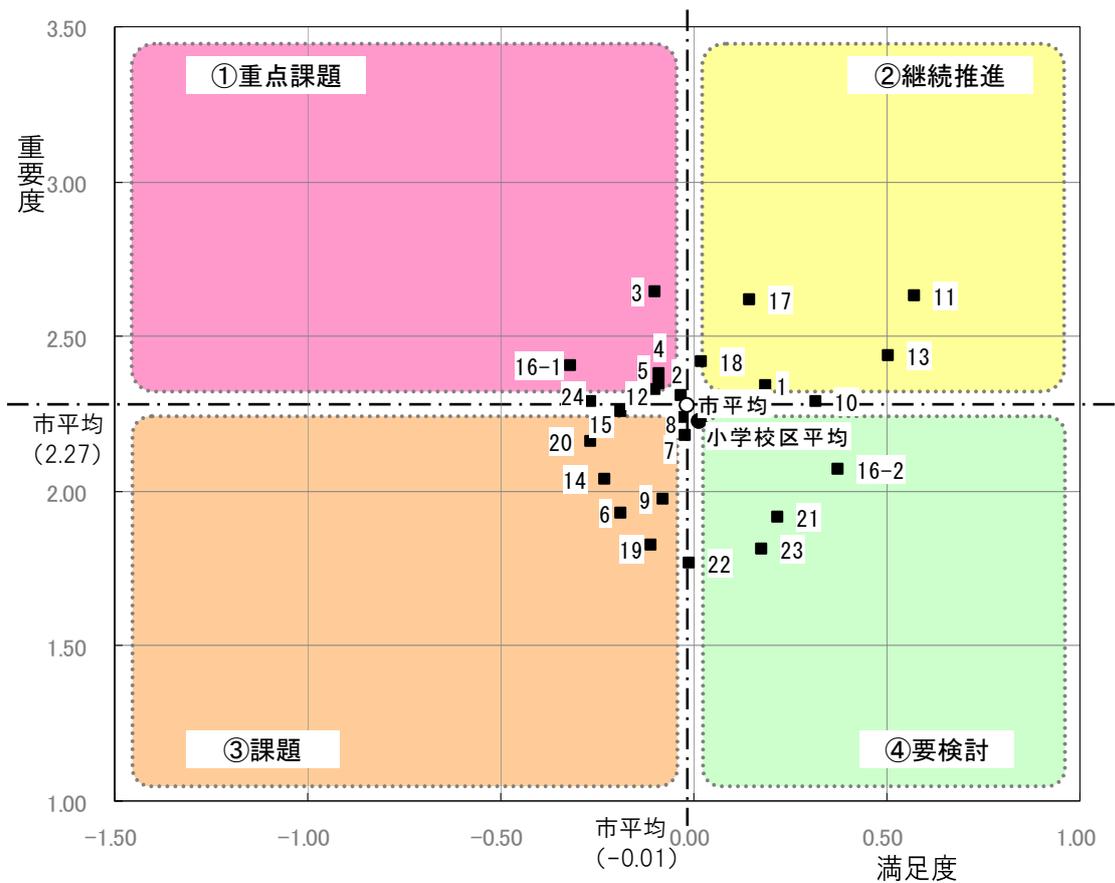
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.65	14	15.市街地整備	2.26
2	11.省資源・リサイクル	2.63	15	8.青少年の育成	2.24
3	17.防災力の向上	2.62	16	7.学校教育環境の整備	2.18
4	13.上水道の安定供給	2.44	17	20.労働環境の向上	2.16
5	18.生活安全の推進	2.42	18	16-2.公共交通の利便性向上	2.07
6	16-1.交通施設の整備	2.41	19	14.都市計画の推進	2.04
7	4.障がい者の支援	2.38	20	9.生涯学習・文化の振興	1.97
8	5.子育て支援	2.35	21	6.低所得者福祉	1.93
9	1.健康づくりの支援	2.34	22	21.観光の振興	1.91
10	12.公園・みどりの整備	2.33	23	19.産業の振興	1.82
11	2.地域福祉の推進	2.31	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.81
12	10.環境の保全	2.29	25	22.共感・共生のまちづくり	1.76
13	24.効率的な行財政の運営	2.29			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通施設の整備を図ることが求められています。



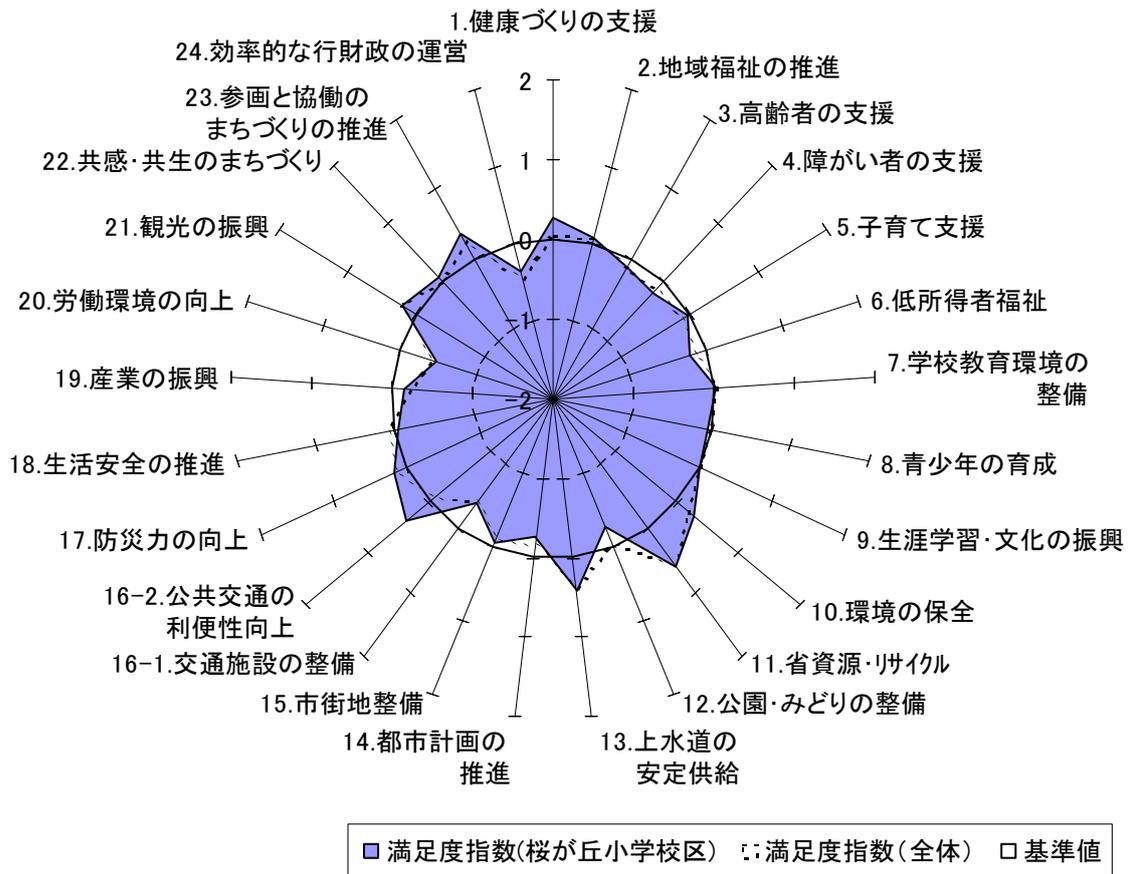
①重点課題	2.地域福祉の推進	②継続推進	1.健康づくりの支援
	3.高齢者の支援		10.環境の保全
	4.障がい者の支援		11.省資源・リサイクル
	5.子育て支援		13.上水道の安定供給
	12.公園・みどりの整備		17.防災力の向上
	16-1.交通施設の整備		18.生活安全の推進
	24.効率的な行財政の運営		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	16-2.公共交通の利便性向上
	7.学校教育環境の整備		21.観光の振興
	8.青少年の育成		22.共感・共生のまちづくり
	9.生涯学習・文化の振興		23.参画と協働のまちづくりの推進
	14.都市計画の推進		
	15.市街地整備		
	19.産業の振興		
	20.労働環境の向上		

④桜が丘小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「1.健康づくりの支援」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「10.環境の保全」「24.効率的な行財政の運営」など14項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「12.公園・みどりの整備」「18.生活安全の推進」など10項目となっています。



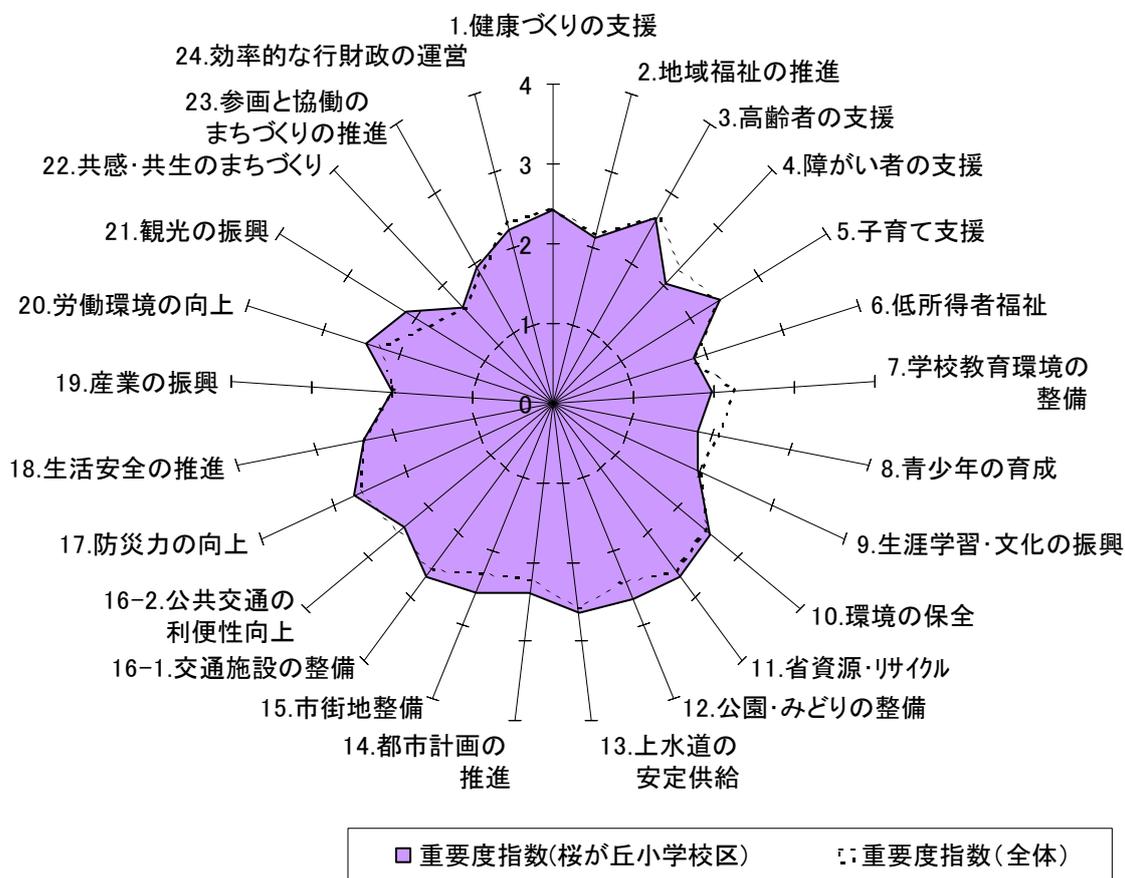
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.61	14	18.生活安全の推進	-0.05
2	13.上水道の安定供給	0.42	15	8.青少年の育成	-0.05
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.38	16	15.市街地整備	-0.06
4	16-2.公共交通の利便性向上	0.38	17	3.高齢者の支援	-0.11
5	10.環境の保全	0.29	18	19.産業の振興	-0.16
6	1.健康づくりの支援	0.27	19	4.障がい者の支援	-0.17
7	21.観光の振興	0.22	20	6.低所得者福祉	-0.20
8	17.防災力の向上	0.18	21	14.都市計画の推進	-0.26
9	22.共感・共生のまちづくり	0.09	22	12.公園・みどりの整備	-0.27
10	2.地域福祉の推進	0.07	23	24.効率的な行財政の運営	-0.36
11	9.生涯学習・文化の振興	0.04	24	16-1.交通施設の整備	-0.40
12	7.学校教育環境の整備	0.01	25	20.労働環境の向上	-0.47
13	5.子育て支援	-0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「21.観光の振興」「15.市街地整備」「12.公園・みどりの整備」「20.労働環境の向上」など 15項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「8.青少年の育成」「7.学校教育環境の整備」など 10項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

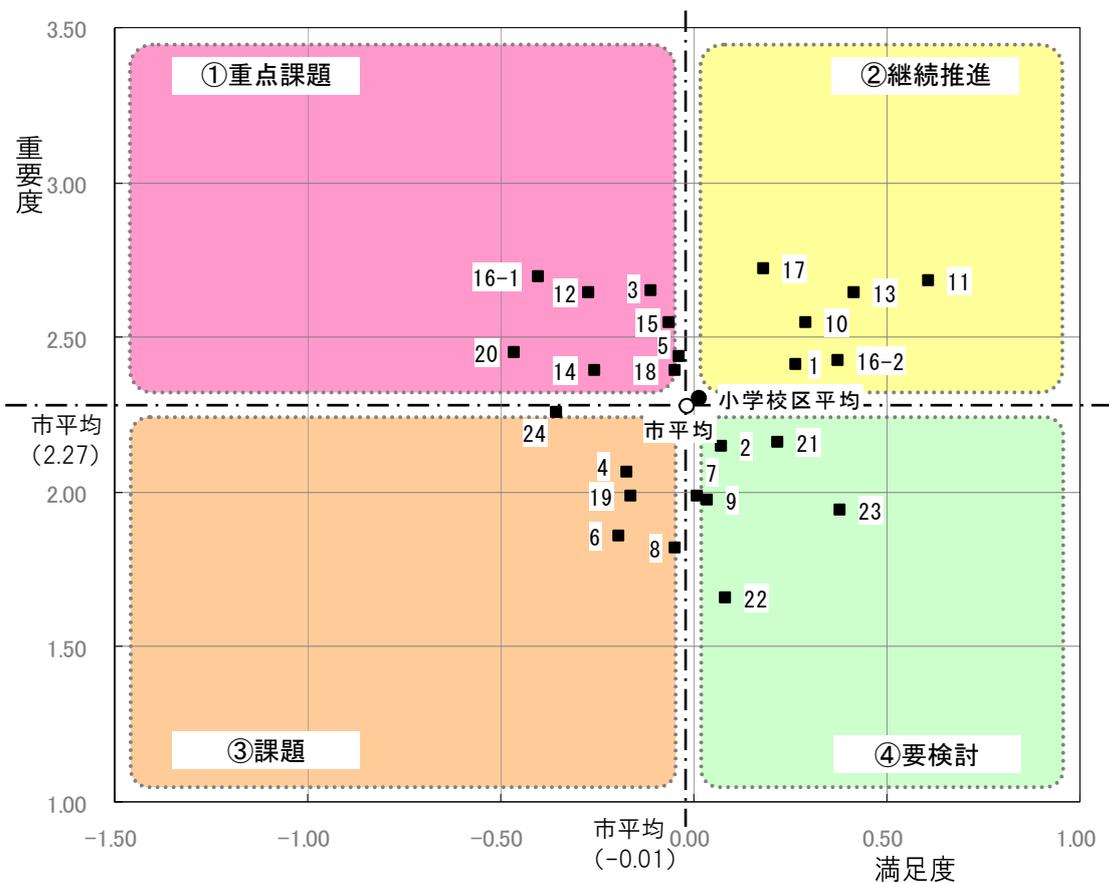
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.72	14	14.都市計画の推進	2.39
2	16-1.交通施設の整備	2.69	15	24.効率的な行財政の運営	2.26
3	11.省資源・リサイクル	2.68	16	21.観光の振興	2.16
4	3.高齢者の支援	2.65	17	2.地域福祉の推進	2.14
5	12.公園・みどりの整備	2.65	18	4.障がい者の支援	2.06
6	13.上水道の安定供給	2.65	19	19.産業の振興	1.99
7	10.環境の保全	2.55	20	7.学校教育環境の整備	1.99
8	15.市街地整備	2.55	21	9.生涯学習・文化の振興	1.97
9	20.労働環境の向上	2.45	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.94
10	5.子育て支援	2.44	23	6.低所得者福祉	1.85
11	16-2.公共交通の利便性向上	2.43	24	8.青少年の育成	1.82
12	1.健康づくりの支援	2.41	25	22.共感・共生のまちづくり	1.66
13	18.生活安全の推進	2.39			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「20.労働環境の向上」が最も低くなっています。

重要度では「17.防災力の向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「17.防災力の向上」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「12.公園・みどりの整備」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境や自然環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通施設の整備を図ることが求められています。



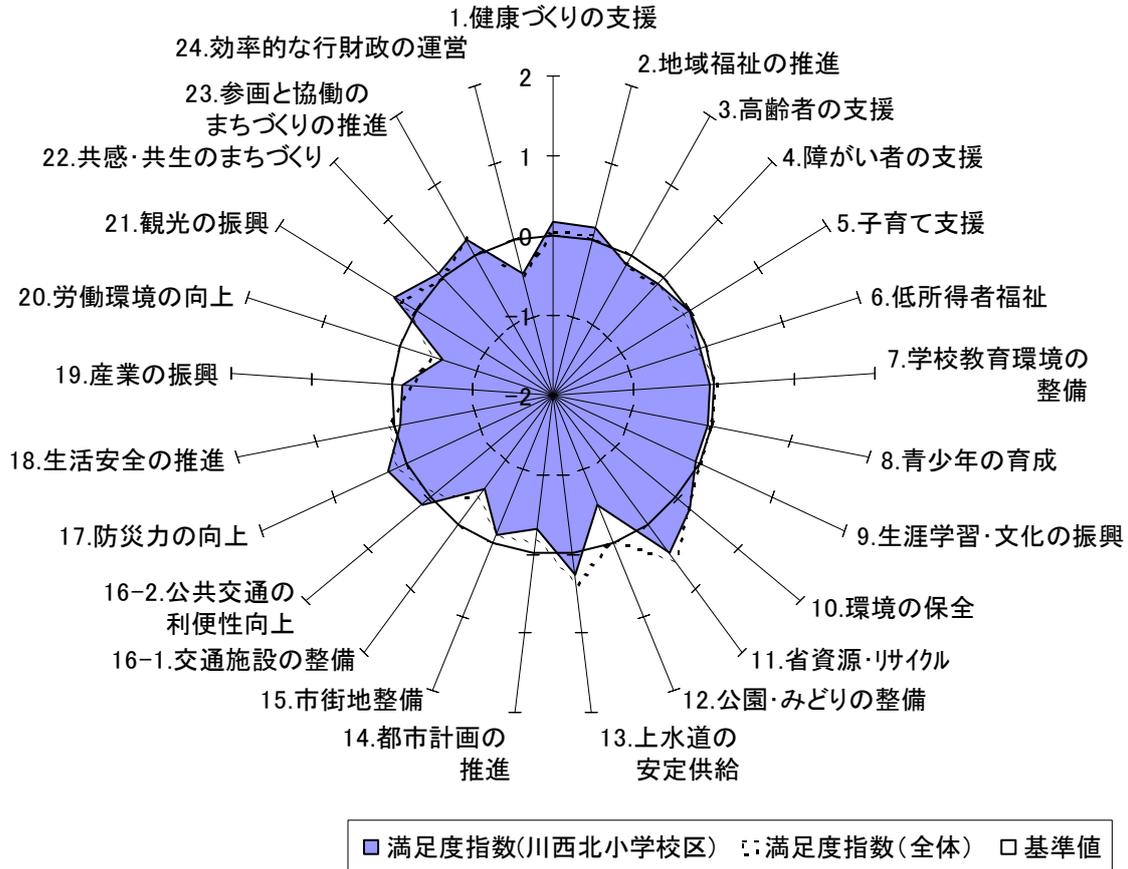
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	5.子育て支援		10.環境の保全
	12.公園・みどりの整備		11.省資源・リサイクル
	14.都市計画の推進		13.上水道の安定供給
	15.市街地整備		16-2.公共交通の利便性向上
	16-1.交通施設の整備		17.防災力の向上
	18.生活安全の推進		
	20.労働環境の向上		
③課題	4.障がい者の支援	④要検討	2.地域福祉の推進
	6.低所得者福祉		7.学校教育環境の整備
	8.青少年の育成		9.生涯学習・文化の振興
	19.産業の振興		21.観光の振興
	24.効率的な行財政の運営		22.共感・共生のまちづくり
		23.参画と協働のまちづくりの推進	

⑤川西北小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「1.健康づくりの支援」「19.産業の振興」など13項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「12.公園・みどりの整備」「18.生活安全の推進」など11項目となっています。



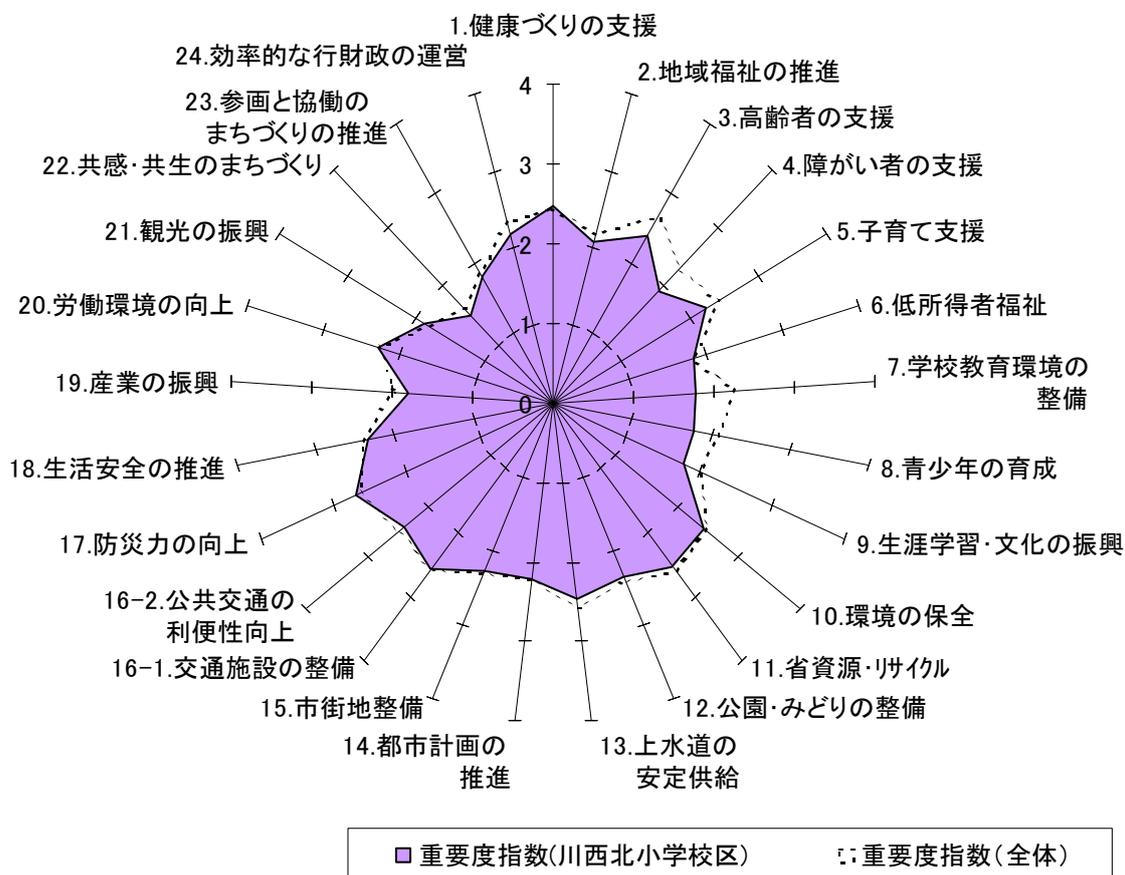
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.44	14	8.青少年の育成	-0.06
2	21.観光の振興	0.31	15	6.低所得者福祉	-0.08
3	13.上水道の安定供給	0.27	16	18.生活安全の推進	-0.09
4	17.防災力の向上	0.27	17	4.障がい者の支援	-0.10
5	10.環境の保全	0.23	18	19.産業の振興	-0.12
6	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.23	19	15.市街地整備	-0.13
7	1.健康づくりの支援	0.19	20	3.高齢者の支援	-0.13
8	2.地域福祉の推進	0.19	21	14.都市計画の推進	-0.31
9	16-2.公共交通の利便性向上	0.13	22	24.効率的な行財政の運営	-0.42
10	22.共感・共生のまちづくり	0.07	23	12.公園・みどりの整備	-0.51
11	5.子育て支援	0.00	24	20.労働環境の向上	-0.54
12	9.生涯学習・文化の振興	-0.06	25	16-1.交通施設の整備	-0.56
13	7.学校教育環境の整備	-0.06			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「21.観光の振興」「1.健康づくりの支援」「17.防災力の向上」「16-1.交通施設の整備」の4項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「7.学校教育環境の整備」「4.障がい者の支援」「8.青少年の育成」「3.高齢者の支援」など17項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

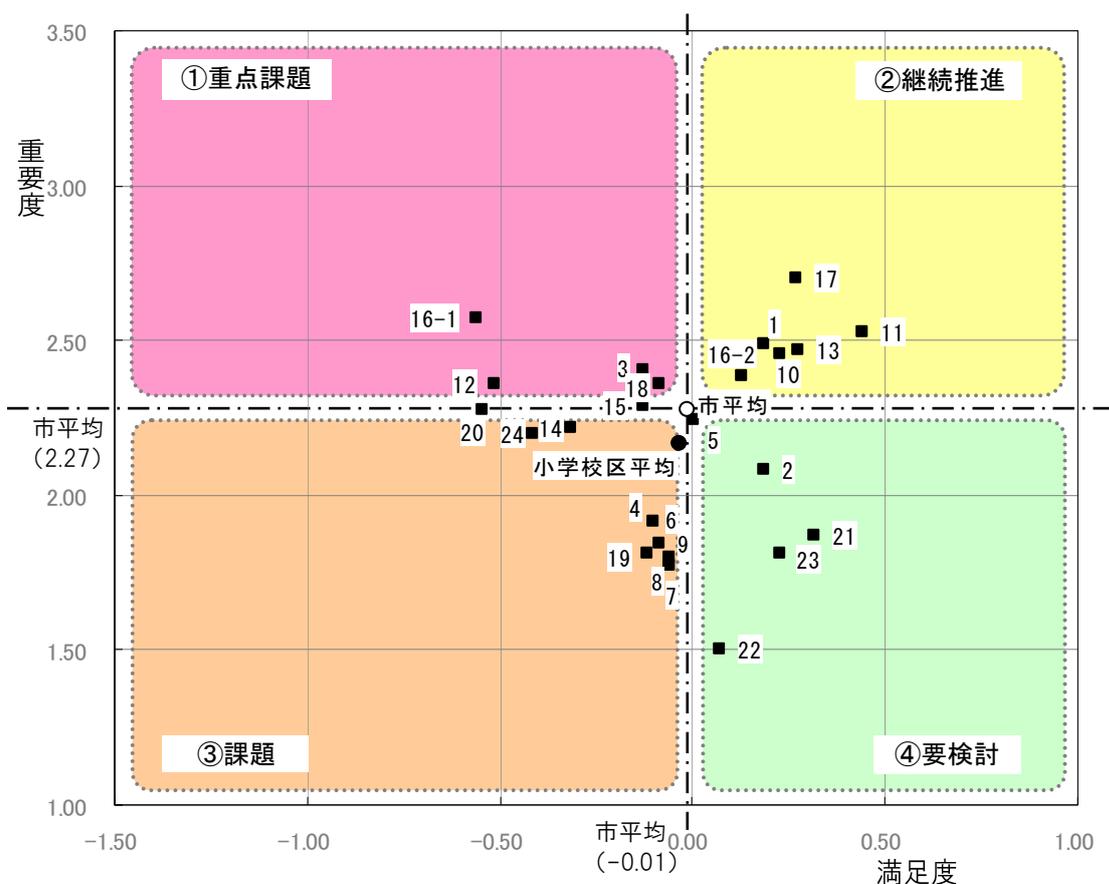
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.70	14	14.都市計画の推進	2.22
2	16-1.交通施設の整備	2.57	15	24.効率的な行財政の運営	2.20
3	11.省資源・リサイクル	2.53	16	2.地域福祉の推進	2.08
4	1.健康づくりの支援	2.49	17	4.障がい者の支援	1.91
5	13.上水道の安定供給	2.47	18	21.観光の振興	1.87
6	10.環境の保全	2.46	19	6.低所得者福祉	1.84
7	3.高齢者の支援	2.40	20	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.81
8	16-2.公共交通の利便性向上	2.39	21	19.産業の振興	1.81
9	18.生活安全の推進	2.36	22	9.生涯学習・文化の振興	1.80
10	12.公園・みどりの整備	2.36	23	7.学校教育環境の整備	1.78
11	15.市街地整備	2.29	24	8.青少年の育成	1.77
12	20.労働環境の向上	2.27	25	22.共感・共生のまちづくり	1.50
13	5.子育て支援	2.24			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。

重要度では「17.防災力の向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「17.防災力の向上」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「16-1.交通施設の整備」「3.高齢者の支援」であり、住みやすい生活環境や防災対策の向上を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通施設の整備を図ることが求められています。



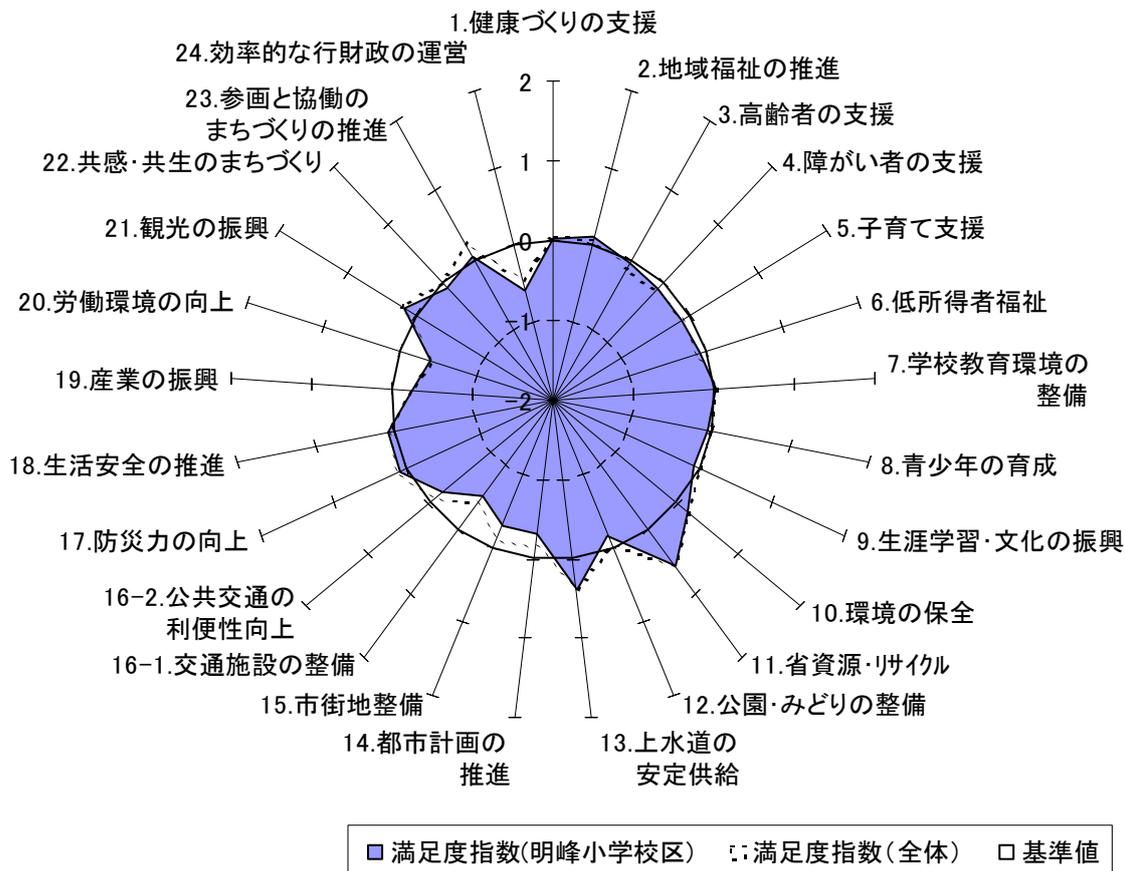
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	12.公園・みどりの整備		10.環境の保全
	15.市街地整備		11.省資源・リサイクル
	16-1.交通施設の整備		13.上水道の安定供給
	18.生活安全の推進		16-2.公共交通の利便性向上
③課題	4.障がい者の支援	④要検討	2.地域福祉の推進
	6.低所得者福祉		5.子育て支援
	7.学校教育環境の整備		21.観光の振興
	8.青少年の育成		22.共感・共生のまちづくり
	9.生涯学習・文化の振興		23.参画と協働のまちづくりの推進
	14.都市計画の推進		
	19.産業の振興		
	20.労働環境の向上		
24.効率的な行財政の運営			

⑥明峰小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「3.高齢者の支援」「6.低所得者福祉」「20.労働環境の向上」「18.生活安全の推進」など6項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「23.参画と協働のまちづくりの推進」「15.市街地整備」など17項目となっています。



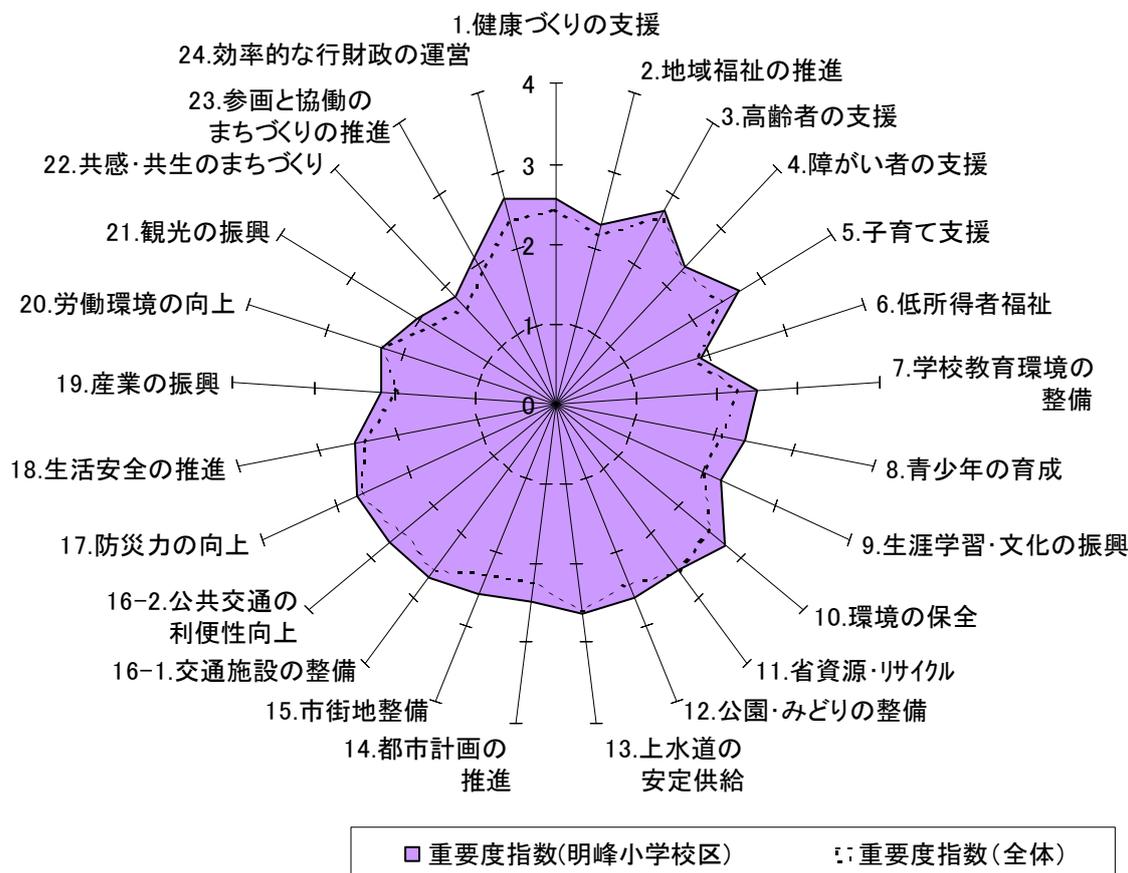
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.57	14	9.生涯学習・文化の振興	-0.07
2	13.上水道の安定供給	0.41	15	22.共感・共生のまちづくり	-0.07
3	21.観光の振興	0.17	16	4.障がい者の支援	-0.11
4	10.環境の保全	0.16	17	5.子育て支援	-0.12
5	18.生活安全の推進	0.11	18	12.公園・みどりの整備	-0.17
6	17.防災力の向上	0.10	19	16-2.公共交通の利便性向上	-0.20
7	2.地域福祉の推進	0.09	20	19.産業の振興	-0.26
8	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.06	21	14.都市計画の推進	-0.29
9	1.健康づくりの支援	0.03	22	15.市街地整備	-0.30
10	7.学校教育環境の整備	0.03	23	20.労働環境の向上	-0.39
11	3.高齢者の支援	-0.02	24	16-1.交通施設の整備	-0.52
12	8.青少年の育成	-0.06	25	24.効率的な行財政の運営	-0.57
13	6.低所得者福祉	-0.07			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「8.青少年の育成」「24.効率的な行財政の運営」「10.環境の保全」「15.市街地整備」「14.都市計画の推進」など 23 項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「11.省資源・リサイクル」「20.労働環境の向上」となっています。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

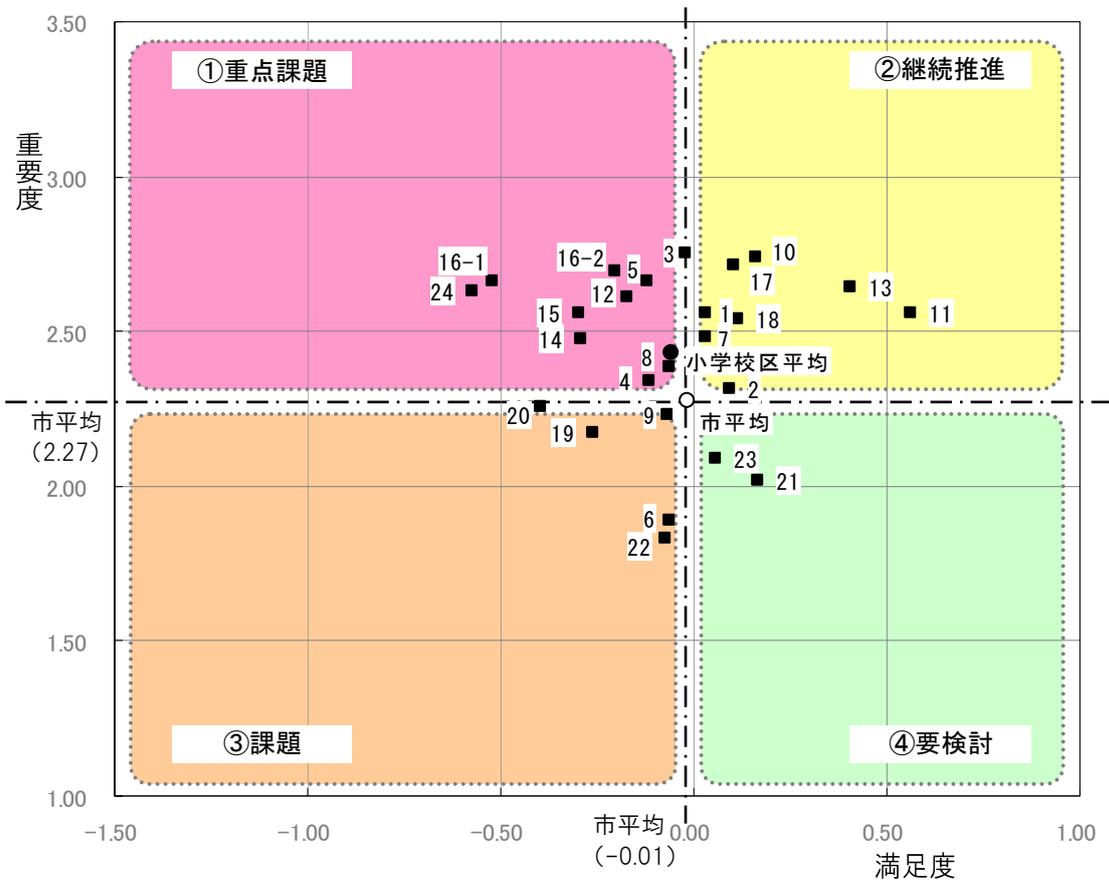
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.76	14	7.学校教育環境の整備	2.48
2	10.環境の保全	2.74	15	14.都市計画の推進	2.48
3	17.防災力の向上	2.71	16	8.青少年の育成	2.39
4	16-2.公共交通の利便性向上	2.69	17	4.障がい者の支援	2.34
5	5.子育て支援	2.67	18	2.地域福祉の推進	2.31
6	16-1.交通施設の整備	2.66	19	20.労働環境の向上	2.26
7	13.上水道の安定供給	2.64	20	9.生涯学習・文化の振興	2.23
8	24.効率的な行財政の運営	2.63	21	19.産業の振興	2.17
9	12.公園・みどりの整備	2.61	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	2.09
10	1.健康づくりの支援	2.56	23	21.観光の振興	2.02
11	15.市街地整備	2.56	24	6.低所得者福祉	1.89
12	11.省資源・リサイクル	2.56	25	22.共感・共生のまちづくり	1.83
13	18.生活安全の推進	2.54			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」「5.子育て支援」であり、高齢者の生活支援や子育てしやすい環境をつくるなど、子どもから高齢者まで住みやすい生活環境を維持・継続していくことが求められています。



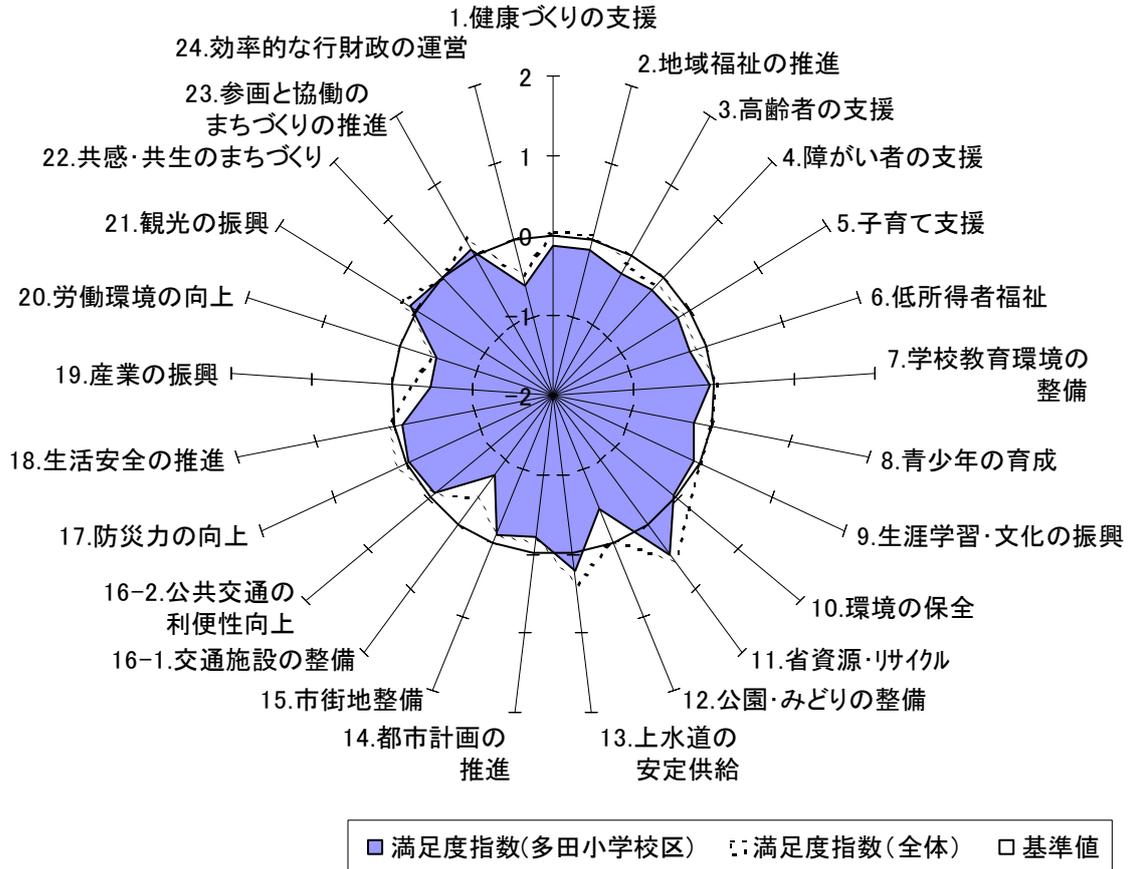
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		2.地域福祉の推進
	5.子育て支援		7.学校教育環境の整備
	8.青少年の育成		10.環境の保全
	12.公園・みどりの整備		11.省資源・リサイクル
	14.都市計画の推進		13.上水道の安定供給
	15.市街地整備		17.防災力の向上
	16-1.交通施設の整備		18.生活安全の推進
	16-2.公共交通の利便性向上		
	24.効率的な行財政の運営		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	21.観光の振興
	9.生涯学習・文化の振興		23.参画と協働のまちづくりの推進
	19.産業の振興		
	20.労働環境の向上		
	22.共感・共生のまちづくり		

⑦多田小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」の項目のみが上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「12.公園・みどりの整備」「16-1.交通施設の整備」「10.環境の保全」「19.産業の振興」など 23 項目となっています。



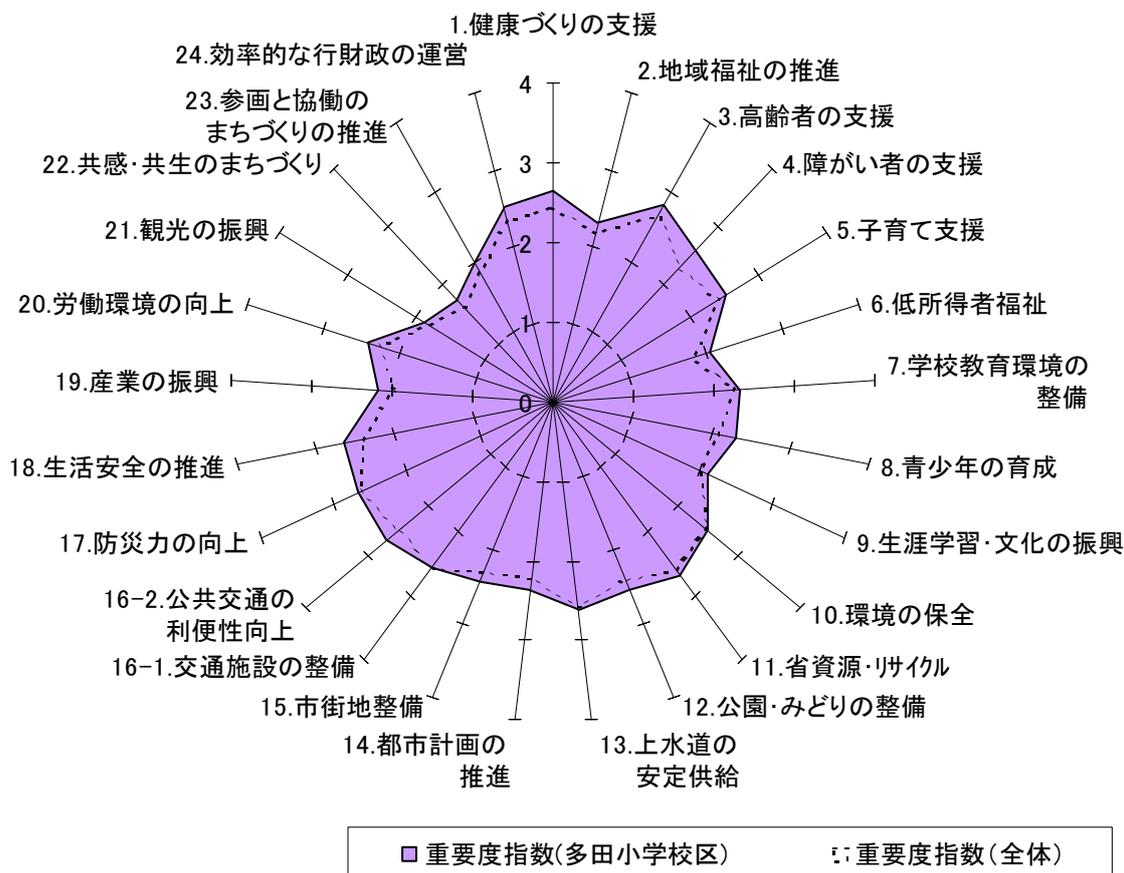
□ 順位(-0.01 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.47	14	15.市街地整備	-0.14
2	13.上水道の安定供給	0.23	15	5.子育て支援	-0.19
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.10	16	4.障がい者の支援	-0.21
4	21.観光の振興	0.09	17	14.都市計画の推進	-0.21
5	22.共感・共生のまちづくり	0.00	18	8.青少年の育成	-0.23
6	17.防災力の向上	-0.03	19	6.低所得者福祉	-0.23
7	10.環境の保全	-0.05	20	3.高齢者の支援	-0.25
8	7.学校教育環境の整備	-0.06	21	12.公園・みどりの整備	-0.45
9	9.生涯学習・文化の振興	-0.09	22	19.産業の振興	-0.47
10	16-2.公共交通の利便性向上	-0.09	23	20.労働環境の向上	-0.47
11	18.生活安全の推進	-0.11	24	24.効率的な行財政の運営	-0.56
12	1.健康づくりの支援	-0.13	25	16-1.交通施設の整備	-0.76
13	2.地域福祉の推進	-0.13			

□ 重要度

各項目における重要度については、全般的に全体の重要度指数よりも高く、特に「4.障がい者の支援」「8.青少年の育成」「6.低所得者福祉」「18.生活安全の推進」「19.産業の振興」などで高くなっています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目はなく、「16-1.交通施設の整備」が同値となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

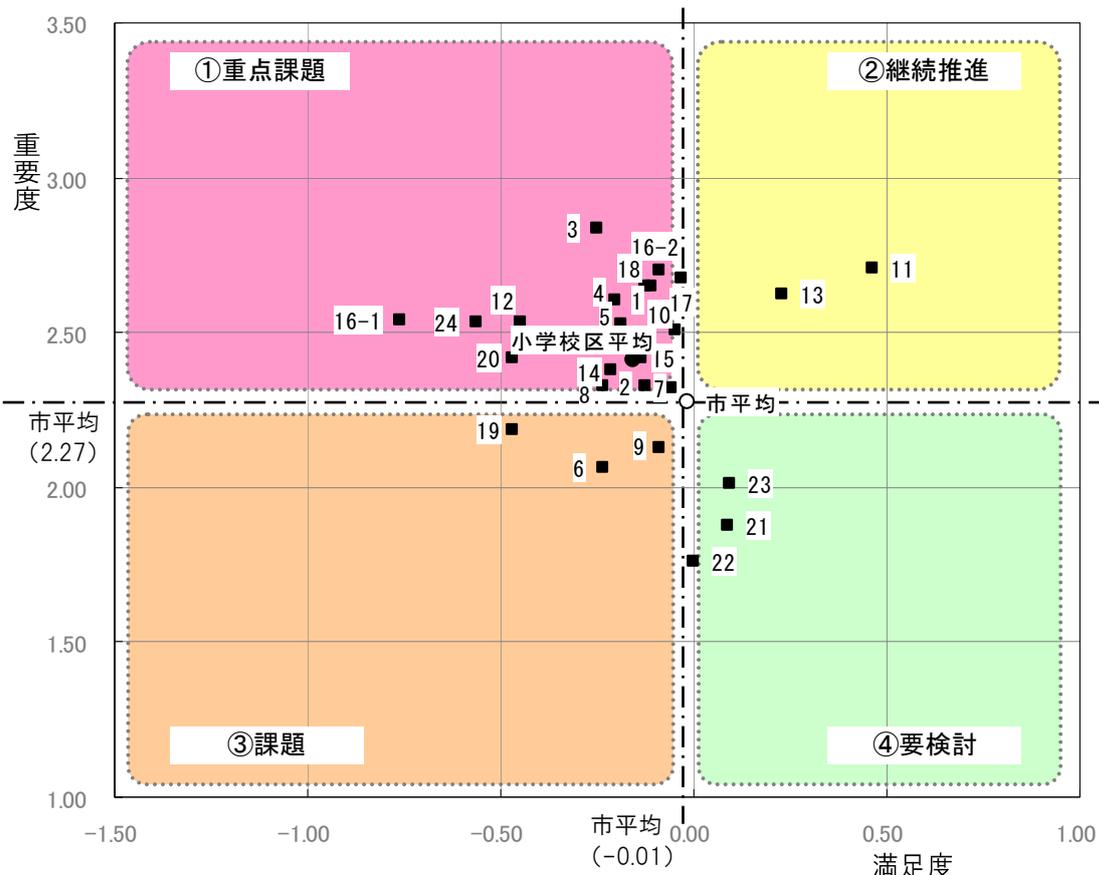
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.84	14	15.市街地整備	2.42
2	11.省資源・リサイクル	2.71	15	20.労働環境の向上	2.42
3	16-2.公共交通の利便性向上	2.70	16	14.都市計画の推進	2.38
4	17.防災力の向上	2.68	17	8.青少年の育成	2.33
5	18.生活安全の推進	2.65	18	2.地域福祉の推進	2.33
6	1.健康づくりの支援	2.65	19	7.学校教育環境の整備	2.32
7	13.上水道の安定供給	2.62	20	19.産業の振興	2.19
8	4.障がい者の支援	2.60	21	9.生涯学習・文化の振興	2.13
9	16-1.交通施設の整備	2.54	22	6.低所得者福祉	2.06
10	12.公園・みどりの整備	2.53	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	2.01
11	24.効率的な行財政の運営	2.53	24	21.観光の振興	1.87
12	5.子育て支援	2.52	25	22.共感・共生のまちづくり	1.76
13	10.環境の保全	2.51			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」「17.防災力の向上」であり、住みやすい生活環境や防災対策の向上を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



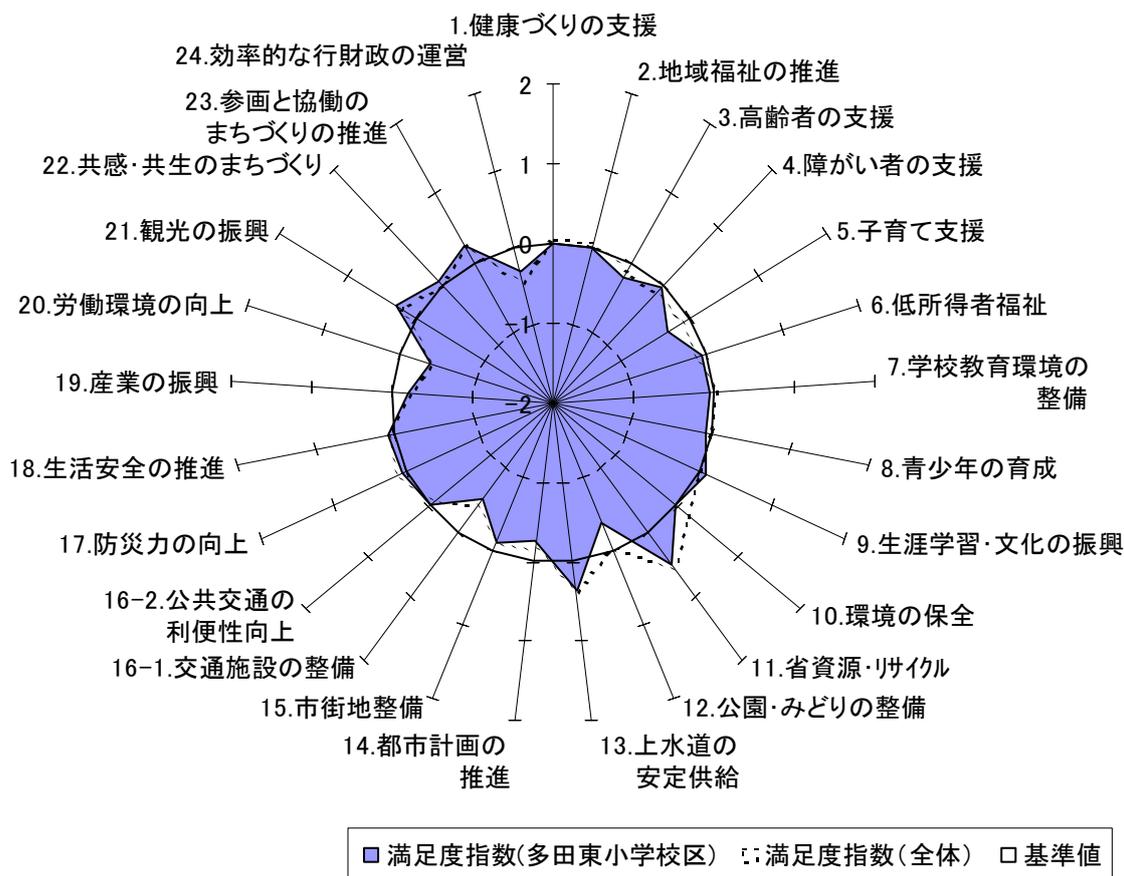
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	11.省資源・リサイクル
	2.地域福祉の推進		13.上水道の安定供給
	3.高齢者の支援		
	4.障がい者の支援		
	5.子育て支援		
	7.学校教育環境の整備		
	8.青少年の育成		
	10.環境の保全		
	12.公園・みどりの整備		
	14.都市計画の推進		
	15.市街地整備		
	16-1.交通施設の整備		
	16-2.公共交通の利便性向上		
	17.防災力の向上		
18.生活安全の推進			
20.労働環境の向上			
24.効率的な行財政の運営			
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	21.観光の振興
	9.生涯学習・文化の振興		22.共感・共生のまちづくり
	19.産業の振興		23.参画と協働のまちづくりの推進

⑧多田東小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「24.効率的な行財政の運営」「9.生涯学習・文化の振興」「21.観光の振興」「4.障がい者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」など 10 項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「12.公園・みどりの整備」「10.環境の保全」「5.子育て支援」など 15 項目となっています。



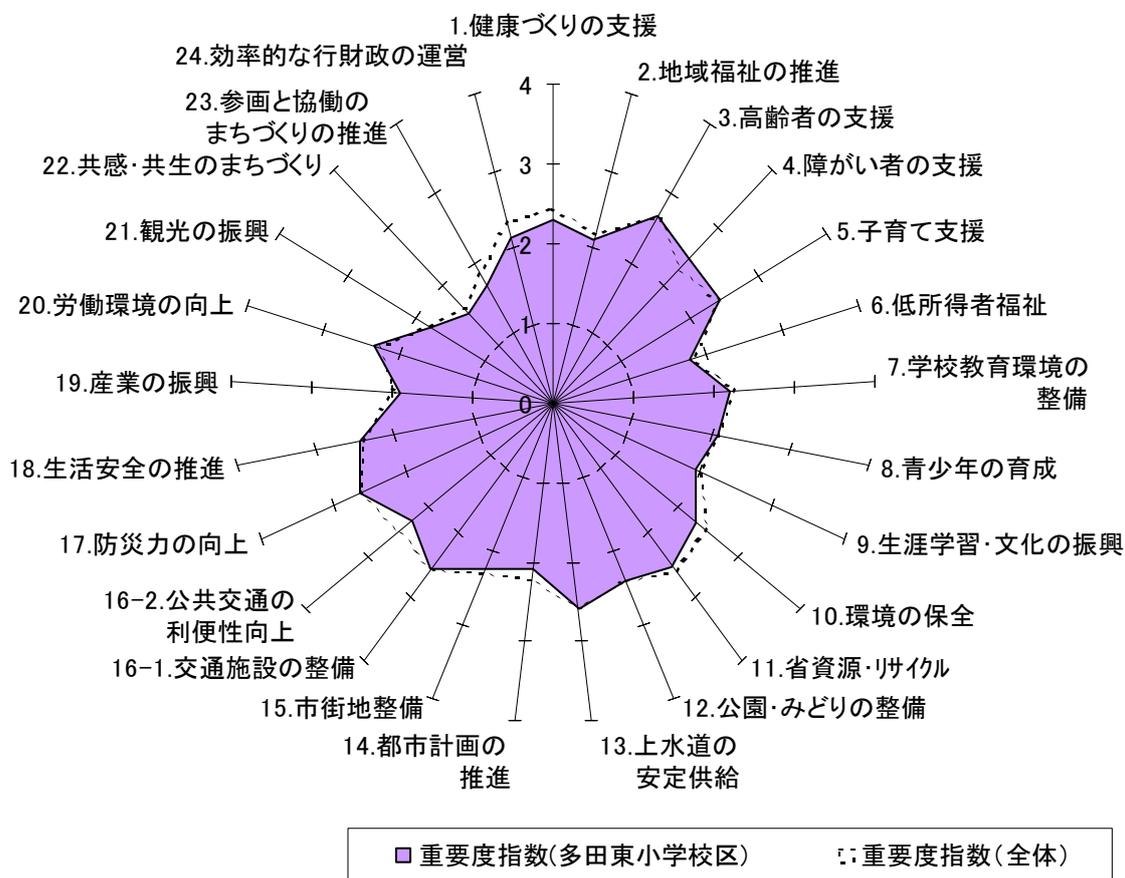
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.49	14	7.学校教育環境の整備	-0.05
2	13.上水道の安定供給	0.37	15	6.低所得者福祉	-0.06
3	21.観光の振興	0.30	16	8.青少年の育成	-0.07
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.26	17	15.市街地整備	-0.09
5	18.生活安全の推進	0.10	18	19.産業の振興	-0.20
6	9.生涯学習・文化の振興	0.10	19	3.高齢者の支援	-0.21
7	17.防災力の向上	0.08	20	14.都市計画の推進	-0.26
8	22.共感・共生のまちづくり	0.08	21	24.効率的な行財政の運営	-0.30
9	2.地域福祉の推進	-0.01	22	5.子育て支援	-0.32
10	1.健康づくりの支援	-0.01	23	12.公園・みどりの整備	-0.39
11	16-2.公共交通の利便性向上	-0.02	24	20.労働環境の向上	-0.40
12	10.環境の保全	-0.03	25	16-1.交通施設の整備	-0.53
13	4.障がい者の支援	-0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「4.障がい者の支援」「20.労働環境の向上」「16-1.交通施設の整備」など8項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「16-2.公共交通の利便性向上」「24.効率的な行財政の運営」など 15項目となっています。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

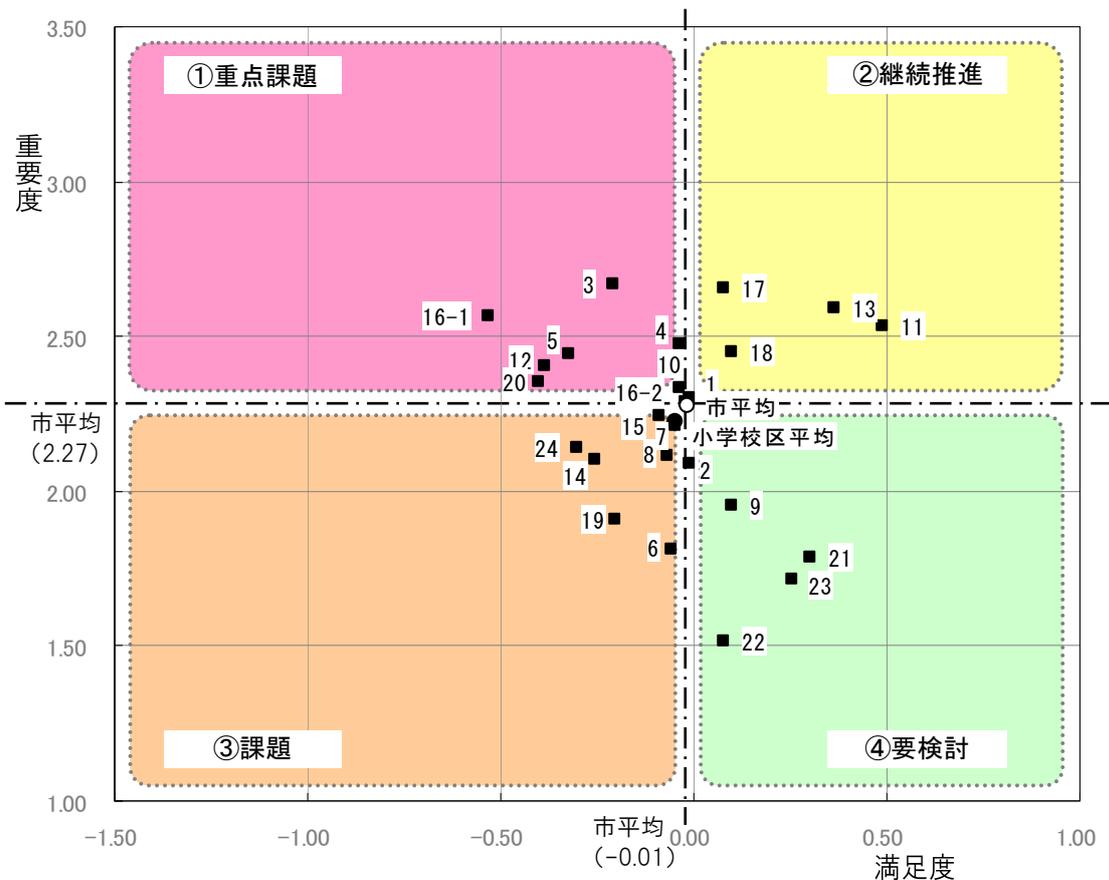
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.67	14	15.市街地整備	2.25
2	17.防災力の向上	2.66	15	7.学校教育環境の整備	2.21
3	13.上水道の安定供給	2.59	16	24.効率的な行財政の運営	2.14
4	16-1.交通施設の整備	2.57	17	8.青少年の育成	2.11
5	11.省資源・リサイクル	2.54	18	14.都市計画の推進	2.10
6	4.障がい者の支援	2.48	19	2.地域福祉の推進	2.09
7	18.生活安全の推進	2.45	20	9.生涯学習・文化の振興	1.96
8	5.子育て支援	2.45	21	19.産業の振興	1.91
9	12.公園・みどりの整備	2.40	22	6.低所得者福祉	1.81
10	20.労働環境の向上	2.36	23	21.観光の振興	1.79
11	10.環境の保全	2.34	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.71
12	1.健康づくりの支援	2.30	25	22.共感・共生のまちづくり	1.51
13	16-2.公共交通の利便性向上	2.29			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「4.障がい者の支援」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していくなかで、高齢者や障がい者の生活支援、また交通体系の整備を図ることが求められています。



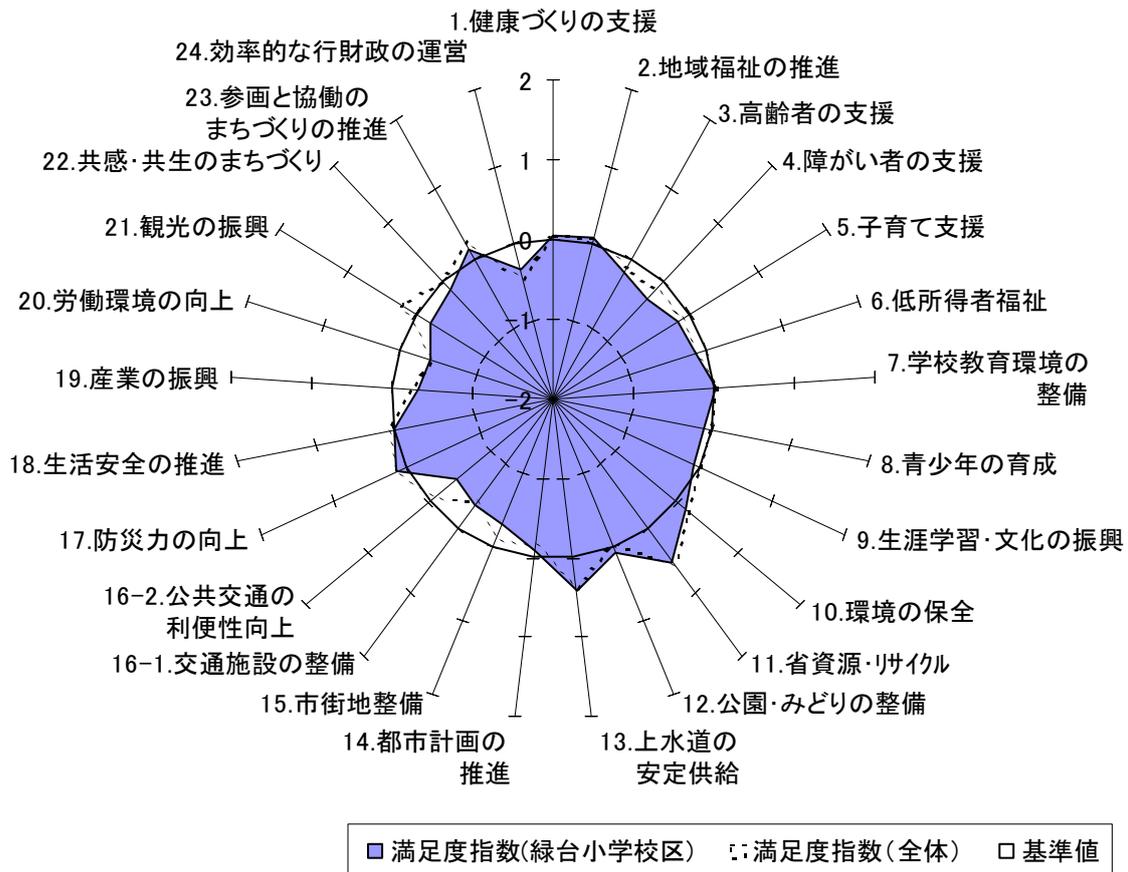
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		11.省資源・リサイクル
	5.子育て支援		13.上水道の安定供給
	10.環境の保全		17.防災力の向上
	12.公園・みどりの整備		18.生活安全の推進
	16-1.交通施設の整備		
	16-2.公共交通の利便性向上		
	20.労働環境の向上		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
	7.学校教育環境の整備		9.生涯学習・文化の振興
	8.青少年の育成		21.観光の振興
	14.都市計画の推進		22.共感・共生のまちづくり
	15.市街地整備		23.参画と協働のまちづくりの推進
	19.産業の振興		
24.効率的な行財政の運営			

⑨緑台小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「24.効率的な行財政の運営」「12.公園・みどりの整備」「14.都市計画の推進」「16-1.交通施設の整備」「20.労働環境の向上」など7項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「21.観光の振興」「16-2.公共交通の利便性向上」など15項目となっています。



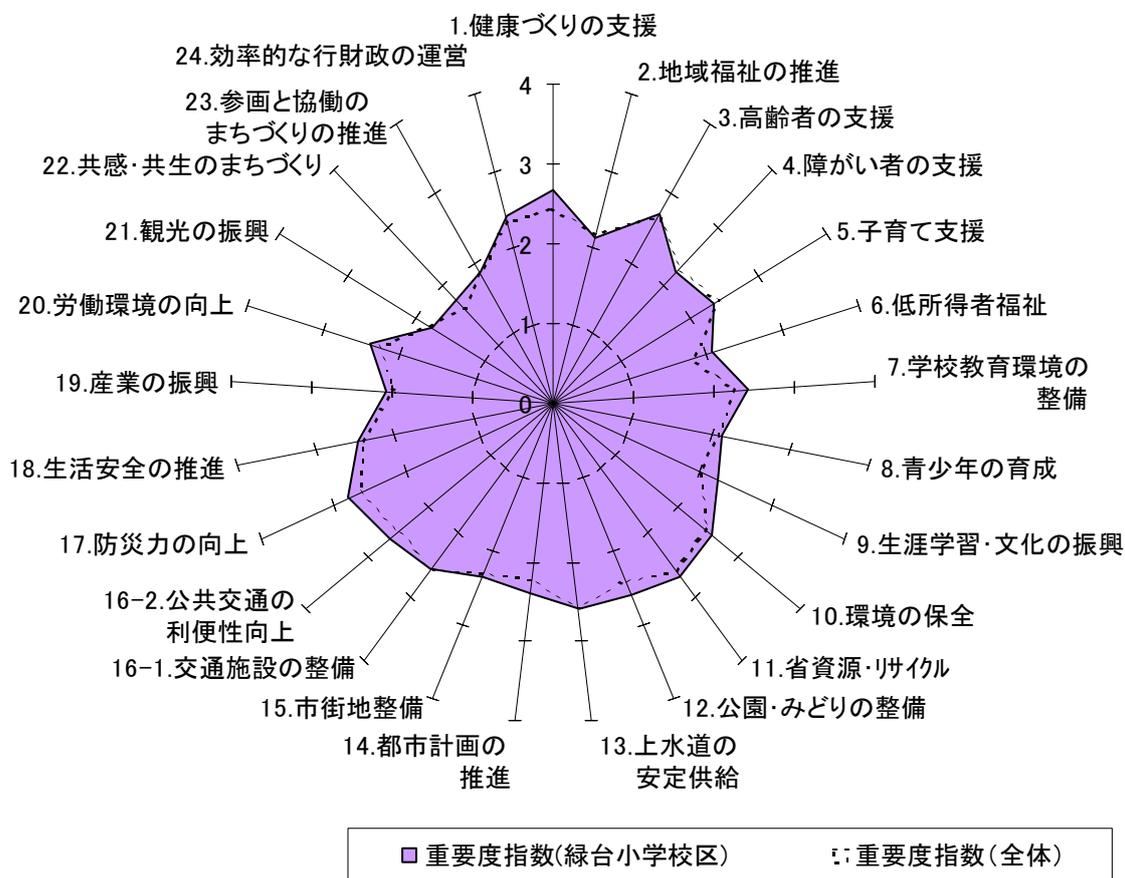
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.52	14	22.共感・共生のまちづくり	-0.12
2	13.上水道の安定供給	0.43	15	6.低所得者福祉	-0.12
3	17.防災力の向上	0.16	16	5.子育て支援	-0.17
4	10.環境の保全	0.16	17	3.高齢者の支援	-0.17
5	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.14	18	21.観光の振興	-0.19
6	12.公園・みどりの整備	0.09	19	4.障がい者の支援	-0.28
7	2.地域福祉の推進	0.09	20	15.市街地整備	-0.31
8	1.健康づくりの支援	0.05	21	19.産業の振興	-0.33
9	7.学校教育環境の整備	0.02	22	24.効率的な行財政の運営	-0.33
10	18.生活安全の推進	0.00	23	16-1.交通施設の整備	-0.34
11	14.都市計画の推進	-0.07	24	20.労働環境の向上	-0.40
12	9.生涯学習・文化の振興	-0.07	25	16-2.公共交通の利便性向上	-0.43
13	8.青少年の育成	-0.10			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「9.生涯学習・文化の振興」「1.健康づくりの支援」「6.低所得者福祉」「12.公園・みどりの整備」など20項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「5.子育て支援」「21.観光の振興」など5項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

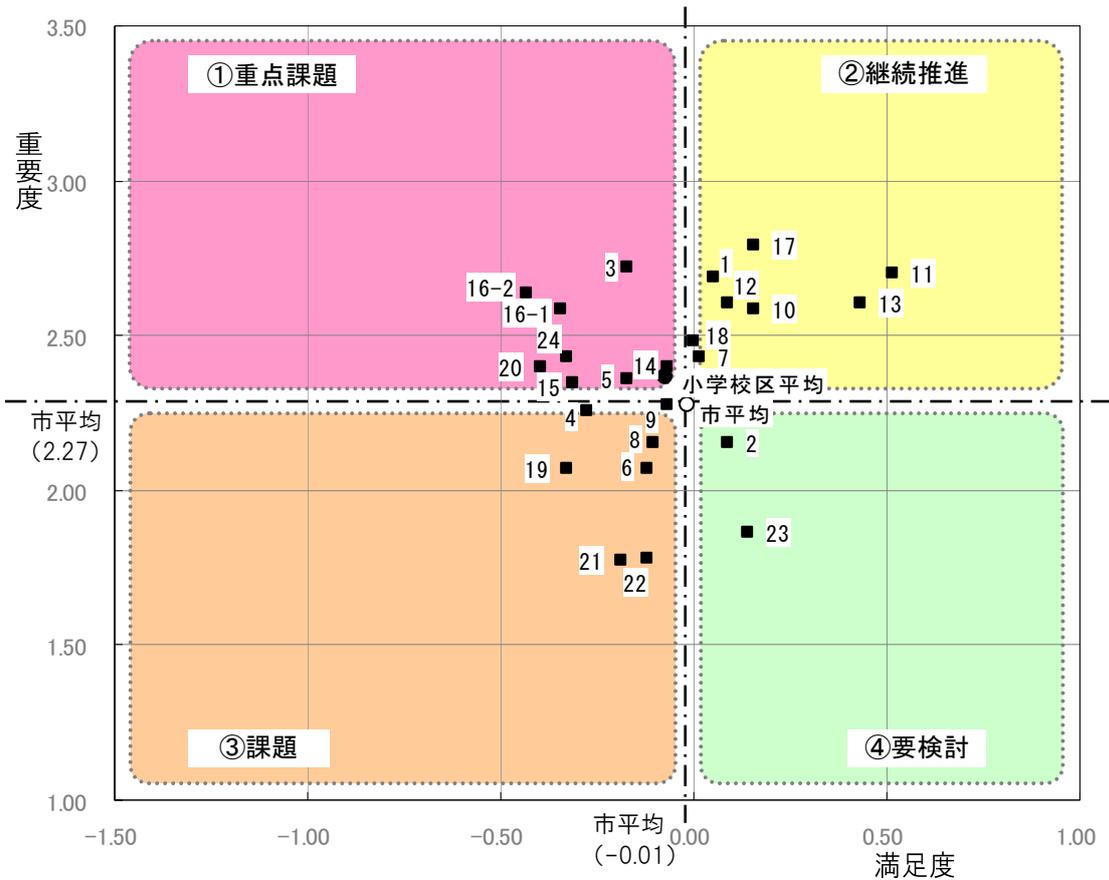
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.79	14	14.都市計画の推進	2.40
2	3.高齢者の支援	2.72	15	5.子育て支援	2.36
3	11.省資源・リサイクル	2.70	16	15.市街地整備	2.35
4	1.健康づくりの支援	2.69	17	9.生涯学習・文化の振興	2.27
5	16-2.公共交通の利便性向上	2.64	18	4.障がい者の支援	2.26
6	13.上水道の安定供給	2.61	19	2.地域福祉の推進	2.16
7	12.公園・みどりの整備	2.60	20	8.青少年の育成	2.16
8	16-1.交通施設の整備	2.59	21	19.産業の振興	2.07
9	10.環境の保全	2.58	22	6.低所得者福祉	2.07
10	18.生活安全の推進	2.49	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.86
11	7.学校教育環境の整備	2.43	24	22.共感・共生のまちづくり	1.78
12	24.効率的な行財政の運営	2.43	25	21.観光の振興	1.78
13	20.労働環境の向上	2.40			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-2.公共交通の利便性向上」が最も低くなっています。

重要度では「17.防災力の向上」が最も高く、「21.観光の振興」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



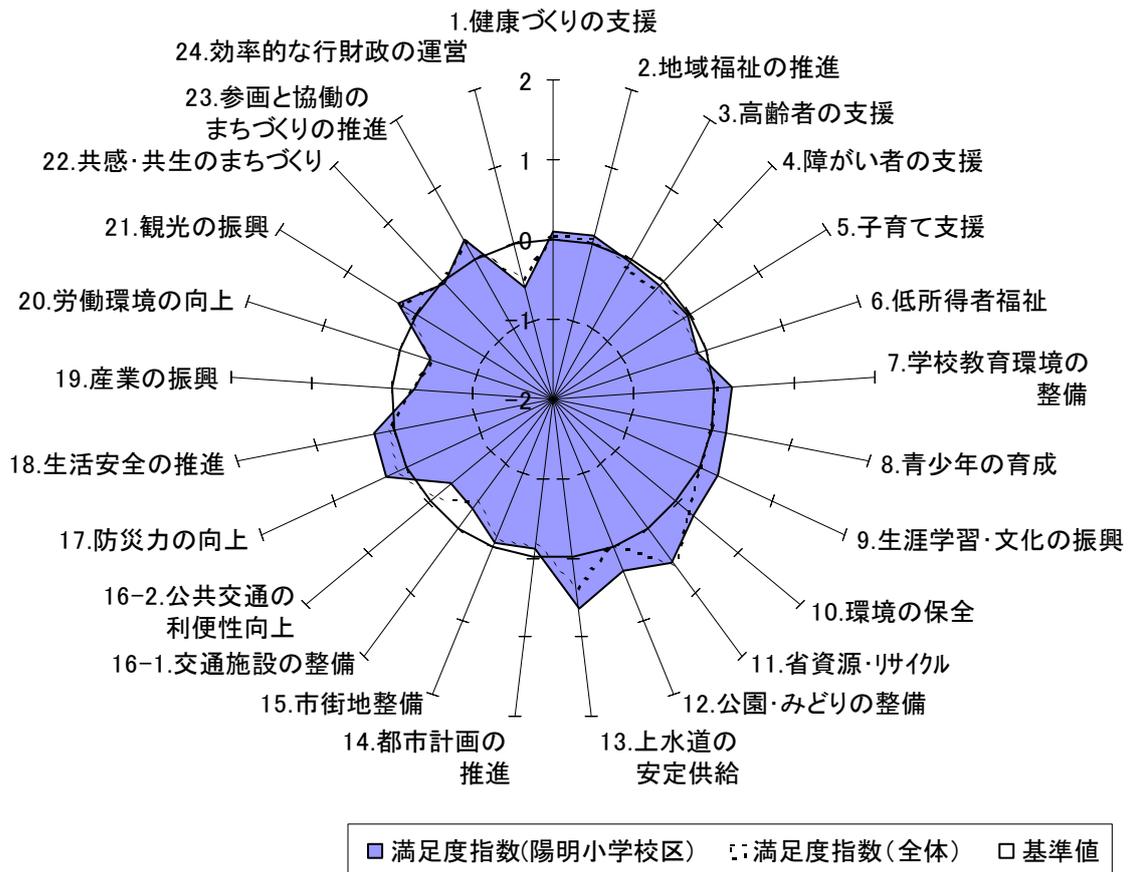
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	5.子育て支援		7.学校教育環境の整備
	14.都市計画の推進		10.環境の保全
	15.市街地整備		11.省資源・リサイクル
	16-1.交通施設の整備		12.公園・みどりの整備
	16-2.公共交通の利便性向上		13.上水道の安定供給
	20.労働環境の向上		17.防災力の向上
24.効率的な行財政の運営	18.生活安全の推進		
③課題	4.障がい者の支援	④要検討	2.地域福祉の推進
	6.低所得者福祉		23.参画と協働のまちづくりの推進
	8.青少年の育成		
	9.生涯学習・文化の振興		
	19.産業の振興		
	21.観光の振興		
22.共感・共生のまちづくり			

⑩陽明小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「12.公園・みどりの整備」「9.生涯学習・文化の振興」「13.上水道の安定供給」「8.青少年の育成」「7.学校教育環境の整備」など20項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「16-2.公共交通の利便性向上」「24.効率的な行財政の運営」など5項目となっています。



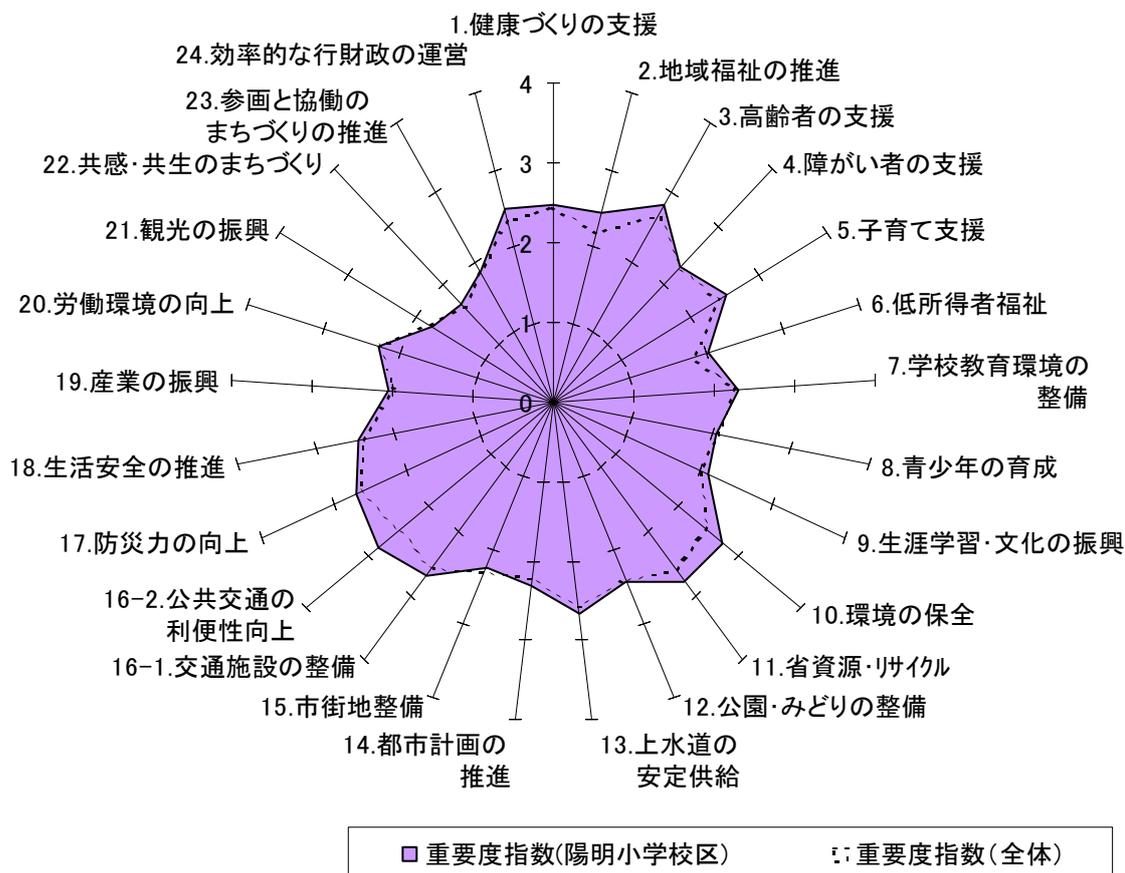
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	13.上水道の安定供給	0.64	14	22.共感・共生のまちづくり	-0.01
2	11.省資源・リサイクル	0.52	15	5.子育て支援	-0.03
3	12.公園・みどりの整備	0.32	16	3.高齢者の支援	-0.03
4	17.防災力の向上	0.30	17	4.障がい者の支援	-0.06
5	21.観光の振興	0.28	18	15.市街地整備	-0.06
6	10.環境の保全	0.28	19	6.低所得者福祉	-0.11
7	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.27	20	14.都市計画の推進	-0.11
8	18.生活安全の推進	0.27	21	19.産業の振興	-0.27
9	9.生涯学習・文化の振興	0.25	22	16-1.交通施設の整備	-0.30
10	7.学校教育環境の整備	0.24	23	16-2.公共交通の利便性向上	-0.35
11	8.青少年の育成	0.20	24	20.労働環境の向上	-0.41
12	2.地域福祉の推進	0.11	25	24.効率的な行財政の運営	-0.54
13	1.健康づくりの支援	0.11			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「10.環境の保全」「2.地域福祉の推進」「6.低所得者福祉」「11.省資源・リサイクル」など 21 項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「15.市街地整備」「21.観光の振興」など3項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

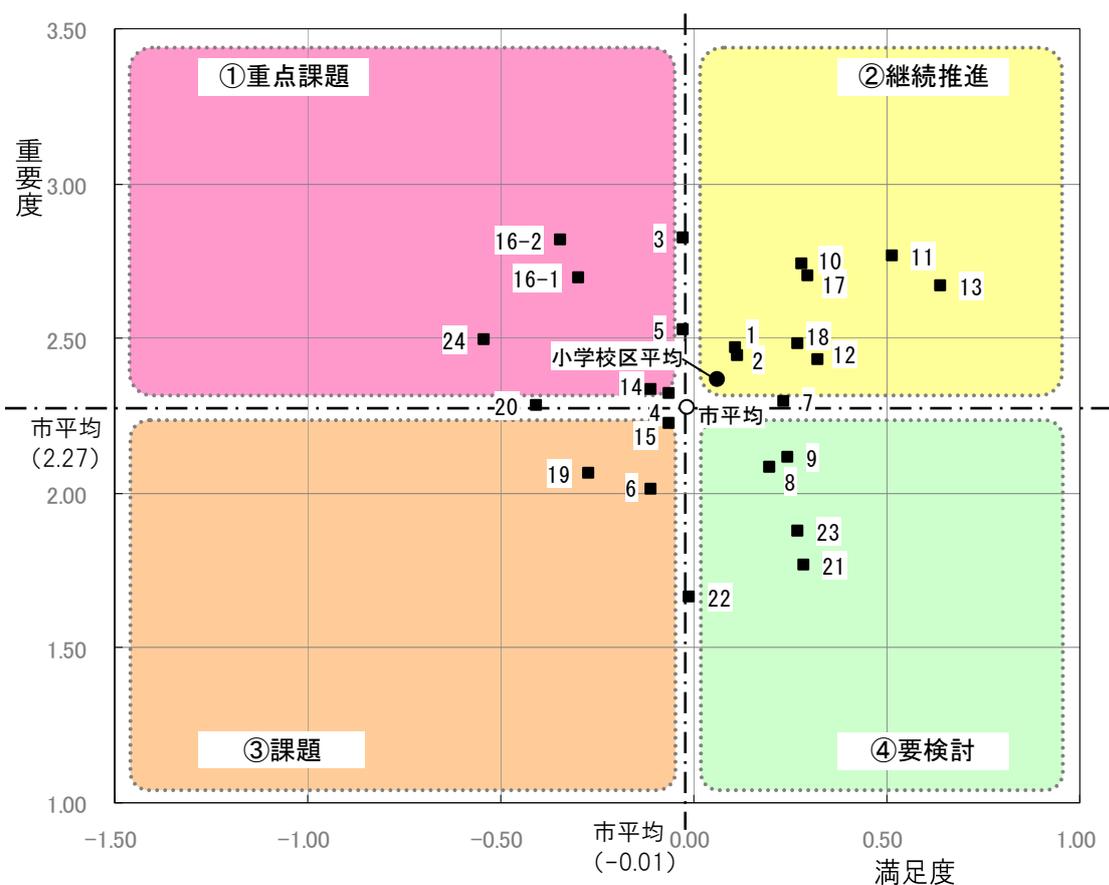
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.83	14	14.都市計画の推進	2.33
2	16-2.公共交通の利便性向上	2.82	15	4.障がい者の支援	2.32
3	11.省資源・リサイクル	2.77	16	7.学校教育環境の整備	2.30
4	10.環境の保全	2.74	17	20.労働環境の向上	2.28
5	17.防災力の向上	2.70	18	15.市街地整備	2.22
6	16-1.交通施設の整備	2.70	19	9.生涯学習・文化の振興	2.11
7	13.上水道の安定供給	2.67	20	8.青少年の育成	2.09
8	5.子育て支援	2.53	21	19.産業の振興	2.06
9	24.効率的な行財政の運営	2.49	22	6.低所得者福祉	2.01
10	18.生活安全の推進	2.48	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.88
11	1.健康づくりの支援	2.47	24	21.観光の振興	1.76
12	2.地域福祉の推進	2.44	25	22.共感・共生のまちづくり	1.67
13	12.公園・みどりの整備	2.43			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「13.上水道の安定供給」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「13.上水道の安定供給」「11.省資源・リサイクル」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



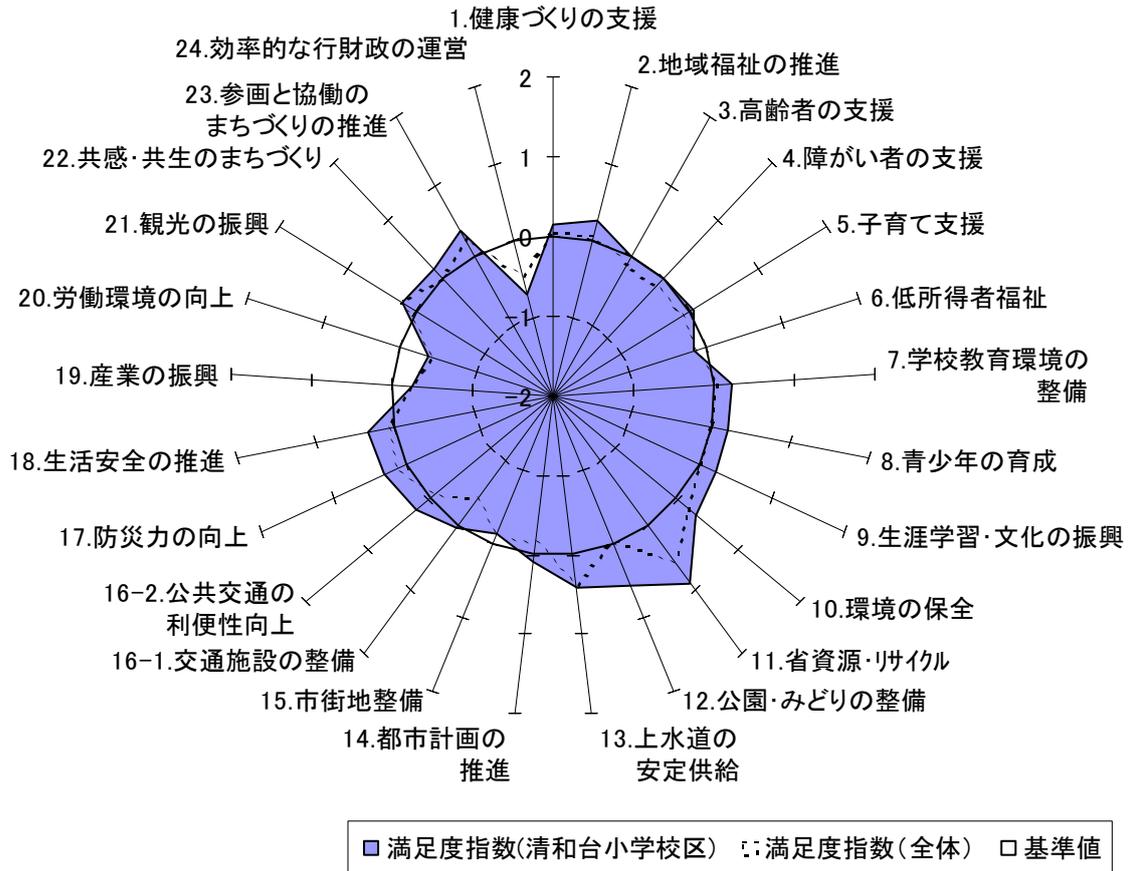
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		2.地域福祉の推進
	5.子育て支援		7.学校教育環境の整備
	14.都市計画の推進		10.環境の保全
	16-1.交通施設の整備		11.省資源・リサイクル
	16-2.公共交通の利便性向上		12.公園・みどりの整備
	20.労働環境の向上		13.上水道の安定供給
	24.効率的な行財政の運営		17.防災力の向上
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	18.生活安全の推進
	15.市街地整備		8.青少年の育成
	19.産業の振興		9.生涯学習・文化の振興
			21.観光の振興
			22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

⑪清和台小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「12.公園・みどりの整備」「16-1.交通施設の整備」「11.省資源・リサイクル」「16-2.公共交通の利便性向上」「8.青少年の育成」「14.都市計画の推進」など20項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「24.効率的な行財政の運営」「6.低所得者福祉」など5項目となっています。



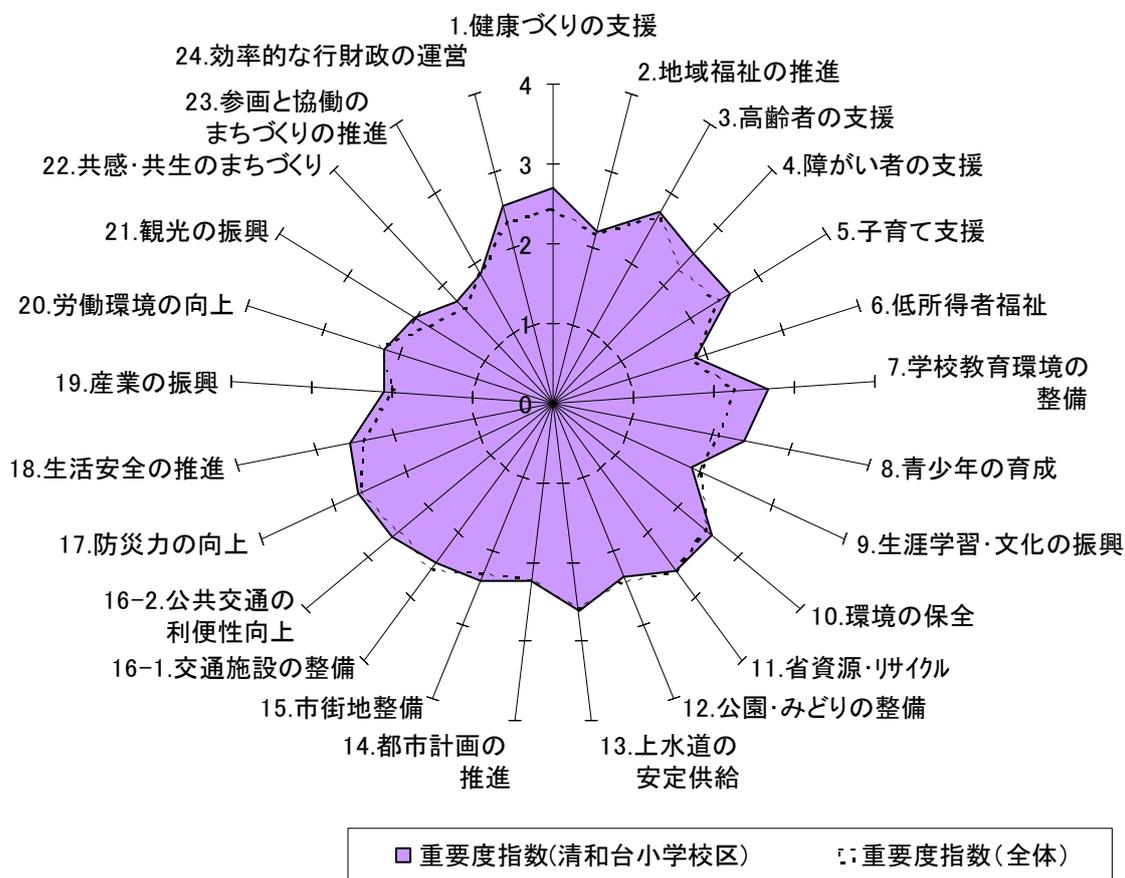
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.91	14	22.共感・共生のまちづくり	0.18
2	12.公園・みどりの整備	0.58	15	1.健康づくりの支援	0.14
3	13.上水道の安定供給	0.44	16	14.都市計画の推進	0.11
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.38	17	16-1.交通施設の整備	0.06
5	18.生活安全の推進	0.35	18	5.子育て支援	0.05
6	10.環境の保全	0.33	19	4.障がい者の支援	0.00
7	17.防災力の向上	0.33	20	3.高齢者の支援	0.00
8	2.地域福祉の推進	0.27	21	15.市街地整備	-0.15
9	8.青少年の育成	0.24	22	6.低所得者福祉	-0.15
10	9.生涯学習・文化の振興	0.24	23	19.産業の振興	-0.26
11	7.学校教育環境の整備	0.22	24	20.労働環境の向上	-0.38
12	16-2.公共交通の利便性向上	0.22	25	24.効率的な行財政の運営	-0.67
13	21.観光の振興	0.20			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「7.学校教育環境の整備」「8.青少年の育成」「1.健康づくりの支援」「4.障がい者の支援」など19項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「9.生涯学習・文化の振興」「20.労働環境の向上」など5項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

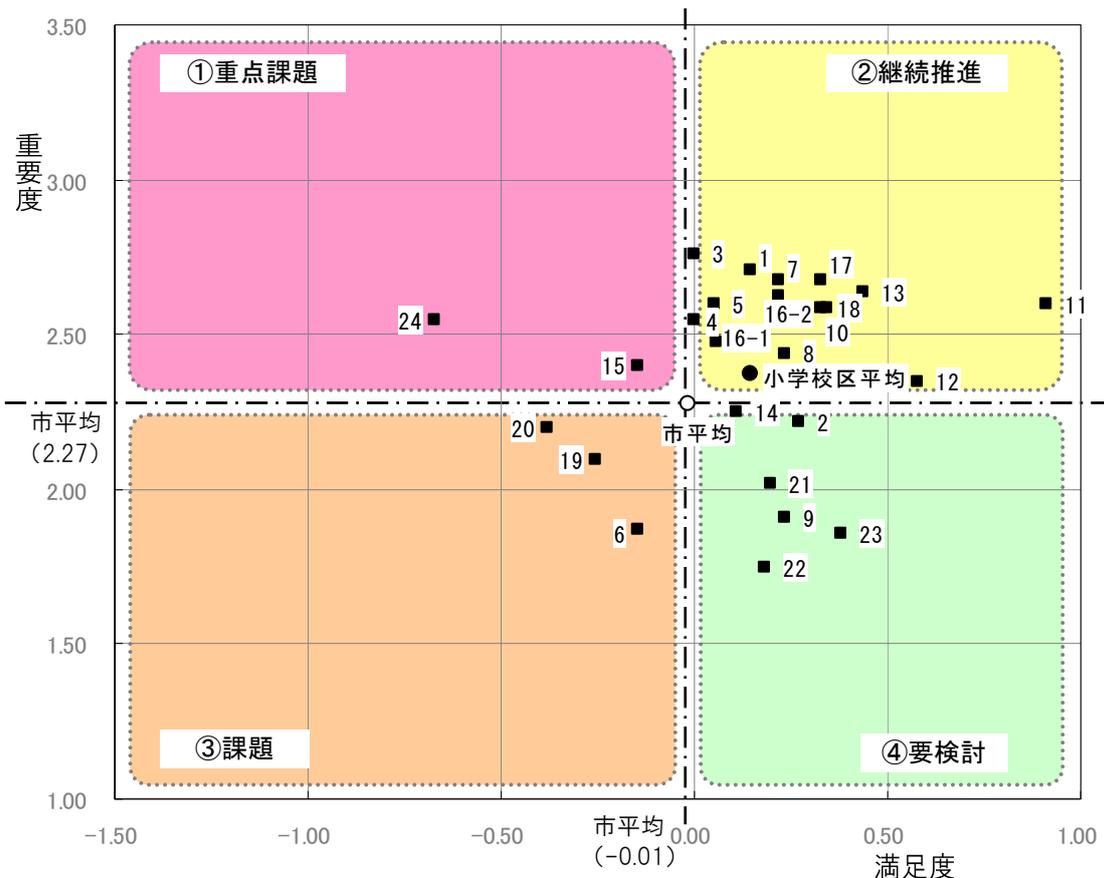
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.76	14	8.青少年の育成	2.44
2	1.健康づくりの支援	2.71	15	15.市街地整備	2.40
3	7.学校教育環境の整備	2.67	16	12.公園・みどりの整備	2.35
4	17.防災力の向上	2.67	17	14.都市計画の推進	2.25
5	13.上水道の安定供給	2.64	18	2.地域福祉の推進	2.22
6	16-2.公共交通の利便性向上	2.62	19	20.労働環境の向上	2.20
7	11.省資源・リサイクル	2.60	20	19.産業の振興	2.09
8	5.子育て支援	2.60	21	21.観光の振興	2.02
9	18.生活安全の推進	2.58	22	9.生涯学習・文化の振興	1.91
10	10.環境の保全	2.58	23	6.低所得者福祉	1.87
11	24.効率的な行財政の運営	2.55	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.85
12	4.障がい者の支援	2.54	25	22.共感・共生のまちづくり	1.75
13	16-1.交通施設の整備	2.48			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「15.市街地整備」「24.効率的な行財政の運営」であり、住みやすい生活環境を維持・継続しながら、市街地の整備や無駄のない効率的な行財政の運営などが求められています。



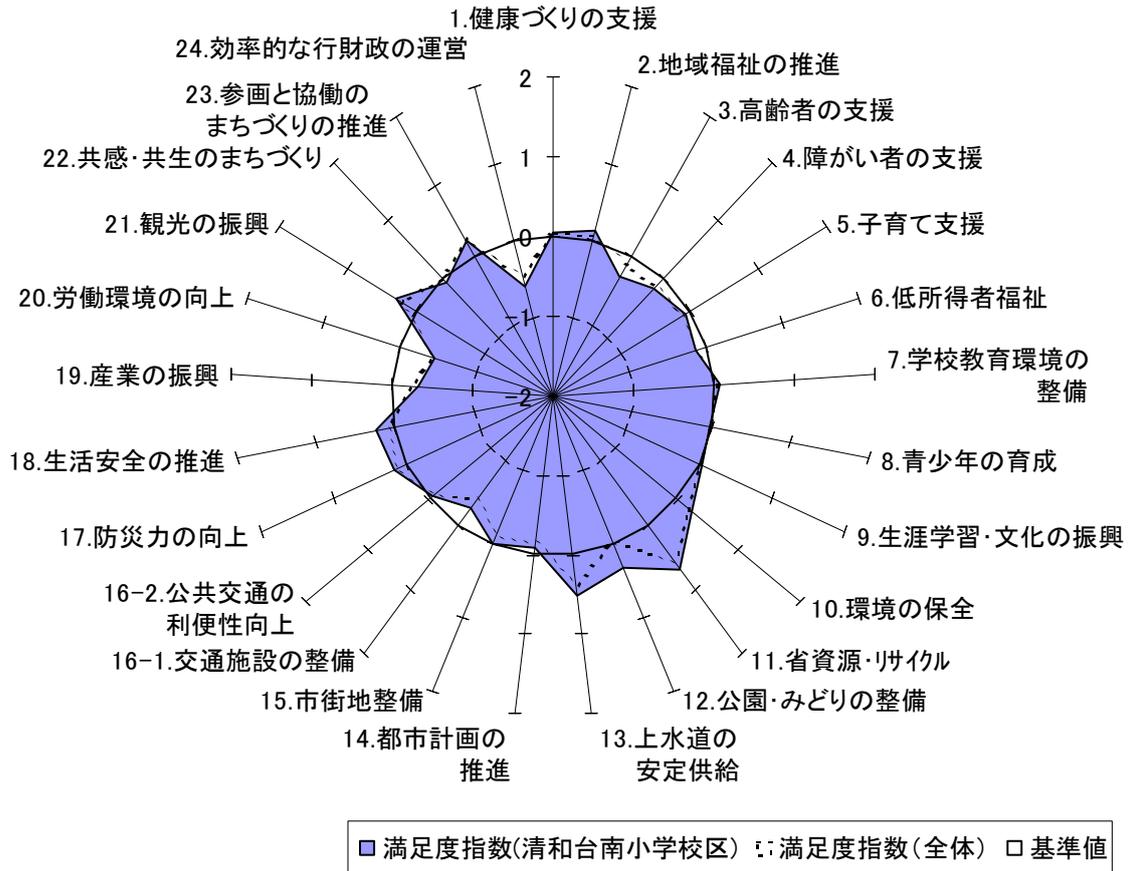
①重点課題	15.市街地整備 24.効率的な行財政の運営	②継続推進	1.健康づくりの支援 3.高齢者の支援 4.障がい者の支援 5.子育て支援 7.学校教育環境の整備 8.青少年の育成 10.環境の保全 11.省資源・リサイクル 12.公園・みどりの整備 13.上水道の安定供給 16-1.交通施設の整備 16-2.公共交通の利便性向上 17.防災力の向上 18.生活安全の推進
	③課題		6.低所得者福祉 19.産業の振興 20.労働環境の向上

⑫清和台南小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「12.公園・みどりの整備」「18.生活安全の推進」「15.市街地整備」「16-1.交通施設の整備」「11.省資源・リサイクル」など16項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「3.高齢者の支援」「19.産業の振興」「22.共感・共生のまちづくり」など8項目となっています。



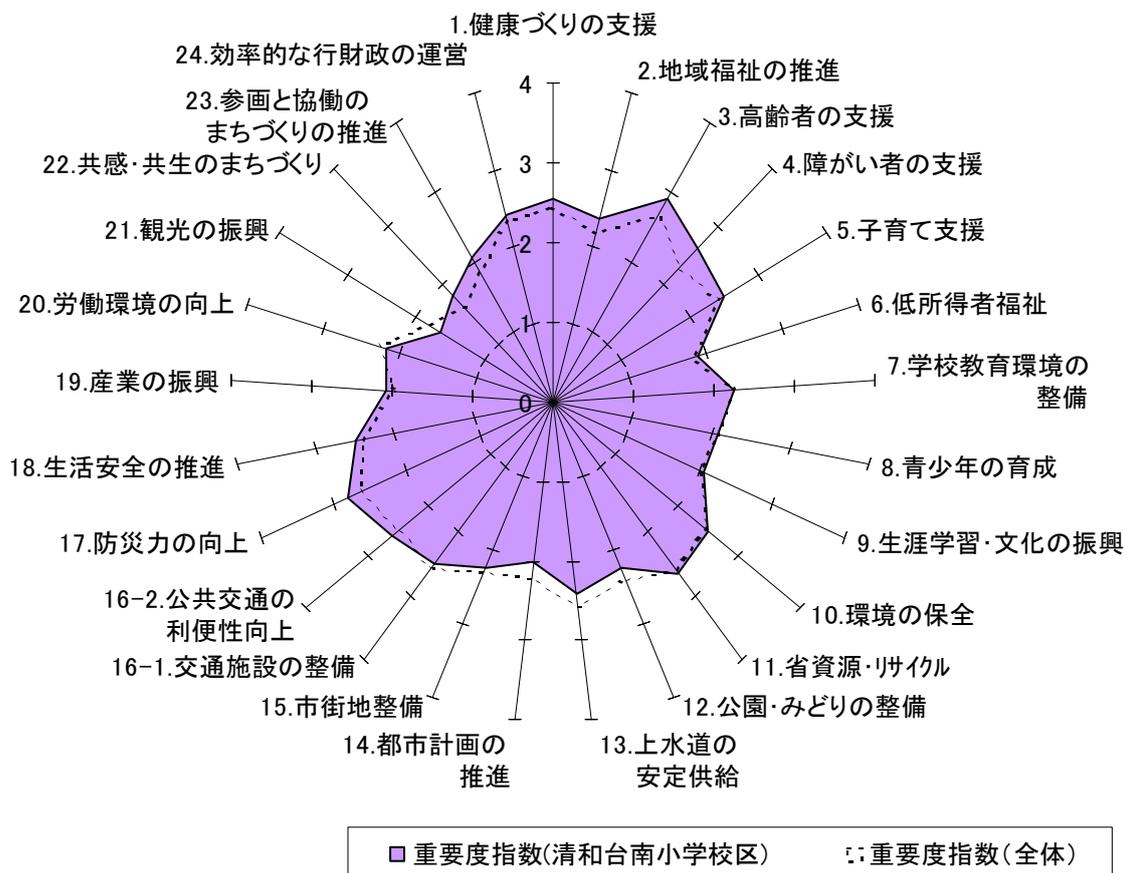
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.69	14	8.青少年の育成	-0.01
2	13.上水道の安定供給	0.52	15	5.子育て支援	-0.04
3	12.公園・みどりの整備	0.33	16	16-2.公共交通の利便性向上	-0.05
4	21.観光の振興	0.29	17	22.共感・共生のまちづくり	-0.05
5	10.環境の保全	0.25	18	14.都市計画の推進	-0.08
6	18.生活安全の推進	0.25	19	6.低所得者福祉	-0.12
7	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.21	20	4.障がい者の支援	-0.16
8	17.防災力の向上	0.17	21	16-1.交通施設の整備	-0.27
9	2.地域福祉の推進	0.16	22	3.高齢者の支援	-0.28
10	7.学校教育環境の整備	0.07	23	19.産業の振興	-0.32
11	1.健康づくりの支援	0.05	24	20.労働環境の向上	-0.44
12	9.生涯学習・文化の振興	0.04	25	24.効率的な行財政の運営	-0.59
13	15.市街地整備	0.00			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「4.障がい者の支援」「3.高齢者の支援」「22.共感・共生のまちづくり」「23.参画と協働のまちづくりの推進」など17項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「14.都市計画の推進」「21.観光の振興」「13.上水道の安定供給」など7項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

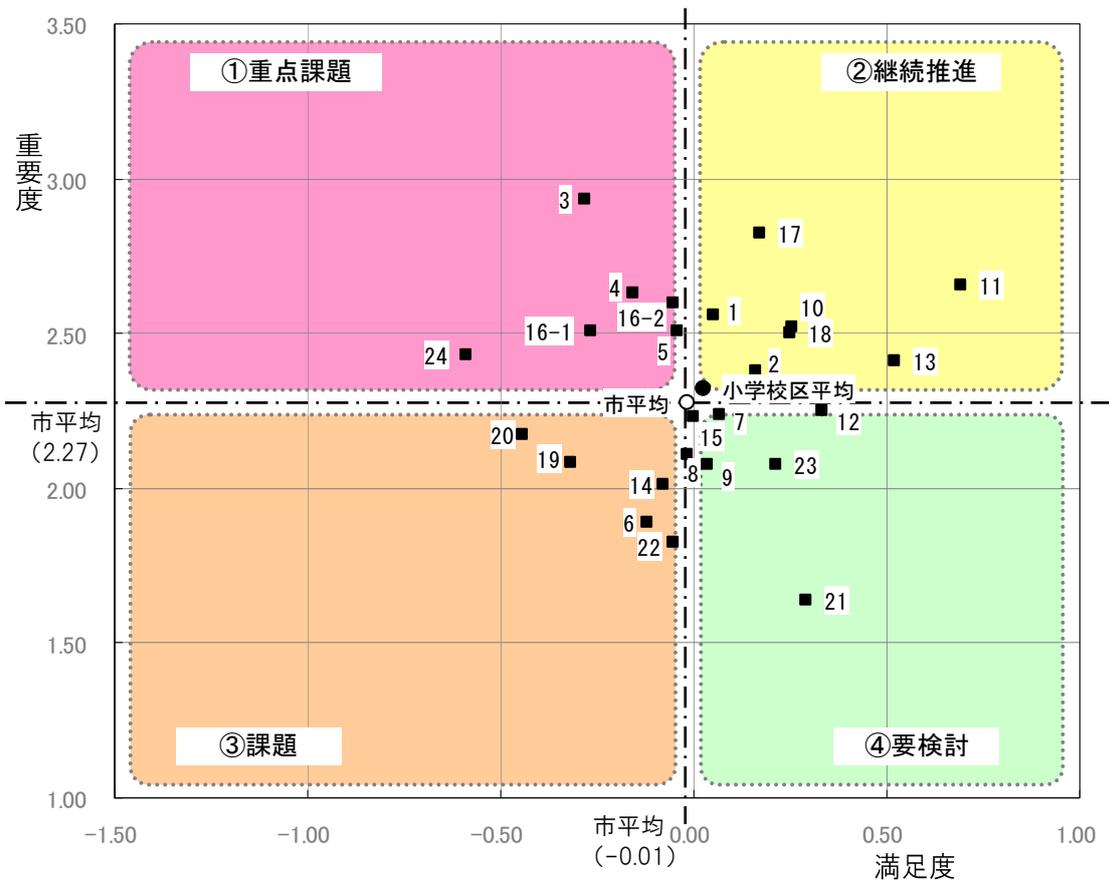
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.94	14	12.公園・みどりの整備	2.25
2	17.防災力の向上	2.83	15	7.学校教育環境の整備	2.24
3	11.省資源・リサイクル	2.66	16	15.市街地整備	2.23
4	4.障がい者の支援	2.63	17	20.労働環境の向上	2.17
5	16-2.公共交通の利便性向上	2.60	18	8.青少年の育成	2.11
6	1.健康づくりの支援	2.56	19	19.産業の振興	2.08
7	10.環境の保全	2.52	20	23.参画と協働のまちづくりの推進	2.08
8	5.子育て支援	2.51	21	9.生涯学習・文化の振興	2.08
9	16-1.交通施設の整備	2.51	22	14.都市計画の推進	2.01
10	18.生活安全の推進	2.50	23	6.低所得者福祉	1.89
11	24.効率的な行財政の運営	2.43	24	22.共感・共生のまちづくり	1.83
12	13.上水道の安定供給	2.41	25	21.観光の振興	1.64
13	2.地域福祉の推進	2.38			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「21.観光の振興」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「17.防災力の向上」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「4.障がい者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境や防災対策の向上を維持・継続していくなかで、高齢者や障がい者の生活支援、また交通体系の整備を図ることなどが求められています。



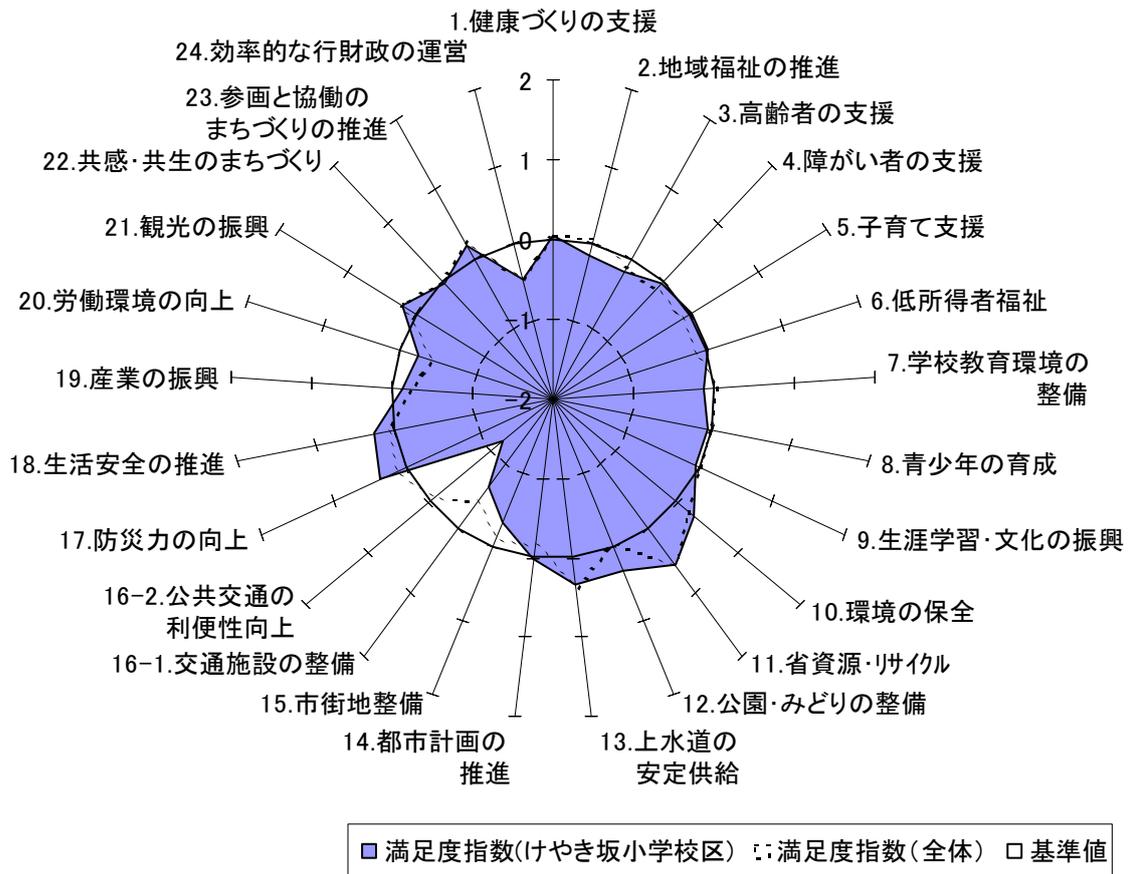
①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		2.地域福祉の推進
	5.子育て支援		10.環境の保全
	16-1.交通施設の整備		11.省資源・リサイクル
	16-2.公共交通の利便性向上		13.上水道の安定供給
	24.効率的な行財政の運営		17.防災力の向上
			18.生活安全の推進
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	7.学校教育環境の整備
	14.都市計画の推進		8.青少年の育成
	19.産業の振興		9.生涯学習・文化の振興
	20.労働環境の向上		12.公園・みどりの整備
	22.共感・共生のまちづくり		15.市街地整備
	21.観光の振興		
	23.参画と協働のまちづくりの推進		

⑬けやき坂小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「12.公園・みどりの整備」「17.防災力の向上」「14.都市計画の推進」「18.生活安全の推進」「20.労働環境の向上」など 12 項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「16-1.交通施設の整備」「2.地域福祉の推進」など 12 項目となっています。



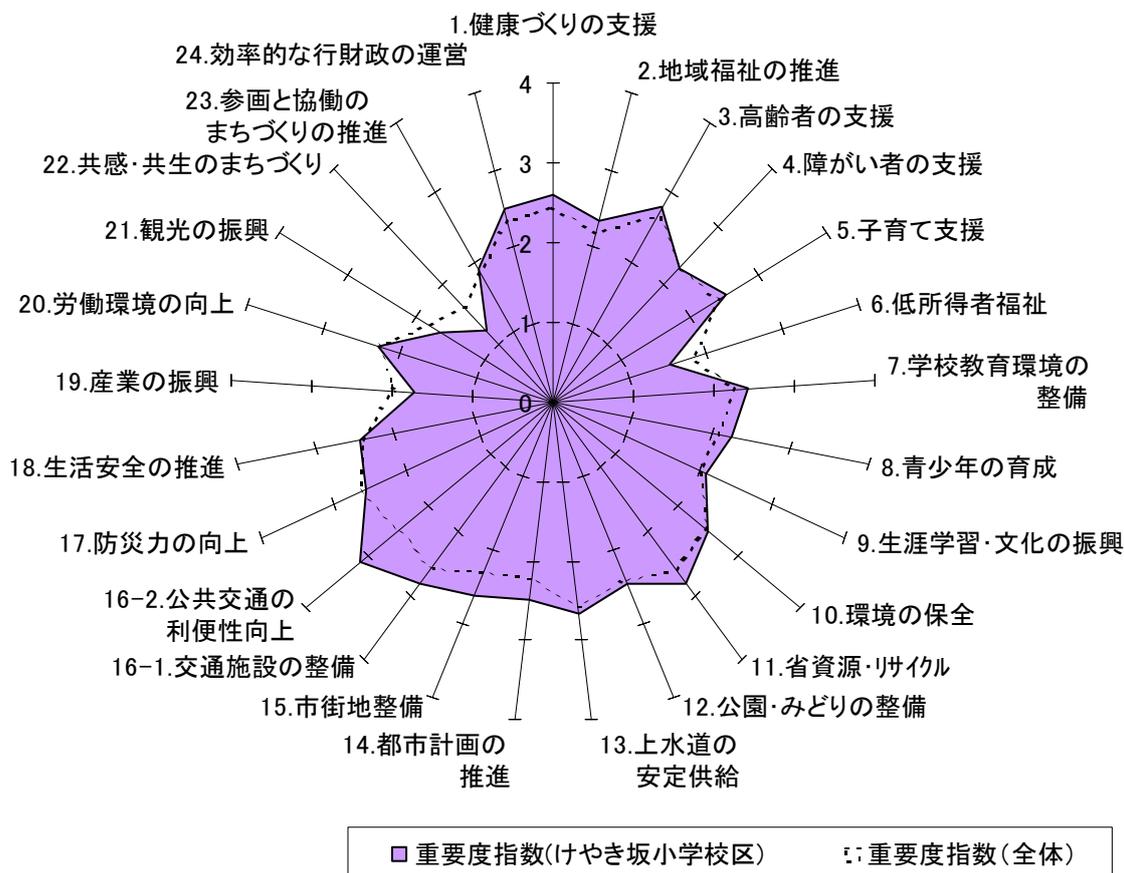
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.58	14	4.障がい者の支援	-0.02
2	17.防災力の向上	0.37	15	9.生涯学習・文化の振興	-0.05
3	13.上水道の安定供給	0.35	16	8.青少年の育成	-0.05
4	12.公園・みどりの整備	0.33	17	19.産業の振興	-0.12
5	10.環境の保全	0.30	18	7.学校教育環境の整備	-0.12
6	18.生活安全の推進	0.28	19	2.地域福祉の推進	-0.14
7	21.観光の振興	0.23	20	3.高齢者の支援	-0.16
8	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.21	21	20.労働環境の向上	-0.26
9	1.健康づくりの支援	0.05	22	15.市街地整備	-0.32
10	6.低所得者福祉	0.02	23	24.効率的な行財政の運営	-0.44
11	5.子育て支援	0.02	24	16-1.交通施設の整備	-0.63
12	14.都市計画の推進	0.02	25	16-2.公共交通の利便性向上	-1.21
13	22.共感・共生のまちづくり	-0.02			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「15.市街地整備」「14.都市計画の推進」「16-1.交通施設の整備」「11.省資源・リサイクル」など19項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「6.低所得者福祉」など5項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

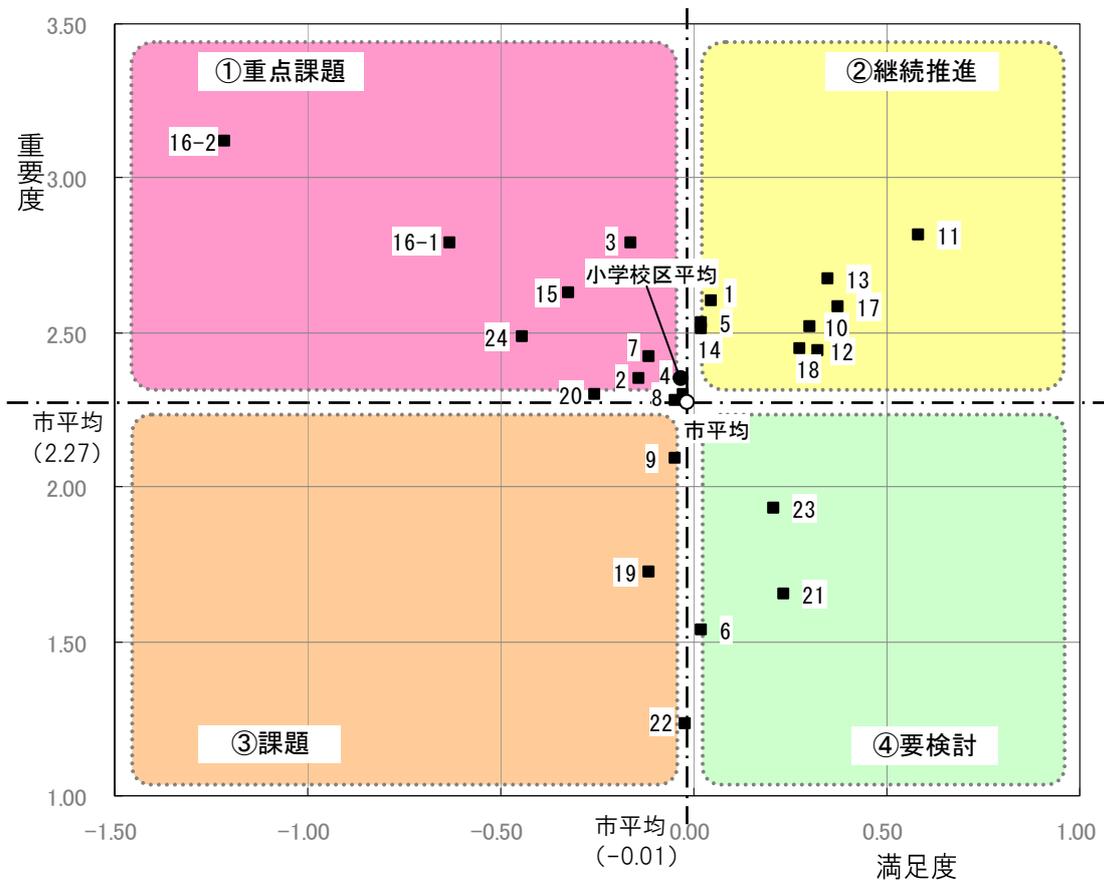
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	16-2.公共交通の利便性向上	3.12	14	12.公園・みどりの整備	2.44
2	11.省資源・リサイクル	2.81	15	7.学校教育環境の整備	2.42
3	3.高齢者の支援	2.79	16	2.地域福祉の推進	2.35
4	16-1.交通施設の整備	2.79	17	20.労働環境の向上	2.30
5	13.上水道の安定供給	2.68	18	4.障がい者の支援	2.30
6	15.市街地整備	2.63	19	8.青少年の育成	2.28
7	1.健康づくりの支援	2.60	20	9.生涯学習・文化の振興	2.09
8	17.防災力の向上	2.58	21	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.93
9	5.子育て支援	2.53	22	19.産業の振興	1.72
10	10.環境の保全	2.52	23	21.観光の振興	1.65
11	14.都市計画の推進	2.51	24	6.低所得者福祉	1.53
12	24.効率的な行財政の運営	2.49	25	22.共感・共生のまちづくり	1.23
13	18.生活安全の推進	2.45			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-2.公共交通の利便性向上」が最も低くなっています。

重要度では「16-2.公共交通の利便性向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



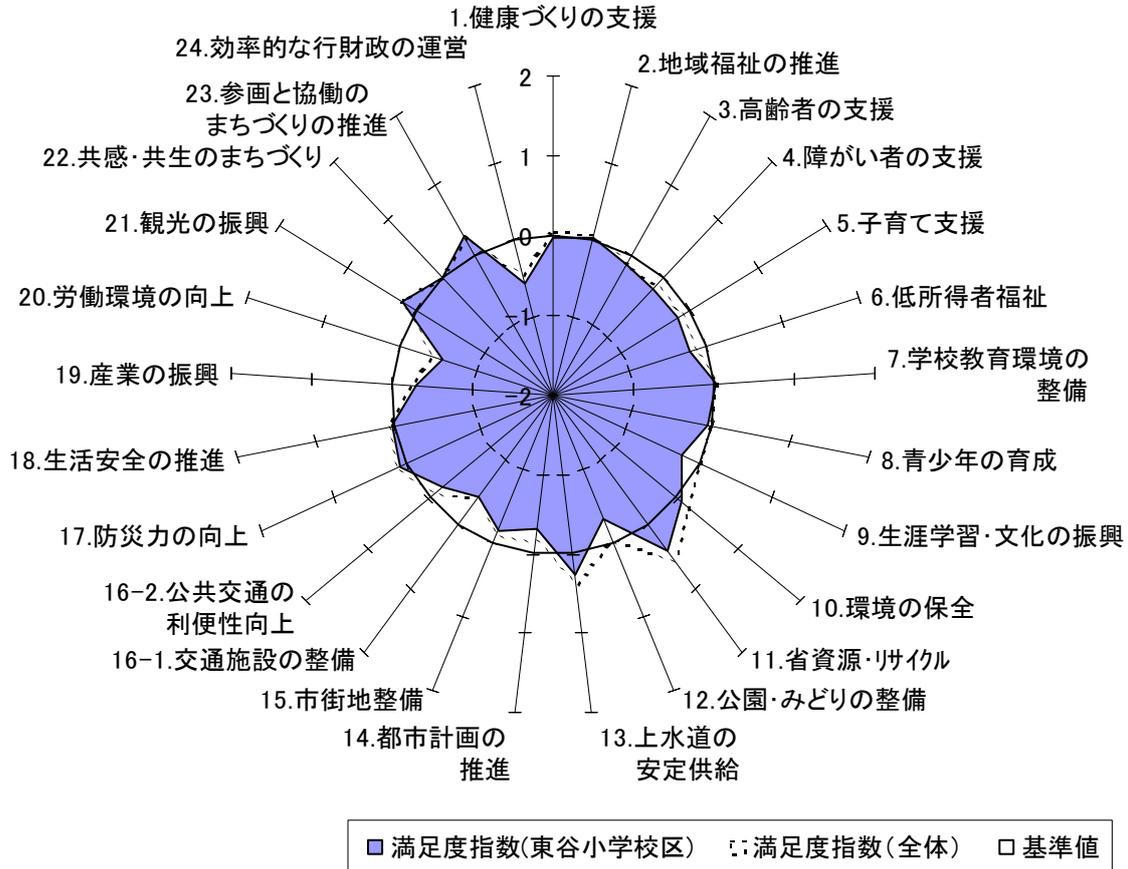
①重点課題	2.地域福祉の推進	②継続推進	1.健康づくりの支援		
	3.高齢者の支援		5.子育て支援		
	4.障がい者の支援		10.環境の保全		
	7.学校教育環境の整備		11.省資源・リサイクル		
	8.青少年の育成		12.公園・みどりの整備		
	15.市街地整備		13.上水道の安定供給		
	16-1.交通施設の整備		14.都市計画の推進		
	16-2.公共交通の利便性向上		17.防災力の向上		
	20.労働環境の向上		18.生活安全の推進		
	24.効率的な行政の運営				
	③課題		9.生涯学習・文化の振興	④要検討	6.低所得者福祉
			19.産業の振興		21.観光の振興
			22.共感・共生のまちづくり		23.参画と協働のまちづくりの推進

⑭東谷小学校区

□満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「23.参画と協働のまちづくりの推進」のみの項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「12.公園・みどりの整備」「9.生涯学習・文化の振興」など 22 項目となっています。



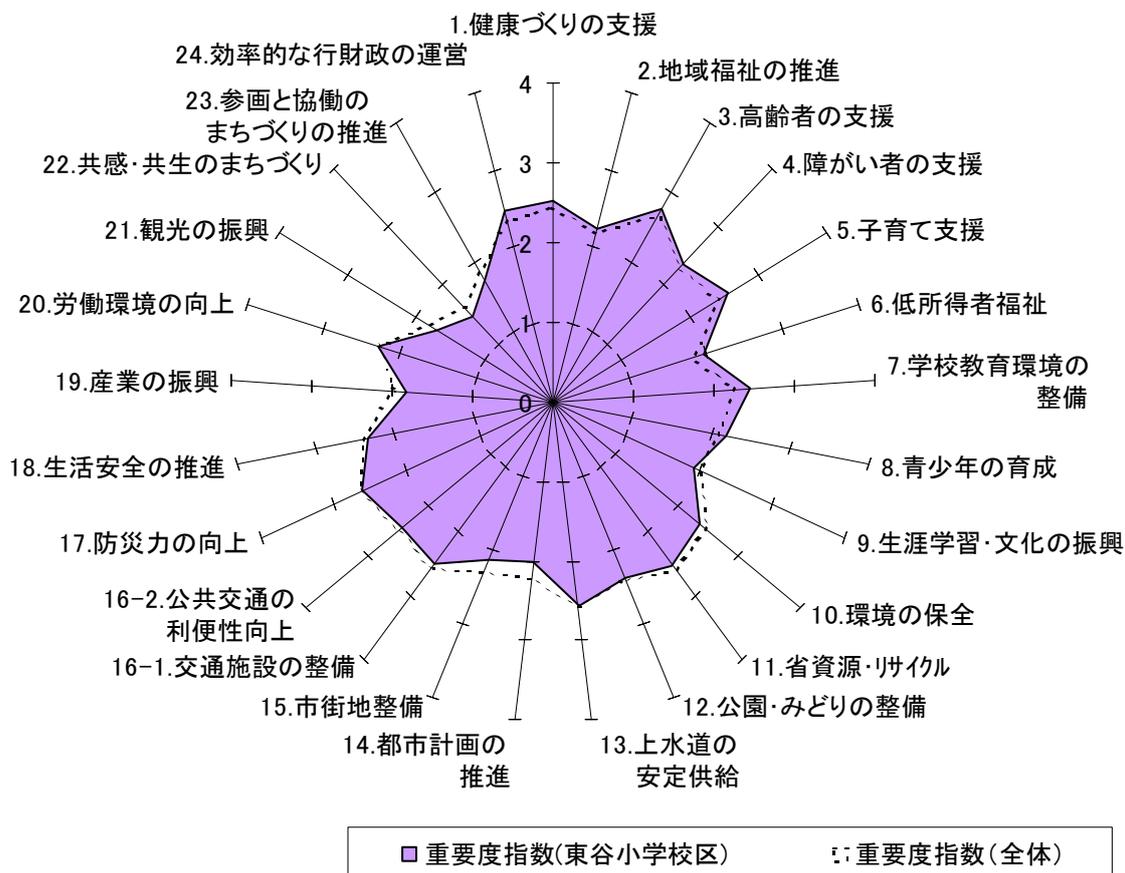
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.43	14	5.子育て支援	-0.17
2	13.上水道の安定供給	0.28	15	4.障がい者の支援	-0.18
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.26	16	15.市街地整備	-0.18
4	21.観光の振興	0.20	17	6.低所得者福祉	-0.20
5	17.防災力の向上	0.09	18	16-2.公共交通の利便性向上	-0.21
6	10.環境の保全	0.08	19	9.生涯学習・文化の振興	-0.22
7	18.生活安全の推進	0.03	20	14.都市計画の推進	-0.31
8	2.地域福祉の推進	0.02	21	19.産業の振興	-0.31
9	22.共感・共生のまちづくり	0.02	22	12.公園・みどりの整備	-0.32
10	7.学校教育環境の整備	0.02	23	16-1.交通施設の整備	-0.42
11	1.健康づくりの支援	-0.03	24	24.効率的な行財政の運営	-0.54
12	8.青少年の育成	-0.04	25	20.労働環境の向上	-0.56
13	3.高齢者の支援	-0.14			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「7.学校教育環境の整備」「5.子育て支援」「6.低所得者福祉」「3.高齢者の支援」「24.効率的な行財政の運営」「8.青少年の育成」など 11 項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「14.都市計画の推進」「15.市街地整備」「22.共感・共生のまちづくり」など 14 項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

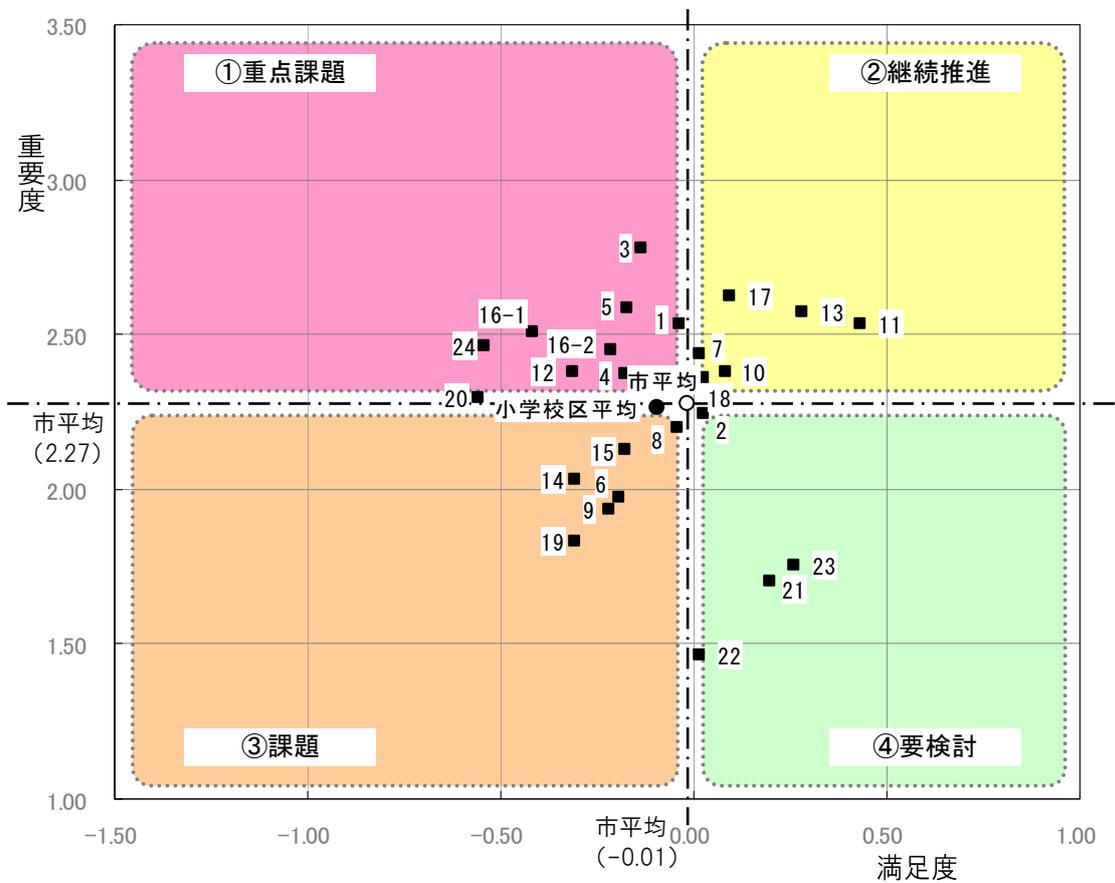
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.78	14	18.生活安全の推進	2.36
2	17.防災力の向上	2.63	15	20.労働環境の向上	2.29
3	5.子育て支援	2.58	16	2.地域福祉の推進	2.25
4	13.上水道の安定供給	2.58	17	8.青少年の育成	2.20
5	1.健康づくりの支援	2.54	18	15.市街地整備	2.13
6	11.省資源・リサイクル	2.53	19	14.都市計画の推進	2.03
7	16-1.交通施設の整備	2.51	20	6.低所得者福祉	1.97
8	24.効率的な行財政の運営	2.47	21	9.生涯学習・文化の振興	1.93
9	16-2.公共交通の利便性向上	2.45	22	19.産業の振興	1.83
10	7.学校教育環境の整備	2.44	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.75
11	10.環境の保全	2.38	24	21.観光の振興	1.70
12	12.公園・みどりの整備	2.38	25	22.共感・共生のまちづくり	1.46
13	4.障がい者の支援	2.37			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「20.労働環境の向上」が最も低くなっています。

重要度では「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「5.子育て支援」であり、高齢者の生活支援や子育てしやすい環境をつくるなど、子どもから高齢者まで住みやすい生活環境を維持・継続していくことが求められています。



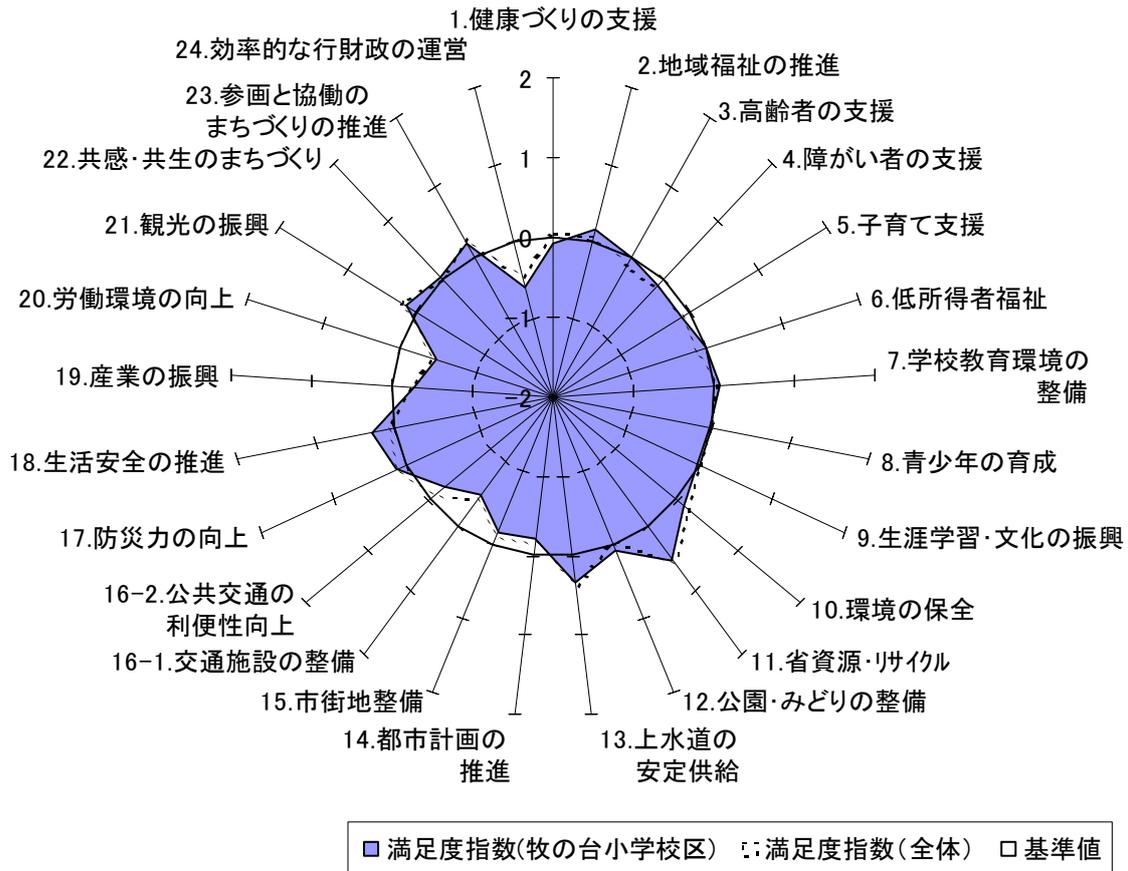
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	7.学校教育環境の整備
	3.高齢者の支援		10.環境の保全
	4.障がい者の支援		11.省資源・リサイクル
	5.子育て支援		13.上水道の安定供給
	12.公園・みどりの整備		17.防災力の向上
	16-1.交通施設の整備		18.生活安全の推進
	16-2.公共交通の利便性向上		
	20.労働環境の向上		
	24.効率的な行財政の運営		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
	8.青少年の育成		21.観光の振興
	9.生涯学習・文化の振興		22.共感・共生のまちづくり
	14.都市計画の推進		23.参画と協働のまちづくりの推進
	15.市街地整備		
19.産業の振興			

⑮牧の台小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「18.生活安全の推進」「6.低所得者福祉」「3.高齢者の支援」「12.公園・みどりの整備」「2.地域福祉の推進」など 10 項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「16-2.公共交通の利便性向上」「1.健康づくりの支援」「24.効率的な行財政の運営」「16-1.交通施設の整備」「10.環境の保全」「21.観光の振興」など 15項目となっています。



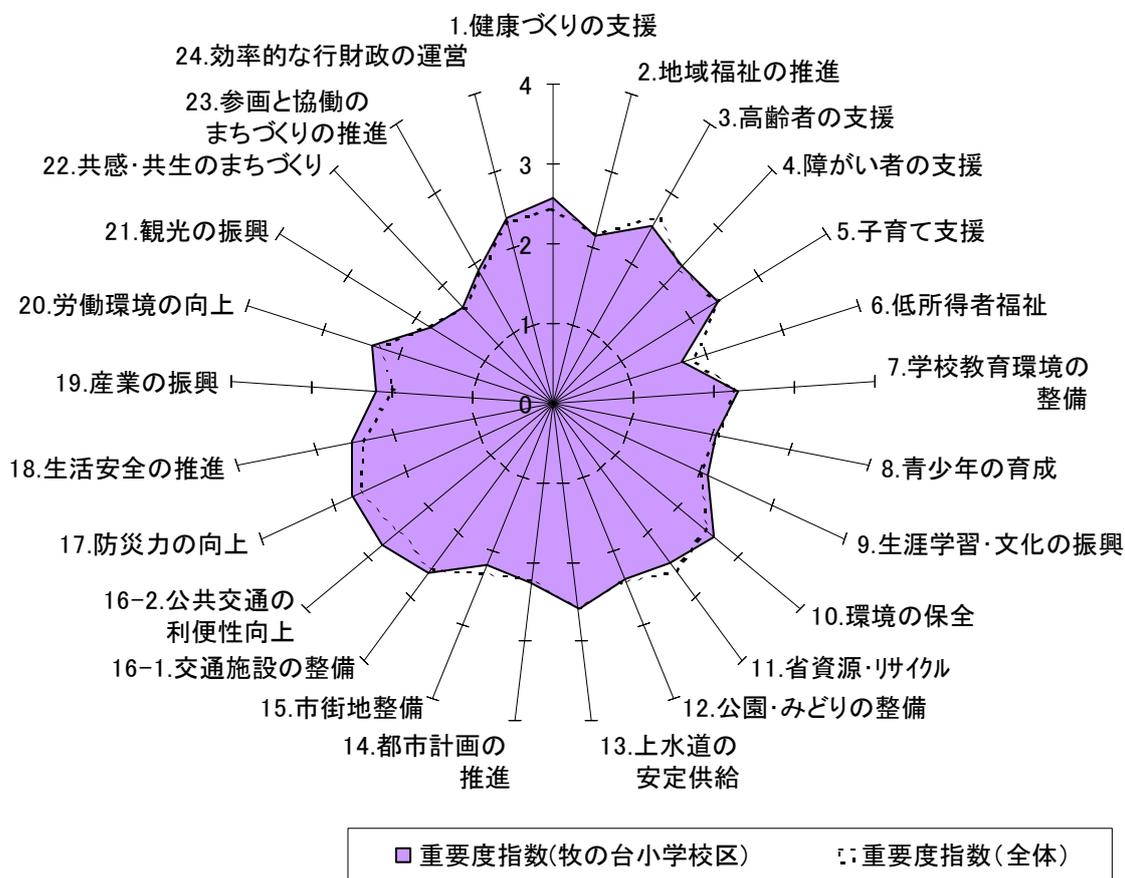
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.54	14	8.青少年の育成	-0.01
2	13.上水道の安定供給	0.36	15	9.生涯学習・文化の振興	-0.04
3	18.生活安全の推進	0.29	16	1.健康づくりの支援	-0.08
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.19	17	5.子育て支援	-0.10
5	2.地域福祉の推進	0.17	18	4.障がい者の支援	-0.10
6	21.観光の振興	0.15	19	15.市街地整備	-0.18
7	17.防災力の向上	0.15	20	14.都市計画の推進	-0.20
8	10.環境の保全	0.13	21	16-2.公共交通の利便性向上	-0.25
9	7.学校教育環境の整備	0.07	22	19.産業の振興	-0.27
10	12.公園・みどりの整備	0.07	23	16-1.交通施設の整備	-0.46
11	22.共感・共生のまちづくり	0.05	24	20.労働環境の向上	-0.47
12	6.低所得者福祉	0.01	25	24.効率的な行財政の運営	-0.57
13	3.高齢者の支援	-0.01			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「16-2.公共交通の利便性向上」「19.産業の振興」「18.生活安全の推進」など17項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「6.低所得者福祉」「11.省資源・リサイクル」など8項目となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

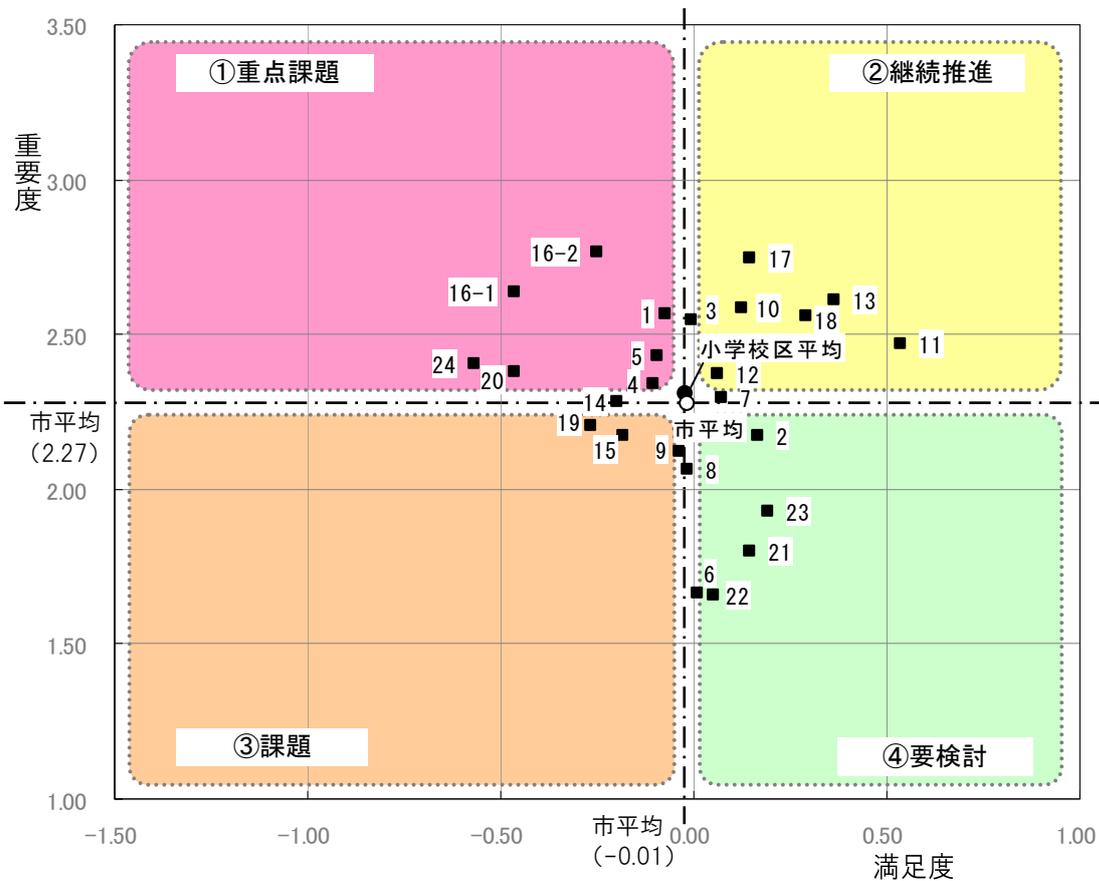
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	16-2.公共交通の利便性向上	2.77	14	4.障がい者の支援	2.34
2	17.防災力の向上	2.75	15	7.学校教育環境の整備	2.29
3	16-1.交通施設の整備	2.63	16	14.都市計画の推進	2.28
4	13.上水道の安定供給	2.61	17	19.産業の振興	2.20
5	10.環境の保全	2.59	18	2.地域福祉の推進	2.18
6	1.健康づくりの支援	2.57	19	15.市街地整備	2.17
7	18.生活安全の推進	2.56	20	9.生涯学習・文化の振興	2.12
8	3.高齢者の支援	2.55	21	8.青少年の育成	2.06
9	11.省資源・リサイクル	2.47	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.93
10	5.子育て支援	2.43	23	21.観光の振興	1.80
11	24.効率的な行財政の運営	2.41	24	6.低所得者福祉	1.66
12	20.労働環境の向上	2.38	25	22.共感・共生のまちづくり	1.66
13	12.公園・みどりの整備	2.38			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「16-2.公共交通の利便性向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「16-2.公共交通の利便性向上」「1.健康づくりの支援」「16-1.交通施設の整備」であり、市民が住みやすい生活環境を維持・継続し、また交通体系の整備や市民の健康の確保を図ることが求められています。



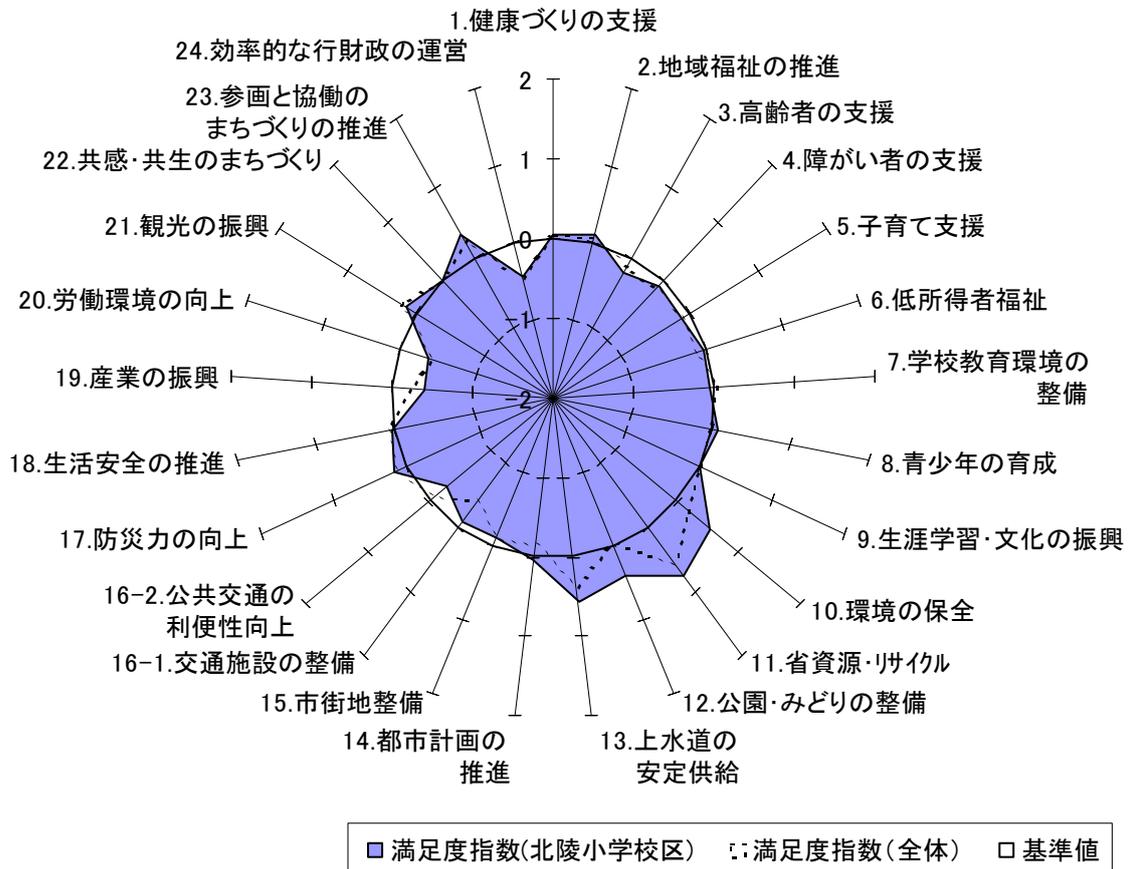
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	3.高齢者の支援
	4.障がい者の支援		7.学校教育環境の整備
	5.子育て支援		10.環境の保全
	14.都市計画の推進		11.省資源・リサイクル
	16-1.交通施設の整備		12.公園・みどりの整備
	16-2.公共交通の利便性向上		13.上水道の安定供給
	20.労働環境の向上		17.防災力の向上
	24.効率的な行財政の運営		18.生活安全の推進
③課題	9.生涯学習・文化の振興	④要検討	2.地域福祉の推進
	15.市街地整備		6.低所得者福祉
	19.産業の振興		8.青少年の育成
	21.観光の振興		
			22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

⑩北陵小学校区

□ 満足度

各項目における満足度については、全体の満足度指数に比べ、「12.公園・みどりの整備」「10.環境の保全」「16-1.交通施設の整備」「14.都市計画の推進」など18項目が上回っています。

一方、全体の満足度指数よりも低い項目は、「16-2.公共交通の利便性向上」「19.産業の振興」など7項目となっています。



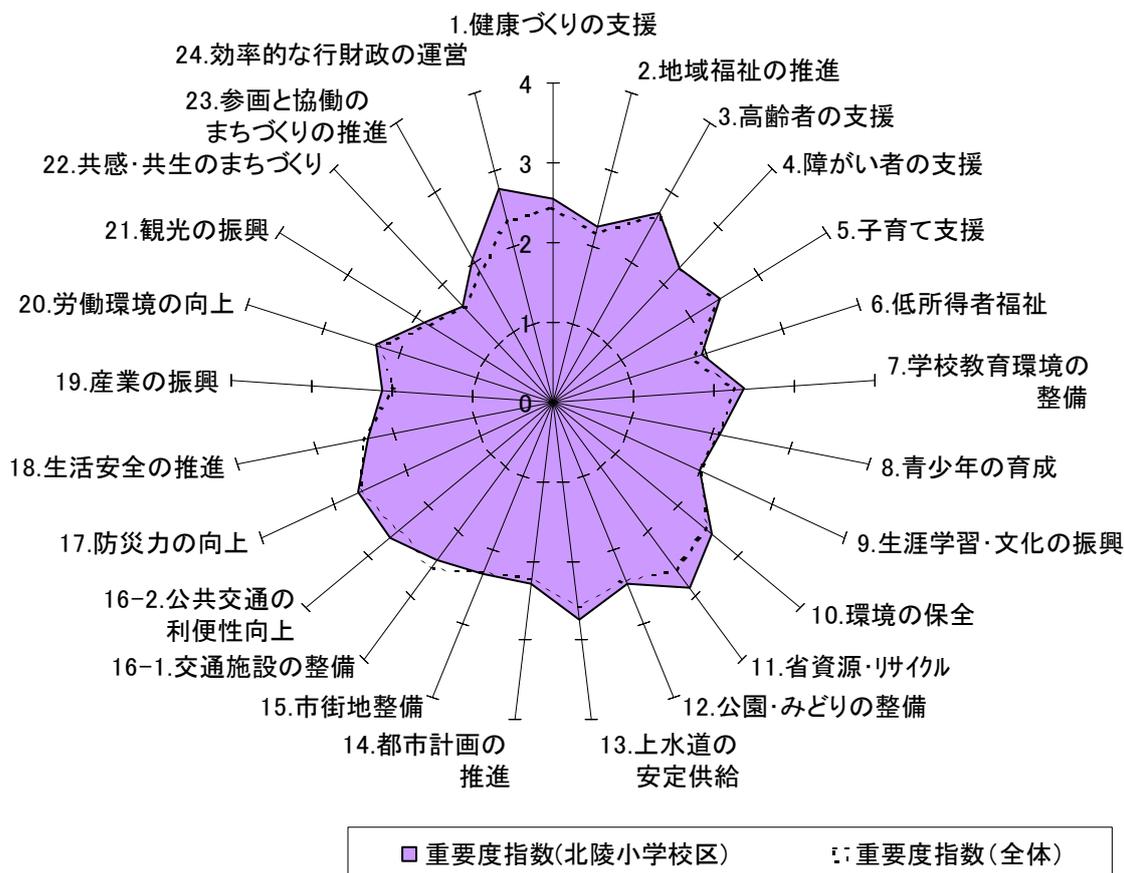
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.75	14	9.生涯学習・文化の振興	0.00
2	13.上水道の安定供給	0.58	15	6.低所得者福祉	-0.01
3	10.環境の保全	0.56	16	7.学校教育環境の整備	-0.05
4	12.公園・みどりの整備	0.39	17	4.障がい者の支援	-0.06
5	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.34	18	16-1.交通施設の整備	-0.09
6	17.防災力の向上	0.18	19	5.子育て支援	-0.10
7	21.観光の振興	0.14	20	15.市街地整備	-0.13
8	2.地域福祉の推進	0.13	21	3.高齢者の支援	-0.20
9	8.青少年の育成	0.10	22	16-2.公共交通の利便性向上	-0.28
10	18.生活安全の推進	0.06	23	20.労働環境の向上	-0.36
11	14.都市計画の推進	0.06	24	19.産業の振興	-0.39
12	1.健康づくりの支援	0.04	25	24.効率的な行財政の運営	-0.43
13	22.共感・共生のまちづくり	0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、全体の重要度指数に比べ、「24.効率的な行財政の運営」「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「19.産業の振興」「23.参画と協働のまちづくりの推進」など 21 項目が上回っています。

一方、全体の重要度指数よりも低い項目は、「16-1.交通施設の整備」「18.生活安全の推進」「4.障がい者の支援」の3項目となっています。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

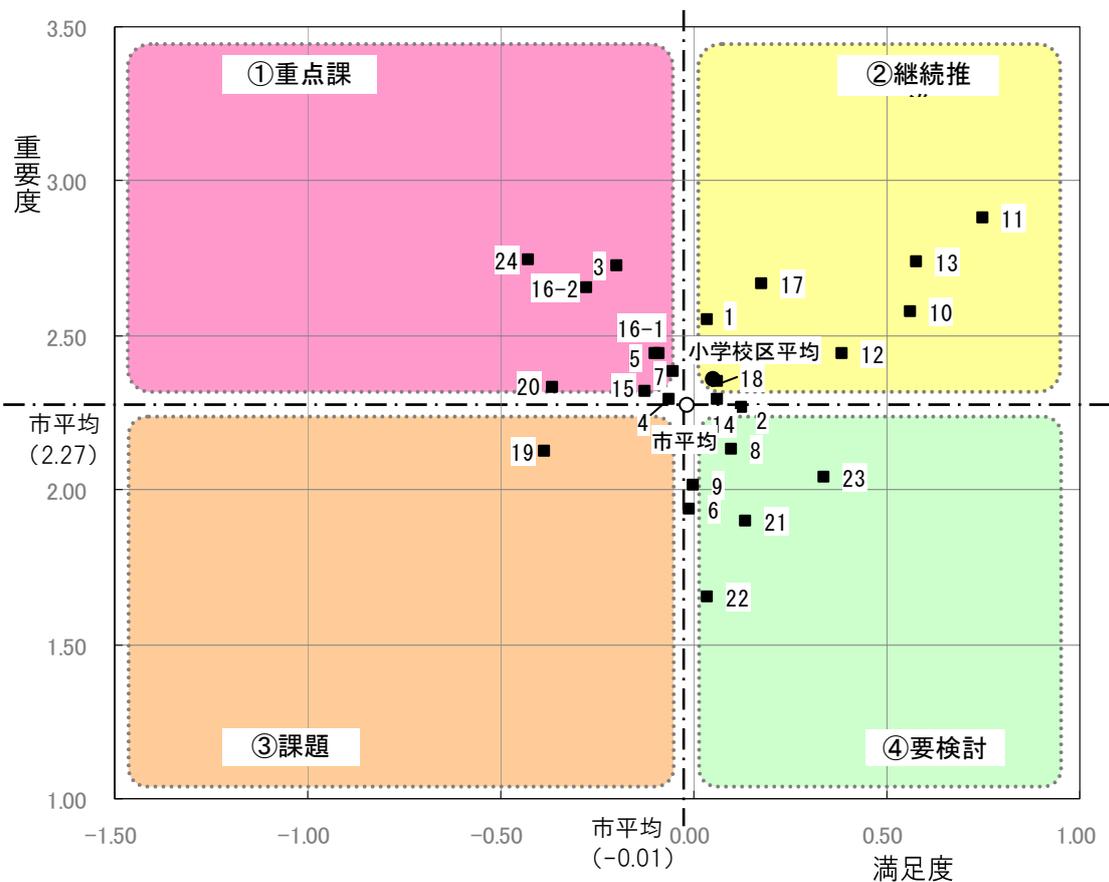
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	2.88	14	20.労働環境の向上	2.33
2	24.効率的な行財政の運営	2.74	15	15.市街地整備	2.32
3	13.上水道の安定供給	2.74	16	4.障がい者の支援	2.29
4	3.高齢者の支援	2.73	17	14.都市計画の推進	2.29
5	17.防災力の向上	2.67	18	2.地域福祉の推進	2.27
6	16-2.公共交通の利便性向上	2.66	19	8.青少年の育成	2.13
7	10.環境の保全	2.58	20	19.産業の振興	2.13
8	1.健康づくりの支援	2.55	21	23.参画と協働のまちづくりの推進	2.04
9	16-1.交通施設の整備	2.44	22	9.生涯学習・文化の振興	2.01
10	5.子育て支援	2.44	23	6.低所得者福祉	1.94
11	12.公園・みどりの整備	2.44	24	21.観光の振興	1.90
12	7.学校教育環境の整備	2.38	25	22.共感・共生のまちづくり	1.65
13	18.生活安全の推進	2.35			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度では「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「10.環境の保全」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「24.効率的な行財政の運営」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の生活支援、交通体系の整備、また、効率的な行財政の運営が求められています。



①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		10.環境の保全
	5.子育て支援		11.省資源・リサイクル
	7.学校教育環境の整備		12.公園・みどりの整備
	15.市街地整備		13.上水道の安定供給
	16-1.交通施設の整備		14.都市計画の推進
	16-2.公共交通の利便性向上		17.防災力の向上
	20.労働環境の向上		18.生活安全の推進
	24.効率的な行財政の運営		
③課題	19.産業の振興	④要検討	2.地域福祉の推進
			6.低所得者福祉
			8.青少年の育成
	9.生涯学習・文化の振興		
	21.観光の振興		
		22.共感・共生のまちづくり	
		23.参画と協働のまちづくりの推進	

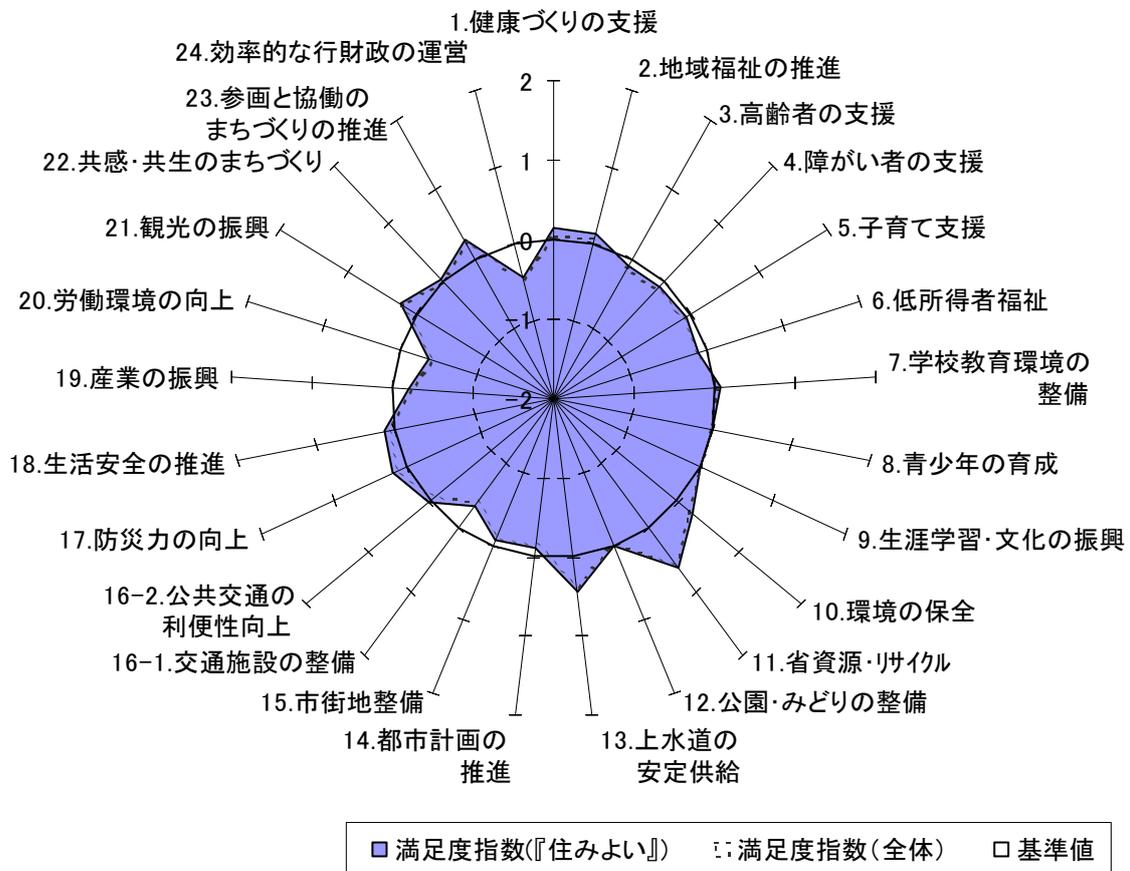
(5) 「住みよさ」に対する肯定的回答と否定的回答別の満足度・重要度評価

①『住みよい（川西市が「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」）』とする人口満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「10.環境の保全」「21.観光の振興」と続き、25項目中14項目がプラス評価となっています。

その他、11項目についてはマイナス評価となっており、「24.効率的な行財政の運営」「20.労働環境の向上」「16-1.交通施設の整備」「19.産業の振興」の順に下位を占めています。

特に、行財政をはじめ、労働環境や交通施設、産業に関する項目の満足度が低くなっています。



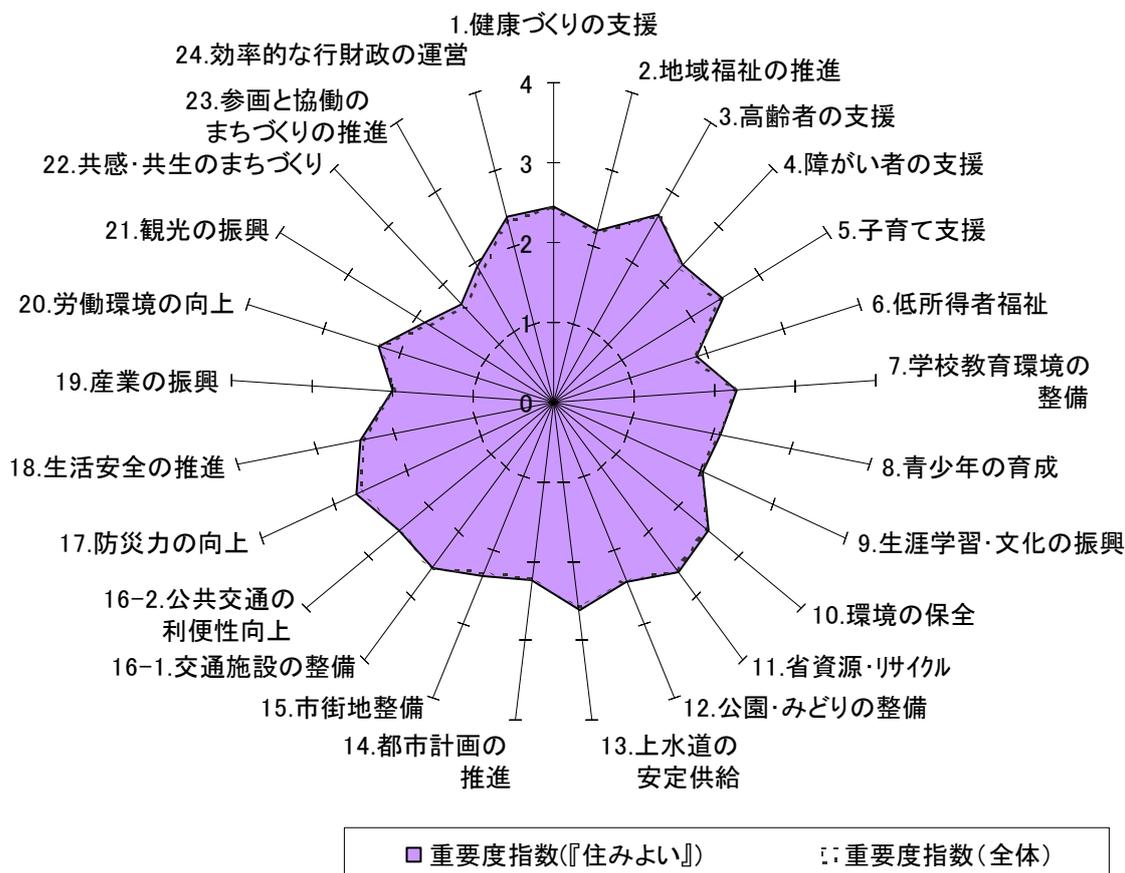
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.63	14	12.公園・みどりの整備	0.01
2	13.上水道の安定供給	0.44	15	8.青少年の育成	-0.01
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.27	16	5.子育て支援	-0.06
4	10.環境の保全	0.25	17	15.市街地整備	-0.06
5	21.観光の振興	0.25	18	3.高齢者の支援	-0.06
6	17.防災力の向上	0.20	19	4.障がい者の支援	-0.09
7	1.健康づくりの支援	0.16	20	14.都市計画の推進	-0.10
8	18.生活安全の推進	0.15	21	6.低所得者福祉	-0.10
9	2.地域福祉の推進	0.15	22	19.産業の振興	-0.21
10	7.学校教育環境の整備	0.07	23	16-1.交通施設の整備	-0.32
11	22.共感・共生のまちづくり	0.05	24	20.労働環境の向上	-0.39
12	9.生涯学習・文化の振興	0.03	25	24.効率的な行財政の運営	-0.42
13	16-2.公共交通の利便性向上	0.03			

□ 重要度

各項目における重要度については、「17.防災力の向上」「3.高齢者の支援」「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「16-1.交通施設の整備」が上位5項目となっており、生活における安全性の確保に関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「6.低所得者福祉」「21.観光の振興」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「19.産業の振興」となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

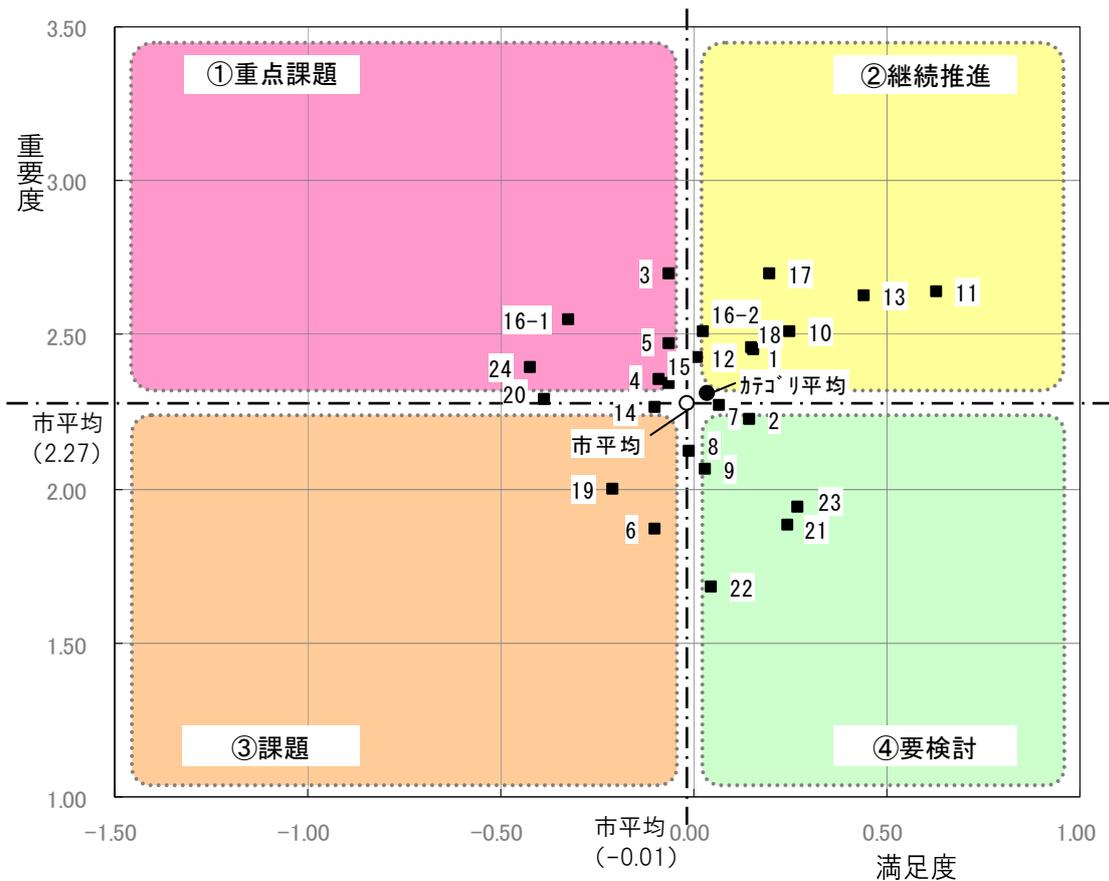
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.70	14	15.市街地整備	2.34
2	3.高齢者の支援	2.70	15	20.労働環境の向上	2.29
3	11.省資源・リサイクル	2.64	16	7.学校教育環境の整備	2.27
4	13.上水道の安定供給	2.63	17	14.都市計画の推進	2.26
5	16-1.交通施設の整備	2.55	18	2.地域福祉の推進	2.23
6	16-2.公共交通の利便性向上	2.51	19	8.青少年の育成	2.12
7	10.環境の保全	2.51	20	9.生涯学習・文化の振興	2.06
8	5.子育て支援	2.47	21	19.産業の振興	2.00
9	18.生活安全の推進	2.46	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.94
10	1.健康づくりの支援	2.45	23	21.観光の振興	1.88
11	12.公園・みどりの整備	2.42	24	6.低所得者福祉	1.87
12	24.効率的な行財政の運営	2.39	25	22.共感・共生のまちづくり	1.68
13	4.障がい者の支援	2.35			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度については、「17.防災力の向上」「3.高齢者の支援」の2項目がそれぞれ最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、安全性や交通施設の整備を図ることが求められています。



①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		10.環境の保全
	5.子育て支援		11.省資源・リサイクル
	15.市街地整備		12.公園・みどりの整備
	16-1.交通施設の整備		13.上水道の安定供給
	20.労働環境の向上		16-2.公共交通の利便性向上
	24.効率的な行財政の運営		17.防災力の向上
	18.生活安全の推進		
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
	14.都市計画の推進		7.学校教育環境の整備
	19.産業の振興		8.青少年の育成
	9.生涯学習・文化の振興		
			21.観光の振興
			22.共感・共生のまちづくり
		23.参画と協働のまちづくりの推進	

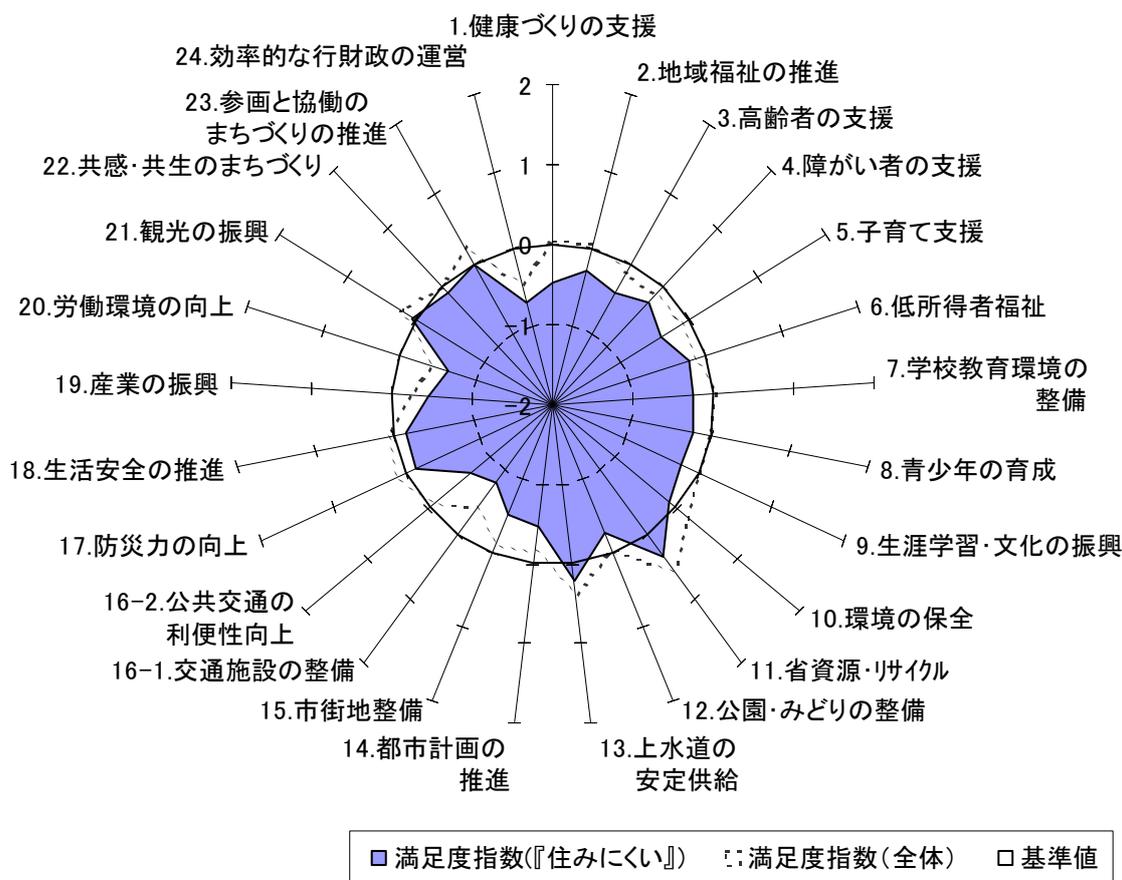
②『住みにくい（川西市が「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」）』とする人

□ 満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「21.観光の振興」となっており、25項目中4項目がプラス評価になっています。

一方、マイナス評価は、「16-1.交通施設の整備」「24.効率的な行財政の運営」「16-2.公共交通の利便性向上」「20.労働環境の向上」「15.市街地整備」の順に下位を占めています。

特に、交通施設をはじめ、行財政や市街地などの整備、労働環境に関する項目の満足度が低くなっています。



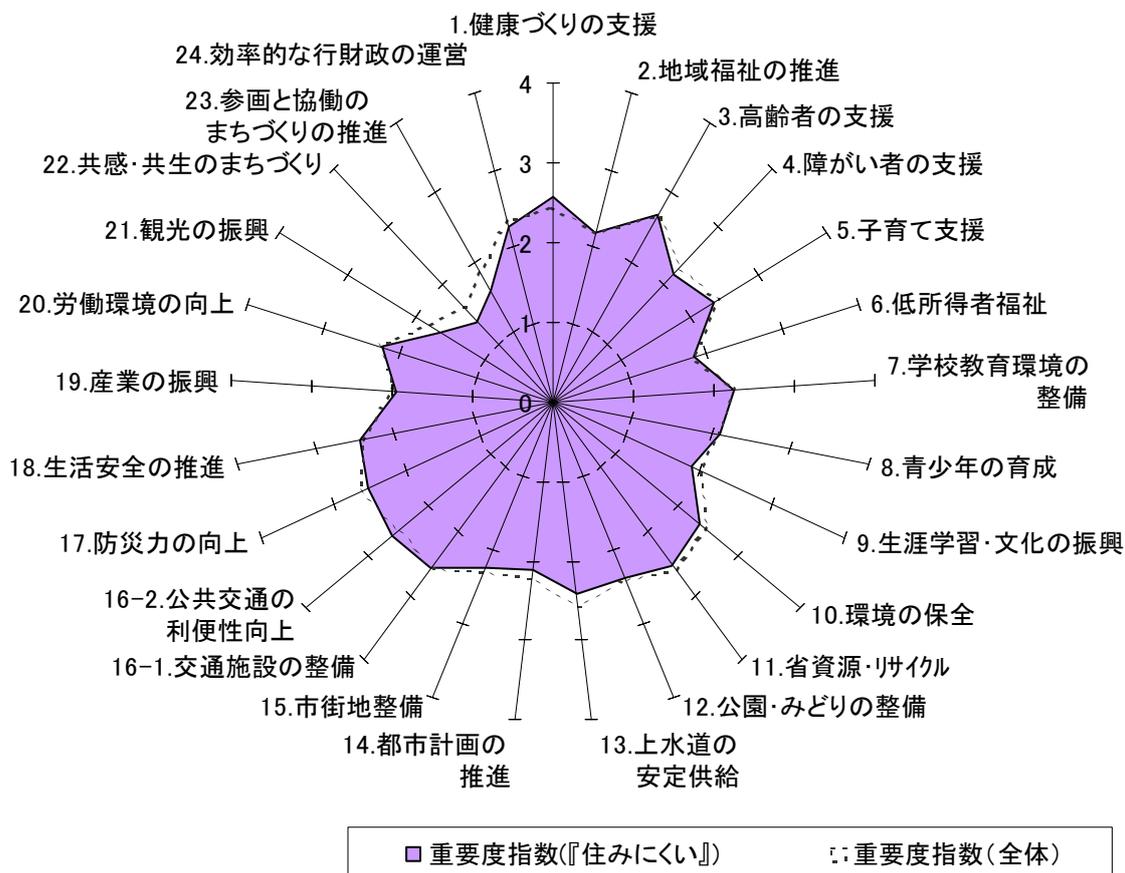
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.36	14	12.公園・みどりの整備	-0.28
2	13.上水道の安定供給	0.23	15	2.地域福祉の推進	-0.28
3	21.観光の振興	0.06	16	5.子育て支援	-0.39
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.00	17	3.高齢者の支援	-0.40
5	22.共感・共生のまちづくり	-0.10	18	19.産業の振興	-0.44
6	10.環境の保全	-0.11	19	14.都市計画の推進	-0.47
7	17.防災力の向上	-0.12	20	1.健康づくりの支援	-0.48
8	18.生活安全の推進	-0.14	21	15.市街地整備	-0.52
9	6.低所得者福祉	-0.22	22	20.労働環境の向上	-0.63
10	8.青少年の育成	-0.22	23	16-2.公共交通の利便性向上	-0.67
11	9.生涯学習・文化の振興	-0.23	24	24.効率的な行財政の運営	-0.69
12	4.障がい者の支援	-0.24	25	16-1.交通施設の整備	-0.81
13	7.学校教育環境の整備	-0.24			

□ 重要度

各項目における重要度については、「3.高齢者の支援」「16-2.公共交通の利便性向上」「16-1.交通施設の整備」「1.健康づくりの支援」「17.防災力の向上」が上位5項目となっており、今後の生活や安全性の確保、健康増進に関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「21.観光の振興」「6.低所得者福祉」「9.生涯学習・文化の振興」となっています。

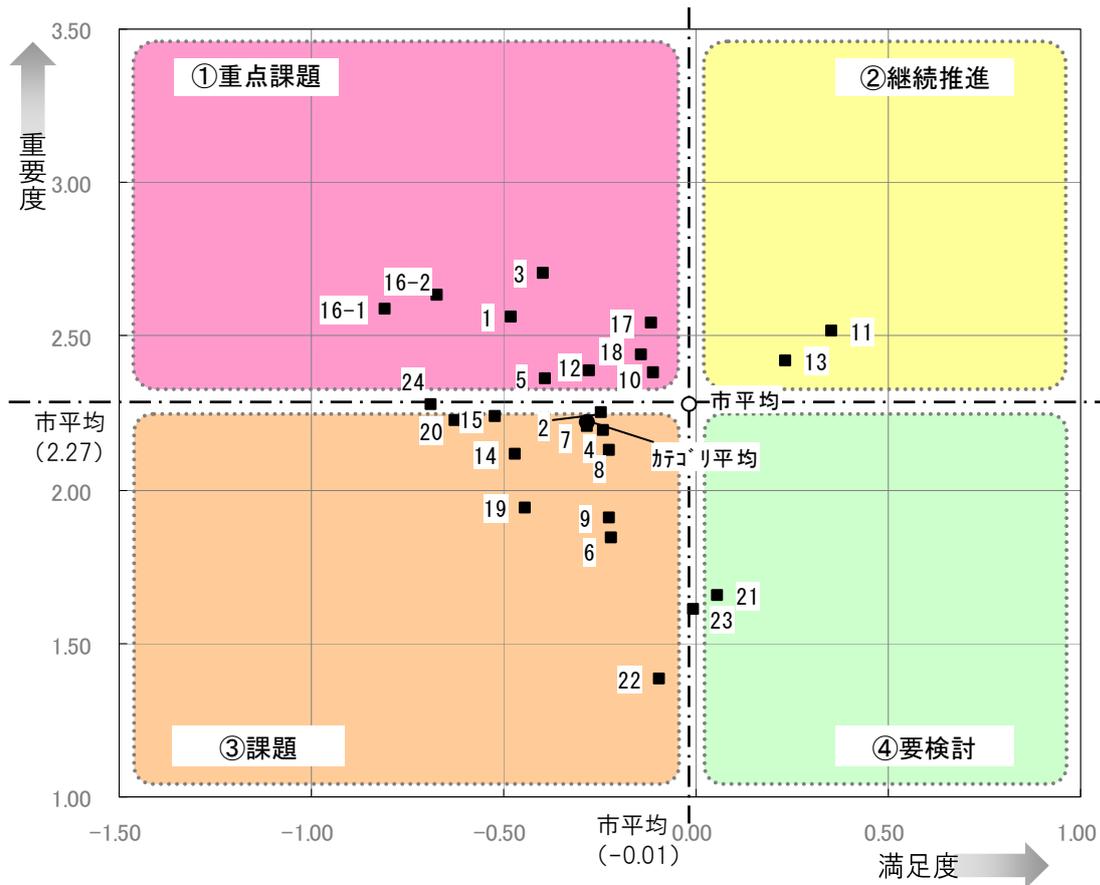


□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.70	14	15.市街地整備	2.24
2	16-2.公共交通の利便性向上	2.63	15	20.労働環境の向上	2.23
3	16-1.交通施設の整備	2.59	16	2.地域福祉の推進	2.21
4	1.健康づくりの支援	2.56	17	4.障がい者の支援	2.19
5	17.防災力の向上	2.54	18	8.青少年の育成	2.13
6	11.省資源・リサイクル	2.51	19	14.都市計画の推進	2.12
7	18.生活安全の推進	2.44	20	19.産業の振興	1.94
8	13.上下水道の安定供給	2.42	21	9.生涯学習・文化の振興	1.91
9	12.公園・みどりの整備	2.38	22	6.低所得者福祉	1.84
10	10.環境の保全	2.38	23	21.観光の振興	1.65
11	5.子育て支援	2.36	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.61
12	24.効率的な行財政の運営	2.27	25	22.共感・共生のまちづくり	1.38
13	7.学校教育環境の整備	2.25			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。重要度については、「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」「1.健康づくりの支援」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者への支援と併せて、交通体系の整備や健康増進を図ることが求められています。



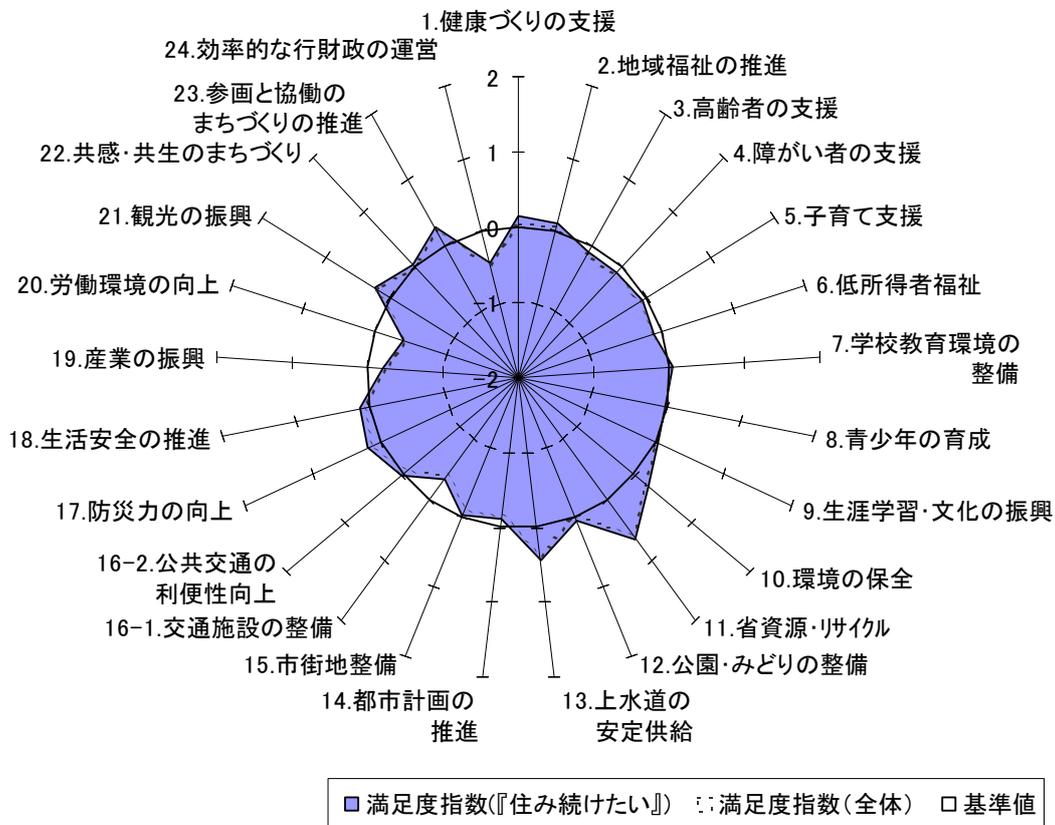
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	11.省資源・リサイクル
	3.高齢者の支援		13.上水道の安定供給
	5.子育て支援		
	10.環境の保全		
	12.公園・みどりの整備		
	16-1.交通施設の整備		
	16-2.公共交通の利便性向上		
	17.防災力の向上		
18.生活安全の推進			
③課題	2.地域福祉の推進	④要検討	21.観光の振興
	4.障がい者の支援		23.参画と協働のまちづくりの推進
	6.低所得者福祉		
	7.学校教育環境の整備		
	8.青少年の育成		
	9.生涯学習・文化の振興		
	14.都市計画の推進		
	15.市街地整備		
	19.産業の振興		
	20.労働環境の向上		
	22.共感・共生のまちづくり		

(6) 定住意向別の満足度・重要度評価

①『住み続けたい(川西市に「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい)』とする人

□ 満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」と続き、25項目中14項目がプラス評価となっています。その他の11項目についてはマイナス評価となっており、「24.効率的な行財政の運営」「20.労働環境の向上」「16-1.交通施設の整備」「19.産業の振興」の順に下位を占めています。特に、行財政をはじめ、労働環境や交通施設、産業に関する項目の満足度が低くなっています。なお満足度については、前項の①『住みよい』による回答と大きな差がない結果となっています。



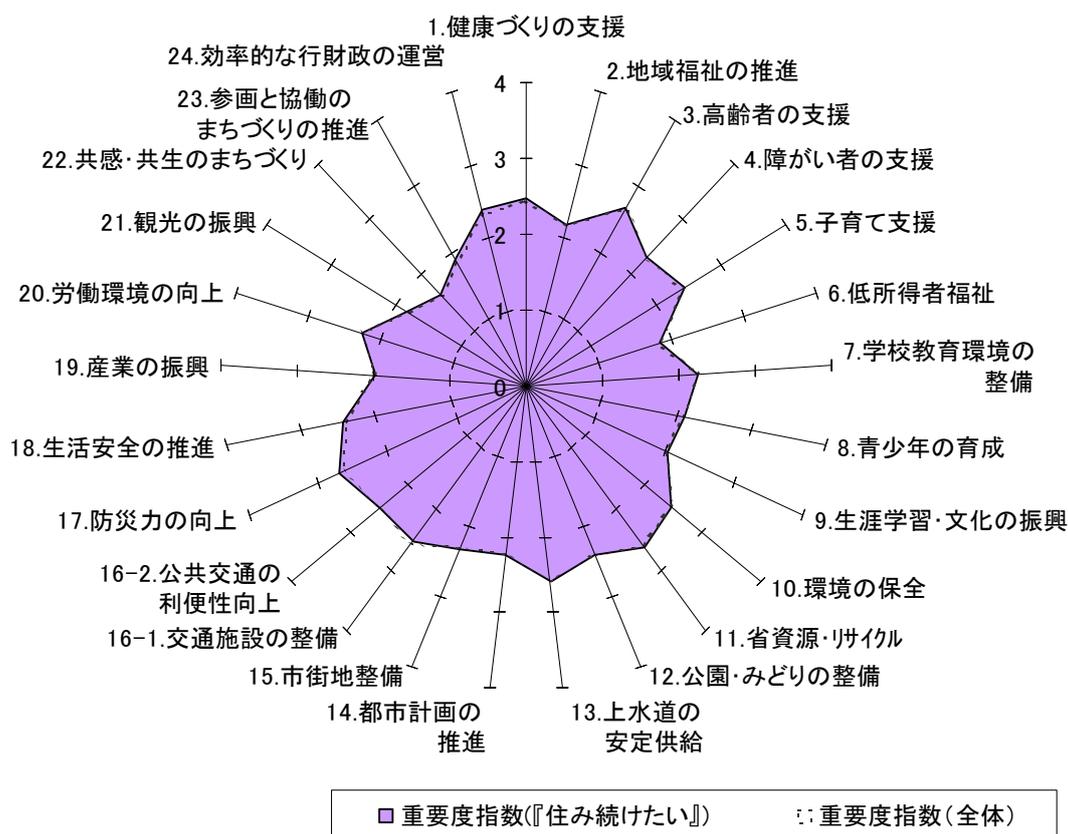
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.65	14	16-2.公共交通の利便性向上	0.03
2	13.上水道の安定供給	0.46	15	8.青少年の育成	-0.02
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.29	16	15.市街地整備	-0.04
4	10.環境の保全	0.26	17	5.子育て支援	-0.06
5	21.観光の振興	0.25	18	3.高齢者の支援	-0.07
6	17.防災力の向上	0.20	19	6.低所得者福祉	-0.09
7	18.生活安全の推進	0.15	20	14.都市計画の推進	-0.10
8	1.健康づくりの支援	0.15	21	4.障がい者の支援	-0.11
9	2.地域福祉の推進	0.14	22	19.産業の振興	-0.21
10	12.公園・みどりの整備	0.05	23	16-1.交通施設の整備	-0.32
11	7.学校教育環境の整備	0.05	24	20.労働環境の向上	-0.40
12	22.共感・共生のまちづくり	0.05	25	24.効率的な行財政の運営	-0.43
13	9.生涯学習・文化の振興	0.04			

□ 重要度

各項目における重要度については、「17.防災力の向上」「3.高齢者の支援」「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「16-1.交通施設の整備」が上位5項目となっており、生活における安全性の確保に関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「6.低所得者福祉」「21.観光の振興」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「19.産業の振興」となっています。なお重要度については、前項の①『住みよい』による回答と大きな差がない結果となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

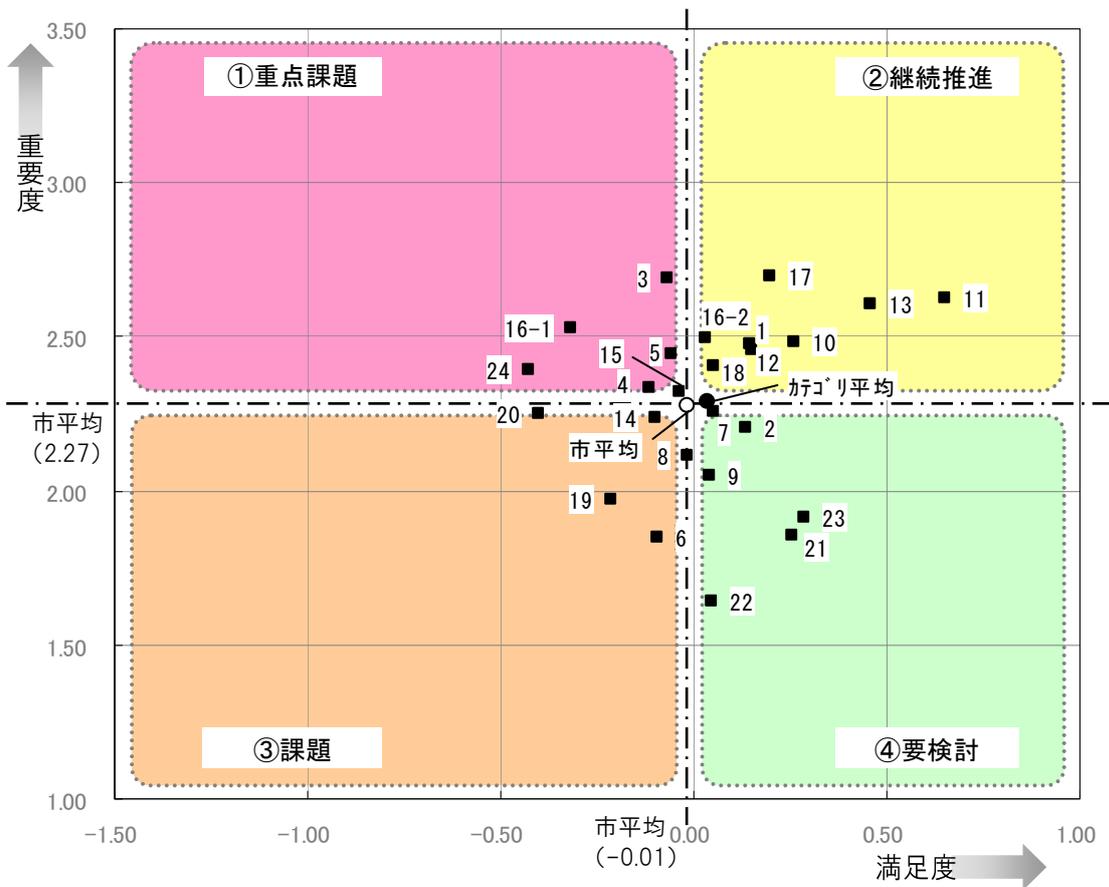
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	17.防災力の向上	2.70	14	15.市街地整備	2.32
2	3.高齢者の支援	2.69	15	7.学校教育環境の整備	2.26
3	11.省資源・リサイクル	2.62	16	20.労働環境の向上	2.25
4	13.上水道の安定供給	2.61	17	14.都市計画の推進	2.24
5	16-1.交通施設の整備	2.53	18	2.地域福祉の推進	2.21
6	16-2.公共交通の利便性向上	2.49	19	8.青少年の育成	2.12
7	10.環境の保全	2.48	20	9.生涯学習・文化の振興	2.05
8	1.健康づくりの支援	2.48	21	19.産業の振興	1.97
9	18.生活安全の推進	2.46	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.92
10	5.子育て支援	2.44	23	21.観光の振興	1.85
11	12.公園・みどりの整備	2.41	24	6.低所得者福祉	1.85
12	24.効率的な行財政の運営	2.39	25	22.共感・共生のまちづくり	1.64
13	4.障がい者の支援	2.33			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度については、「17.防災力の向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者への支援と併せて、交通施設の整備や健康増進を図ることが求められています。



①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	4.障がい者の支援		10.環境の保全
	5.子育て支援		11.省資源・リサイクル
	15.市街地整備		12.公園・みどりの整備
	16-1.交通施設の整備		13.上水道の安定供給
	24.効率的な行財政の運営		16-2.公共交通の利便性向上
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	2.地域福祉の推進
	8.青少年の育成		7.学校教育環境の整備
	14.都市計画の推進		9.生涯学習・文化の振興
	19.産業の振興		21.観光の振興
	20.労働環境の向上		22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

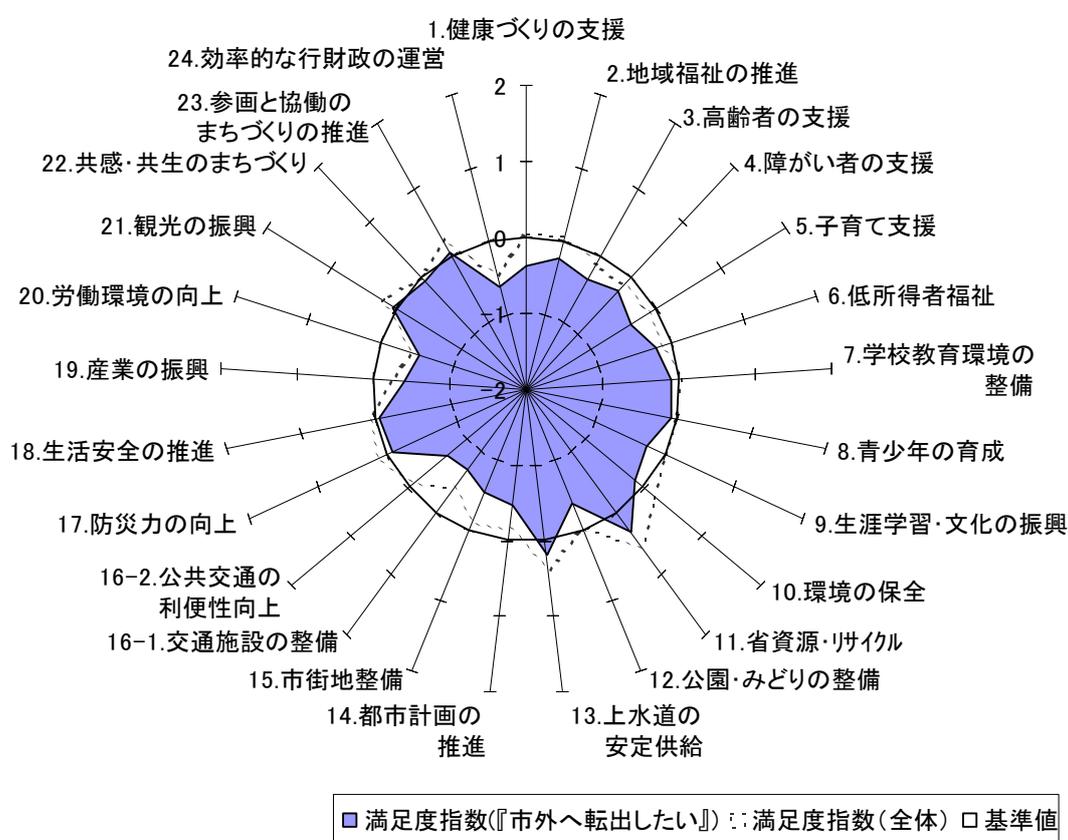
②『市外へ転出したい（川西市に「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない）』とする人

□ 満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「21.観光の振興」となっており、25項目中4項目がプラス評価になっています。

一方、マイナス評価は、「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」「24.効率的な行財政の運営」「15.市街地整備」「20.労働環境の向上」の順に下位を占めています。

特に、前項の②『住みにくい』による回答と同様、交通施設をはじめ、行財政や市街地などの整備、労働環境に関する項目の満足度が低くなっています。



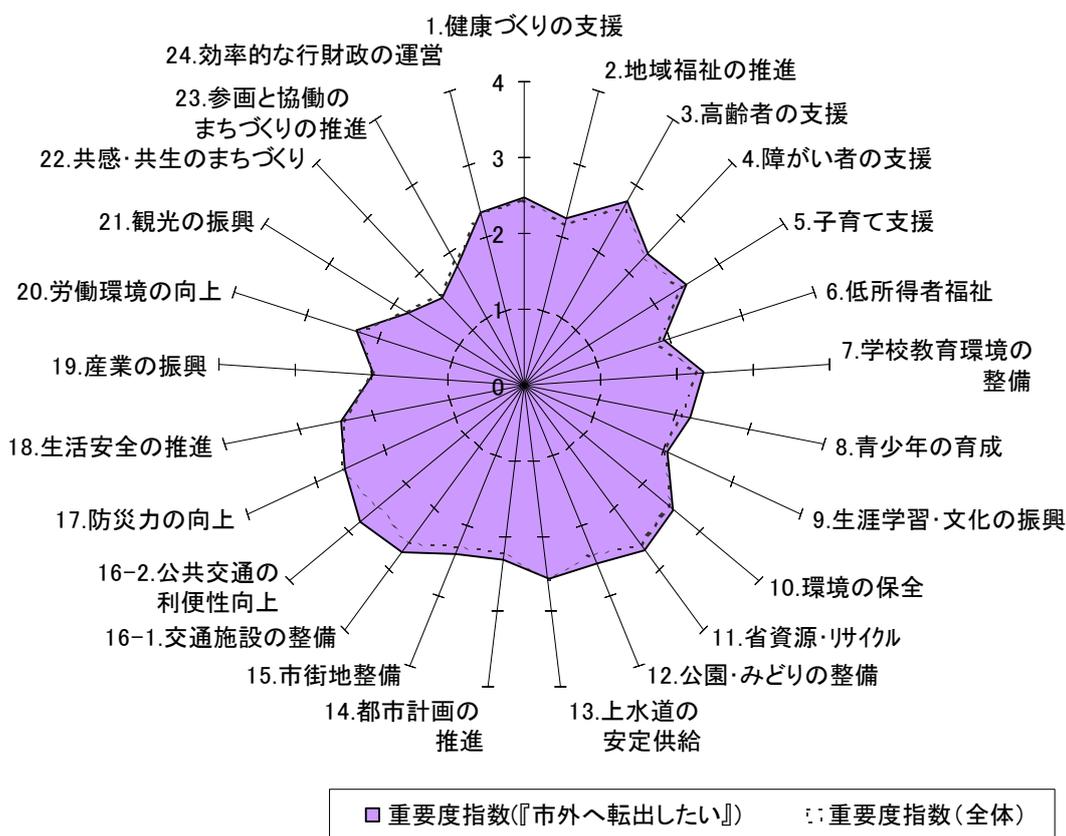
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.33	14	9.生涯学習・文化の振興	-0.25
2	13.上水道の安定供給	0.19	15	3.高齢者の支援	-0.35
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.05	16	12.公園・みどりの整備	-0.38
4	21.観光の振興	0.05	17	5.子育て支援	-0.38
5	22.共感・共生のまちづくり	-0.05	18	1.健康づくりの支援	-0.39
6	18.生活安全の推進	-0.06	19	19.産業の振興	-0.40
7	17.防災力の向上	-0.08	20	14.都市計画の推進	-0.47
8	8.青少年の育成	-0.09	21	20.労働環境の向上	-0.53
9	7.学校教育環境の整備	-0.10	22	15.市街地整備	-0.56
10	10.環境の保全	-0.12	23	24.効率的な行財政の運営	-0.59
11	4.障がい者の支援	-0.21	24	16-2.公共交通の利便性向上	-0.66
12	6.低所得者福祉	-0.22	25	16-1.交通施設の整備	-0.71
13	2.地域福祉の推進	-0.24			

□ 重要度

各項目における重要度については、「16-2.公共交通の利便性向上」「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「11.省資源・リサイクル」「17.防災力の向上」が上位5項目となっており、交通施設の整備や今後の生活に関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「21.観光の振興」「6.低所得者福祉」「19.産業の振興」となっています。



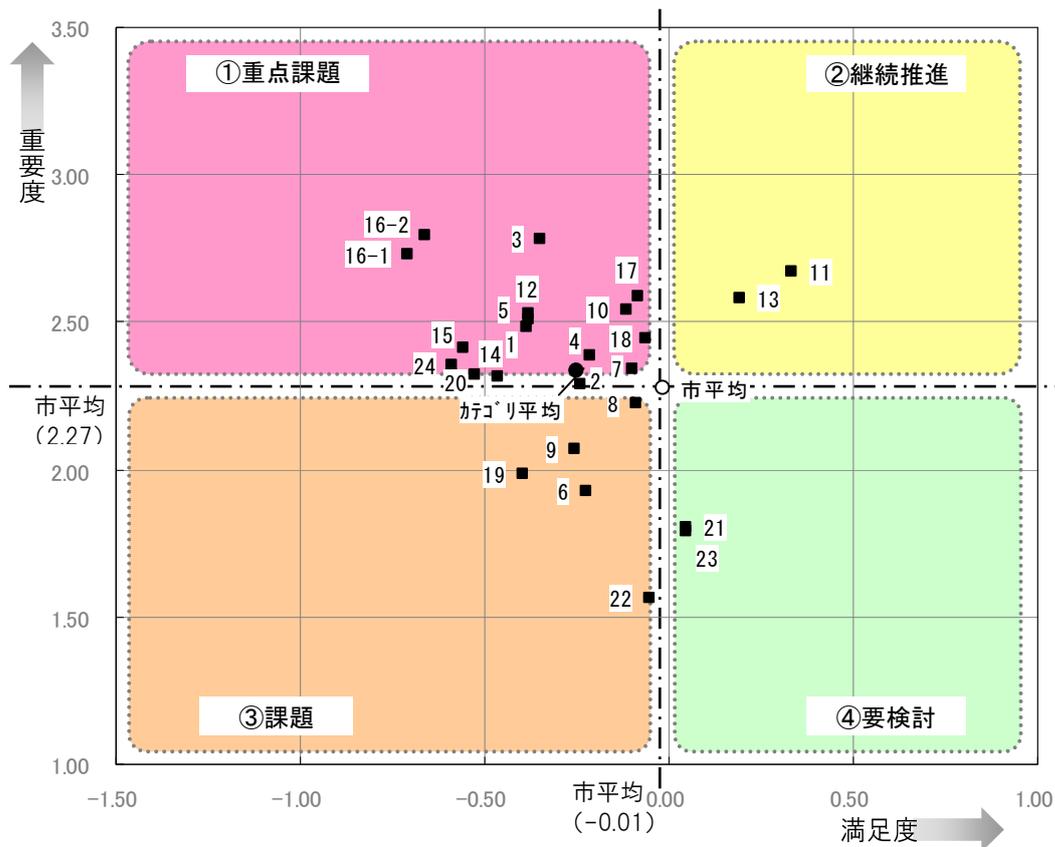
□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	16-2.公共交通の利便性向上	2.79	14	24.効率的な行財政の運営	2.35
2	3.高齢者の支援	2.78	15	7.学校教育環境の整備	2.34
3	16-1.交通施設の整備	2.73	16	20.労働環境の向上	2.32
4	11.省資源・リサイクル	2.67	17	14.都市計画の推進	2.32
5	17.防災力の向上	2.59	18	2.地域福祉の推進	2.29
6	13.上水道の安定供給	2.58	19	8.青少年の育成	2.22
7	10.環境の保全	2.54	20	9.生涯学習・文化の振興	2.07
8	12.公園・みどりの整備	2.53	21	19.産業の振興	1.99
9	5.子育て支援	2.51	22	6.低所得者福祉	1.93
10	1.健康づくりの支援	2.49	23	21.観光の振興	1.80
11	18.生活安全の推進	2.44	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.79
12	15.市街地整備	2.41	25	22.共感・共生のまちづくり	1.57
13	4.障がい者の支援	2.38			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「16-1.交通施設の整備」が最も低くなっています。重要度については、「16-2.公共交通の利便性向上」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者の増加を視野に入れながら、交通体系の整備を図ることが求められています。



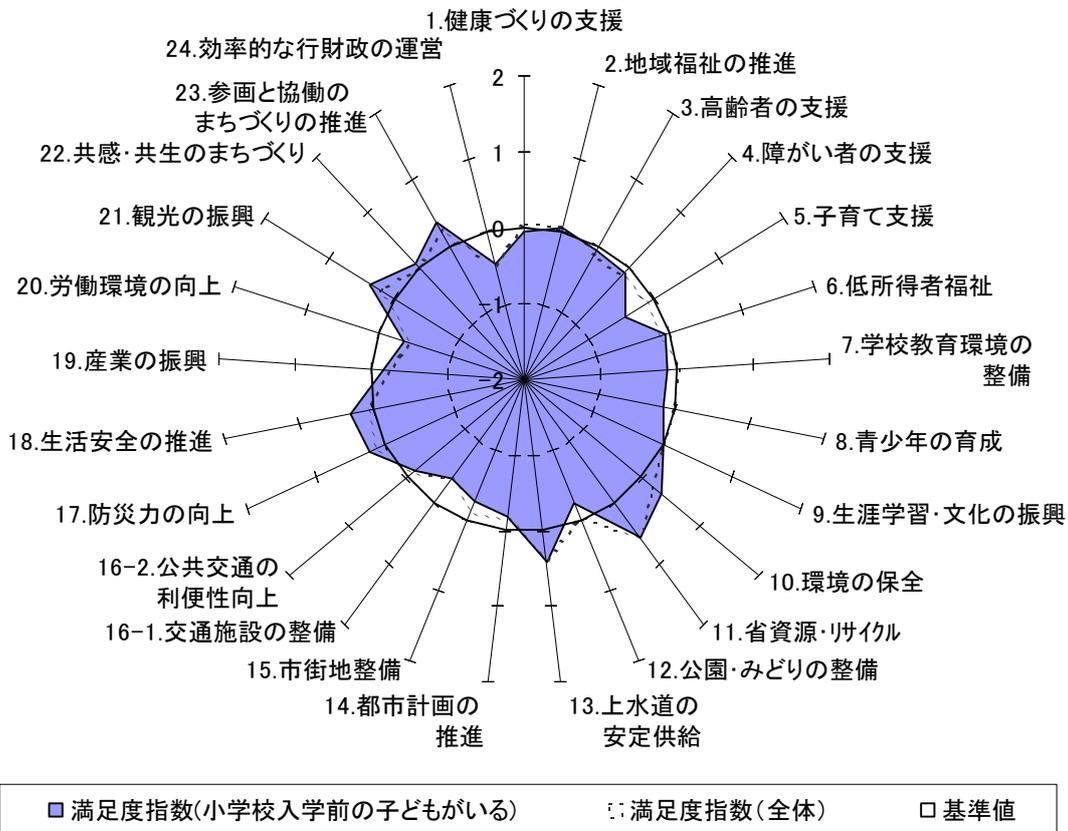
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	11.省資源・リサイクル
	3.高齢者の支援		13.上水道の安定供給
	4.障がい者の支援		
	5.子育て支援		
	7.学校教育環境の整備		
	10.環境の保全		
	12.公園・みどりの整備		
	14.都市計画の推進		
	15.市街地整備		
	16-1.交通施設の整備		
	16-2.公共交通の利便性向上		
	17.防災力の向上		
	18.生活安全の推進		
	20.労働環境の向上		
24.効率的な行財政の運営			
③課題	2.地域福祉の推進	④要検討	21.観光の振興
	6.低所得者福祉		23.参画と協働のまちづくりの推進
	8.青少年の育成		
	9.生涯学習・文化の振興		
	19.産業の振興		
	22.共感・共生のまちづくり		

(7) 同居家族別の満足度・重要度評価

①同居家族に小学校入学前の子どもがいる

□満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「21.観光の振興」となっており、25項目中10項目がプラス評価になっています。一方、マイナス評価は、「5.子育て支援」「24.効率的な行財政の運営」「16-1.交通施設の整備」の順に下位を占めています。特に、小学校入学前の子どもがいる世帯では、子育て支援をはじめ、行財政や交通施設の整備に関する項目の満足度が低くなっています。



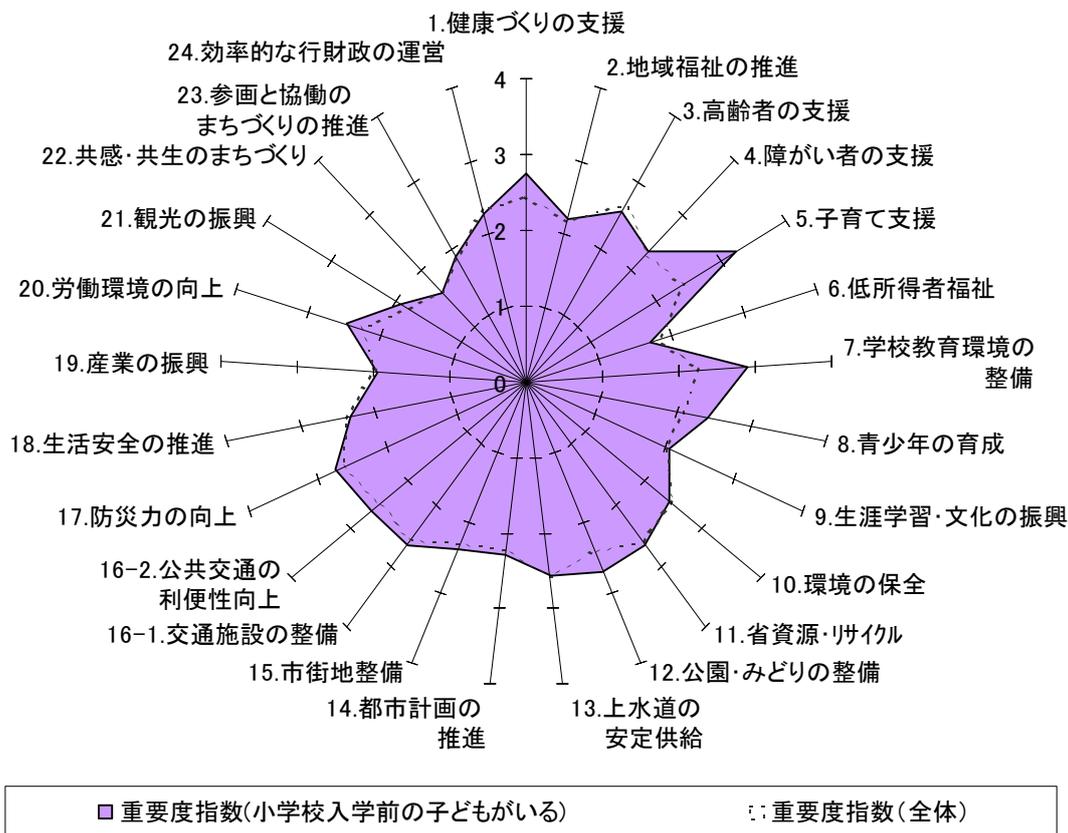
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.59	14	4.障がい者の支援	-0.07
2	13.上水道の安定供給	0.43	15	7.学校教育環境の整備	-0.12
3	21.観光の振興	0.38	16	16-2.公共交通の利便性向上	-0.12
4	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.37	17	19.産業の振興	-0.15
5	10.環境の保全	0.34	18	8.青少年の育成	-0.15
6	18.生活安全の推進	0.34	19	14.都市計画の推進	-0.17
7	17.防災力の向上	0.24	20	12.公園・みどりの整備	-0.25
8	22.共感・共生のまちづくり	0.10	21	15.市街地整備	-0.29
9	2.地域福祉の推進	0.04	22	20.労働環境の向上	-0.36
9	9.生涯学習・文化の振興	0.02	23	16-1.交通施設の整備	-0.41
11	1.健康づくりの支援	-0.05	24	24.効率的な行財政の運営	-0.43
12	3.高齢者の支援	-0.05	25	5.子育て支援	-0.43
13	6.低所得者福祉	-0.06			

□ 重要度

各項目における重要度については、「5.子育て支援」「7.学校教育環境の整備」「17.防災力の向上」「1.健康づくりの支援」「12.公園・みどりの整備」が上位5項目となっており、子どもに関する施策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「6.低所得者福祉」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「21.観光の振興」「19.産業の振興」となっています。



□ 順位(2.27を市平均とし、表中の二重線で示しています)

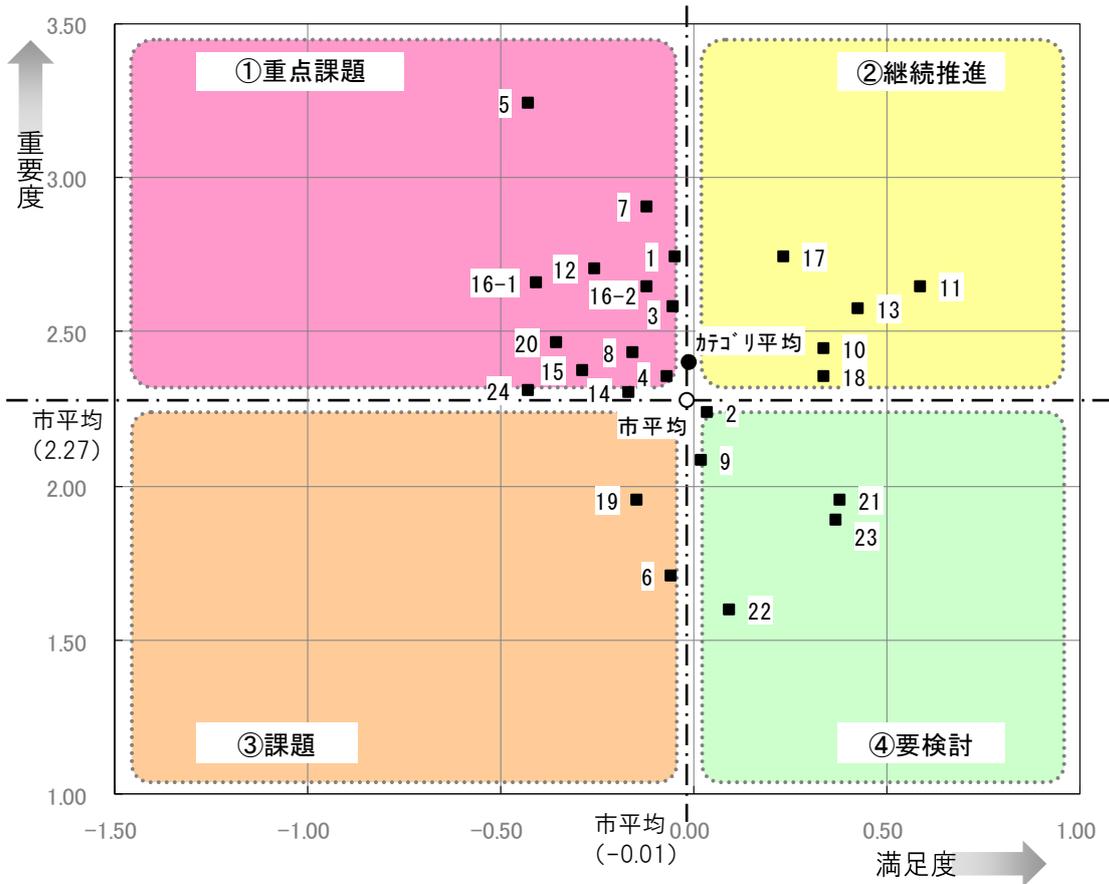
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	5.子育て支援	3.24	14	15.市街地整備	2.38
2	7.学校教育環境の整備	2.90	15	4.障がい者の支援	2.36
3	17.防災力の向上	2.74	16	18.生活安全の推進	2.36
4	1.健康づくりの支援	2.74	17	24.効率的な行財政の運営	2.31
5	12.公園・みどりの整備	2.71	18	14.都市計画の推進	2.30
6	16-1.交通施設の整備	2.66	19	2.地域福祉の推進	2.24
7	16-2.公共交通の利便性向上	2.65	20	9.生涯学習・文化の振興	2.08
8	11.省資源・リサイクル	2.64	21	19.産業の振興	1.96
9	3.高齢者の支援	2.58	22	21.観光の振興	1.96
10	13.上水道の安定供給	2.58	23	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.89
11	20.労働環境の向上	2.47	24	6.低所得者福祉	1.71
12	10.環境の保全	2.45	25	22.共感・共生のまちづくり	1.60
13	8.青少年の育成	2.43			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」「5.子育て支援」がの2項目がそれぞれ最も低くなっています。

重要度については、「5.子育て支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「5.子育て支援」「7.学校教育環境の整備」「1.健康づくりの支援」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、子育てしやすい環境づくりを視野に入れながら、公園等の整備や交通体系の整備を図ることが求められています。



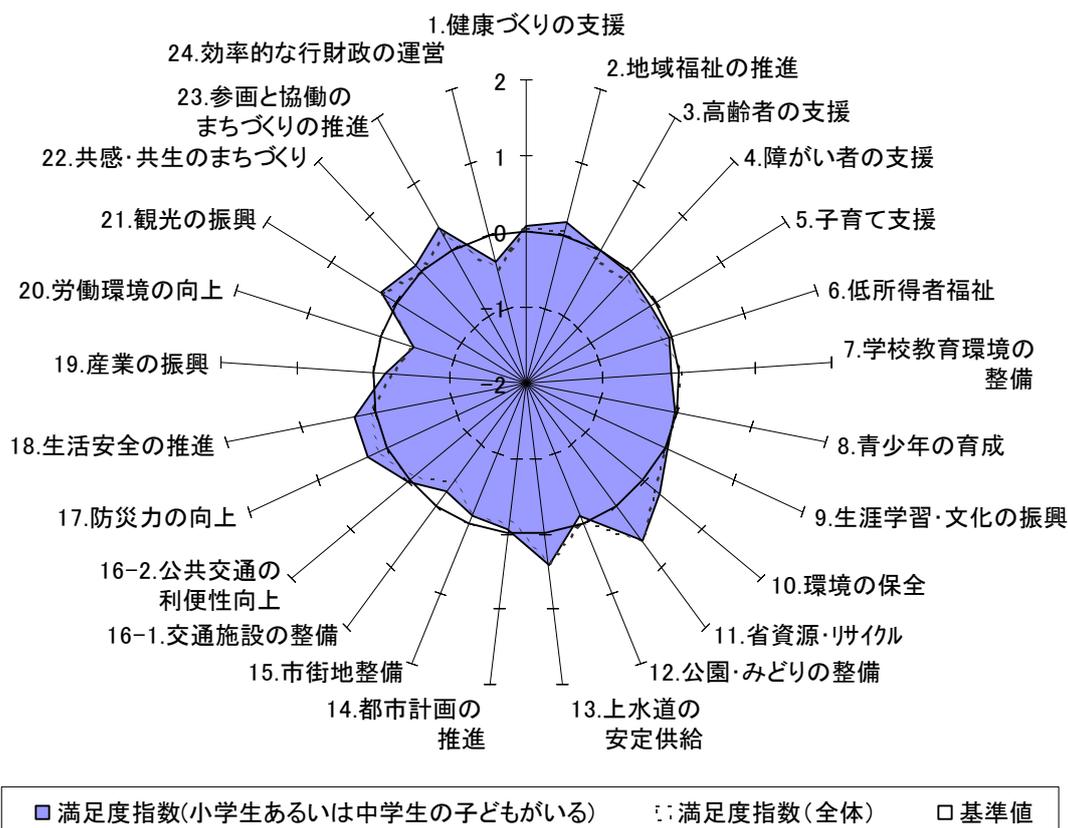
①重点課題	1.健康づくりの支援	②継続推進	10.環境の保全
	3.高齢者の支援		11.省資源・リサイクル
	4.障がい者の支援		13.上水道の安定供給
	5.子育て支援		17.防災力の向上
	7.学校教育環境の整備		18.生活安全の推進
	8.青少年の育成		
	12.公園・みどりの整備		
	14.都市計画の推進		
	15.市街地整備		
	16-1.交通施設の整備		
	16-2.公共交通の利便性向上		
	20.労働環境の向上		
	24.効率的な行財政の運営		
	③課題		6.低所得者福祉
19.産業の振興		9.生涯学習・文化の振興	
		21.観光の振興	
			22.共感・共生のまちづくり
			23.参画と協働のまちづくりの推進

②同居家族に小学生あるいは中学生の子どもがいる

□ 満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」となっています。

一方、マイナス評価は、「20.労働環境の向上」「24.効率的な行財政の運営」「16-1.交通施設の整備」「19.産業の振興」「15.市街地整備」の順に下位を占めています。特に、労働環境の向上をはじめ、行財政や交通施設に関する項目の満足度が低くなっています。



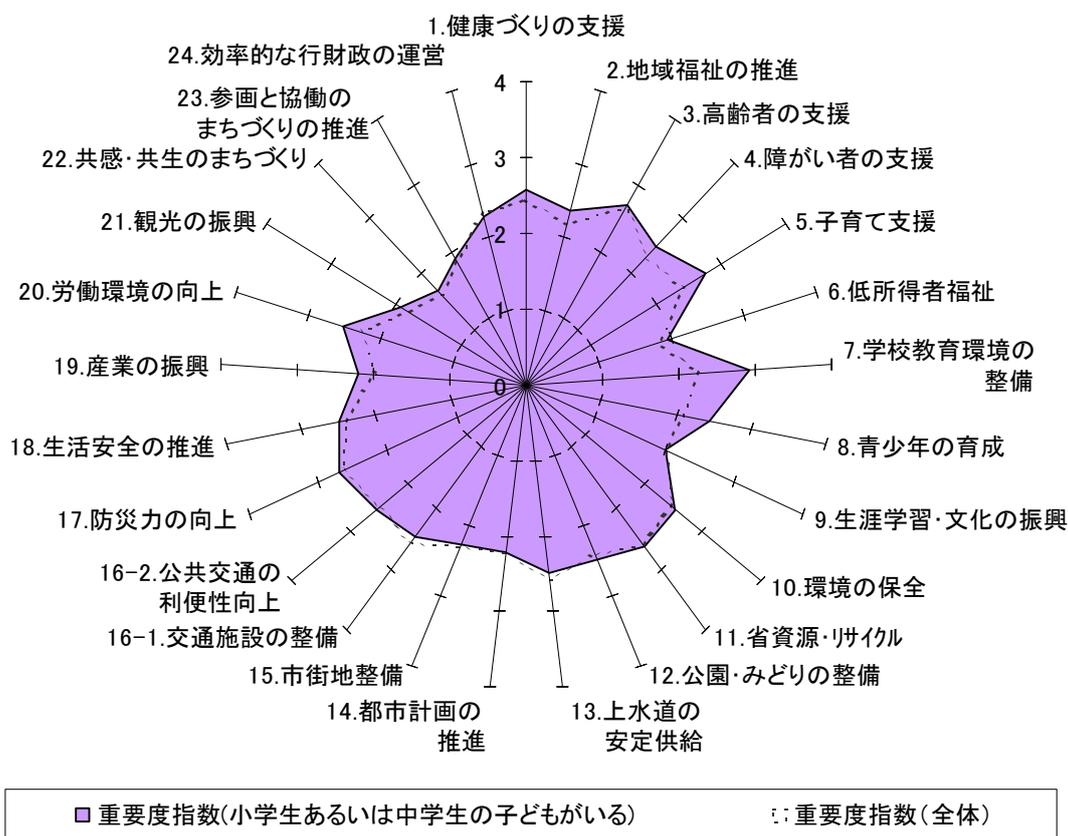
□ 順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.57	14	4.障がい者の支援	-0.02
2	13.上水道の安定供給	0.44	15	8.青少年の育成	-0.03
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.35	16	6.低所得者福祉	-0.03
4	17.防災力の向上	0.31	17	14.都市計画の推進	-0.05
5	18.生活安全の推進	0.29	18	5.子育て支援	-0.07
6	10.環境の保全	0.27	19	12.公園・みどりの整備	-0.10
7	21.観光の振興	0.24	20	7.学校教育環境の整備	-0.11
8	2.地域福祉の推進	0.19	21	15.市街地整備	-0.13
9	22.共感・共生のまちづくり	0.12	22	19.産業の振興	-0.14
10	1.健康づくりの支援	0.07	23	16-1.交通施設の整備	-0.22
11	9.生涯学習・文化の振興	0.05	24	24.効率的な行財政の運営	-0.36
12	16-2.公共交通の利便性向上	0.03	25	20.労働環境の向上	-0.45
13	3.高齢者の支援	0.01			

□ 重要度

各項目における重要度については、「7.学校教育環境の整備」「5.子育て支援」「3.高齢者の支援」「17.防災力の向上」「11.省資源・リサイクル」が上位5項目となっており、子どもに関する施策をはじめ、高齢者施策、防災対策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目には、「22.共感・共生のまちづくり」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「6.低所得者福祉」「21.観光の振興」「9.生涯学習・文化の振興」となっています。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

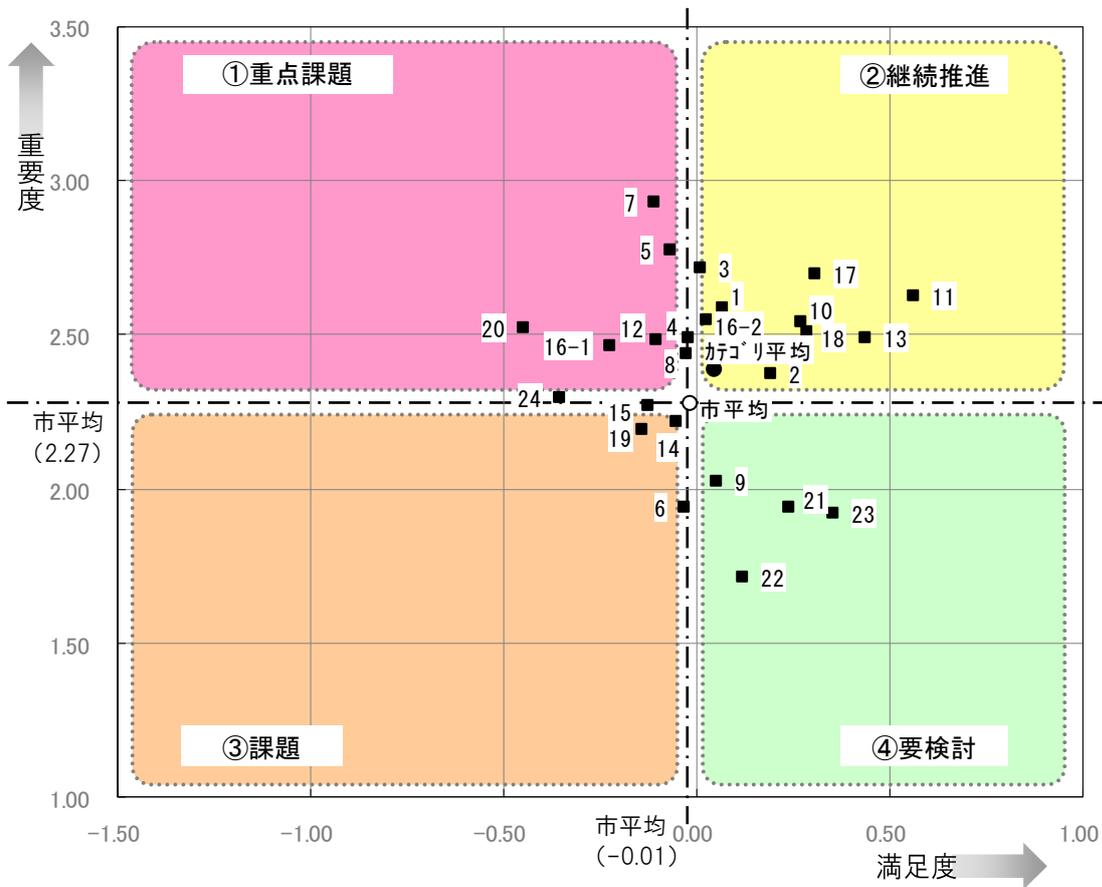
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	7.学校教育環境の整備	2.93	14	16-1.交通施設の整備	2.47
2	5.子育て支援	2.78	15	8.青少年の育成	2.44
3	3.高齢者の支援	2.72	16	2.地域福祉の推進	2.37
4	17.防災力の向上	2.70	17	24.効率的な行財政の運営	2.30
5	11.省資源・リサイクル	2.63	18	15.市街地整備	2.27
6	1.健康づくりの支援	2.59	19	14.都市計画の推進	2.22
7	16-2.公共交通の利便性向上	2.55	20	19.産業の振興	2.19
8	10.環境の保全	2.54	21	9.生涯学習・文化の振興	2.02
9	20.労働環境の向上	2.52	22	21.観光の振興	1.94
10	18.生活安全の推進	2.51	23	6.低所得者福祉	1.94
11	13.上水道の安定供給	2.49	24	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.92
12	4.障がい者の支援	2.49	25	22.共感・共生のまちづくり	1.71
13	12.公園・みどりの整備	2.48			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「20.労働環境の向上」が最も低くなっています。

重要度については、「7.学校教育環境の整備」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「7.学校教育環境の整備」「5.子育て支援」「20.労働環境の向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、学校教育環境や子育て支援、労働環境の向上を図ることが求められています。



①重点課題	4.障がい者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	5.子育て支援		2.地域福祉の推進
	7.学校教育環境の整備		3.高齢者の支援
	8.青少年の育成		10.環境の保全
	12.公園・みどりの整備		11.省資源・リサイクル
	16-1.交通施設の整備		13.上水道の安定供給
	20.労働環境の向上		16-2.公共交通の利便性向上
	24.効率的な行財政の運営		17.防災力の向上
③課題	6.低所得者福祉	④要検討	9.生涯学習・文化の振興
	14.都市計画の推進		21.観光の振興
	15.市街地整備		22.共感・共生のまちづくり
	19.産業の振興		23.参画と協働のまちづくりの推進

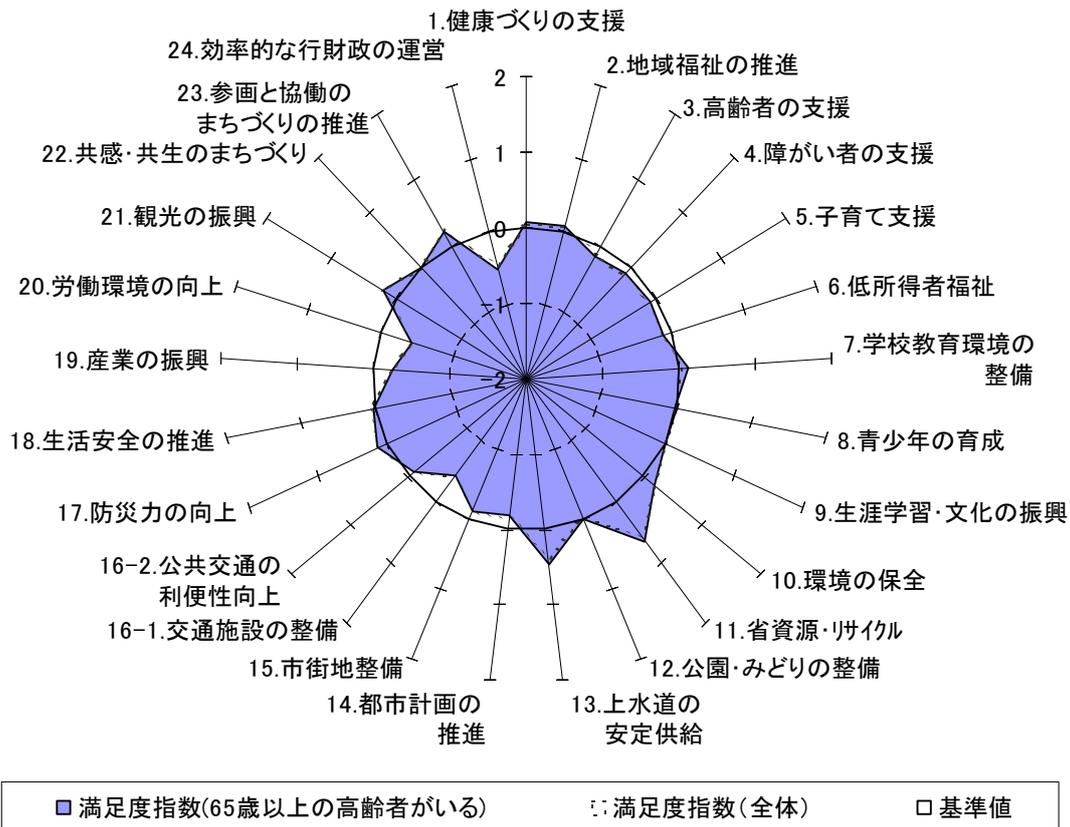
③同居家族に65歳以上の高齢者がいる

□満足度

各項目における満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、次いで、「13.上水道の安定供給」「23.参画と協働のまちづくりの推進」となっています。

一方、マイナス評価は、「24.効率的な行財政の運営」「16-1.交通施設の整備」「20.労働環境の向上」「19.産業の振興」「14.都市計画の推進」の順に下位を占めています。

特に、行財政をはじめ、交通施設や労働環境に関する項目の満足度が低くなっています。



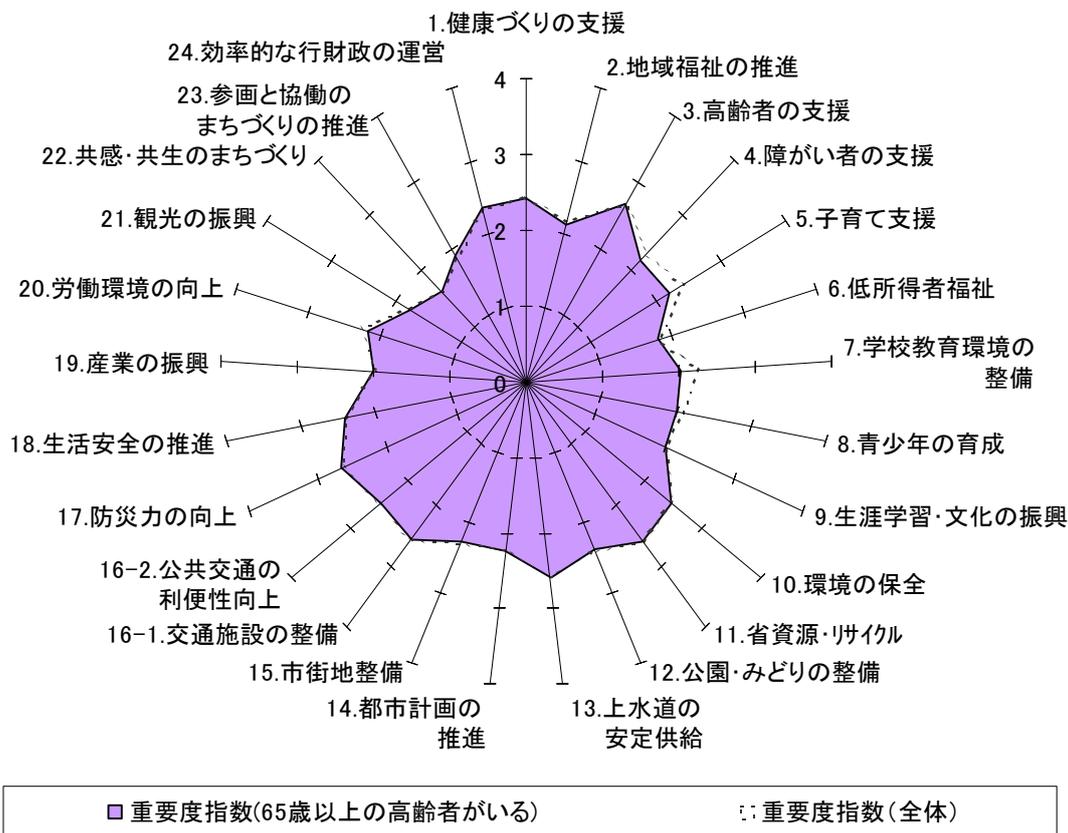
□順位(-0.01を市平均とし、表中の二重線で示しています)

順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	11.省資源・リサイクル	0.65	14	8.青少年の育成	-0.03
2	13.上水道の安定供給	0.47	15	5.子育て支援	-0.07
3	23.参画と協働のまちづくりの推進	0.22	16	16-2.公共交通の利便性向上	-0.09
4	10.環境の保全	0.21	17	4.障がい者の支援	-0.09
5	21.観光の振興	0.19	18	15.市街地整備	-0.09
6	17.防災力の向上	0.16	19	6.低所得者福祉	-0.11
7	7.学校教育環境の整備	0.12	20	3.高齢者の支援	-0.15
8	1.健康づくりの支援	0.08	21	14.都市計画の推進	-0.18
9	2.地域福祉の推進	0.08	22	19.産業の振興	-0.26
10	18.生活安全の推進	0.05	23	20.労働環境の向上	-0.42
11	9.生涯学習・文化の振興	0.03	24	16-1.交通施設の整備	-0.43
12	12.公園・みどりの整備	0.01	25	24.効率的な行財政の運営	-0.49
13	22.共感・共生のまちづくり	-0.01			

□ 重要度

各項目における重要度については、「3.高齢者の支援」「17.防災力の向上」「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」「16-1.交通施設の整備」が上位5項目となっており、高齢者に関する施策をはじめ、防災対策に重要度が置かれています。

一方、下位5項目は、「22.共感・共生のまちづくり」「21.観光の振興」「6.低所得者福祉」「23.参画と協働のまちづくりの推進」「9.生涯学習・文化の振興」となっています。



□ 順位(2.27 を市平均とし、表中の二重線で示しています)

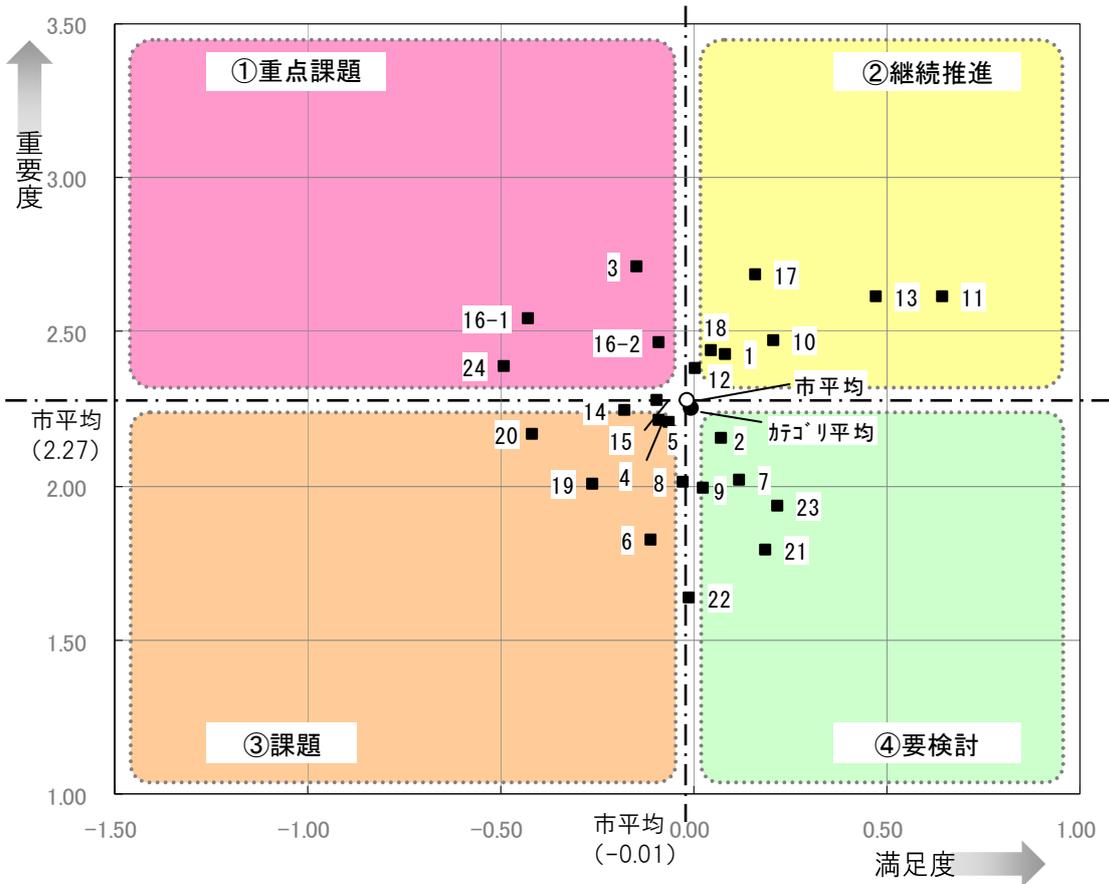
順位	項目	指数	順位	項目	指数
1	3.高齢者の支援	2.71	14	4.障がい者の支援	2.21
2	17.防災力の向上	2.69	15	5.子育て支援	2.20
3	11.省資源・リサイクル	2.61	16	20.労働環境の向上	2.17
4	13.上水道の安定供給	2.61	17	2.地域福祉の推進	2.15
5	16-1.交通施設の整備	2.54	18	7.学校教育環境の整備	2.02
6	10.環境の保全	2.47	19	8.青少年の育成	2.01
7	16-2.公共交通の利便性向上	2.47	20	19.産業の振興	2.01
8	18.生活安全の推進	2.44	21	9.生涯学習・文化の振興	1.99
9	1.健康づくりの支援	2.43	22	23.参画と協働のまちづくりの推進	1.93
10	24.効率的な行財政の運営	2.39	23	6.低所得者福祉	1.82
11	12.公園・みどりの整備	2.38	24	21.観光の振興	1.79
12	15.市街地整備	2.27	25	22.共感・共生のまちづくり	1.64
13	14.都市計画の推進	2.25			

□ 満足度と重要度の関係

満足度については、「11.省資源・リサイクル」が最も高く、「24.効率的な行財政の運営」が最も低くなっています。

重要度については、「3.高齢者の支援」が最も高く、「22.共感・共生のまちづくり」が最も低くなっています。

継続推進として、優先度の高い施策は、「11.省資源・リサイクル」「13.上水道の安定供給」となっており、重点課題として優先度の高い施策は、「3.高齢者の支援」「16-1.交通施設の整備」「16-2.公共交通の利便性向上」であり、住みやすい生活環境を維持・継続していく一方、高齢者への支援をはじめ、交通体系の整備を図ることが求められています。



①重点課題	3.高齢者の支援	②継続推進	1.健康づくりの支援
	16-1.交通施設の整備		10.環境の保全
	16-2.公共交通の利便性向上		11.省資源・リサイクル
	24.効率的な行財政の運営		12.公園・みどりの整備
③課題	4.障がい者の支援	④要検討	2.地域福祉の推進
	5.子育て支援		7.学校教育環境の整備
	6.低所得者福祉		9.生涯学習・文化の振興
	8.青少年の育成		21.観光の振興
	14.都市計画の推進		22.共感・共生のまちづくり
	15.市街地整備		23.参画と協働のまちづくりの推進
	19.産業の振興		
	20.労働環境の向上		

4. 高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

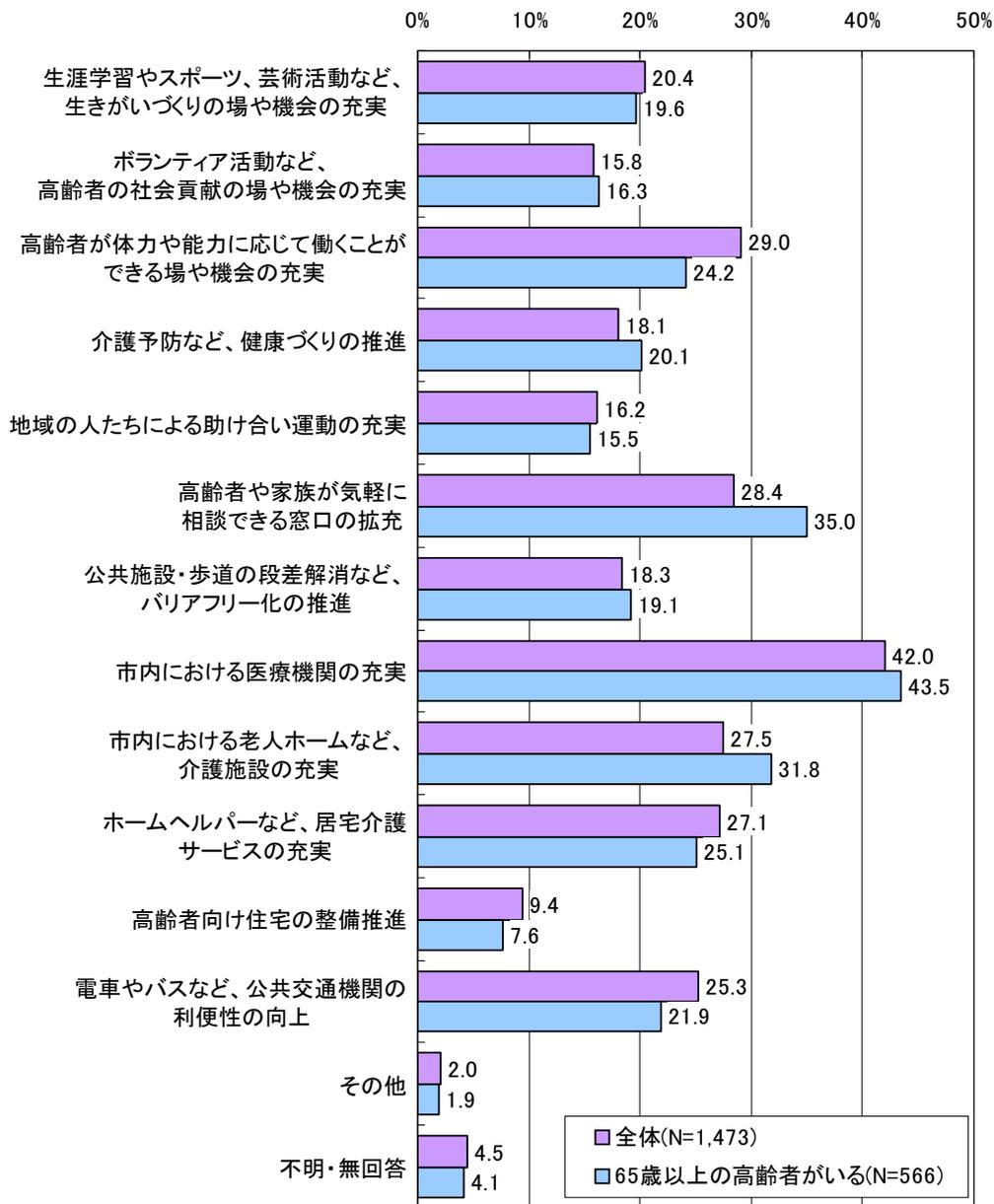
(1) 高齢者対策について

問4 あなたは、高齢者が暮らしやすいまちにするために、今後どのようなことに力をそそぐべきとお考えですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

①全体集計（MA）、同居家族別（65歳以上の高齢者がいる）

上位項目：1.市内における医療機関の充実、2.高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実、3.高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充

高齢者対策に対する回答全体では、「市内における医療機関の充実」が42.0%と最も高く、次いで「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実」が29.0%、「高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充」が28.4%となっています。65歳以上の高齢者と同居している方では、全体に比べ、「ボランティア活動など、高齢者の社会貢献の場や機会の充実」「介護予防など、健康づくりの推進」「高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充」「公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進」「市内における医療機関の充実」「市内における老人ホームなど、介護施設の充実」が高く、保健・医療・福祉による支援、社会参加の機会の充実などを求める傾向がうかがえます。



□ 全体集計上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	市内における医療機関の充実 (42.0)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (29.0)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充 (28.4)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実 (27.5)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (27.1)

②性別

上位5項目を性別にみると、男女ともに「市内における医療機関の充実」が第1位となっており、第2位～5位に含まれる項目は男女で違いはありませんが、「市内における老人ホームなど、介護施設の充実」については男性で第5位にありますが、女性では第2位となっており、比較的高くなっています。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
男性	市内における医療機関の充実 (40.4)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (29.9)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充 (28.0)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (26.5)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実 (25.5)
女性	市内における医療機関の充実 (43.2)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実 (28.9)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充 (28.6)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (27.9)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (27.7)

③年齢別

上位5項目を年齢別にみると、10～20歳代の層では「生涯学習やスポーツ、芸術活動など、生きがいがづくりの場や機会の充実」が第1位となっていますが、30歳代の層では「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実」が、40歳以上の層では「市内における医療機関の充実」がそれぞれ第1位になっています。若年層では生きがいがづくりや健康づくりなど、間接的な高齢者の支援が上位に挙がっているのに対し、高齢層では医療機関や相談の場など、より身近な支援を求めていることがうかがえます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
16～19歳	生涯学習やスポーツ、芸術活動など、生きがいがづくりの場や機会の充実(40.4)	電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(38.5)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(34.6)	公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進(32.7)	介護予防など、健康づくりの推進(23.1)
20～29歳	生涯学習やスポーツ、芸術活動など、生きがいがづくりの場や機会の充実(34.8)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(29.3)	公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進(27.2)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(26.1)	
30～39歳	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(37.0)	市内における医療機関の充実(35.9)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(31.3)	電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(26.6)	
40～49歳	市内における医療機関の充実(46.4)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(31.3)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実／ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(30.3)		電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(25.6)
50～59歳	市内における医療機関の充実(48.1)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充(35.5)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(34.1)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(32.7)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(28.0)
60～69歳	市内における医療機関の充実(44.2)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(29.6)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充(29.3)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(28.7)	電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(26.6)
70～79歳	市内における医療機関の充実(46.1)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充(32.6)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(29.5)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実(23.3)	介護予防など、健康づくりの推進(20.9)
80歳以上	市内における医療機関の充実(41.2)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実(34.1)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充／電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上(32.9)		ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実(24.7)

※空欄部分は、多くの項目が同順位となっているため表示していません

④同居家族別

上位5項目を同居家族別にみると、各世帯ともに「市内における医療機関の充実」が第1位となっています。小学生あるいは中学生の子どもがいる世帯、65歳以上の高齢者がいる世帯では、順位は異なりますが、同様の傾向がうかがえます。また、小学校入学前の子どもがいる世帯では、第4位に「公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進」、第5位に「電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上」といった道路環境や交通環境に関する回答がみられます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	市内における医療機関の充実 (43.3)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (38.2)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (30.6)	公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進 (28.0)	電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上 (27.4)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	市内における医療機関の充実 (43.1)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (32.3)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (31.9)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実 (25.9)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充 (23.7)
65歳以上の高齢者がいる	市内における医療機関の充実 (43.5)	高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充 (35.0)	市内における老人ホームなど、介護施設の充実 (31.8)	ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実 (25.1)	高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実 (24.2)

5. 安心して子育てできるまちづくりについて

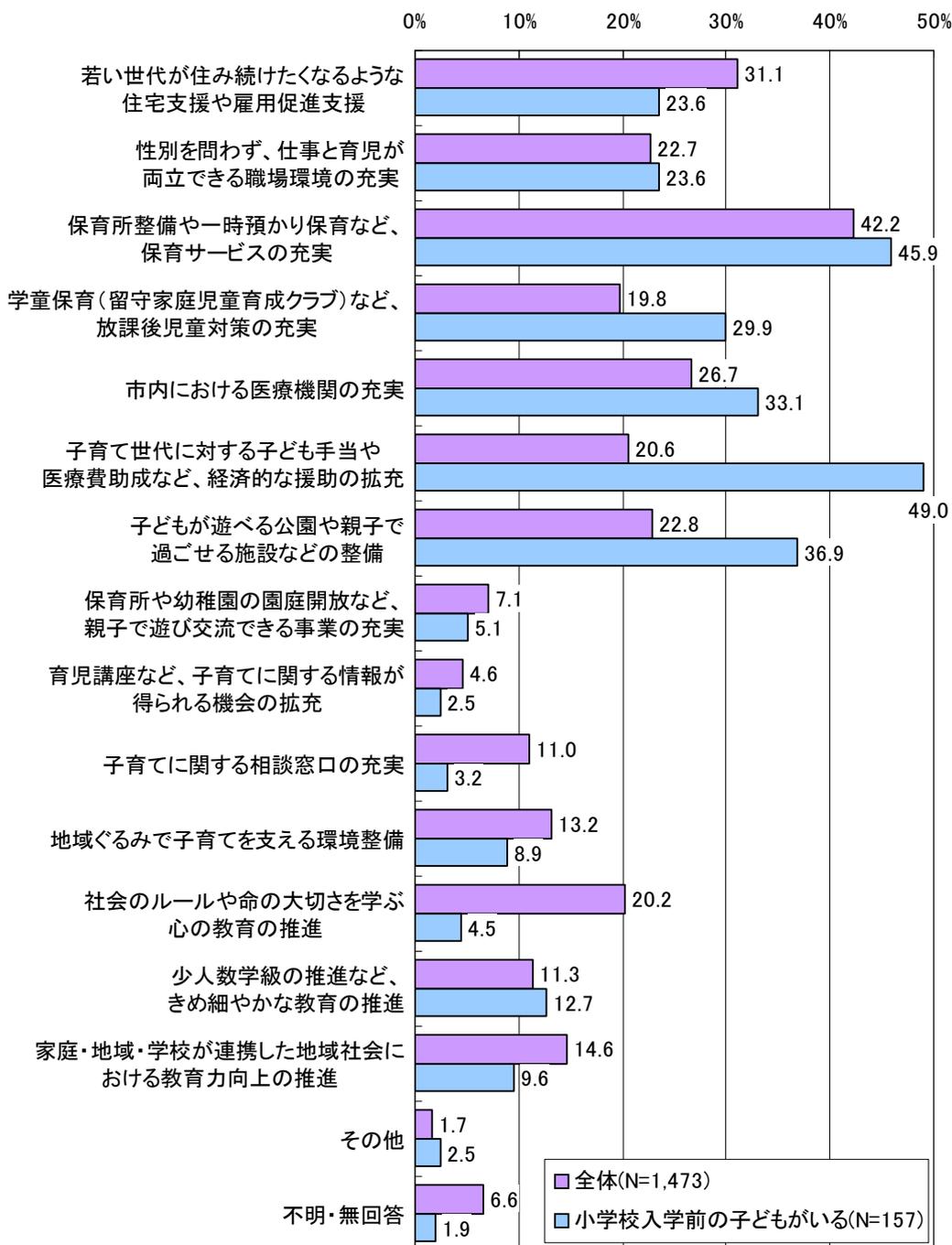
(1) 子育て対策について

問5 あなたは、誰もが安心して子どもを生み、育てられるまちにするために、今後どのようなことに力をそそぐべきとお考えですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

①全体集計 (MA)、同居家族別 (小学校入学前の子どもがいる)

上位項目：1.保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実、2.若い世代が住み続けたいような住宅支援や雇用促進支援、3.市内における医療機関の充実

子育て支援に対する回答全体では、「保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実」が 42.2%と最も高く、次いで「若い世代が住み続けたいような住宅支援や雇用促進支援」が 31.1%となっています。小学校入学前の子どもがいる人の回答と比較すると、概ね傾向は類似していますが、「子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充」「子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備」「学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実」で 10.0 ポイント以上の差がみられ、子育てに関する経済的支援や子ども遊び場の確保、放課後児童対策の充実を求める回答がみられます。



□ 全体集計上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実 (42.2)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援 (31.1)	市内における医療機関の充実 (26.7)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備 (22.8)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実 (22.7)

②性別

上位5項目を性別にみると、男女ともに第1位から第4位の項目のうち3項目が共通しており、順位などは異なるものの、同様の傾向となっています。その他、男性では第3位に「子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備」が、女性では第4位に「性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実」が入ってきています。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
男性	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(41.8)	若い世代が住み続けたいとなるような住宅支援や雇用促進支援(35.6)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(27.8)	市内における医療機関の充実(26.4)	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(23.7)
女性	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(42.0)	若い世代が住み続けたいとなるような住宅支援や雇用促進支援(28.6)	市内における医療機関の充実(27.2)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(24.1)	学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実(23.3)

③年齢別

上位5項目を年齢別にみると、16～19歳の層では「子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備」が第1位となっていますが、20歳以上の層では「保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実」が第1位となっています。30歳以上の層では「市内における医療機関の充実」が第2～4位に、60歳以上では「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が第3位に入っています。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
16～19歳	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(44.2)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(38.5)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(34.6)	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(28.8)	
20～29歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(48.9)	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(42.4)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(41.3)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(33.7)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(25.0)
30～39歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(40.1)	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(36.5)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(35.4)	市内における医療機関の充実(29.2)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(25.5)
40～49歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(37.9)	市内における医療機関の充実(31.8)	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(24.6)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(23.7)	
50～59歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(53.3)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(35.0)	市内における医療機関の充実(32.7)	学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実(24.8)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(21.5)
60～69歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(41.5)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(34.6)	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(25.4)	市内における医療機関の充実(25.1)	性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実(22.4)
70～79歳	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(39.9)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(32.9)	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(26.0)	市内における医療機関の充実(23.3)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(19.0)
80歳以上	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(34.1)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援/社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(24.7)		市内における医療機関の充実(22.4)	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(20.0)

※空欄部分は、多くの項目が同順位となっているため表示していません

④同居家族別

上位5項目を同居家族別にみると、小学校入学前の子どもがいる世帯、小学生あるいは中学生の子どもがいる世帯では、順位などは異なるものの、同様の傾向がみられ、子育てに関する経済的支援や保育サービスを重視する傾向がみられます。

また、65歳以上の高齢者がいる世帯では、前二者に比べ、「若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援」「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」など、住宅施策や子どもの道徳心の育成を重視する傾向がうかがえます。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
小学校入学前の子どもがいる	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(49.0)	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(45.9)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(36.9)	市内における医療機関の充実(33.1)	学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実(29.9)
小学生あるいは中学生の子どもがいる	子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充(32.8)	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(31.5)	市内における医療機関の充実(31.0)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(29.7)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(25.0)
65歳以上の高齢者がいる	保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実(44.5)	若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援(33.6)	市内における医療機関の充実(25.3)	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進(23.0)	子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備(20.8)

6. まちづくりにおける市民と行政の役割分担について

(1) 市民と行政の役割分担の意識

問6 これからの社会では、市民の皆様と市が役割分担しながら、市民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていく必要があります。あなたのお住まいの地域（概ね自治会・小学校区）で次の1～15までのまちづくり活動を行う場合、市と市民がどのように役割を分担すべきと思いますか。5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

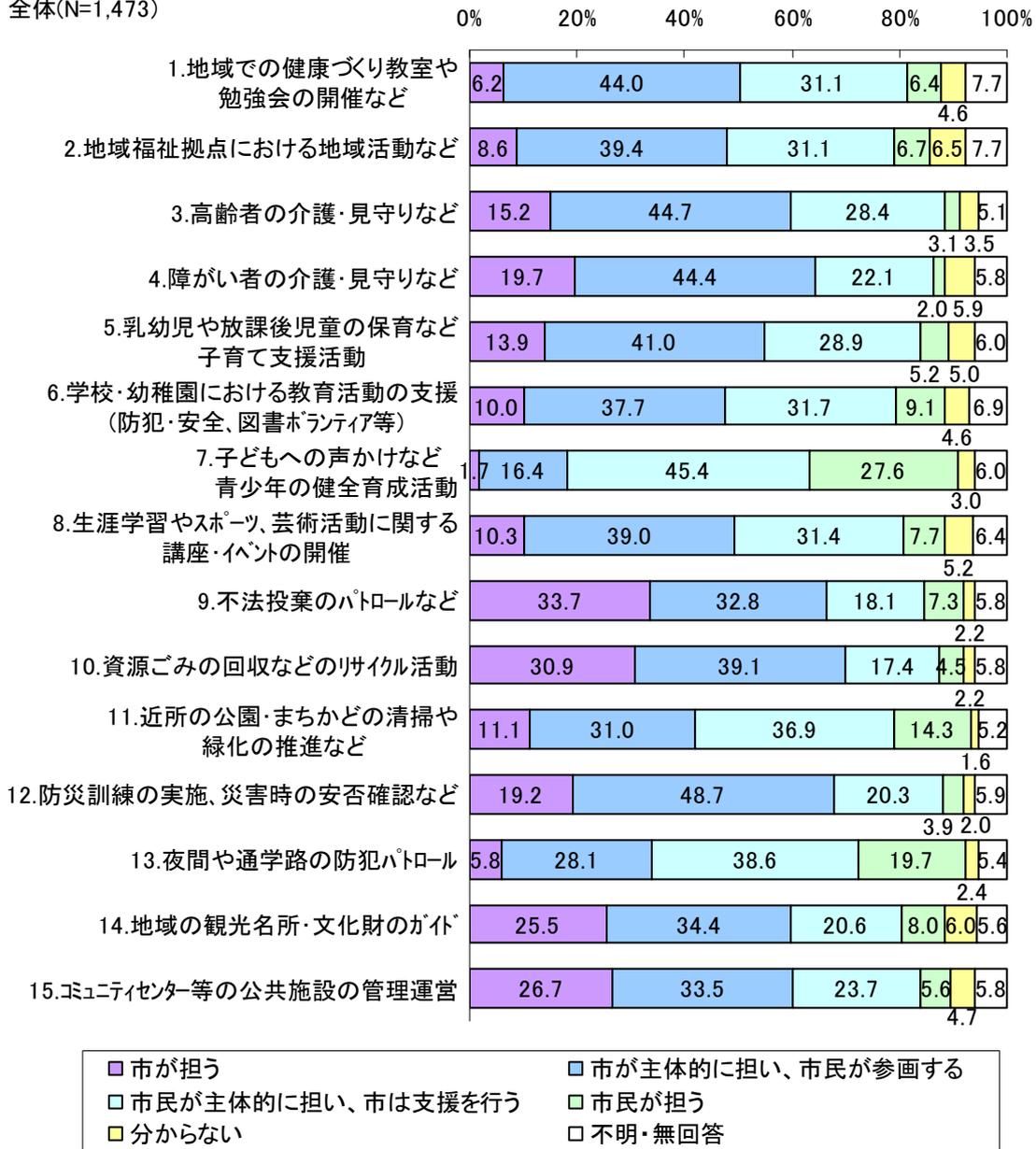
①全体集計（SA）

『市民が担うべき』役割として青少年の健全活動や防犯・清掃活動が多い

『市が担うべき』（「市が担う」と「市が主体的に担い、市民が参画する」の合計）とする回答は「10. 資源ごみの回収などのリサイクル活動」で70.0%と最も高く、次いで「12. 防災訓練の実施、災害時の安否確認など」が67.9%と高くなっています。

一方、『市民が担うべき』（「市民が担う」と「市民が主体的に担い、市は支援を行う」の合計）とする回答は「7. 子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動」が73.0%と最も高く、次いで「13. 夜間や通学路の防犯パトロール」が58.3%と高くなっています。

全体(N=1,473)



□『市民が担うべき』とする全体集計上位5項目

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (73.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (58.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (51.2)	学校・幼稚園における教育活動の支援 (40.8)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催 (39.1)

②年齢別（『市民が担うべき』とする回答の上位5項目）

年齢別で、『市民が担うべき』とする回答の多かった上位5項目をみると、すべての年齢層で「7. 子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動」が上位となっています。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
16～19歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(75.0)	学校・幼稚園における教育活動の支援(55.8)	夜間や通学路の防犯パトロール(53.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(48.1)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など(42.3)
20～29歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(79.4)	夜間や通学路の防犯パトロール(68.5)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(61.9)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(48.9)	学校・幼稚園における教育活動の支援(44.6)
30～39歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(76.1)	夜間や通学路の防犯パトロール(55.7)	学校・幼稚園における教育活動の支援(44.8)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(41.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(41.2)
40～49歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(74.0)	夜間や通学路の防犯パトロール(56.4)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(43.6)	学校・幼稚園における教育活動の支援(42.2)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(41.7)
50～59歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(72.9)	夜間や通学路の防犯パトロール(67.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(56.0)	学校・幼稚園における教育活動の支援(43.5)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(43.0)
60～69歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(79.7)	夜間や通学路の防犯パトロール(62.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(54.0)	地域福祉拠点における地域活動など(43.9)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(42.7)
70～79歳	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(67.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(56.2)	夜間や通学路の防犯パトロール(55.5)	地域福祉拠点における地域活動など(40.7)	乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動(40.3)
80歳以上	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(47.1)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(40.0)	夜間や通学路の防犯パトロール(29.4)	不法投棄のパトロールなど(27.1)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など(24.8)

③小学校区別（『市民が担うべき』とする回答の上位5項目）

小学校区別で、『市民が担うべき』とする回答の多かった上位5項目をみると、各小学校区ともに概ね第3位まで同様の傾向を示していますが、「桜が丘小学校区」では、「生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催」が、第3位に入っています。また、「清和台南小学校区」「けやき坂小学校区」「東谷小学校区」「牧の台小学校区」「北陵小学校区」など、市の中部・北部の小学校区において「学校・幼稚園における教育活動の支援」が上位に入っている傾向にあります。

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
久代小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(70.0)	夜間や通学路の防犯パトロール(57.2)	学校・幼稚園における教育活動の支援／近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(44.3)		乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動(40.0)
加茂小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(72.8)	夜間や通学路の防犯パトロール(51.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(49.4)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(46.9)	地域福祉拠点における地域活動など(44.5)
川西小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(64.4)	夜間や通学路の防犯パトロール(51.5)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(44.5)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(39.6)	地域福祉拠点における地域活動など(37.6)
桜が丘小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(59.7)	夜間や通学路の防犯パトロール(47.6)	学校・幼稚園における教育活動の支援／生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催／近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(40.2)		
川西北小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(72.9)	夜間や通学路の防犯パトロール(55.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(44.3)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(42.8)	地域の観光名所・文化財のガイド(38.6)
明峰小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(70.4)	夜間や通学路の防犯パトロール(60.5)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(51.3)	地域福祉拠点における地域活動など(40.1)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(39.5)
多田小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(81.5)	夜間や通学路の防犯パトロール(65.1)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(57.3)	学校・幼稚園における教育活動の支援(48.6)	乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動(43.7)
多田東小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動(74.4)	夜間や通学路の防犯パトロール(62.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など(47.8)	乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動(40.0)	学校・幼稚園における教育活動の支援(38.9)

小学校区別続き

(%)	1位	2位	3位	4位	5位
緑台 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (77.5)	夜間や通学路の防犯パトロール (63.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (60.4)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催／地域での健康づくり教室や勉強会の開催など(46.6)	
陽明 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (74.1)	夜間や通学路の防犯パトロール (61.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (59.2)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(45.7)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など (43.2)
清和台 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (74.5)	夜間や通学路の防犯パトロール (52.8)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (50.9)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(49.1)	学校・幼稚園における教育活動の支援(41.9)
清和台南 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (81.4)	夜間や通学路の防犯パトロール (65.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (56.0)	学校・幼稚園における教育活動の支援(49.4)	生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催(45.3)
けやき坂 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (90.7)	夜間や通学路の防犯パトロール (76.7)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (69.8)	学校・幼稚園における教育活動の支援(60.5)	地域福祉拠点における地域活動など(58.1)
東谷 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (78.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (59.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (53.4)	学校・幼稚園における教育活動の支援(40.7)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など (39.8)
牧の台 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (75.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (61.0)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (55.1)	学校・幼稚園における教育活動の支援(47.8)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など (42.7)
北陵 小学校区	子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動 (75.0)	夜間や通学路の防犯パトロール (66.3)	近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など (56.3)	学校・幼稚園における教育活動の支援(50.1)	地域での健康づくり教室や勉強会の開催など (46.3)

7. お住まいの地域について（地域力の分析）

問7 地域に関する意識について

あなたは、次の項目について、それぞれどのように考えていますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

問8 地域に関する活動について

あなたは、次の項目について、それぞれ参加や行動をしたことがありますか。5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください

問9 地域のまとまりについて

あなたは、次の項目について、それぞれ参加や行動をしたことがありますか。5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

問10 地域における協働について

あなたは、次の項目について、それぞれどのように感じていますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

〈分析の視点〉

お住まいの地域について、「地域に関する意識について（問7）」「地域に関する活動について（問8）」「地域のまとまりについて（問9）」「地域における協働について（問10）」の4項目にわたり質問を設定しました。

「地域に関する意識について（問7）」では、地域の中での問題意識に関する質問を4つ、情報の入手や活動団体の認知状況に関する質問を4つそれぞれお聞きしました。「地域に関する活動について（問8）」では、地域での学習活動への参加状況に関する質問を3つ、地域の行事や事業への参加の状況や関係機関への相談状況に関する質問を4つお聞きしました。「地域のまとまりについて（問9）」では、地域のまとまりに関する質問を5つお聞きしました。「地域における協働について（問10）」では、市民と行政、市民同士の協働などのしくみに関する質問を6つお聞きしました。

それぞれの質問を「意識・認知」「学習・参加」「まとまり」「しくみ」の4項目に分類し、これら設問に対する関心度や認知度、あるいは設問に対する度合をみることにより、川西市における「地域力」を把握するという観点から分析を行いました。

ここでいう「地域力」とは、地域の様々な生活課題を解決するため、地域にかかわる様々な人や団体、関係機関等の協働の取り組みやかかわり、資源の総称を表します。

■お住まいの地域についての設問設計意図

分類	設問	分析視点
意識・認知	1.地域の様々な課題に関する関心度	地域の中での課題など、「意識」の度合について把握する設問
	2.人権を尊重することの意識の度合	
	3.互助の必要性の度合	
	4.近所の人からの手助けの必要性の度合	
	5.行政情報の入手の度合	情報の入手や地域における活動団体の「認知」の度合について把握する設問
	6.自治会の役割等に関する認知度	
	7.コミュニティ協議会の役割等に関する認知度	
	8.地区福祉委員会の役割等に関する認知度	
学習・参加	1.研修等への参加の度合	地域における「学習」活動への参加の度合などを把握する設問
	2.地域課題を話し合う会議等への参加の度合	
	3.地域活動団体など交流の場への参加の度合	
	4.地域の行事や事業への参加の度合	地域の行事や事業への「参加」の度合、関係機関などへの働きかけの度合を把握する設問
	5.NPO やボランティアなどの活動への参加の度合	
	6.地域活動への参加の働きかけの度合	
	7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合	
まとめり	1.近所付き合いの度合	近所づきあいや地域への愛着、地域の「まとめり」などに関する意識の度合を把握する設問
	2.「自分のまち」への愛着の度合	
	3.地域活動の活発さの度合	
	4.地域活動の活発さの進展の度合	
	5.地域活動のまとめりの度合	
しくみ	1.市民と行政との協働の度合	市民と行政、市民同士の協働を促す「しくみ」に関する意識の度合を把握する設問
	2.市民と行政との協働の進展の度合	
	3.行政の支援による地域活動のまとめりの度合	
	4.企業・NPO 等の地域への貢献の度合	
	5.市民による地域貢献への関心度	
	6.地域通貨やコミュニティビジネスへの関心度	

□地域力分析における『高い』『低い』の表記について

- ・選択肢の「ある」と「ややある」の合計を『高い』、「あまりない」と「全くない」の合計を『低い』としています。
- ・選択肢の「思う」と「やや思う」の合計を『高い』、「あまり思わない」と「全く思わない」の合計を『低い』としています。
- ・選択肢の「知っている」と「やや知っている」の合計を『高い』、「あまり知らない」と「全く知らない」の合計を『低い』としています。
- ・選択肢の「よく参加する」と「ときどき参加する」の合計を『高い』、「あまりない」と「全くない」の合計を『低い』としています。
- ・選択肢の「よくある」と「ときどきある」の合計を『高い』、「あまりない」と「全くない」の合計を『低い』としています。

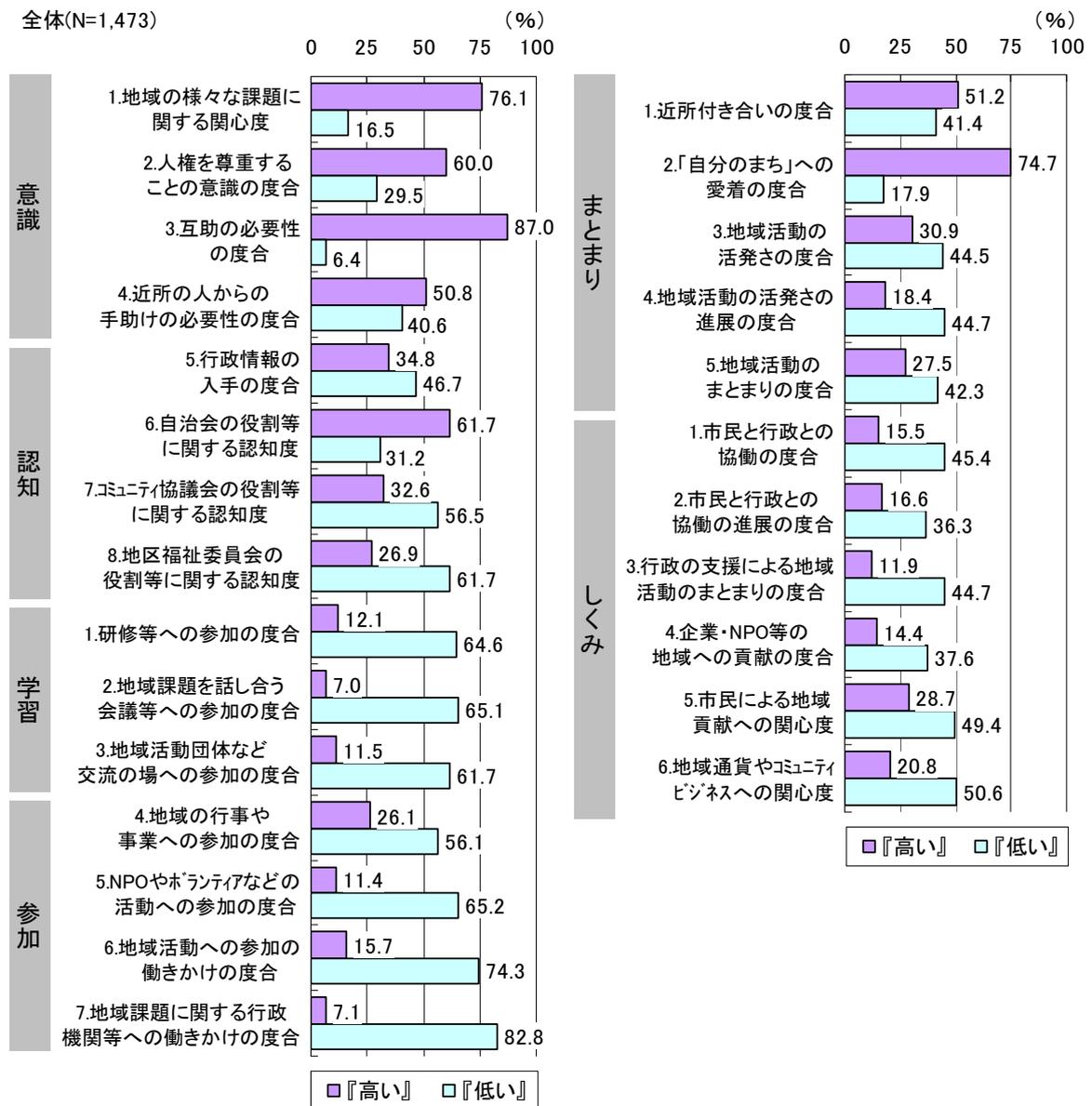
(1) 市全体の地域力分析

①全体集計 (SA)

お住まいの地域についてお聞きしたところ、市全体の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3. 互助の必要性の度合」が87.0%、次いで「意識」に関する「1. 地域の様々な課題に関する関心度」が76.1%、「まとまり」に関する「2. 「自分のまち」への愛着の度合」が74.7%となっています。

一方、市全体の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7. 地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が82.8%、次いで「参加」に関する「6. 地域活動への参加の働きかけの度合」が74.3%、「参加」に関する「5. NPO やボランティアなどの活動への参加の度合」が65.2%と、「学習、参加」に対して『低い』とする回答が多くなっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、いずれも選択しない「わからない」との回答が多い傾向にあります。

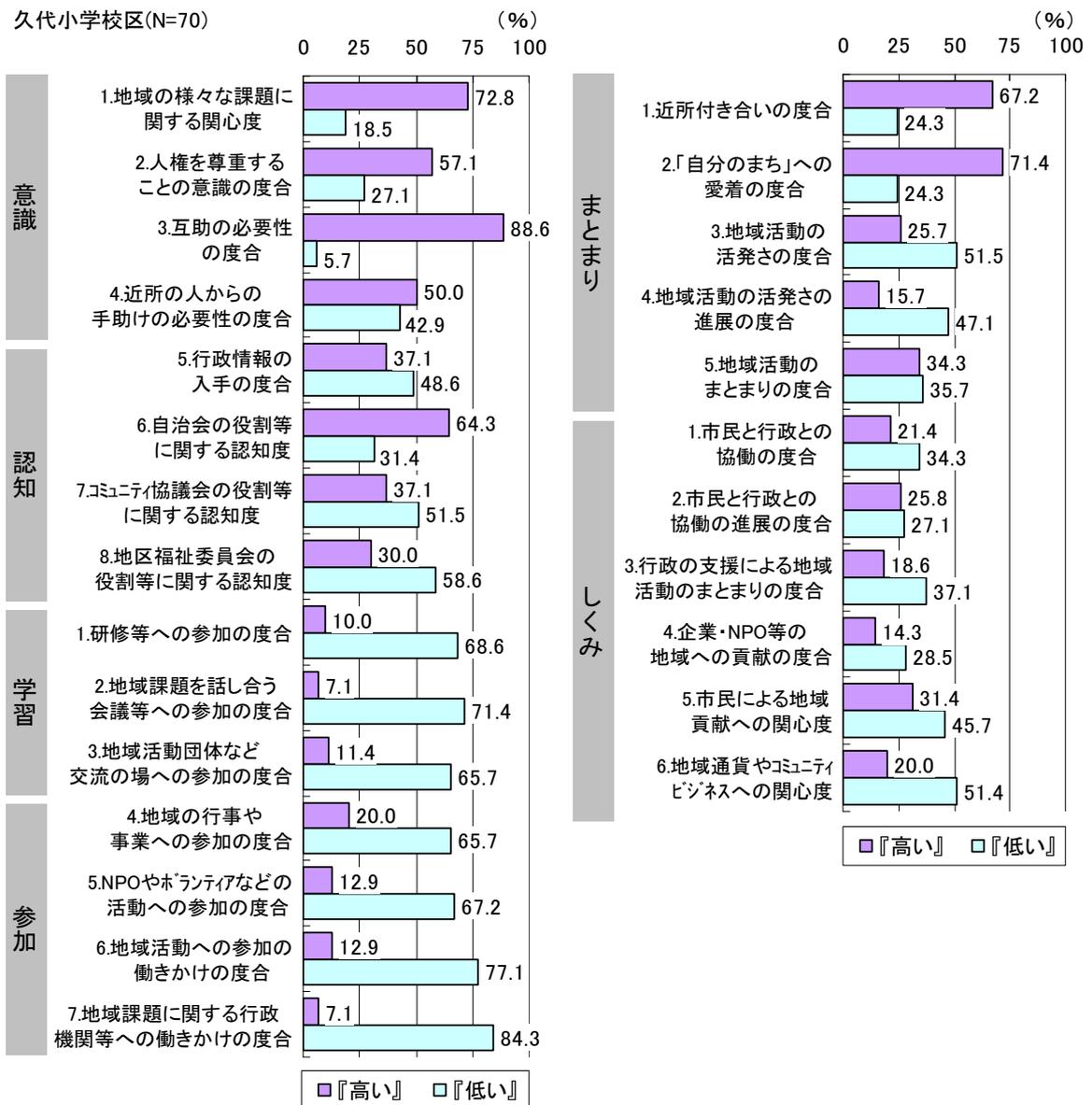


(2) 小学校区別の地域力分析

①久代小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、久代小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 88.6%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 72.8%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の度合」が 71.4%となっています。

一方、久代小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 84.3%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」が 77.1%、「学習」に関する「2.地域課題を話し合う会議等への参加の度合」が 71.4%となっており、「参加、学習」に対して『低い』が多くなっています。また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「4.企業・NPO等の地域への貢献の度合」について、いずれも選択しない「わからない」との回答が多い傾向にあります。

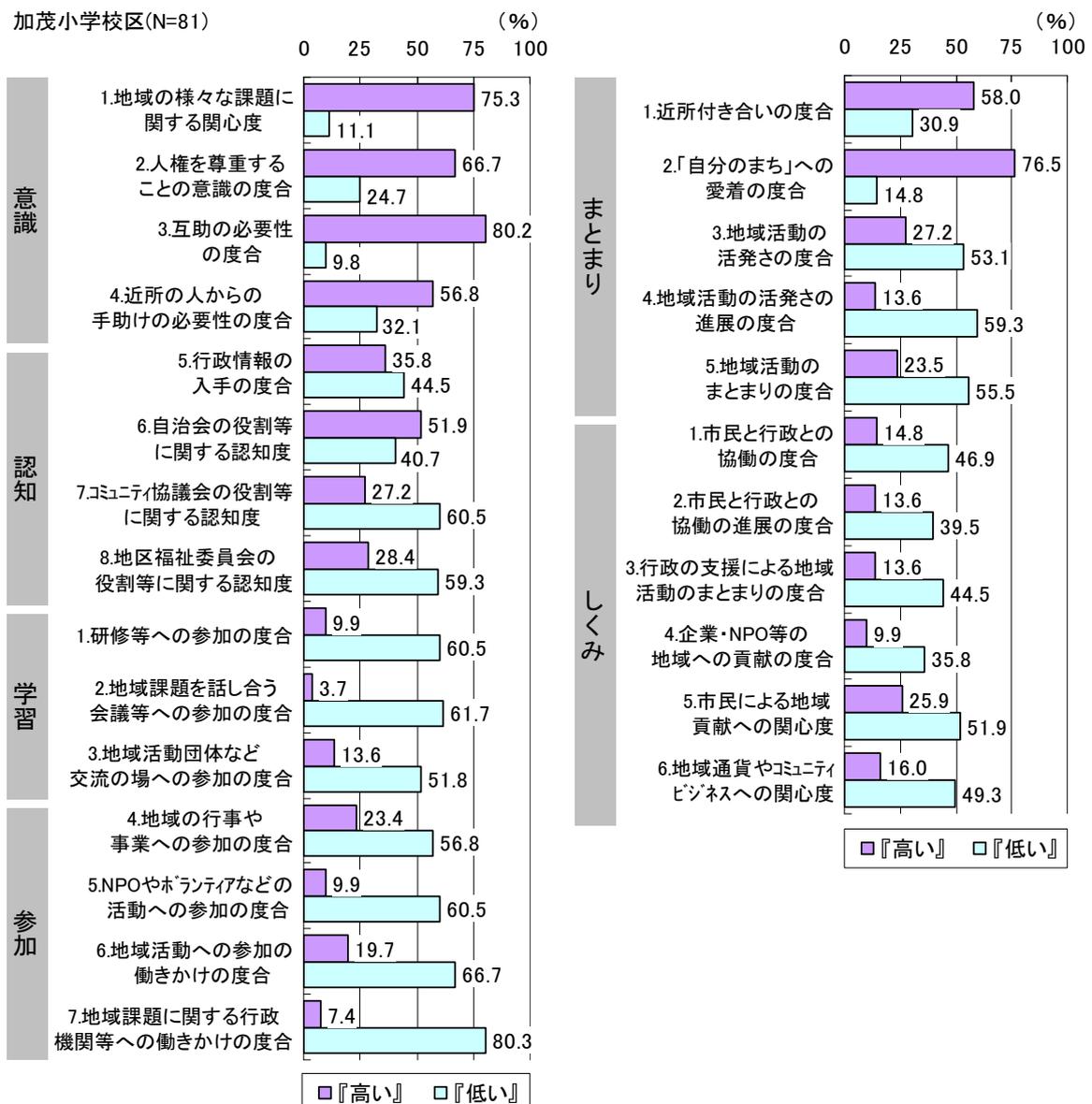


②加茂小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、加茂小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 80.2%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 76.5%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 75.3%となっています。

一方、加茂小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 80.3%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 66.7%、「学習」に関する「2. 地域課題を話し合う会議等への参加の割合」が 61.7%となっており、「参加、学習、認知」に対して『低い』が多くなっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「4.企業・NPO 等の地域への貢献の割合」は、いずれも選択しない「わからない」との回答が多くなっています。

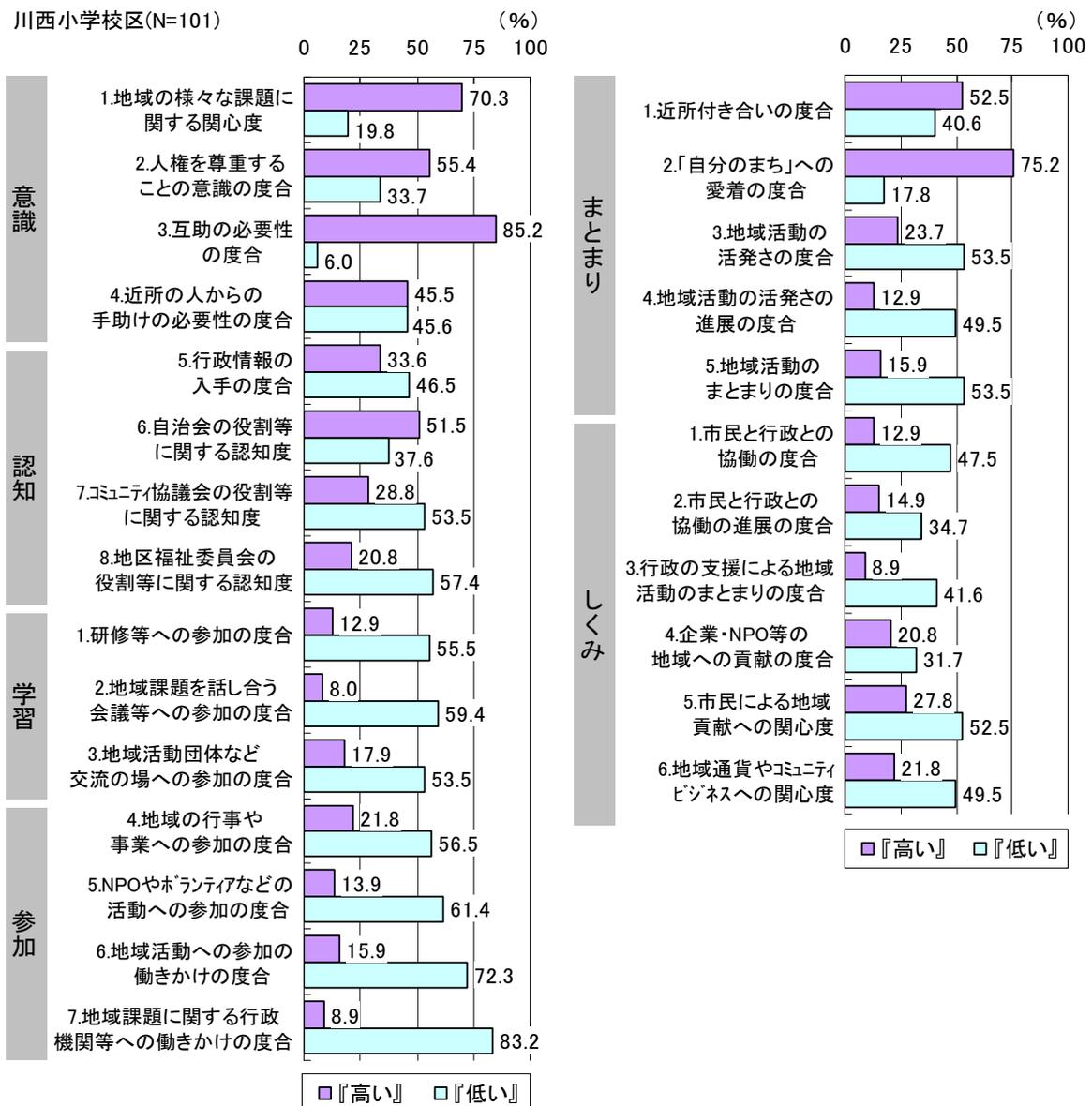


③川西小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、川西小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 85.2%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 75.2%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 70.3%となっています。

一方、川西小学校区の『低い』の傾向として、「参加」への回答が集中しており、「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 83.2%、次いで「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 72.3%、「5.NPO やボランティアなどの活動への参加の割合」が 61.4%となっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「2.市民と行政との協働の進展の割合」は、いずれも選択しない「わからない」との回答が多くなっています。

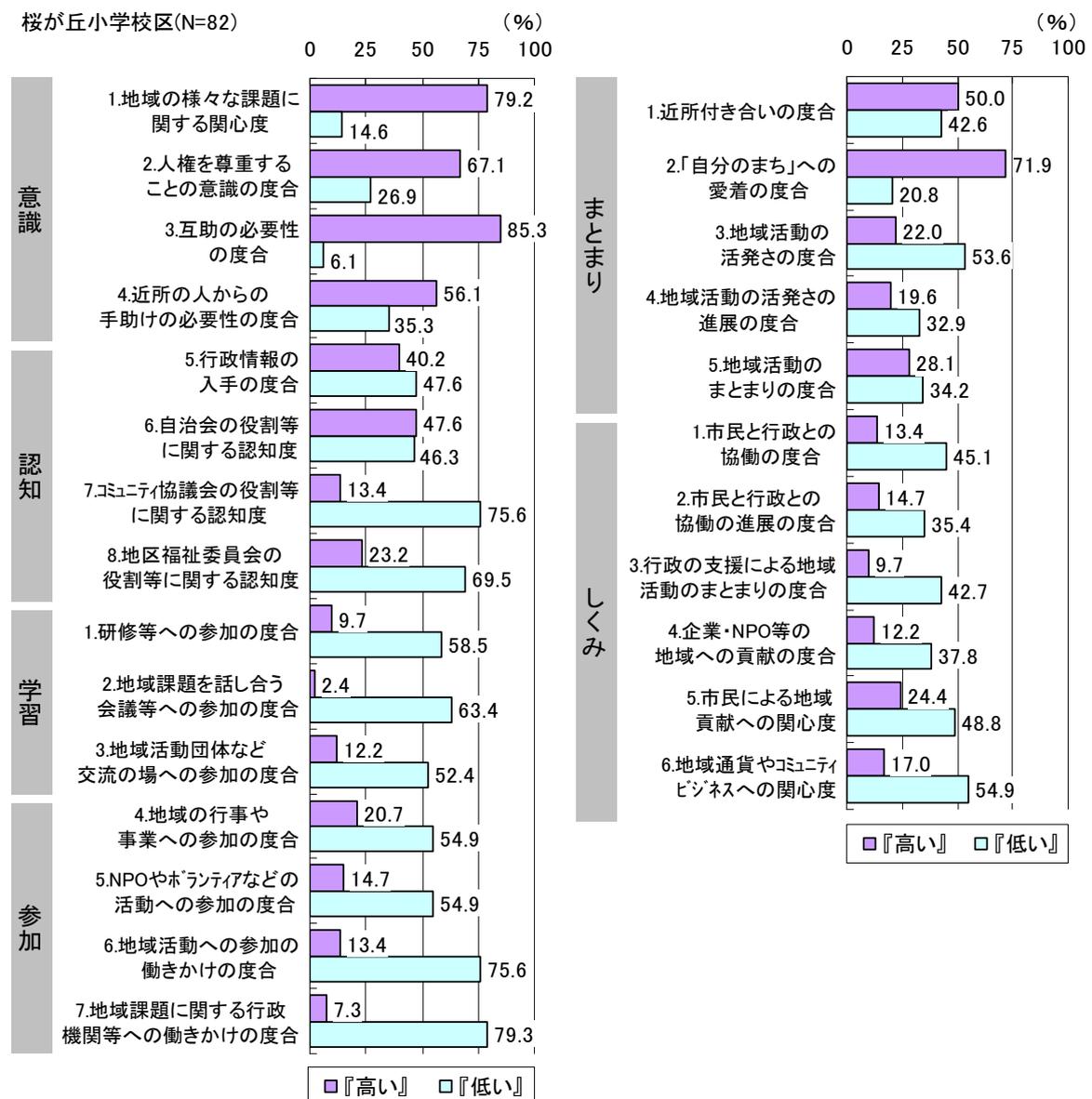


④桜が丘小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、桜が丘小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 85.3%、次いで「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 79.2%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の度合」が 71.9%となっています。

一方、桜が丘小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 79.3%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」、「認知」に関する「7.コミュニティ協議会の役割等に関する認知度」が 75.6%、「認知」に関する「8.地区福祉委員会の役割等に関する認知度」が 69.5%となっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「4.企業・NPO 等の地域への貢献の度合」について、いずれも選択しない「わからない」との回答が5割となっています。

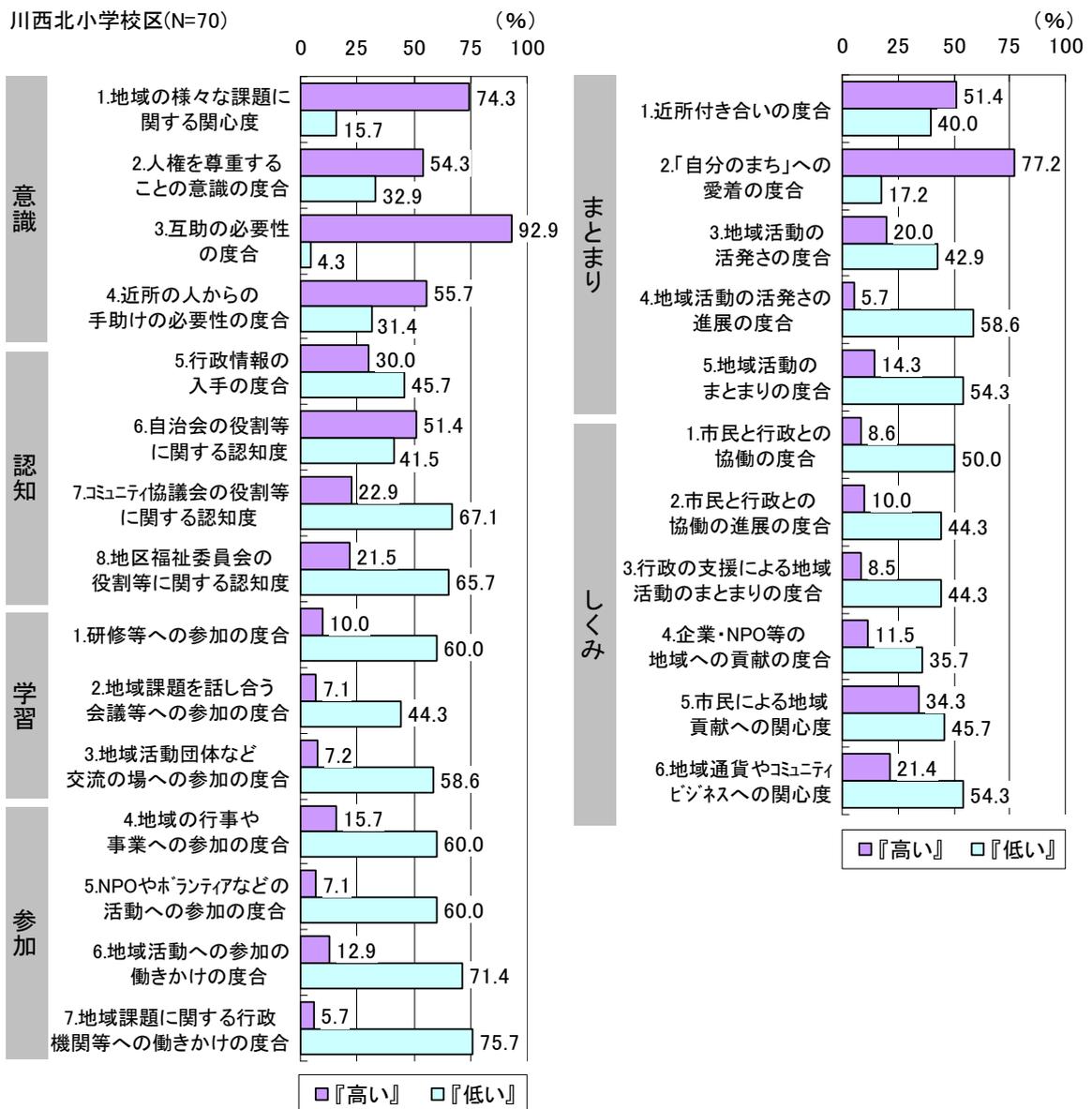


⑤川西北小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、川西北小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 92.9%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 77.2%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 74.3%となっています。

一方、川西北小学校区の『低い』の傾向として、「参加」の「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 75.7%、次いで「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 71.4%、「認知」に関する「7.コミュニティ協議会の役割等に関する認知度」が 67.1%となっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「4.企業・NPO 等の地域への貢献の割合」について、いずれも選択しない「わからない」との回答が多くなっています。

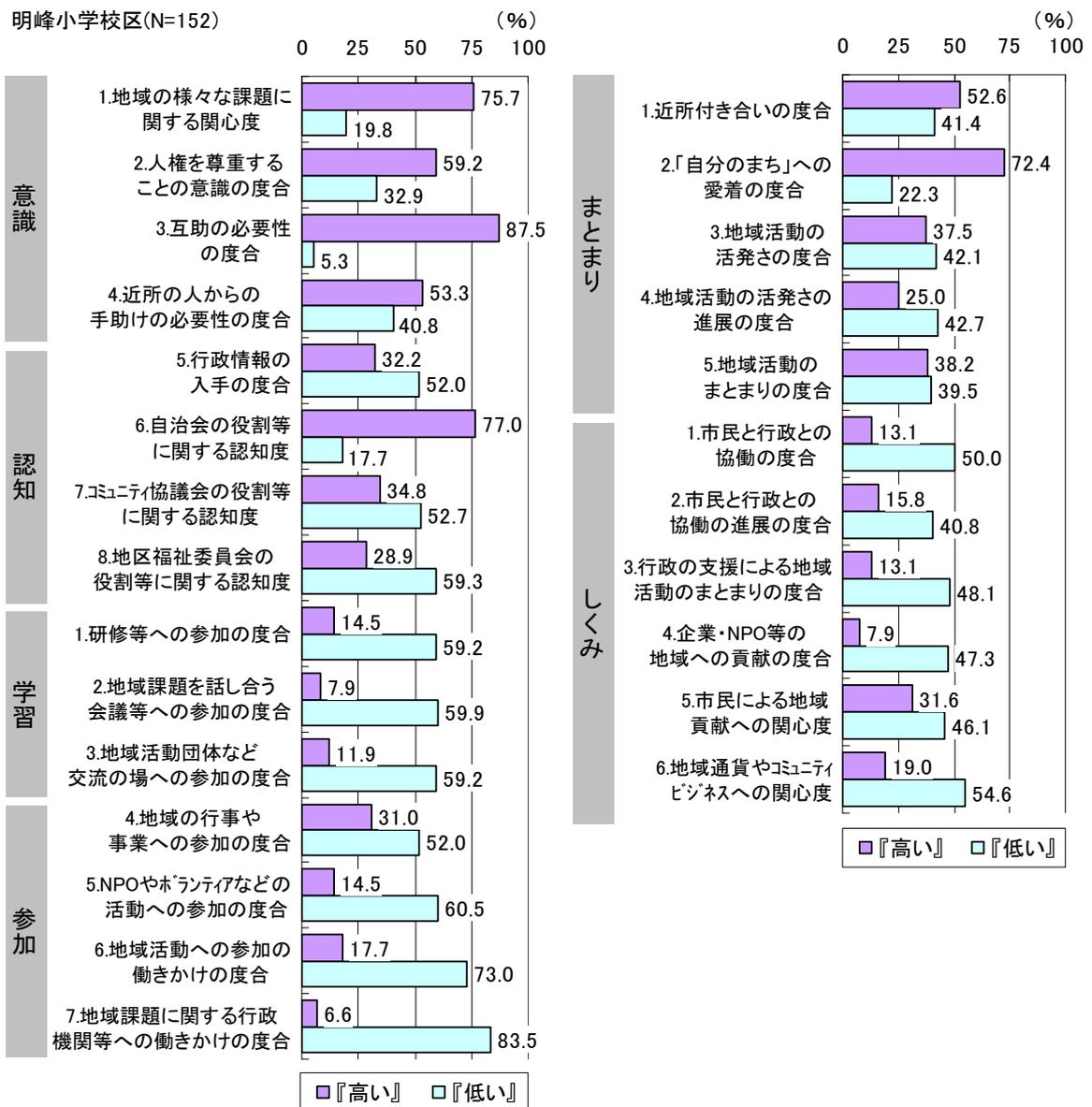


⑥明峰小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、明峰小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 87.5%、次いで「認知」に関する「6.自治会の役割等に関する認知度」が 77.0%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 75.7%となっています。

一方、明峰小学校区の『低い』の傾向として、「参加」への回答が集中しており、「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 83.5%、次いで「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 73.0%、「5.NPO やボランティアなどの活動への参加の割合」が 60.5%となっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回っていますが、全体的には、いずれも選択しない「わからない」との回答は半数以下となっています。

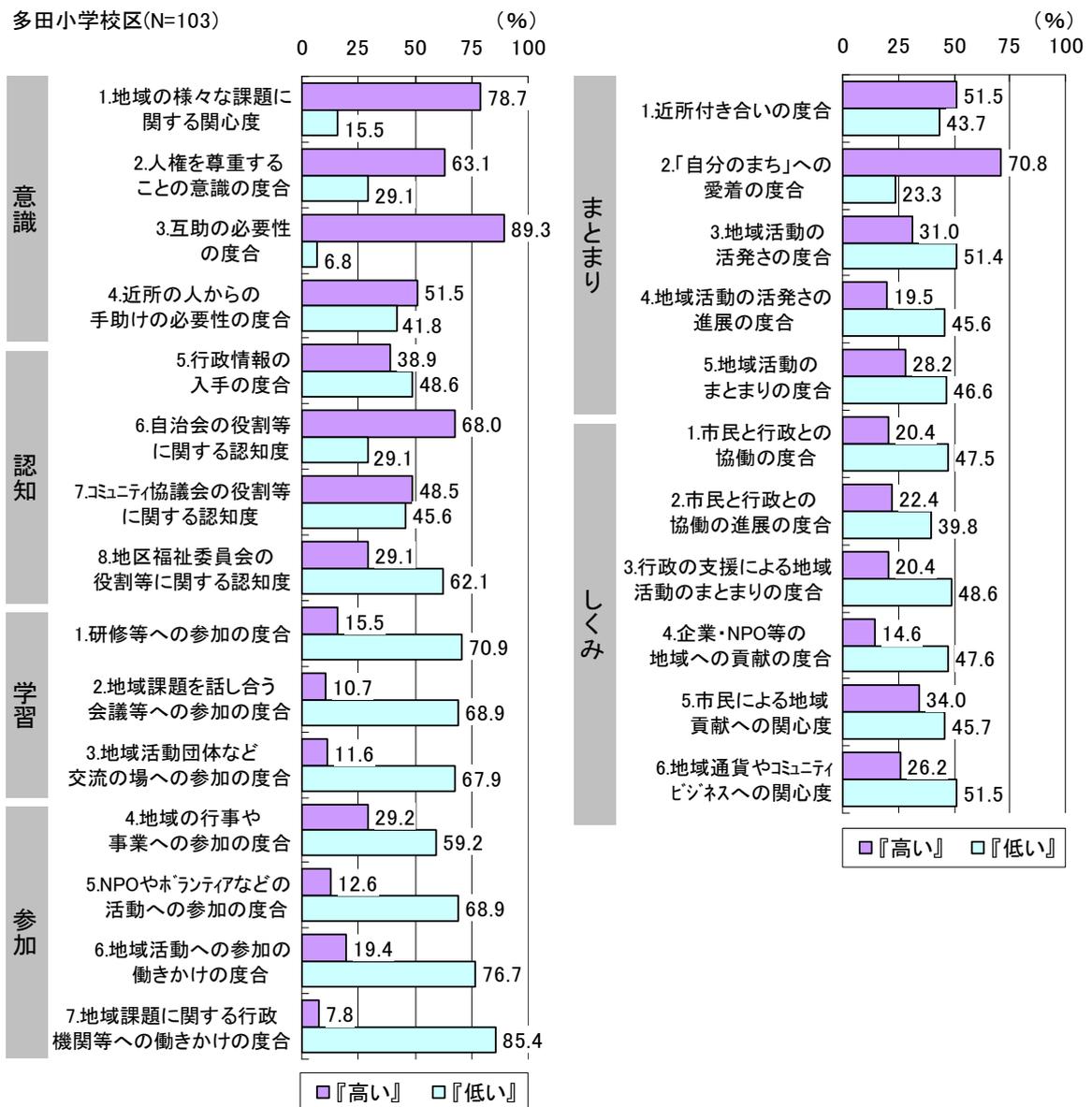


⑦多田小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、多田小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 89.3%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 78.7%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 70.8%となっています。

一方、多田小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 85.4%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 76.7%、「学習」に関する「1.研修等への参加の割合」が 70.9%となっています。

また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回っていますが、全体的には、いずれも選択しない「わからない」との回答は4割以下になっています。

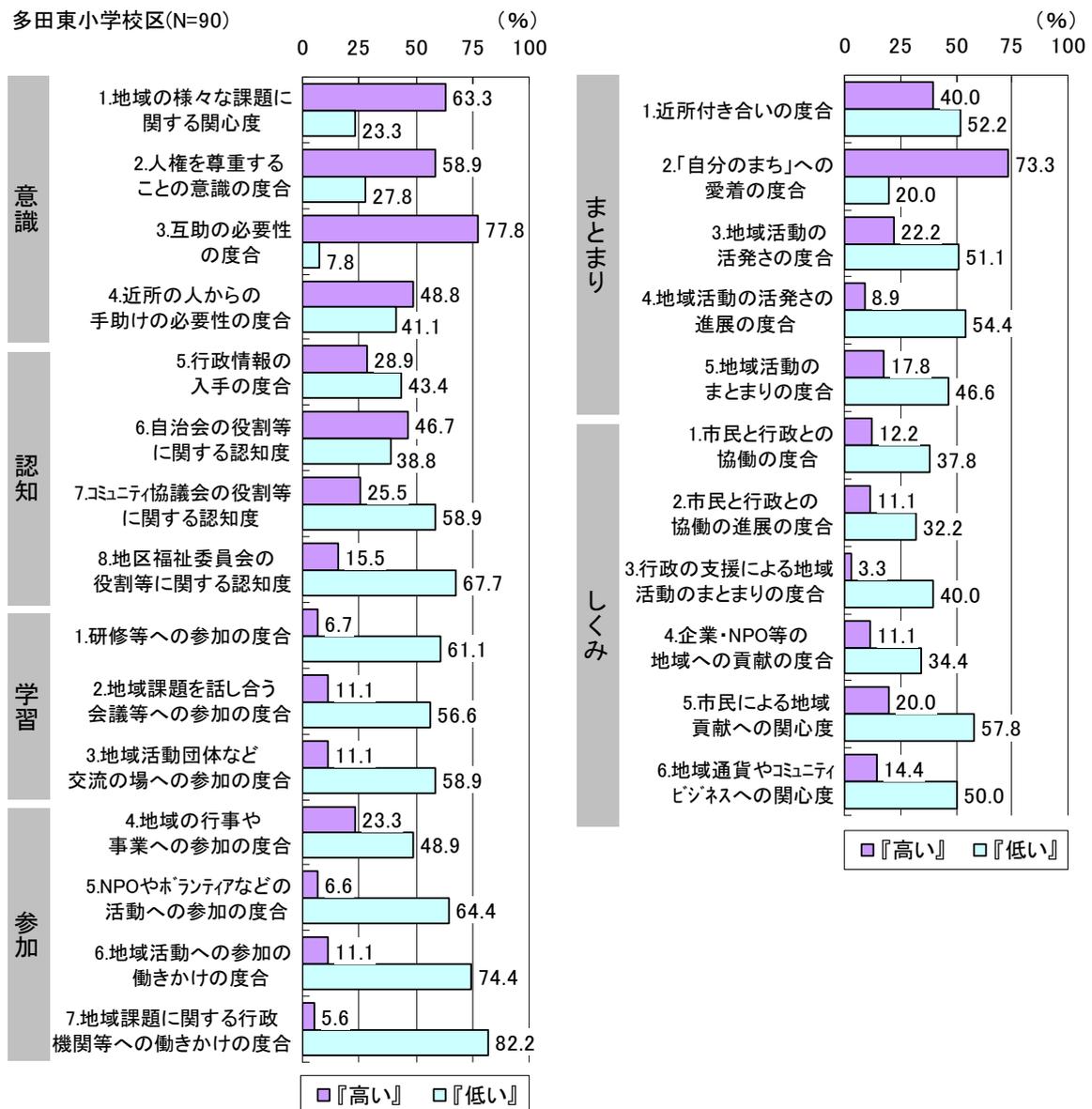


⑧多田東小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、多田東小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 77.8%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 73.3%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 63.3%となっています。

一方、多田東小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 82.2%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 74.4%、「認知」に関する「8.地区福祉委員会の役割等に関する認知度」が 67.7%となっています。

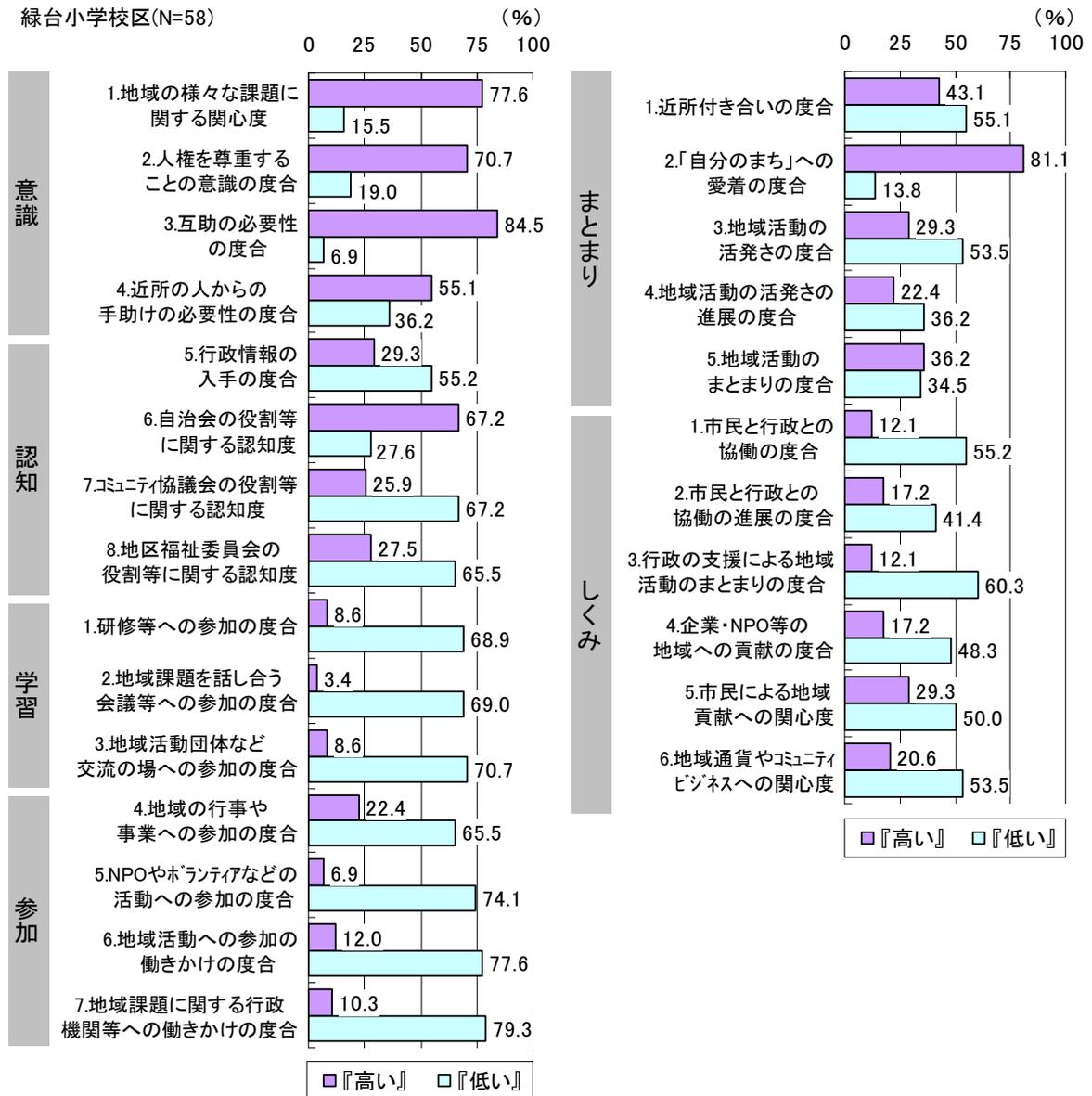
また、「しくみ」については、全体的に『低い』が『高い』を上回るとともに、「2.市民と行政との協働の進展の割合」「3.行政の支援による地域活動のまとまりの割合」については、いずれも選択しない「わからない」との回答が多くなっています。



⑨緑台小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、緑台小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 84.5%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 81.1%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 77.6%となっています。

一方、緑台小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 79.3%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 77.6%、「参加」に関する「5.NPOやボランティアなどの活動への参加の割合」が 74.1%と、「学習」「参加」に関する割合が低くなっています。

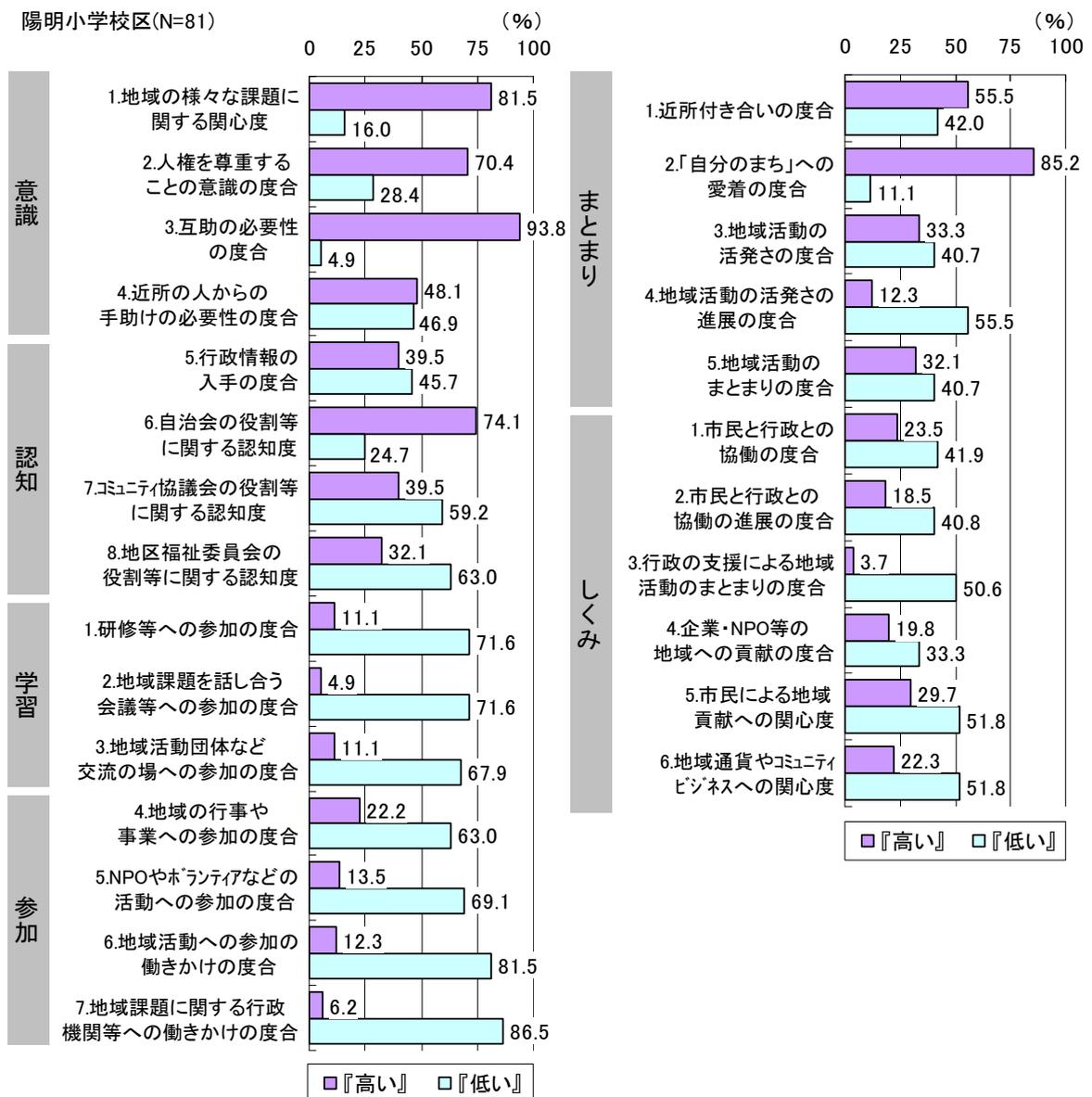


⑩陽明小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、陽明小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 93.8%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 85.2%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 81.5%となっています。

一方、陽明小学校区の『低い』の傾向として「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 86.5%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が81.5%、「学習」に関する「1.研修等への参加の割合」「2.地域課題を話し合う会議等への参加の割合」が 71.6%となっています。

また、「しくみ」は『低い』が『高い』を上回っているものの、概ね『高い』との回答は市全体の値を上回っています。

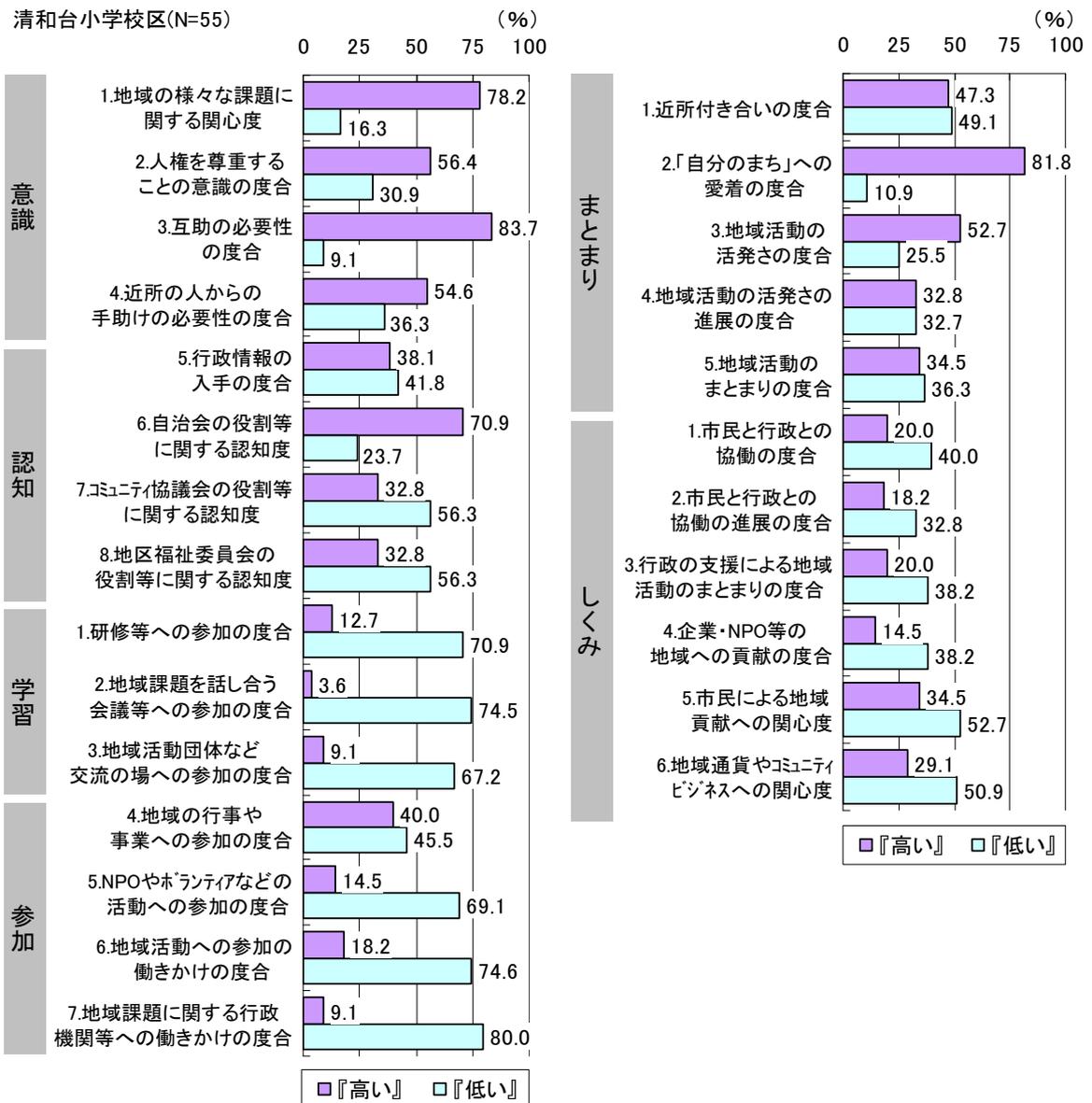


⑪清和台小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、清和台小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 83.7%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 81.8%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 78.2%となっています。

一方、清和台小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 80.0%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 74.6%、「学習」に関する「2.地域課題を話し合う会議等への参加の割合」が 74.5%となっています。

「参加」に関する「4.地域の行事や事業への参加の割合」については、『低い』が『高い』を上回っています。

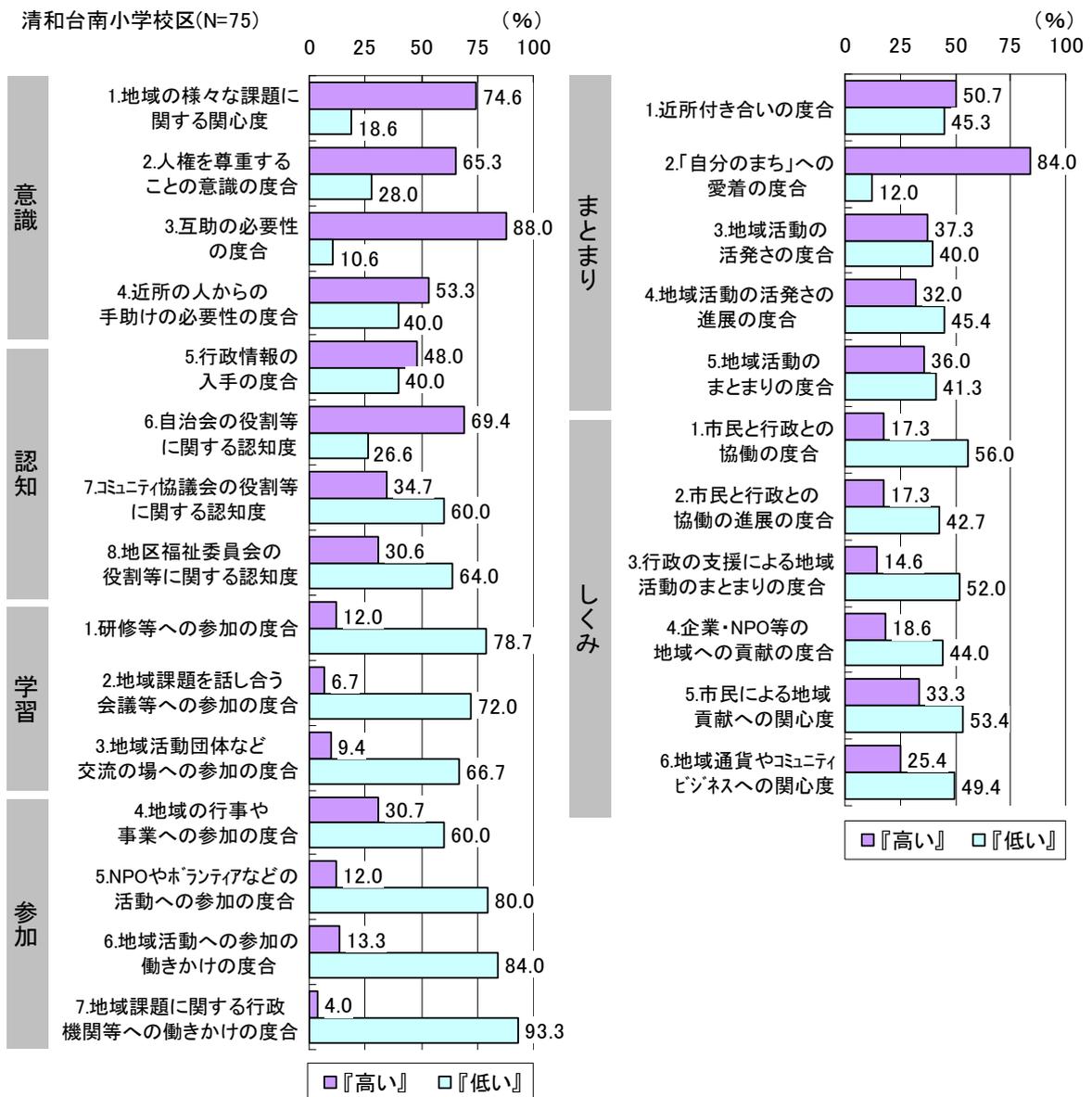


⑫清和台南小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、清和台南小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 88.0%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の度合」が 84.0%、「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 74.6%となっています。

一方、清和台南小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 93.3%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」が 84.0%、「参加」に関する「5.NPOやボランティアなどの活動への参加の度合」が 80.0%となっています。

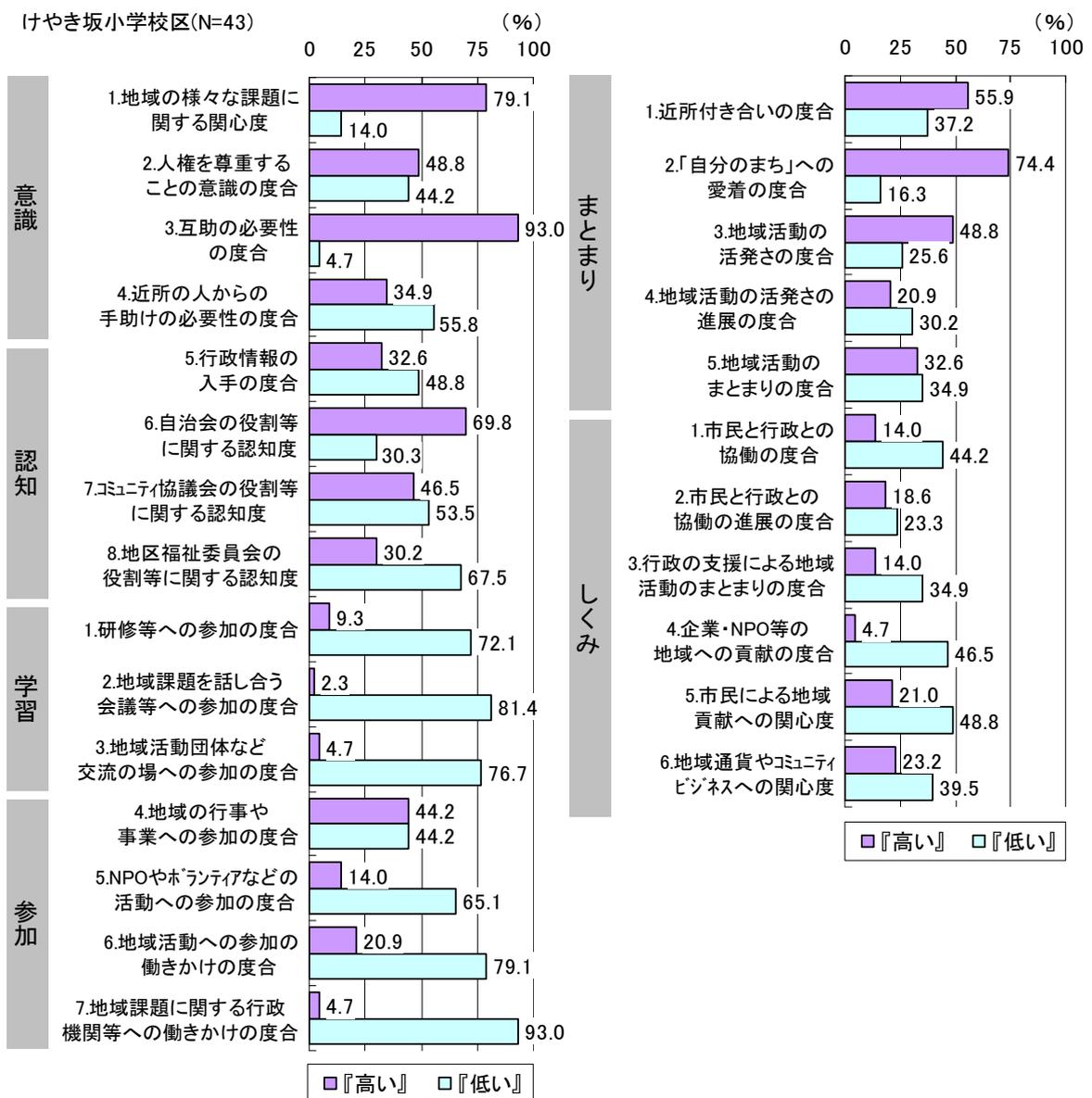
また、「認知」について、「5.行政情報の入手の度合」は『高い』が『低い』を上回っています。



⑬けやき坂小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、けやき坂小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 93.0%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 79.1%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 74.4%となっています。「意識」についての項目が上位2位を占めるものの、「4.近所の人からの手助けの必要性の割合」など、『低い』が『高い』を上回る項目もあります。

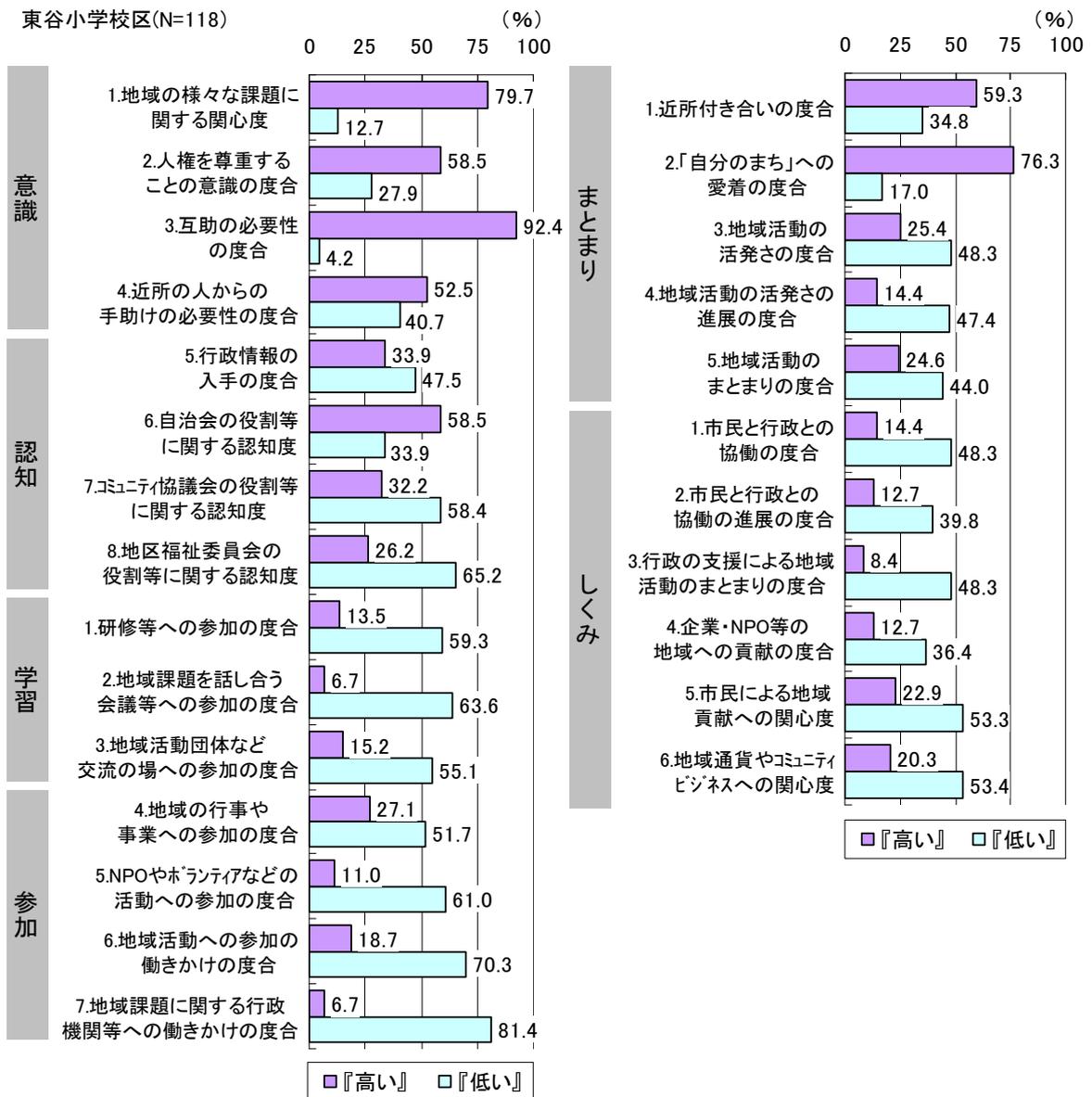
一方、けやき坂小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 93.0%、次いで「学習」に関する「2.地域課題を話し合う会議等への参加の割合」が 81.4%、「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 79.1%となっています。



⑭東谷小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、東谷小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が 92.4%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 79.7%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の割合」が 76.3%となっています。

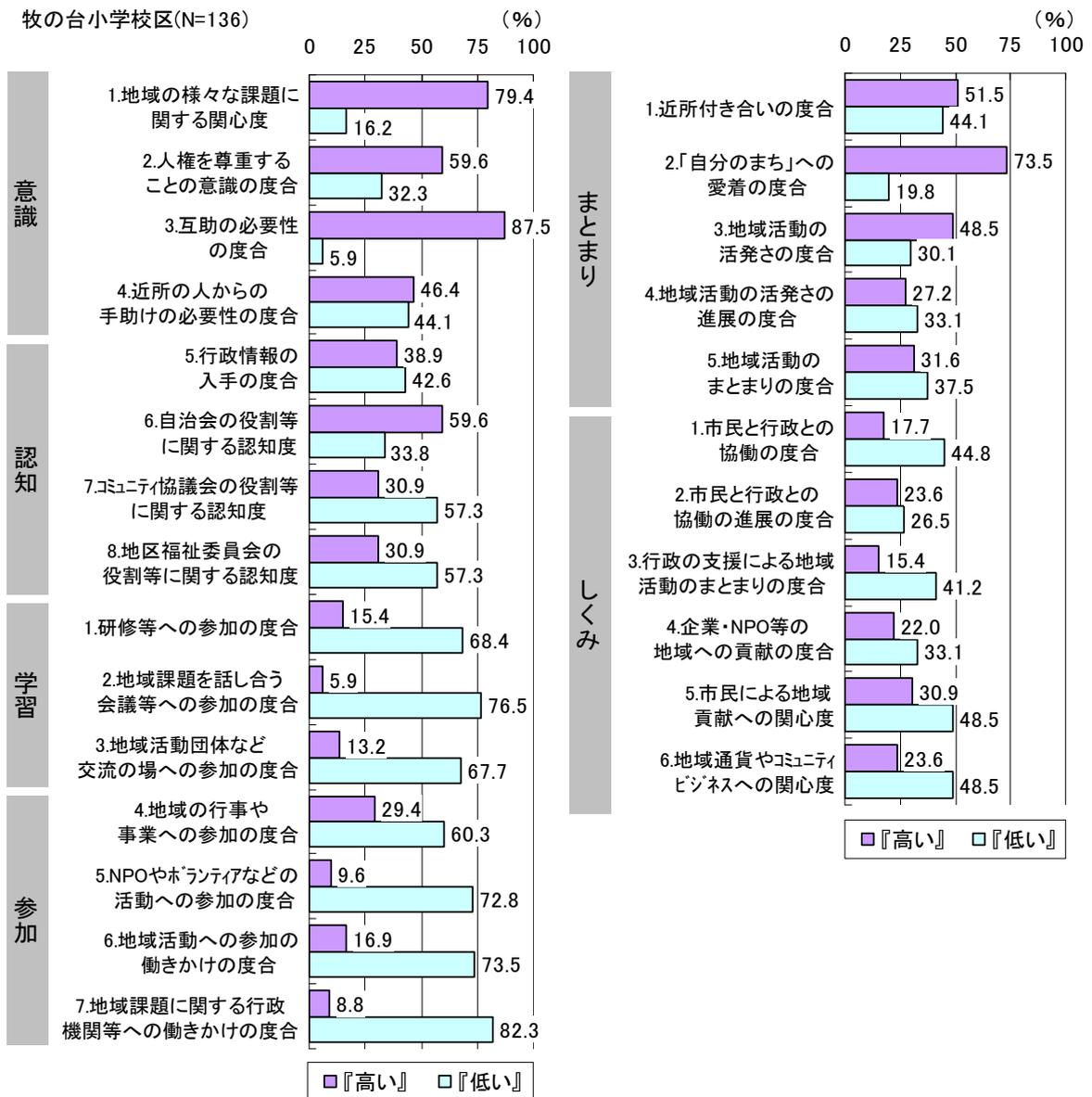
一方、東谷小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が 81.4%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が 70.3%、「認知」に関する「8.地区福祉委員会の役割等に関する認知度」が 65.2%となっています。



⑮牧の台小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、牧の台小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 87.5%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 79.4%、「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の度合」が 73.5%となっています。

一方、牧の台小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 82.3%、次いで「学習」に関する「2.地域課題を話し合う会議等への参加の度合」が 76.5%、「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」が 73.5%と、「学習」「参加」に対して『低い』が多くなっています。

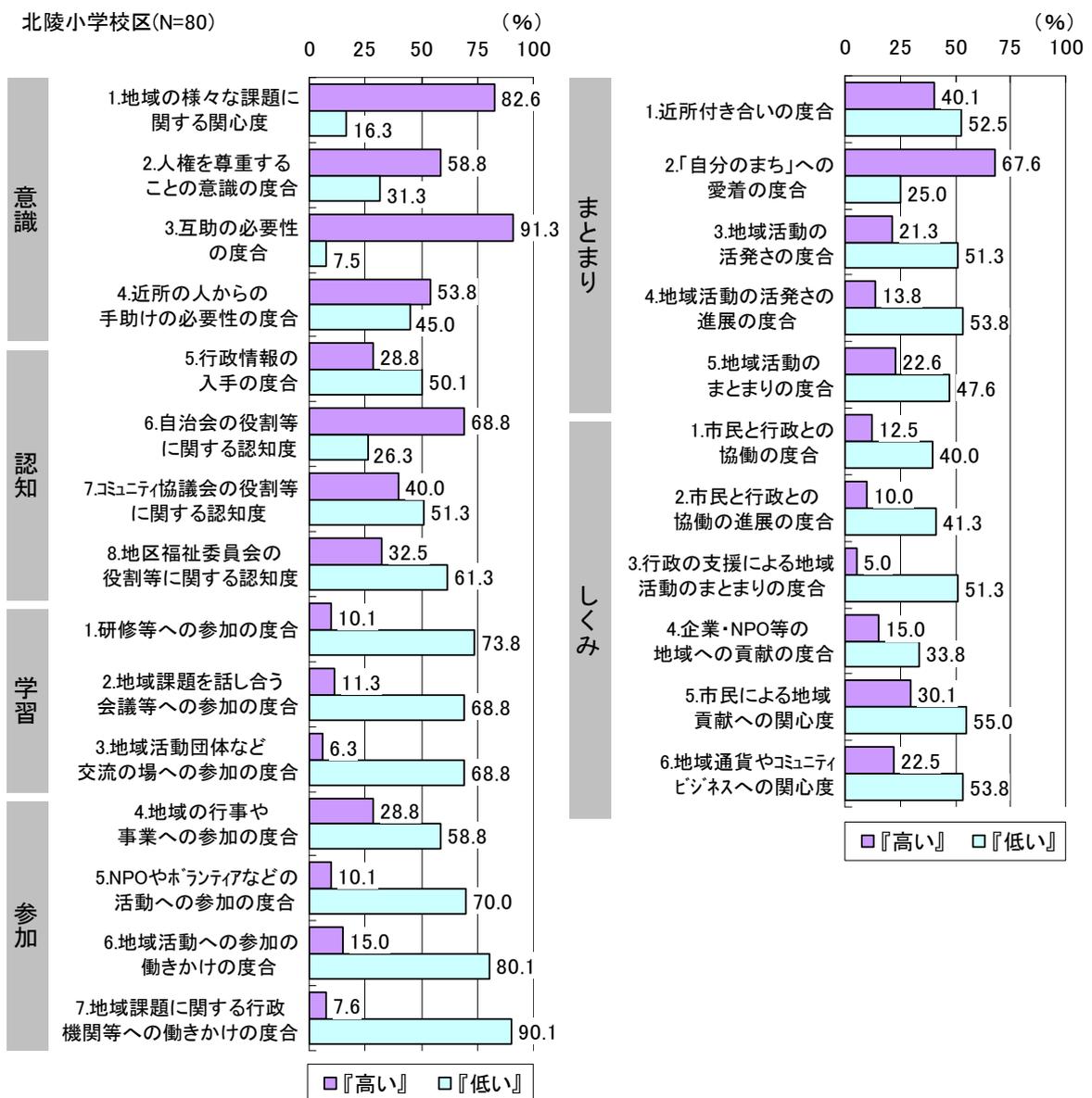


⑩北陵小学校区

お住まいの地域についてお聞きしたところ、北陵小学校区の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 91.3%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が 82.6%、「認知」に関する「6.自治会の役割等に関する認知度」が 68.8%となっています。

一方、北陵小学校区の『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 90.1%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」が 80.1%、「学習」に関する「1.研修等への参加の度合」が 73.8%となっています。

また、「まとまり」について『低い』が比較的多く、「1.近所付き合いの度合」については市全体と比較して『低い』が『高い』を上回っています。

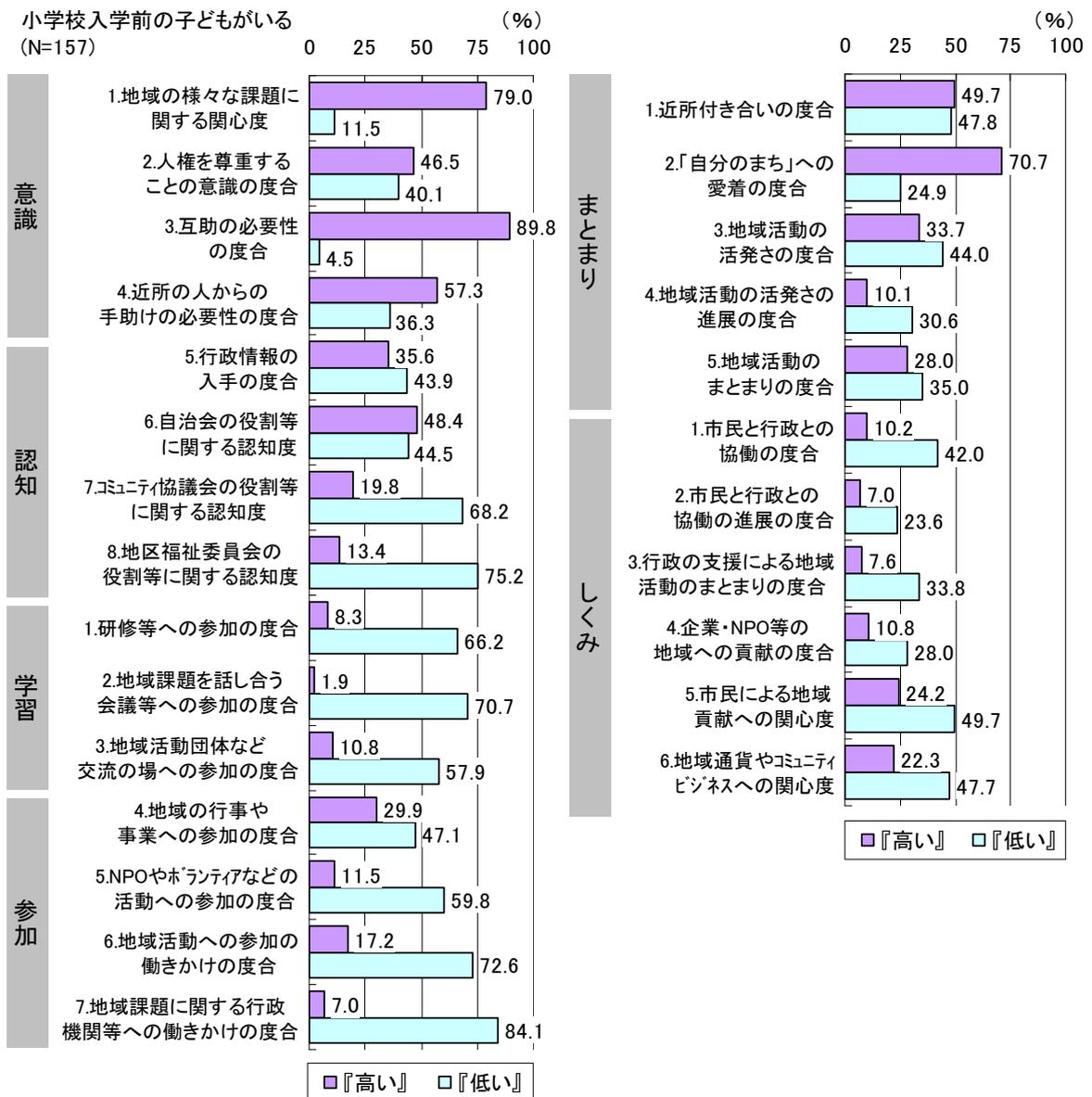


(3) 同居家族別の地域力分析

①小学校入学前の子どもがいる

同居している家族に小学校入学前の子どもがいる人の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の割合」が89.8%、次いで「意識」に関する「1.地域の様々な課題に関する関心度」が79.0%となっています。

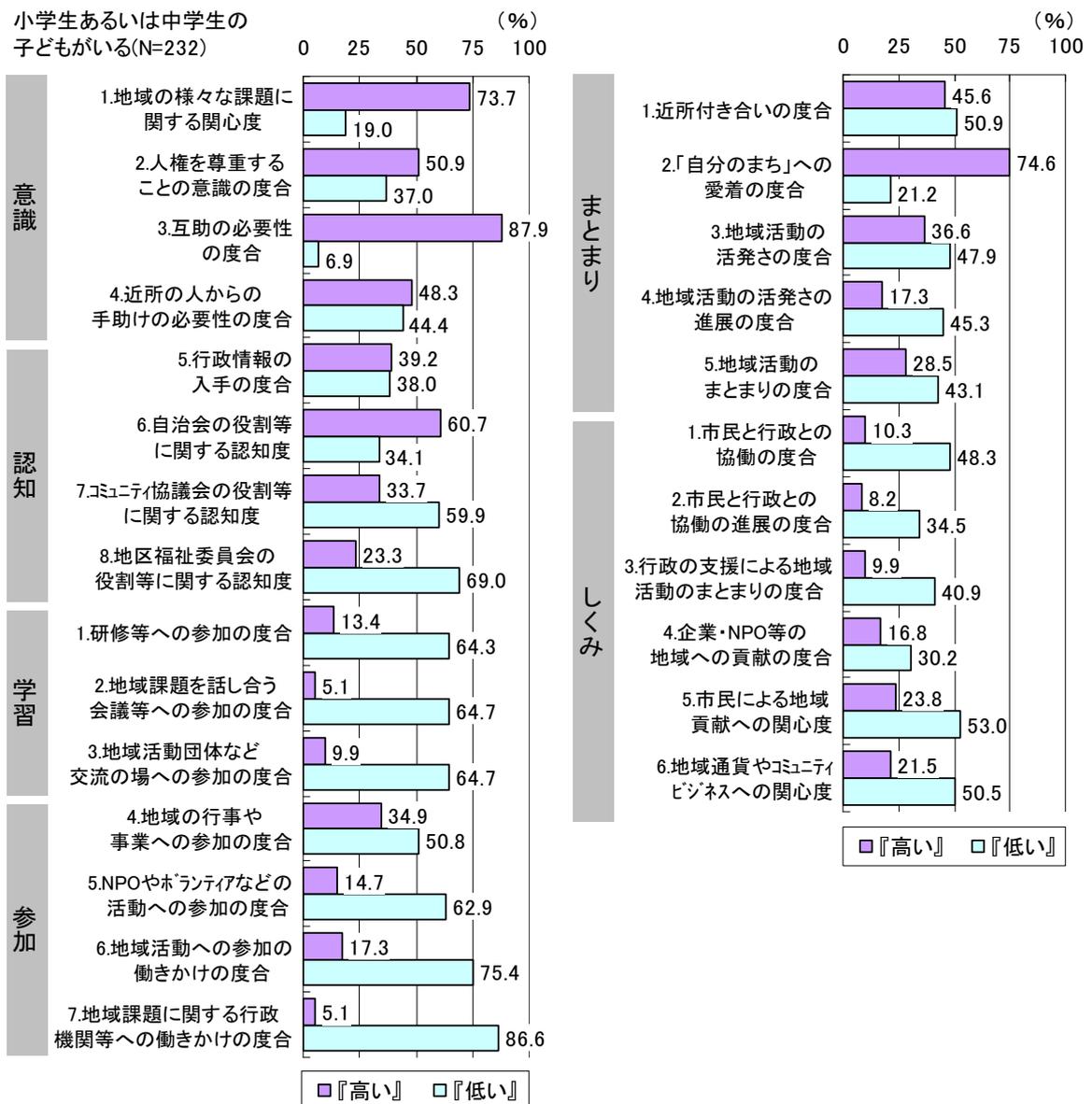
一方、『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの割合」が84.1%、次いで「認知」に関する「8.地区福祉委員会の役割等に関する認知度」が75.2%、「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの割合」が72.6%と、「認知、参加」に対して『低い』が多くなっています。特に「認知」に関する「6.自治会の役割等に関する認知度」は『高い』と『低い』が拮抗しています。



②小学生あるいは中学生の子どもがいる

同居している家族に小学生あるいは中学生の子どもがいる人の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3.互助の必要性の度合」が 87.9%、次いで「まとまり」に関する「2.「自分のまち」への愛着の度合」が 74.6%となっています。特に「参加」に関する「4.地域の行事や事業への参加の度合」や、「まとまり」に関する「3.地域活動の活発さの度合」は『高い』が比較的多くなっています。

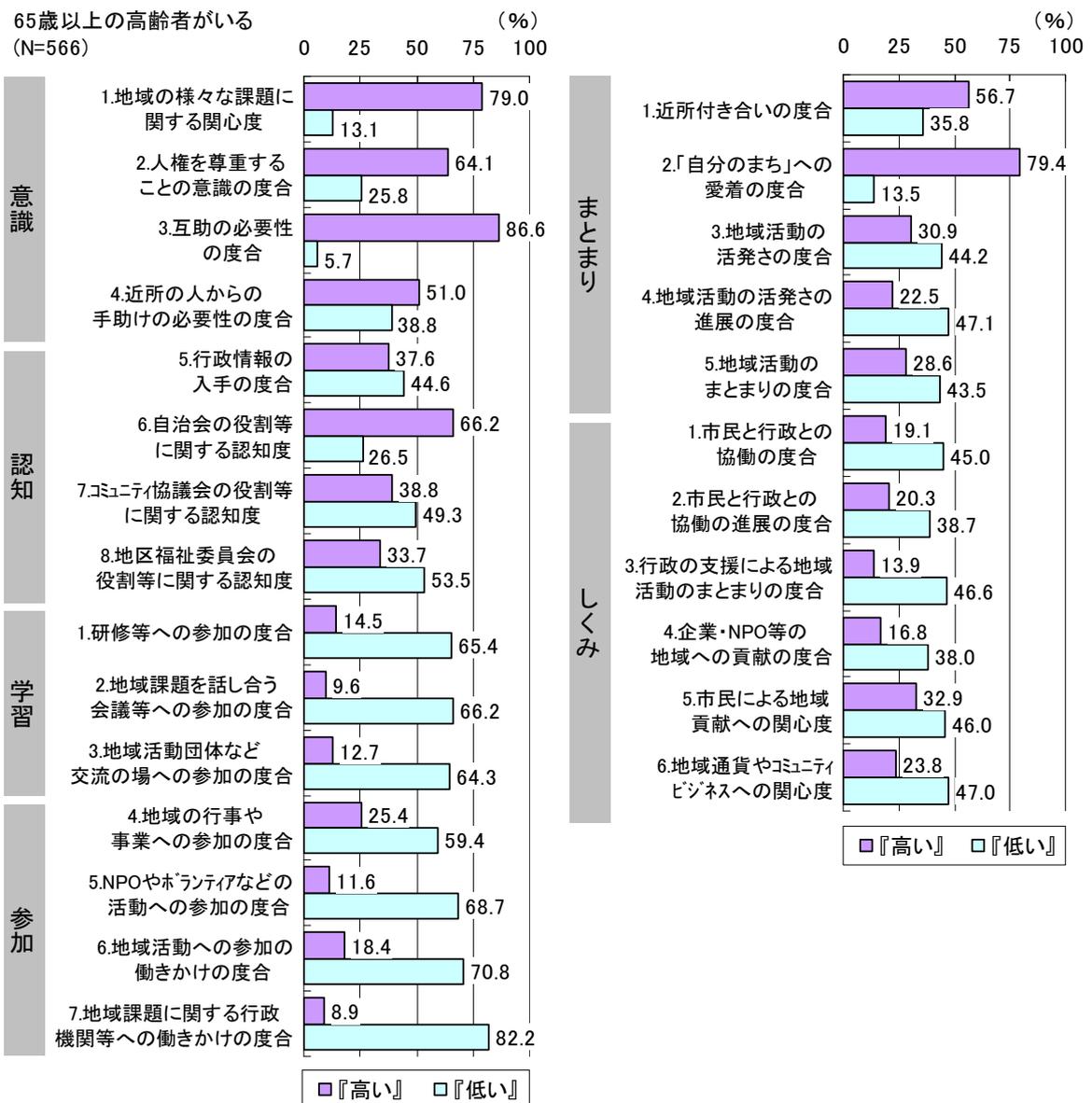
一方、『低い』の傾向として、「参加」に関する「7.地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が 86.6%、次いで「参加」に関する「6.地域活動への参加の働きかけの度合」が 75.4%となっています。



③65歳以上の高齢者がいる

同居している家族に65歳以上の高齢者がいる人の『高い』の傾向として、「意識」に関する「3. 互助の必要性の度合」が86.6%、次いで「まとまり」に関する「2. 「自分のまち」への愛着の度合」が79.4%となっています。特に「認知」や「しくみ」に関する項目はすべて『高い』が比較的多くなっています。

一方、『低い』の傾向として、「参加」に関する「7. 地域課題に関する行政機関等への働きかけの度合」が82.2%、次いで「参加」に関する「6. 地域活動への参加の働きかけの度合」が70.8%となっています。



8. 今後の地域づくりについて

問 11 川西市には、概ね小学校区単位に 13 の「コミュニティ推進連絡協議会」があり、各地域では自治会を中心に地区福祉委員会や P T A などの各種団体が連携して体育・文化・環境・福祉・安全などの各分野において広域的な地域活動を展開するとともに、各種啓発活動に取り組んでいます。市民による主体的な地域活動をさらに進めた場合、どのようなメリットがあると思いますか。5 つの選択肢からそれぞれ 1 つずつ選んで、番号に○をつけてください。

〈分析の視点〉

市民による主体的な地域活動を今後さらに進めた場合、どのようなメリットがあると思うか、「行政活動や行政運営上の変化」と「市民の暮らしや意識の変化」の視点から、8 項目にわたり質問を設定しました。

「行政活動や行政運営上の変化（問 11、1～4）」では、市民による地域活動が活発化することによって、行政活動や行政運営上の変化を期待しているのかについてお聞きしました。

「市民の暮らしや意識の変化（問 11、5～8）」では、市民による地域活動が活発化することによって、市民と地域との関係に対してもたらされる変化についてお聞きしました。

■今後の地域づくりについての設問設計意図

分類	設問	分析視点
行政活動や行政運営上の変化	1.地域の課題を地域で解決できる	市民による主体的な地域活動が行政活動や行政運営に与える影響と、主体的な地域づくりによってどのような効果を市民が期待しているのかを把握する設問
	2.市民の多様なニーズに対応できる	
	3.市政運営に市民の意見が的確に反映される	
	4.税金の有効活用につながる	
市民の暮らしや意識の変化	5.地域に関心をもつ市民が増える	市民による主体的な地域活動が市民の暮らしや意識に与える影響と、主体的な地域づくりによってどのような効果を市民が期待しているのかを把握する設問
	6.市民同士の連携が強くなる	
	7.地域の自主性・独自性が強まる	
	8.市民公益活動に参加する市民が増える	

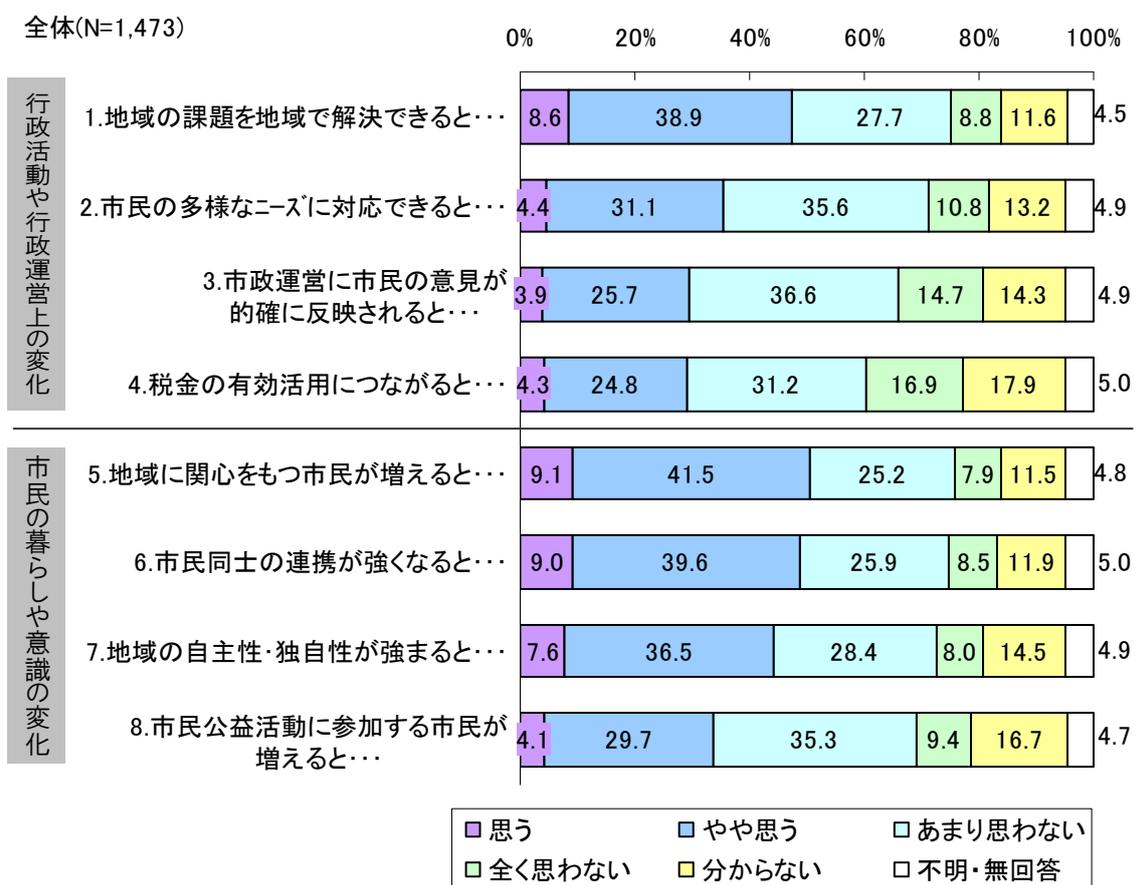
「思う」と「やや思う」の合計を『思う』とする回答、「思わない」と「あまり思わない」の合計を『思わない』とする回答として集計・分析を行いました。

(1) 今後の地域づくりについて

①全体集計 (SA)

市民による主体的な地域活動のメリットとして、「思う」と「やや思う」の合計を『思う』とすると、最も『思う』のは「5.地域に関心をもつ市民が増える」となっています。

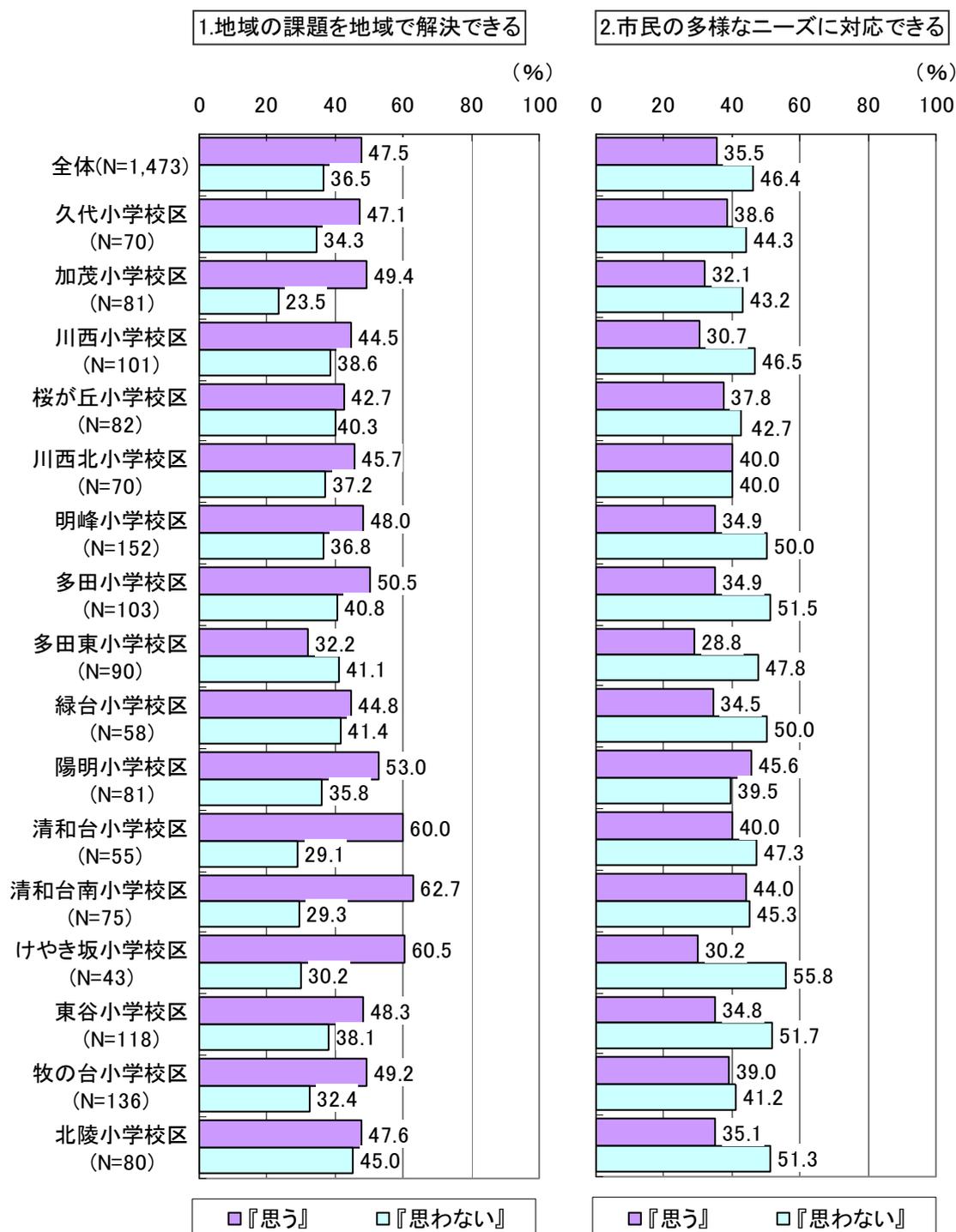
一方、「あまり思わない」と「全く思わない」の合計を『思わない』とすると、あまり『思わない』のは「3.市政運営に市民の意見が的確に反映される」となっています。



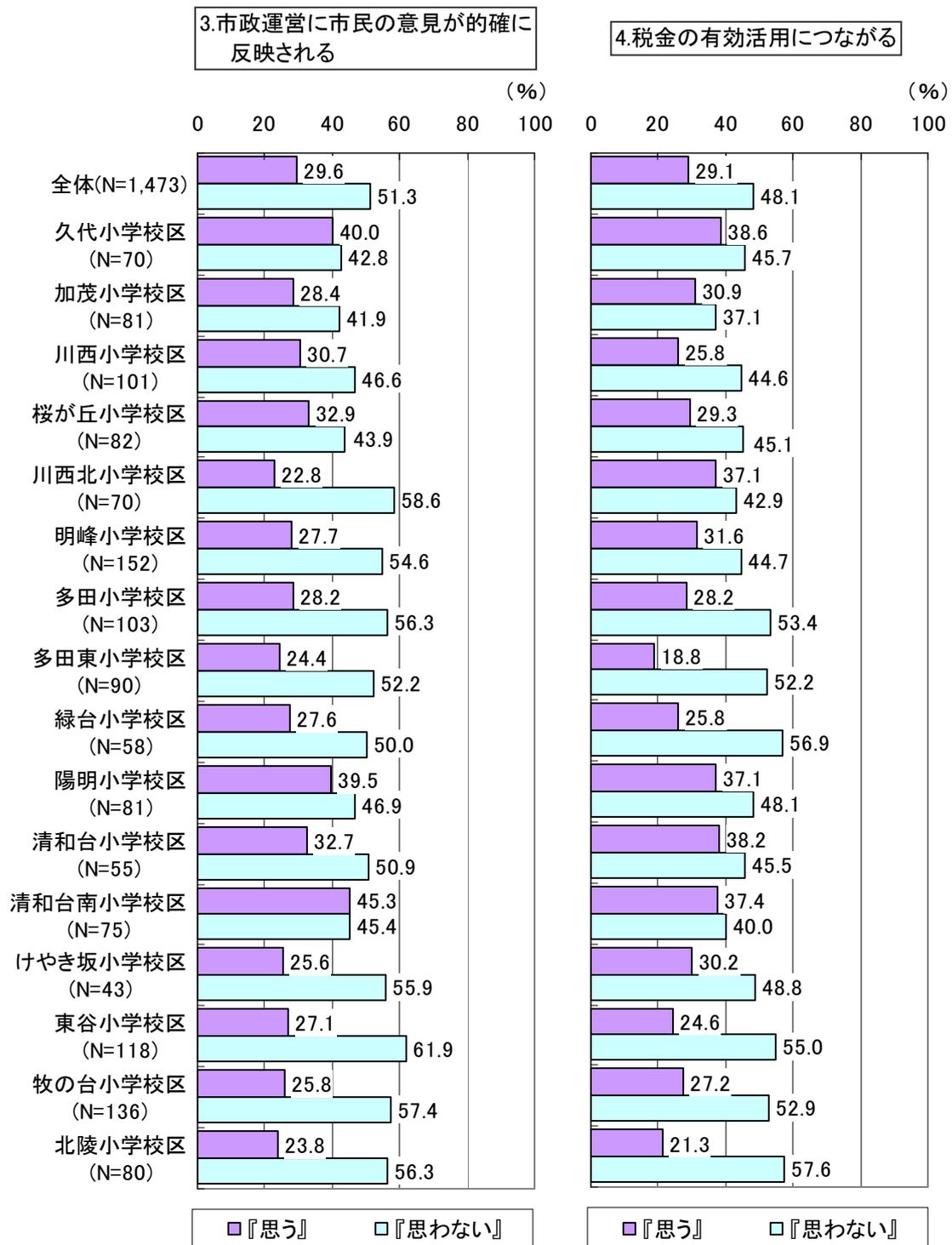
②小学校区別

[1] 行政活動や行政運営上の変化

「1.地域の課題を地域で解決できる」について『思う』は清和台南小学校区で 62.7%、『思わない』は北陵小学校区で 45.0%、「2.市民の多様なニーズに対応できる」について『思う』は陽明小学校区で45.6%、『思わない』はけやき坂小学校区で55.8%とそれぞれ最も高くなっています。特に、「2.市民の多様なニーズに対応できる」では『思う』が『思わない』を上回っているのは陽明小学校区のみとなっています。

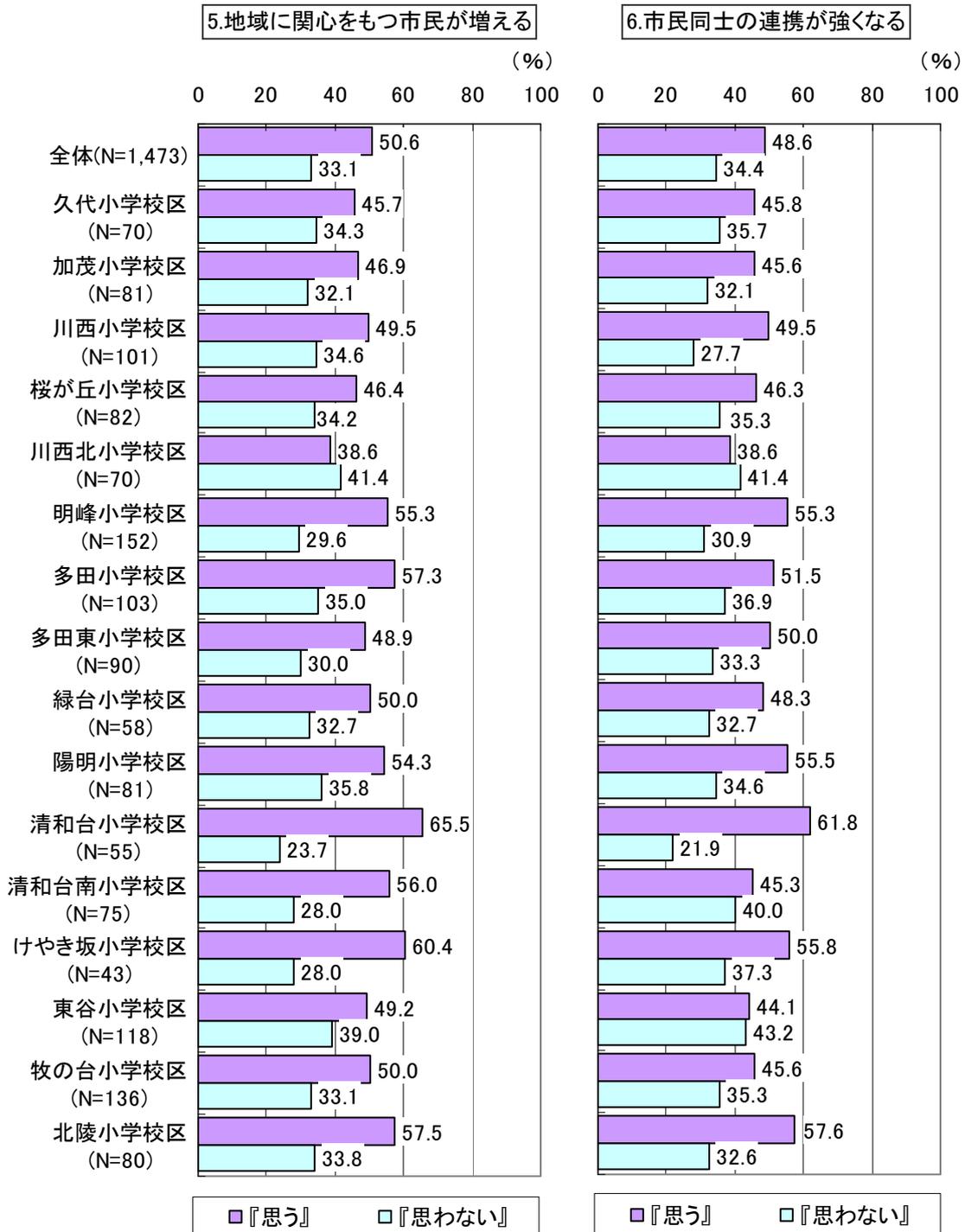


「3. 市政運営に市民の意見が的確に反映される」について『思う』は清和台南小学校区で45.3%、『思わない』は東谷小学校区で61.9%、「4. 税金の有効活用につながる」について『思う』は久代小学校区で38.6%、『思わない』は北陵小学校区で57.6%とそれぞれ最も高くなっています。加茂小学校区、川西小学校区ではいずれの選択肢も選ばない人が2割強となっています。

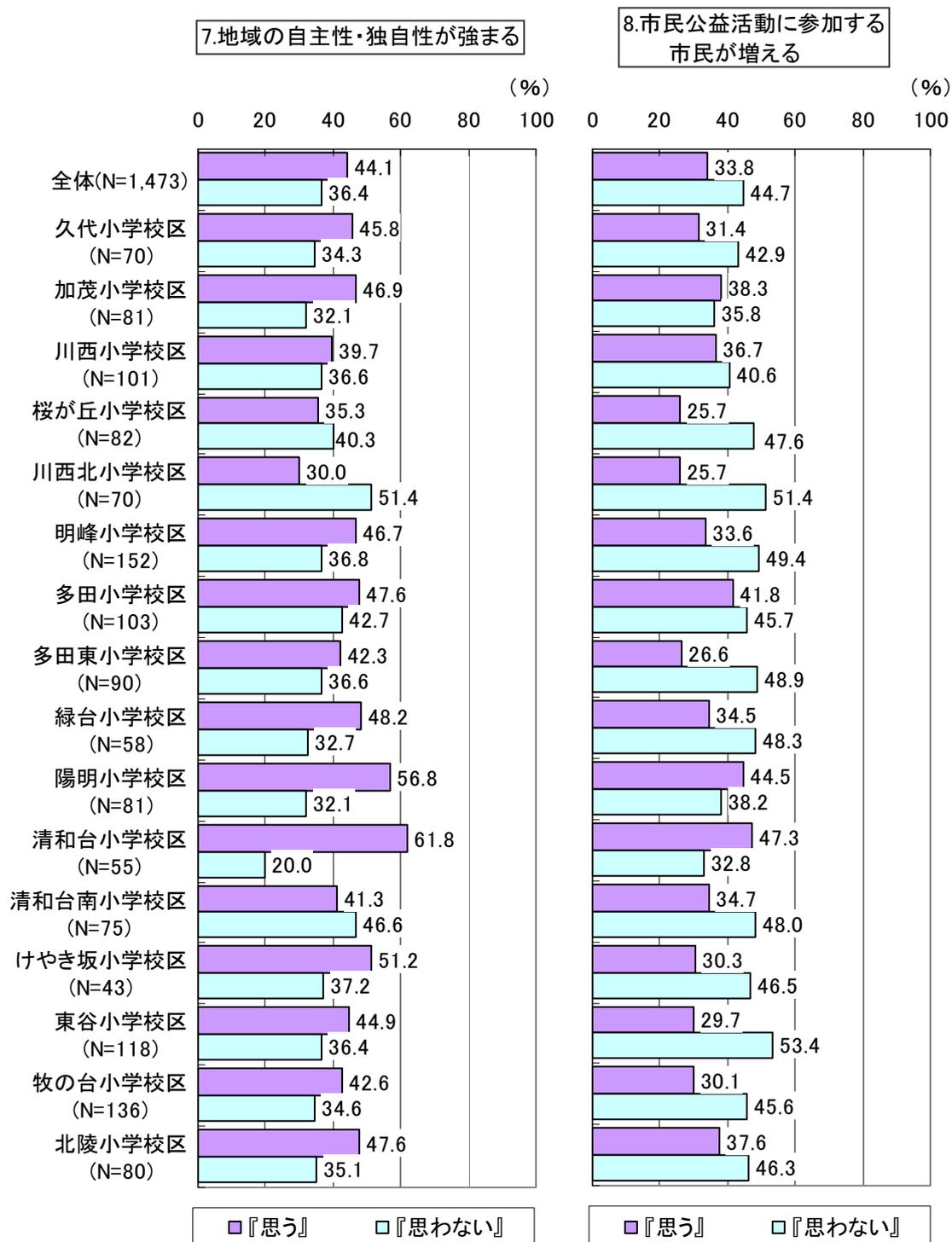


[2] 市民の暮らしや意識の変化について

「5.地域に関心をもつ市民が増える」について『思う』は清和台小学校区で 65.5%、『思わない』は川西北小学校区で 41.4%、「6.市民同士の連携が強くなる」について『思う』も清和台小学校区で 61.8%、『思わない』は東谷小学校区で 43.2%とそれぞれ最も高くなっています。どちらの設問も、川西北小学校区で『思わない』が『思う』を上回っています。



「7.地域の自主性・独自性が強まる」について『思う』は清和台小学校区で 61.8%、『思わない』は川西北小学校区で 51.4%、「8.市民公益活動に参加する市民が増える」について『思う』も清和台小学校区で 47.3%、『思わない』は東谷小学校区で 53.4%とそれぞれ最も高くなっています。



9. 川西市のシンボル・キャラクターについて

(1) シンボル・キャラクターの認知状況

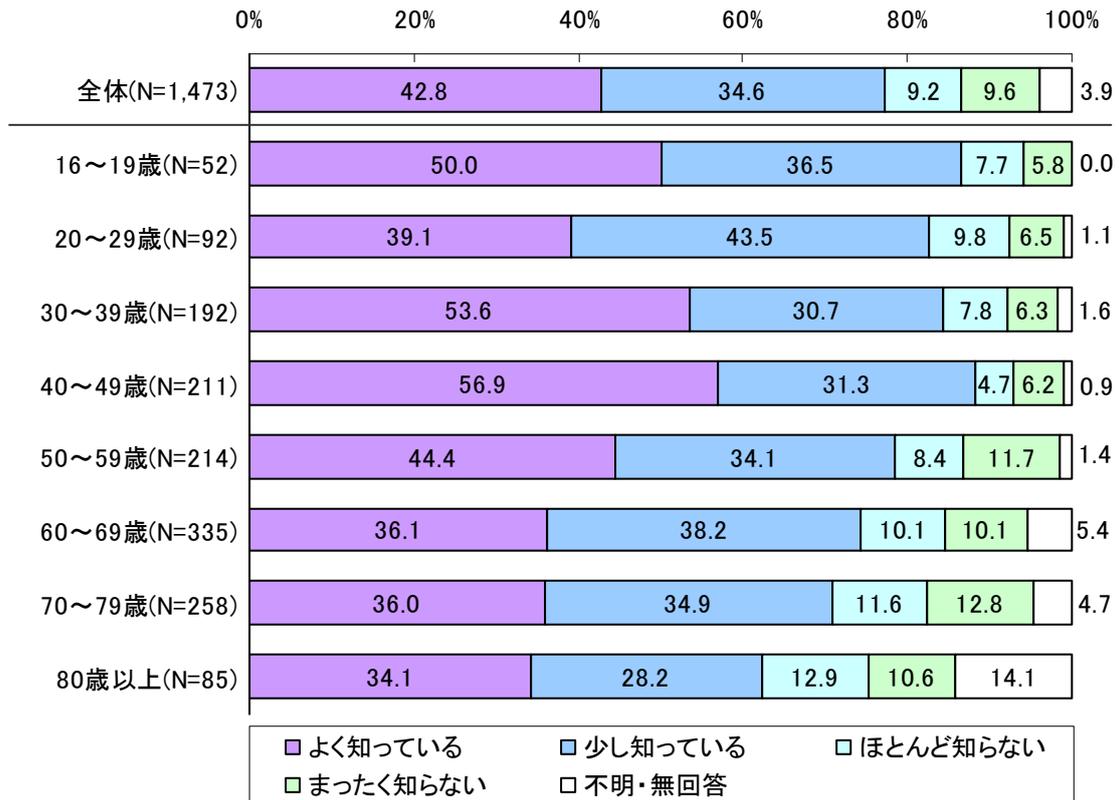
問 平成20年11月に川西市の元気いっぱいキャラクター「きんたくん」が誕生しました。このキャラクターを通じて、ふるさと意識の醸成や地域の活性化につながるよう市内事業者や近隣大学、地域の方々と協力しながら様々な取り組みを進めています。あなたは、そのキャラクター「きんたくん」を知っていますか。次の中から1つだけ選んで、○をつけてください。

①全体集計 (SA)、年齢別

8割近くの人が市のシンボル・キャラクターを認知している

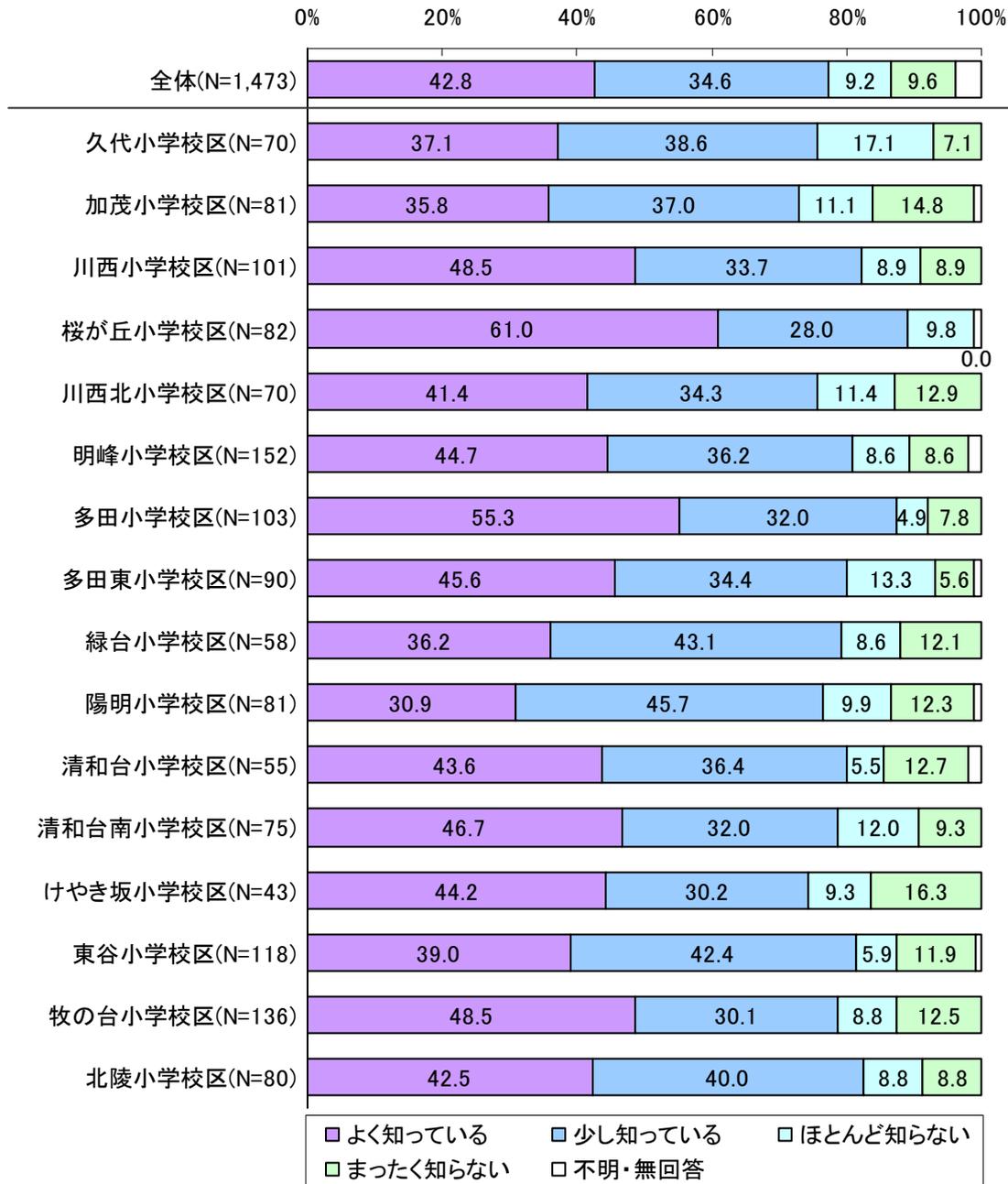
川西市のシンボル・キャラクターについては、「よく知っている」(42.8%)、「少し知っている」(34.6%)と、『知っている』割合が8割近くとなっており、概ね多くの市民が認知しています。

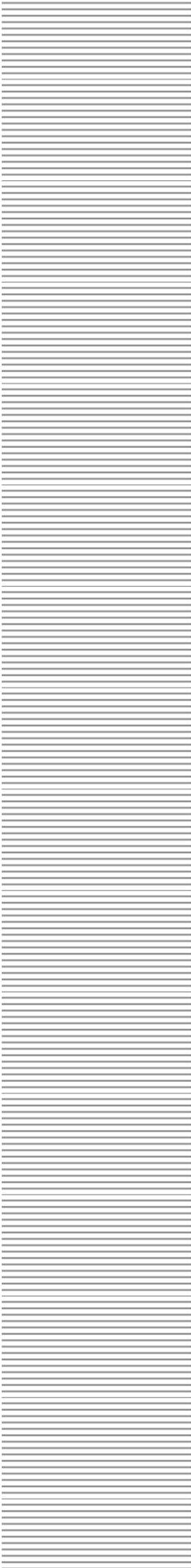
年齢別にみると、「80歳以上」を除く各年代ともに7割以上の方が『知っている』と回答しています。特に、40歳代以下の年代層においては、8割以上の方が『知っている』と回答しており、比較的若い世代において認知されていることがうかがえます。



②小学校区別

居住する小学校区別にみると、各小学校区ともに『知っている』（「よく知っている」「少し知っている」の合計）が7割以上となっています。特に、「川西小学校区」「桜が丘小学校区」「明峰小学校区」「多田小学校区」「多田東小学校区」「清和台小学校区」「東谷小学校区」「北陵小学校区」では『知っている』が8割を超えています。





IV 調査票

川西市の魅力あふれるまちづくりに向けて 皆様のご意見をお聞かせください

～ 川西市市民意識調査 ～

市民の皆様には、日頃から本市のまちづくりに何かとご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、本市では、第4次川西市総合計画後期基本計画（笑顔・ときめき川西プラン）に基づき、元気でうるおいのあるオンリーワンのまちづくりを進めておりますが、この計画期間も残すところあと2年となりました。

この度、平成25年度からスタートする新たな総合計画を策定するにあたり、市民の皆様の市政に対するご要望や将来のまちづくりに対するご意見などをお聞きし、個性的で魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

つきましては、まちづくりの指針となる総合計画の策定においては、できるだけ多くの市民の皆様に参画をいただきたいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年1月



川西市長 大塩民生

- 調査対象は、16歳以上の市民の中から無作為に選び出した3,000人の方々です。
- この調査票に記入された事柄は、調査の目的以外に使用したり、皆様のご迷惑になるようなことは一切ございません。
- ご記入は、ご自分のお気持ちをありのままにお答えください。
- あてはまる項目の番号を○で囲むか、または指定された方法によってご回答をお願いします。
- 記入された調査票は、**平成23年1月31日（月）まで**に同封の返信用封筒（切手不要）に入れて最寄りのポストに投函してください。

【この調査についてのお問い合わせ先】

川西市 企画財政部 政策推進室 政策課 TEL (740) 1120

Ⅱ. 現在の市のまちづくり施策についてお聞きします

問3 施策の現状評価と今後の重要度について

次の1から24の各項目について、『(1)現在の満足度』と『(2)今後の重要度』をお聞きします。

『(1)現在の満足度』については、「満足」から「分からない」までの5つの選択肢から、『(2)今後の重要度』については、「かなり重要」から「分からない」までの5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

※ 1から24の各項目でそれぞれ2箇所にも○をつけることになります。

代表的な事業を例示していますが、トータルの印象をお聞かせください。

	(1)現在の満足度					(2)今後の重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	かなり重要	重要	やや重要	重要でない	あまり分からない
【記入例】 1 健康づくりの支援	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1 健康づくりの支援 生活習慣病やむし歯の予防、地域医療体制の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 地域福祉の推進 民生委員・児童委員や地域福祉活動の支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 高齢者の支援 高齢者の生きがいづくりや社会参画の促進、介護予防・改善の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 障がい者の支援 障がい者の自立支援や社会参画・生きがいづくりの支援、雇用促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 子育て支援 保育所や学童保育等の整備・運営、親子で遊び交流できる場や相談の機会の充実、母子保健事業など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 低所得者福祉 生活保護世帯の経済的な自立支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 学校教育環境の整備 施設の整備や地域との連携による学校づくり、健康的な給食の運営など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 青少年の育成 放課後子ども教室や補導活動等の青少年育成活動、青少年ふれあいデー等の啓発活動など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 生涯学習・文化の振興 生涯学習や芸術、スポーツに親しめるイベントの開催や施設の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	(1)現在の満足度					(2)今後の重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	かなり重要	重要	やや重要	重要でない あまり	分からない
10 環境の保全 猪名川や里山など自然環境の保全や啓発、騒音対策や公共下水道の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 省資源・リサイクル ごみ減量・リサイクルの奨励やごみの適切な分別収集・資源化・処分など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 公園・みどりの整備 公園の維持管理や改良整備、市街地の緑化推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 上水道の安定供給 配水管の布設・更新・耐震化や配水池の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 都市計画の推進 計画的なまちづくりの推進、都市景観の保全や指導、まちづくり団体の支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 市街地整備 川西能勢口駅周辺整備をはじめ、まちのにぎわい創出や良好な市街地形成のための指導など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 交通体系の整備 道路改良や交通施設バリアフリー化、放置自転車対策など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
公共交通(電車・バスなど)の利便性向上に向けた取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 防災力の向上 救急活動や火災消火活動、災害予防・災害対策など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 生活安全の推進 地域パトロールによる防犯活動や消費者トラブルを防ぐための消費生活相談・啓発など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	(1)現在の満足度					(2)今後の重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	かなり重要	重要	やや重要	重要でない あまり	分からない
19 産業の振興 中小企業の支援や産・官・学の交流、地産地消の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 労働環境の向上 パート就労や高年齢者就労に関する求人・求職情報の提供、労働相談など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 観光の振興 観光情報の提供や猪名川花火大会等のイベント、国内都市との交流など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 共感・共生のまちづくり 人権啓発や男女共同参画の推進、平和・国際化の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 参画と協働のまちづくりの推進 広報誌の発行や市政への提案制度、市民公益活動への支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 効率的な行財政の運営 事務事業の公開や財政健全化、組織・職員定数の適正化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問4 高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

あなたは、高齢者が暮らしやすいまちにするために、今後どのようなことに力をそそぐべきとお考えですか。次の中から**3つまで**選んで、番号に○をつけてください。

- 1.生涯学習やスポーツ、芸術活動など、生きがいづくりの場や機会の充実
- 2.ボランティア活動など、高齢者の社会貢献の場や機会の充実
- 3.高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場や機会の充実
- 4.介護予防など、健康づくりの推進
- 5.地域の人たちによる助け合い運動の充実
- 6.高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の拡充
- 7.公共施設・歩道の段差解消など、バリアフリー化の推進
- 8.市内における医療機関の充実
- 9.市内における老人ホームなど、介護施設の充実
- 10.ホームヘルパーなど、居宅介護サービスの充実
- 11.高齢者向け住宅の整備推進
- 12.電車やバスなど、公共交通機関の利便性の向上
- 13.その他(具体的に:)

問5 安心して子育てができるまちづくりについて

あなたは、誰もが安心して子どもを生み、育てられるまちにするために、今後どのようなことに力をそそぐべきとお考えですか。次の中から**3つまで**選んで、番号に○をつけてください。

- 1.若い世代が住み続けたいくなるような住宅支援や雇用促進支援
- 2.性別を問わず、仕事と育児が両立できる職場環境の充実
- 3.保育所整備や一時預かり保育など、保育サービスの充実
- 4.学童保育(留守家庭児童育成クラブ)など、放課後児童対策の充実
- 5.市内における医療機関の充実
- 6.子育て世代に対する子ども手当や医療費助成など、経済的な援助の拡充
- 7.子どもが遊べる公園や親子で過ごせる施設などの整備
- 8.保育所や幼稚園の園庭開放など、親子で遊び交流できる事業の充実
- 9.育児講座など、子育てに関する情報が得られる機会の拡充
- 10.子育てに関する相談窓口の充実
- 11.地域ぐるみで子育てを支える環境整備
- 12.社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
- 13.少人数学級の推進など、きめ細やかな教育の推進
- 14.家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
- 15.その他(具体的に:)

問6 まちづくりにおける市民と行政の役割分担について

これからの社会では、市民の皆様と市が役割分担しながら、市民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていく必要があります。あなたのお住まいの地域(概ね自治会・小学校区)で次の1～15までのまちづくり活動を行う場合、市と市民がどのように役割を分担すべきだと思いますか。

5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

※ ここでいう「市民」とは、川西市に在住している住民だけではなく、市内で活動などを行っている事業者や団体・組織、それらに所属する人を含み、以降の設問も同様とします。

「参画」とは・・・

市民の皆様が、市の政策等の立案・実施・評価の過程に主体的に関わって意見や提言を行うことをいいます。

	市が担う	市が主体的に担い、市民が参画する	市民が主体的に担い、市は支援を行う	市民が担う	分からない
【記入例】	5	④	3	2	1
1 地域での健康づくり教室や勉強会の開催など	5	4	3	2	1
1 地域での健康づくり教室や勉強会の開催など	5	4	3	2	1
2 地域福祉拠点における地域活動など	5	4	3	2	1
3 高齢者の介護・見守りなど	5	4	3	2	1
4 障がい者の介護・見守りなど	5	4	3	2	1
5 乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動	5	4	3	2	1
6 学校・幼稚園における教育活動の支援(防犯・安全、図書ボランティア等)	5	4	3	2	1
7 子どもへの声かけなど青少年の健全育成活動	5	4	3	2	1
8 生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座・イベントの開催	5	4	3	2	1
9 不法投棄のパトロールなど	5	4	3	2	1
10 資源ごみの回収などのリサイクル活動	5	4	3	2	1
11 近所の公園・まちかどの清掃や緑化の推進など	5	4	3	2	1
12 防災訓練の実施、災害時の安否確認など	5	4	3	2	1
13 夜間や通学路の防犯パトロール	5	4	3	2	1
14 地域の観光名所・文化財のガイド	5	4	3	2	1
15 コミュニティセンター等の公共施設の管理運営	5	4	3	2	1

Ⅲ. いまお住まいの地域についてお聞きします

問7 地域に関する意識について

あなたは、次の項目について、それぞれどのように考えていますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	ある	やや ある	あまり ない	全くない	分から ない
1 高齢者や子ども、障がい者等への支援をはじめ、地域の様々な課題に関心が...	5	4	3	2	1
2 地域の中で、一人ひとりの人権を尊重することについて意識することが...	5	4	3	2	1
	思う	やや 思う	あまり 思わない	全く 思わない	分から ない
3 地域の課題に対し、市民相互の自主的な支え合いや助け合いが必要だと...	5	4	3	2	1
4 あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、近所の人などから手助けをしてもらいたいと...	5	4	3	2	1
5 地域では、行政の相談窓口や行政サービス情報に関する必要な情報が入手できていると...	5	4	3	2	1
	知って いる	やや 知って いる	あまり 知らない	全く 知らない	分から ない
6 自治会の役割やその活動について...	5	4	3	2	1
7 コミュニティ推進連絡協議会の役割やその活動について...	5	4	3	2	1
8 地区福祉委員会の役割やその活動について...	5	4	3	2	1

問8 地域に関する活動について

あなたは、次の項目について、それぞれ参加や行動をしたことがありますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	よく参加する	ときどき参加する	あまり参加しない	全く参加しない	そのような行事・活動がない、知らない
1 地域活動に関する研修会やボランティア講座、セミナーに受講者または講師として・・・	5	4	3	2	1
2 地域の課題を話し合う会議や懇談会(ワークショップなど)に・・・	5	4	3	2	1
3 自分が所属している団体以外の地域活動団体やグループとの交流の場に・・・	5	4	3	2	1
4 自治会、コミュニティ推進連絡協議会や地区福祉委員会の行事や事業に・・・	5	4	3	2	1
5 自治会、コミュニティ推進連絡協議会や地区福祉委員会以外のNPOやボランティアなどの活動に・・・	5	4	3	2	1
	よくある	ときどきある	あまりない	全くない	分からない
6 地域の人を地域活動に誘ったり、情報を知らせたりすることが・・・	5	4	3	2	1
7 地域の課題を解決するために、行政の関係者または関係機関に相談することが・・・	5	4	3	2	1

問9 地域のまとまりについて

あなたは、次の項目について、それぞれ参加や行動をしたことがありますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない	分から ない
1 近所の付き合いは、近所同士がよく行き来するなど濃いものだと...	5	4	3	2	1
2 自分の住んでいる地域に愛着をもっていると...	5	4	3	2	1
3 地域の活動や行事は、他の地域に比べて活発だと...	5	4	3	2	1
4 地域の活動や行事は、以前(5~10年前)と比べて回数や参加者数が増えるなど活発になったと...	5	4	3	2	1
5 地域の活動は、市民相互のまとまりが十分にあると...	5	4	3	2	1

問 10 地域における協働について

あなたは、次の項目について、それぞれどのように感じていますか。
5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

		思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない	分から ない
1	市民と行政の協働は、進んでいると・・・	5	4	3	2	1
2	市民と行政の協働は、以前(5～10年前)と比べて進んでいると・・・	5	4	3	2	1
3	行政の支援により、地域の課題に対する市民同士の協力関係やまとまりが強くなったと・・・	5	4	3	2	1
4	企業やNPO、地域活動団体等の社会貢献事業が地域貢献につながっていると・・・	5	4	3	2	1
		ある	やや ある	あまり ない	全くない	分から ない
5	地域力向上のために市民が地域へ寄付をすることについて関心が・・・	5	4	3	2	1
6	地域通貨をはじめとするコミュニティビジネス(※)や社会貢献事業について関心が・・・	5	4	3	2	1

※ コミュニティビジネス・・・市民が生活者の視点に立って地域の公益的な事業を手がけること。

「協働」とは・・・

住民の皆様をはじめ、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者、市など様々なまちづくりの担い手が、それぞれの役割に基づき、お互いの立場を尊重し、地域の課題解決に向けて相互に補完し合うことをいいます。

問 11 今後の地域づくりについて

川西市には、概ね小学校区単位に13の「コミュニティ推進連絡協議会」があり、各地域では自治会を中心に地区福祉委員会やPTAなどの各種団体が連携して体育・文化・環境・福祉・安全などの各分野において広域的な地域活動を展開するとともに、各種啓発活動に取り組んでいます。

市民による主体的な地域活動をさらに進めた場合、どのようなメリットがあると思いますか。5つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

		思う	やや 思う	あまり 思わない	思わない	分から ない
1	地域の課題を地域で解決できると・・・	5	4	3	2	1
2	市民の多様なニーズに対応できると・・・	5	4	3	2	1
3	市政運営に市民の意見が的確に反映されると・・・	5	4	3	2	1
4	税金の有効活用につながると・・・	5	4	3	2	1
5	地域に関心をもつ市民が増えると・・・	5	4	3	2	1
6	市民同士の連携が強くなると・・・	5	4	3	2	1
7	地域の自主性・独自性が強まると・・・	5	4	3	2	1
8	市民公益活動に参加する市民が増えると・・・	5	4	3	2	1

IV. あなたご自身のことについて、お聞かせください

以下の質問は、これまでお答えいただいた事項を統計的にとりまとめるために必要なものです。お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、あなた自身の事項について、引き続きご回答ください。 ※ 平成23年1月12日を基準日としてください。

1. 性別

次の中から**1つだけ**選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

2. 年齢

次の中から**1つだけ**選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 16～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 |
| 4. 40～49 歳 | 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 |
| 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上 | |

3. 同居形態

(1) 一緒に住んでいる方はいらっしゃいますか。

次の中から**1つだけ**選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(2) 前の設問(1)で「**1. いる**」と回答された方のみにお聞きします。

一緒に住んでいる家族にどのような方がいらっしゃいますか。

次の中からあてはまる**すべて**を選んで、番号に○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 小学校入学前の子どもがいる |
| 2. 小学生あるいは中学生の子どもがいる |
| 3. 65 歳以上の高齢者がいる |
| 4. その他() |

4. 居住年数

川西市に住み始めてから何年になりますか。

次の中から**1つだけ**選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3～5年未満 | 3. 5～10 年未満 |
| 4. 10～20 年未満 | 5. 20 年以上 | |

5. 小学校区

あなたがお住まいの小学校区はどこになりますか。

次の中から**1つだけ**選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1.久代小学校区 | 久代1～6丁目 東久代1・2丁目 |
| 2.加茂小学校区 | 南花屋敷1～4丁目 加茂1～6丁目 |
| 3.川西小学校区 | 小花1・2丁目 小戸1～3丁目 栄町 24～27 番
寺畑1・2丁目 栄根1・2丁目 下加茂1・2丁目 |
| 4.桜が丘小学校区 | 中央町 日高町 栄町(24～27 番を除く) 花屋敷山手町
花屋敷1・2丁目 満願寺 満願寺町 |
| 5.川西北小学校区 | 美園町 絹延町 出在家町 丸の内町
滝山町(8番を除く) 鶯の森町 萩原1丁目
火打1・2丁目 松が丘町 霞ヶ丘1・2丁目 |
| 6.明峰小学校区 | 滝山町8番 萩原2・3丁目 萩原台東1・2丁目
萩原台西1～3丁目 鶯が丘 鶯台1・2丁目
西多田字上平井田・湯山裏・南野山 湯山台1・2丁目
南野坂1・2丁目 西多田1丁目1・2番 錦松台 |
| 7.多田小学校区 | 新田 西多田(明峰小学校区を除く)
多田院(清和台南小学校区を除く)
新田1～3丁目 多田院1・2丁目 多田院多田所町
多田院西1丁目 多田院西2丁目(5番を除く)
矢間1～3丁目 矢間東町 西多田1丁目(1・2番を除く)
西多田2丁目 |
| 8.多田東小学校区 | 東多田 平野 鼓が滝1～3丁目 東多田1～3丁目
多田桜木1・2丁目 平野1～3丁目 |
| 9.緑台小学校区 | 緑台1～5・7丁目 向陽台1・2丁目 |
| 10.陽明小学校区 | 緑台6丁目 向陽台3丁目 水明台1～4丁目 清流台 |
| 11.清和台小学校区 | 石道 虫生 赤松 清和台東1～3丁目
清和台西1・2丁目 |
| 12.清和台南小学校区 | 柳谷 清和台東4・5丁目 清和台西3～5丁目
多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上 多田院西2丁目5番 |
| 13.けやき坂小学校区 | 芋生 若宮 けやき坂1～5丁目 |
| 14.東谷小学校区 | 見野1～3丁目 東畦野1～6丁目
東畦野山手1・2丁目 西畦野1・2丁目 山原1・2丁目
緑が丘1・2丁目 山下町 笹部1～3丁目 下財町
一庫1～3丁目 東畦野(長尾を除く) 西畦野 山原
山下 笹部 一庫 |
| 15.牧の台小学校区 | 大和東1～5丁目 大和西1～5丁目 東畦野字長尾
長尾町 |
| 16.北陵小学校区 | 美山台1～3丁目 丸山台1～3丁目 |
| 17.黒川小学校区 ^{※1} | 国崎 黒川 横路 |

※1 黒川小学校は、現在休校中です。

V. 川西市のシンボル・キャラクターについて

平成 20 年 11 月に川西市の元気いっぱいキャラクター「きんたくん」が誕生しました。

このキャラクターを通じて、ふるさと意識の醸成や地域の活性化につながるよう市内事業者や近隣大学、地域の方々と協力しながら様々な取り組みを進めています。

あなたは、そのキャラクター「きんたくん」を知っていますか。

次の中から **1つだけ**選んで、○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. ほとんど知らない | 4. まったく知らない |

VI. 今後のまちづくりへのご意見や具体的なお提案について

川西市の今後のまちづくりに対するご意見や具体的なお提案があれば、以下にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

皆様よりお寄せいただきましたご意見は、新たな総合計画に反映させ、今後のまちづくりの中で役立たせていただきます。



**次のページも、何卒
ご協力をお願いします。**

～市民ワークショップ等への参加のお願い～

最後に、市では、この意識調査において貴重なご意見をお寄せいただいた方々と将来の川西市のまちづくりについてディスカッションする場として「市民ワークショップ」等を開催し、市民の皆様と川西市政について語り合う機会を設けたいと考えております。

※ ディスカッションのテーマの例

- 川西市の定住人口を増やすためには、どうしたら良いか？
- 川西市の魅力を高めるためには、どうしたら良いか？ など

ワークショップ等にご参加いただける方には、後日、詳しい案内等を送付いたしますので、以下の記入欄にあなたのご住所・お名前を記入いただければ幸いに存じます。

※ 参加を希望されない方は、下枠への記入の必要はありません。

ご住所	〒 —
お名前	

**川西市 市民意識調査(一般)
調査結果報告書
《平成 22 年度版》**

平成23年3月発行
川西市企画財政部政策推進室政策課
(この冊子は市役所内で印刷しています)